（仮称）高石市立図書館建設工事

80107

株式会社 栄和設計事務所

名称 （仮称）高石市立図書館建設工事

図名

縮尺

図番 A/

設計図リスト

建築工事

意匠図

図番	名称	縮尺
A 1	表紙	
2	設計図リスト	
3	特記仕様書 1	
4	〃 2	
5	配置図，附近見取図	1/300
6	面積表，求積図および表	1/200
7	仕上表 1	
8	〃 2	
9	平面図 1 （1 階）	1/100
10	〃 2 （2 階）	〃
11	〃 3 （屋根機械）	〃
12	立面図 1 （東南面）	〃
13	〃 2 （北西面）	〃
14	断面図	〃
15	天井伏図 1 （1 階）	〃
16	〃 2 （2階,塔屋）	〃
17	矩計詳細図，各部詳細図	1/30 1/20
18	主階段詳細図	1/30
19	副階段，エレベーターホール詳細図 1	1/50 1/30
20	〃 2	1/30 1/20
21	便所詳細図 1 （平面，断面詳細図）	1/50 1/30
22	便所詳細図 2 （断面，部分詳細図）	1/50 1/20 ほか
23	各部詳細図 1 （1 階展開，ブラウジングコーナー ほか）	1/30
24	〃 2 （2階展開ロビー,展示場 1階詳細）	1/30 1/10
25	〃 3 （管理関係出入口廻り各部 ）	1/30
26	〃 4 （管理関係調査，応募廻り ）	1/30 1/20
27	〃 5 （BM関係調査 ）	1/30
28	平面詳細図 展開図 部分詳細図 1 （展開図，事務室 管理事務室 ）	1/50
29	〃 2 （ 〃 ）	1/50 1/20
30	〃 3 （児童館調査 見学調査） ロビー，ブラウジングコーナー	1/50
31	〃 4 （ 〃 ）	〃
32	〃 5 （事務室 ）	1/50 1/5
33	〃 6 （管理出入口廻り調査）	1/50
34	〃 7 （BM関係調査 ）	〃
35	〃 8 （設備関係調査 ）	1/50 1/30
36	〃 9 （会議，BM事務 設備関係調査 ）	1/50
37	〃 10 （事務，BM事務 ）	〃
38	〃 11 （事務室 2階展開 ロビー,展示場 ）	1/50 1/30
39	〃 12 （ 〃 ）	1/50
40	〃 13 （視聴覚室 ）	1/50 1/20 ほか
41	〃 14 （文,小 集会室 ）	〃 〃 〃
42	〃 15 （資料室,保管室 ）	〃 〃
A 43	屋上工作物詳細図 （0.5ほり 機械基礎 オペフロス ）	1/50 1/30
44	建築キープラン	1/200
45	建具表 1 （鋼 製 ）	1/50
46	〃 2 （アルミ 製 ）	〃
47	〃 3 （アルミ製，木製 ）	〃
48	木製家具詳細図 1	
49	〃 2	
50	〃 3	
51	〃 4	
52	エレベーター詳細図 （参考 図）	1/50 1/20
53	雨水排水図	1/300 1/20
54	敷地現況図	1/300 1/50 1/30
55	屋外工事平面図	1/200
56	屋外ブリッジ階段 詳細図	1/50 1/30
57	自転車置場Y=詳細図	1/100 1/50 1/30
58	屋外雑詳細図 （塀,鋼製 家具 ほか）	1/200 1/50 1/20 1/30
59	スケール表見詳細図 1 （参考 図）	1/1 1/30 1/50
60	〃 2 （ 〃 ）	1/1 1/50

構造図

図番	名称	縮尺
S 1	鉄筋コンクリート 現場配筋図	
2	基礎伏図	1/100
3	2 階 梁,スラブ伏図	〃
4	R 階 梁,スラブ伏図	〃
5	軸組図 1	1/200
6	〃 2	〃
7	基礎 配筋図,断面表	1/30
8	梁断面表	〃
9	柱，壁 設置表	〃
10	壁 梁 配筋図	1/50
11	小梁断面表 壁,スラブ配筋表 スラブ配筋図	1/30
12	雑 配筋図	〃
13	工 事 仕 様 図 1	
14	〃 〃 2	

設備工事

電気設備工事

図番	名称	縮尺
E 1	特記仕様書 凡例	
2	屋外設備図	
3	受変電設備図	
4	幹線系統図，盤結線図	
5	盤結線図	
6	幹線動力コンセント設備図 1 階平面図	
7	〃 2 〃	
8	〃 R 〃	
9	電灯設備図 1 階平面図	
10	〃 2 〃	
11	〃 R 〃	
12	照明器具参考姿図	
13	弱電設備系統図	
14	弱電設備図 1 階平面図	
15	〃 2 〃	
E 16	弱電設備図 R 階平面図	
17	弱電機器参考姿図	
18	自動火災報知 防排煙制御設備 系統図	
19	自動火災報知 防排煙制御設備 1 階平面図	
20	〃 〃 2 〃	
21	〃 〃 R 〃	

衛生設備工事

図番	名称	縮尺
M 1	特記仕様書 （位 生）	
2	配置図 （ 〃 ）	
3	系統図，凡例 （ 〃 ）	
4	汚水桝表，桝表 （ 〃 ）	
5	1 階平面図 （ 〃 ）	
6	2 〃 （ 〃 ）	
7	R 〃 （ 〃 ）	
8	各室平面詳細図 （ 〃 ）	
9	機械室平面詳細図，会所室設備図 （ 〃 ）	
10	受水槽 高架水槽詳細図 （ 〃 ）	
11	特記仕様書 （空 調）	
12	系統図，凡例 （ 〃 ）	
13	空調機器リスト （ 〃 ）	
14	1 階平面図 （配 管） （ 〃 ）	
15	2 〃 （ 〃 ） （ 〃 ）	
M 16	R 階平面図 （配 管） （空 調）	
17	1 階平面図 （ダクト） （ 〃 ）	
18	2 〃 （ 〃 ） （ 〃 ）	
19	R 〃 （ 〃 ） （ 〃 ）	
20	設備機械室平面，断面詳細図 （ 〃 ）	
21	自動制御系統図 （ 〃 ）	
22	揚水槽，冷温水ヘッダー 詳細図 （ 〃 ）	

80107

株式会社 栄和設計事務所
06・452・1651
452・1652
452・1653
452・1654

[redacted]

名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

図名 図面リスト

縮尺

図番 A/2

特記仕様書

工事名称	(仮称)高石市立図書館建設工事
工事場所	高石市高師浜町 6番5
行政区域	・近隣 住居地区 商業地区 準防火地域 ・道路 幅員6.0m 舗装敷地 完全 ・その他 建蔽率 60/100 容積率 200/100

工事概要

面 積

敷地面積			10a11.05m²		
床面積	種別	本工事部分 本屋	別棟部分 渡廊下	合計	総計
	1階	1,577.58 m²	28.60 m²	1,606.18 m²	1,606.18 m²
	2階	885.16 m²	—	885.16 m²	885.16 m²
	塔屋	42.60 m²	—	—	42.60 m²
床面積合計		2,505.34 m²	28.60 m²	2,534.06 m²	2,648.41 m²
建築面積		1,606.60 m²	28.60 m²	1,635.00 m²	1,860.92 m²

建物概要	・本屋 (図書館) 地階なし 2階建 塔屋1 1棟
工事範囲	・自転車置場 敷地境界～本館 外部コンクリート迄、雨水桝、1棟 ・図書館 および周辺整備工事 および 既存物件撤去 特殊工事 ・今迄に works 受け取り物件工事 (電気アプローチ(2階2箇所)) ・ " エレベーター工事 ・設計図 記載の製作工事 ・本館設備工事 " 電気設備工事 空調 特殊工事 給排水位置 ガス設備工事
別途工事	既存ものの カーテンウォール フライド屋 (但し 補修箇所 補修部分は、本工事 含む事) ・設計図書に示される 製作工事 ・選択工事 (専門業) 選択 特殊工事
設計図書	・設計図 建築工事 74 葉 / 計 117 葉 ・ " 構造工事 43 "
	・承諾仕様書 建築工事 設備工事 各1冊 計2冊
	・現場説明書 (特記事項250) 1式
工期 条件	入札後 決める。

第1章 一般共通事項

1	共通仕様書	・建築工事 (日本建築学会作成 "RC造及び鉄骨鉄筋コンクリート造")
		・ " 設備工事 ・ " ・ 建築積算基準 ・
2	図面相違の優先順位	原則として設計図面の優先順位は、下記の通りとする。 1) 現場説明書 2) 特記仕様書 3) 各図面記載事項 4) 設計図面 5) 共通仕様書
3	工法の採用について	現代仕様書 共通仕様書、図面に工法の指定のない部分は、製造所 施工業者の 都道府県 による一般的な工法にて施工すること。
4	材料 指定	図面の製品名 製造所 他と記載 なども 同様なものとする。
5	試験材料等	指定材で、試験材料等は 認定ラベル 認定番号などと 試験書類の 承認をうけること。
6	工事に伴う 諸手続	給排水 電気 屋外付帯 その他工事用届出の 設置 撤去の手続 および 諸経費負担 申請届出 諸費用の負担 (仮設申請は) その他工事に伴う諸手続は 総て 行うこと。
7	設計変更	契約時に 特に 指定のない 事項で 施工上 設計図書に 記載しがたいもの、疑義が 生じた場合は、 監理者 と打合せ 協議の上 決定すること。
8	現状部分の調査	工事に先立ち 現地の現況と 各種調査、資料の上 設計図書に 記載しがたい部分は 監督員に 報告 すべき 項目に 従い 調査 を行うこと。 なお 既存部分 の 図面 と 相違 が 生じた 場合は その 旨 報告 し 監督員 の 指示 を 受けること。 本工事に伴う 既存部分 と 取り合い 一時撤去した 個所 及び 工事の 都合により 補強 が 必要になった 箇所は 予め 打合せの上 設計変更に 関する 書類 を 提出すること。 (補強部分は 外すて 本工事の 3.3倍積算 (既出分の) 個所を 限度とする。)
9	既工事の処置	現場調査 及び 設計図書 から 推定 工事量 から 解体 撤去 部分の 時期 及び 施工順序 を 決定 下請業者 と 打合せ し、 残し 部分 の 養生 の 施工 および 既存 工事 に 支障 を 与えない よう 配慮 すること。 また、 解体 撤去 後 は 速やか に 整地 すること。
10	解体 材 の 処分	解体 材 の 処分 は 関係 法令 と 協議 の 上 適切 に 行うこと。 又 産業廃棄物 の 処分 は 許可 業者 に 委託 すること。 (ただし 2.2kg 以下 の 量 は 除く)
11	工事写真 および 報告	工事着手 工事 と 同時 に 工事 施行 上 の 証拠 (施工記録) 写真 を 工事 の 各段階 毎 に 定期 に 監督員 の 指示 に 従い 撮影 すること。 例 下 地 完了 後 下 時、アルバム に ネガ と 焼付 を 2 組 提出 すること。 撮影 箇所 の 選定 に ついて は 監督員 の 承認 および 監督員 の 指示 による。
12	竣工図 および 写真	工事完了 後 は 竣工図 (原図 青焼図) 各 1 部 を 提出 すること。 又 竣工写真 は 下記 に 従って 提出 すること。 (但し 監督員 の 指示 を 受けて 追加 すること) 工事中 の 工事 施工 図 (重要 箇所 一部 を 監理 者 と 協議 の 上、 見易 箇所 より 抜粋 して 2 部 提出 すること。 竣工図 は すべて 1/100 カラー 印刷 とし 1 部 製本 して 提出、 説明 用 は 図面 の 複写 とする。) 工事 着工 写真 は、 全景 引 伸 8"×10" 程度 各 2 ～ 4 面、 竣工 は カラー 現像 し 全景 引 伸 8"×10" 程度 に アルバム に 整理 し 2 部 提出 すること。
13	竣工後 の 引渡し	・引渡し 書 と 引換え に 鍵 一式 を 渡すこと。 (ガラス 破損 など の 確認 は 引渡し 後 の 責任 とする。) (ただし 引渡し 前 に 使用 する 場合 は 別途 協議 する。) ・取扱 説明書 および 保証書 (建具 ハードウェア、 建築 金物、 ガラス、 ウェザー カバー、 木製 建具 等 の 保証 書 を 含む) 関係 の もの、 使用前 に 引渡す こと。 ・付帯 設備 取扱 説明。
		・作業 工事 の 行 う 前 に、 各種 設備 関係 官庁 (消防署、 警察署、 電力 会社、 ガス 会社 など) の 指導 並び に 下 請 業者 と 打合せ 協議 を 行 い、 水 の 使用 方 法 、 火 の 使用 方 法 、 各種 ゴミ 処理 方 法 を 決定 し、 その 指示 に 従 い 工事 を 行 うこと。

第2章 仮設工事

1	仮囲い	鋼管 足場 鋼製 仮設 囲い 延長 H=2,600。 (ただし 既存 の 囲い は 一部 撤去 し、 新設 の 囲い と 連結 する。) 詳細 は 別途 打合せ の 上 決定 する。
2	足場 架設 ネット	外部 足場 の 鋼製 足場 とする。
3	ガードマン	工事 期間 中 ガードマン と 常駐 のこと。 但し 工事 用車 両 の 出入り には 交通 整理 の 安全 を 期す こと。 ガードマン 配置 は 法令 に 準じ て 決定 する。
4	現場 事務所	30㎡ 程度 とし、 位置 は 敷地 コーナー と する こと。 電気、 給排水、 仮設 便所、 電話、 湯沸、 冷暖房、 設備 とする こと。
5	工事用 設備 等	給排水、 電気 その他 工事用 設備 の 設置、 撤去 は、 請負業者 が 行う こと。
6	仮囲い 範囲 および 工事用 用地	敷地 内 及び 隣地 とする。
7	設計 G.L	図面 に 記入、 現況 測量 実測 図面 を 工 監督員 と 協議 決定 すること。

第3章 土工事

1	根切	原則 的 に 機械 掘り とし、 有機 質 は 工事 着手 前 に 除去 する こと。
2	埋戻し および 盛土	埋戻し 及び 盛土 の 使用 材 は 土質 地 の 場所 により 異なる ので、 現地 にて 確認 の 上、 監督員 の 指示 を 受ける こと。
3	残土 処分	現場 に 引き取る もの を 除き 全て 場外 搬出 とする。 場所 他、 量 は 7.5km 程度。
4	山留め	掘削 の 深さ を 測 り、 土質 とする。

第4章 地業工事

1	割栗 石	共通 仕様書 4-5 による。 厚 は 図面 による。
2	切り込み 砕石	" 4-7 による。
3	砂 地業	

第5章 鉄筋 コンクリート工事

1	使用 鉄筋 の 種類	SR 235 による。 種類 は (D6 および D10 A種) とする。
2	施工 方法	セパレーター が 露出 しない よう 処理 する こと。 第1章 第3節 及び 第4章 の 事項 を 参照 する。
3	鉄筋 の 加工、 形状 および 設計 強度 (基準 強度)	基礎 F_c=13,000→12,000 84本 種々 の 寸法 による 基礎 F_c=12,000→11,000 80 〃 〃 基礎 F_c=17,000→15,000 7 〃 〃 } 鉄筋 加工 基礎 F_c=21,000→17,000 9 〃 〃 設計 強度 (長期) F_c=20 N/mm²
4	鉄筋 の 継手 および 定着 の 方法	柱 主筋 の 継手 は、 D22 以上 の ガス圧接 とし ガス圧接 工 作業 による。 鉄筋 加工 は 原則 として 工場 加工 とする。 鉄筋 の 場所 は 50㎜ 以上 とる。 梁 主筋 の 定着 は、 柱 内 に 折曲げ 定着 とし、 定着 長さ は 構造 図 による。

第6章 鉄筋工事

1	使用 鉄筋	異形 鉄筋 SD 345 SD 295 種類 (SD 30) N/mm²
2	継手	第 5 章 による。 ガス 圧接 とする。 ガス 圧接 は SD 345 SD 295 鉄筋 異形 棒鋼 (径 25 以上) 突合せ 圧接 とする。
3	試験 方法	・圧接 部 試験 は、 超音波 試験、 破壊 試験 とし、 超音 探傷 試験 は 全数、 破壊 試験 は 1 検査 ロット 100 箇所 に 1 箇所 の 割合 とする。
		・ガス 圧接 部 の 超音波 探傷 試験 は、 JIS Z 3062 に 準じ 行う こと。
		・ガス 圧接 部 の 破壊 試験 は、 JIS Z 3120 に 準じ 行う こと。
4	外部 工事 施工 期間	屋根 外部 工事 は、 降雨 予報 の 日 は 作業 を 中止 する こと。
5	打設 区画 と 施工 目地	1 階 床 と 壁 は 同じ コンクリート で 同時 に 打設 する。
6	型枠 存置 期間 の 調整	型枠 存置 期間 は、 下記 の 通り とする。

第7章 コンクリート および 型枠 工事

1	コンクリート の 種類	普通 コンクリート 1315 系 (呼び 方 は 別紙 参照)
2	打込み 方法	コンクリート 打込 時 と 型枠 の 変形 等 に 現れ 水 (泥 を 含む) 分離 が 生じ ない よう 打込み 方法 を 定める こと。 (JASS 5 N 節 参照)
3	コンクリート の 品質 管理	強度 F_c = 210 N/mm²
		各 構造 部位 毎 の 為 の 「 強い 線 」 を 別 に 引く。 (JASS 5 5 節 による)
4	荷重 スランプ	基礎・梁・壁 15 cm 床・屋・ベ 18 cm
5	細骨材 の 場合	海砂 は 使用 は コンクリート の 絶乾 質量 の 場合 骨材 量 が 細骨材 の 絶乾 質量 に 対し、 0.1% 以上 に は 使用 しない。 0.04% と 超える とき は、 次 の 措置 を とる。 1. セメント 比 55% 以下 とする。 2. スランプ は 18 cm 以下 とする。 3. AE 減水 剤 を 使用 する。 4. 各 工事 毎 に 試験 を 行う こと。
6	調合 計画 (コンクリート の 強度)	構造 図 表 を 参照 に とる。
8	流 動 剤	ポゾリス No. 5, パリック 5, マスター 100 を 0.25 C×%
9	軽量 コンクリート	軽量 コンクリート は、 パーライト コンクリート とする。 気乾 比重 1.6 t/m³ 以下 圧縮 強度 (材令 28 日) 200 kg/cm² 以上 とする。 (参考 式) $F_c = 40 \times \gamma - 400$ (γ: t/m³)
10	コンクリート の 打ち 増し 厚さ	現場 打ち 部分 の 場合 は、 5 cm 以下 とする。
11	土間 コンクリート	18 F_c = 180 kg/cm² 厚 は 土間 図 による。
12	試験 方法	(1) コンクリート 圧縮 強度 試験 (1回 の 試験 値 は 3 個 の 平均 値 とする。) 試験 は、 1回 の 試験 に つき 150 m³ 毎 に 1 回 とする。 (2) スランプ 試験 は、 荷卸し 時 に 1 回 行う こと。 (1 日 に 2 回 以上 行う こと。) (3) 空気 量 試験 は、 荷卸し 時 に 1 回 行う こと。 (1 日 に 2 回 以上 行う こと。)
13	型 枠	型枠 の 種類 は、 下記 の 通り とする。 コンクリート 打設 前 に 型枠 内 の ゴミ 等 を 除去 する こと。
14	型枠 取外し 時期	型枠 の 存置 期間 は、 下記 の 通り とする。
15	打放し 型 枠	・打放し 木毛 セメント板 (7.18 kg/枚 以上) パネル パット 目地 共 通 とし 木口 の 板 は 各 コンクリート 打設 毎 に 取り換える こと。 ・普通 型枠 ベニヤ (7.2 kg/枚 新品) 使い 始め 3 回 まで は 表面 に 油 を 塗る こと。
16	コア 抜	1 階 3 箇 2 階 3 箇 } 柱 より 300 mm 以上 離れ、 梁 と 平行 に 抜く こと。 耐震 壁 は 中央 部 に 抜く こと。

第8章 鉄骨工事

1	使用 鋼材	115 N/mm² 種類 記号 (SS 41) とする。
2	溶 合 材	手 ア ー ク 溶 接 に よ る
3	溶接 および 検査	溶接 は 国土 交通 省 指定 の 工場 とする。
4	現場 組立 金 物	溶接 の 形状 を 示す こと。

第9章 組積工事

1	コンクリート ブロック	7150 5005 種別 100×190×390 A種 t 75
2	補 強 筋	D10 @ 800 ㊥ 300 600 ㊥ に 開口 の 幅 は 2000 mm 以下 挿入 のこと。 開口 部 補強 筋 は、 開口 の 端 から 400 mm 以上 定着 する こと。 D10 @ 400
3	防水 押 え	屋根 ホレンダ 押え とする。
4	設計 のない ブロック 壁	その 他 設計 の ブロック 壁 の 内、 1 階 (1 室 便所 部分) は モルタル 塗り しない 型 ブロック と する こと。

第10章 防水工事

1	アスファルト 防水	本屋 屋根 外断熱 部 は 熱 抵抗 値 9-110 長 L 5-120 t 25、 他 は 断熱 なし。 (屋根 は 外断熱 なし) 屋根 は 外断熱 アスファルト 防水 とする。 " 軽量 コンクリート 押え " 9-110 長 KP-130 (現場 打ち コンクリート) と 記 した 箇所 (屋根 平面 図 参照) は 50 mm 以上 の 勾配 を 設ける こと。 立上り 部 は 下地 モルタル 塗り 仕上げ とする。 屋内 側 (便所 内 コーナー 部 を 含む) 9-110 長 KP 120 とする。 (屋根 防水 と 同じ 仕様 とする。) 地下 室 (機械 室 電気 室) 壁 は 外断熱 とし 防水 は 外側 に 施工 する。 施工 者 は 防水 工事 業 者 (国土 交通 省 指定 工場) とする こと。
2	防水 押え コンクリート	図中 軽量 コンクリート と ある もの は すべて パーライト コンクリート とする。
3	勾配 押え	屋根 部 の 勾配 は 原則 として 1/50 とし、 流れ の 方向 を 示す。 (矢印 の 向き)
4	シート 防水	金属 系 合成 ゴム 系 シート 防水 (JIS A 6008 1 種) とする。 メーカー 仕様 標準 仕様 とし、 下地 調整
		使用 箇所 2 層 張り 箇所 ⓐ 1.9 kg/m² 2 層 張り カラー 仕上
		保護 断熱 層 上 ⓑ 1.2 kg/m² モルタル 押え
		屋上 プランター 防水 ⓒ 1.2 kg/m² 1 層 張り 3 mm 厚 モルタル 押え
		保証 書 1) アスファルト 防水 10 年 以上 (屋外 シート 防水 は 5 年 以上)
		保証 書 1) アスファルト 防水 は 含む"
5	モルタル 防水	地下 外壁 (便所 内 を 除く) 屋上 プランター 内 壁 立上り 部 とする。 仕様 は 屋根 防水 と 同じ。 5 年
		使用 箇所 屋上 プランター 内 (便所 内 を 除く) (2 層 張り は 一 体 仕上 のこと)
		保証 書 1) アスファルト 防水 は 含む"
6	コーキング	開口 部 (建具 廻り) すべて、 変成 シリコン 系 シーリング 打ち とする こと。 開口 部 の 目地 は 2 面 シール
		1. 外部 建具 廻り (ガラス 回り すべて) 2 面、 シーリング 底 に 発泡 材 を 入れ 確実 に 施工
		2. 外部 打継 目地 、 伸縮 コーナー 目地 部
		3. 外部 金属 笠 アルミ 部、 アルミ 手摺 と 金属 笠 木 下部 各 種 設備 配管 貫通 部 など 雨 水 が 侵入 する 恐れ の ある 箇所 すべて と する。 シーリング 材 は、 変成 シリコン 系 2 成分 形 とする こと。 ノンワーキング 形 は 使用 しない。
		開口 補足 は 別紙 による。 (アスファルト 防水 とも 別)
7	土間 下 断湿 処理	1 階 床 (鉄筋 コンクリート 造 の 部分 に 限る) コンクリート 下 に ポリエチレン フィルム 0.15 mm と 敷き 150 mm 以上 に 開口 の 幅 の 2 倍 に 折り込む こと。 ただし、 地下 外壁 は 除く。

第11章 石工事

1	見 本	石 工事 は 予め 見本 試張 の 上 使用 量 の 承諾 を 受ける こと。
2	石 工 事	・ 内壁 1 階 ホール 花崗岩 本磨き 両面 仕上げ。 ・ 床 " " 同じ 大 寸 入り N 500 × N 350 t 40
		花崗岩 同様 は 現場 研磨 とする。
3	テラゾー ブロック	・ 寸法、 記号 は 平面 図 参照 ・ 色調 は 原 則 同 ボロン (小型) 本磨 仕上 ・ 割 付 は 平面 図 による テラゾー ブロック、 ワックス 塗り は 最 初 1 ヶ月 7 mm 程度 の 見本 製作 とする

第12章 タイル工事

1	外装 タイル 目地 の 工法	外壁 および 屋内 壁 使用 の 国土 交通 省 タイル " 45 二丁 タイル は 45 二丁 タイル 密着 ボンド タイル (外 45 170～200 人 "30～40 ㎏/㎡) など、 ユニバーサル 伸縮 目地 NH 使用 NH 伸縮 目地 材 とする。 目地 位置 は 打ち 継ぎ 目地 と 兼用 とし 間隔 は 最大 8 m 以下 とし、 1 スパン 毎 に 2 か 所 以上 設ける こと。
2	出隅	出隅 は すべて 役物 使用 とする。 45 度 下 が り 面 取り 下 は 水切り 目地 の 為 役物 は 使用 しない こと。
3	外部 床 タイル 40°	外部 床 タイル (屋 用 施工 法 の 広場、 2 階 バルコニー、 1, 2 階 屋上 床 面 部、 ブラシ 目 地) は 磁器 質 無釉 床 タイル (カロリア 21 相) など、 勾配 スロープ 部 は 滑 止 目地 加工 品 とする。 屋外 階段 は 滑り 止め 付き 床 タイル とする こと。
4	浴場 コーナー 床 タイル	磁器 質 無釉 外部 用 タイル 100～125 角
5	駐車場 用 床 タイル	通路 N H、 モザイク タイル 150 角、 駐車 区画 白 区画
6	床 用 モザイク タイル	磁器 質 無釉 (浴室 内 共)、 洗面 所 内 装
7	幅木 および ソックル タイル	床 材 と 同 じ 材 の ソックル タイル、 その 他 磁器 質 無釉 150×75 ソックル タイル
8	壁 用 100 角 タイル	原則 として 100" サンマイン タイル とし、 ラウンド タイル 出 合 い 見 切 タイル と 合 せ 3 種 張り とする。 尚 その 他 の 色 は 国土 交通 省 指定 の ユニバーサル タイル とする。 タイル 種 張り は 現場 指示 とする。 ターフ 7、 6、 7 パターン
9	内装 壁 ボーダー タイル	平面 図 参照 地 (白 ボーダー (コラベル) 212 ホワイト ボーダー) など の 専用 品 は (A ボーダー) を 目印 に 3 段 張り とし、 全 長 (床 から 3 段) で、 環境 彩り とする。 タイル 割り は 現場 指示 とする。 出隅 は 大 面 に て ボーダー タイル 2 張り 増す。 ホール は 1 m 程度 マス 目 の 国内 製 で 2 色 張り する。
10	玄関 床 平 床 タイル	5 に 合 ご"
11	見 本 および 保 立 所	上記 の 外 他 に て すべて 見本 確 出 の 上 現場 検査 とする。 製造 所 は 伊 万 里 焼 N H、 淡 路 N H、 日 下 部 タイル、 国内 他 は 工 業 所 とする。

80107	株式会社 栄和設計事務所	06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 特記仕様書 1 縮尺 図番 A/3

第13章 木工事

1	材料及び品質	図面特記による。特記ない場合は下記による。 1. フロア 長尺塩ビ床張材 (厚2.0mm) 溶接工法 ……ビニル床シート、ジョイント……ビニル巾木 その他の床、室 ……ポリマー仕上 2. 壁材 21厚 PEC 石膏板 CLA下 ……ビニルクロス張 (厚0.3mm) 機械室、電気室 ……合板張ポリマー CLA下 ……塗装 木小舞下地共 CLA下 ……ペンキ その他 CLA下 ……ペンキ 天井 S.O.P.下 ……ポリマー上小巾
2	防錆・防虫処理	下地材のコンクリートに接する箇所 クレオソート2回塗 とする。 構造用木下地に使用するラワン材 表面その他の下地材に使用するラワン合板 ラワン合板の一切は (電検型) 防虫防火処理 とする。(防虫処理とは薬剤注入3パス以上)
3	木製建具特記	1. 木製建具は片 ……木材 上小巾仕上 とする。(CLA SOP下共) (図面ヘッド詳細 No.7, No.9) SOP CLA CLA 建具 ……ドア 建具 ……ドア C.O.
4	図面記入方法	・ 図 ……記入数字は 建具符号 ・ □ 土台 ・ ・ ……仕上材名 とする。 ・ 1:1 ……仕上寸法とする。 ・ ……仕上寸法とする。
5	ムリアリ	万全のため ガラス使用 すべて ムリアリのハガキに従うこと。なお、詳細と不明な点 (……ガラス ……ガラス) すべて ムリアリのハガキに従うこと。なお、詳細と不明な点 (……ガラス ……ガラス) すべて ムリアリのハガキに従うこと。

第14章 金属製品工事

1	サッシ取付ベース アルミパネル	サッシュ工事 とする。
2	自転車置場基礎	・ルーフタンサ ℄0.8 山形 86~87 折板葺き ライトブルー系張り仕様 大正機 (KK) ガラス繊維 (株) 出雲機KK 自転車用KK メーカー 三菱電機KK 出雲機KK 自転車用KK 大阪屋工業KK ・新 規 0.6 ℓ/m 耐候メタル縦葺き鋼板 カラー仕上げ 2回塗とする。 降口金物 溶着 スリコテルメタル KK とする。 降口には ステンレス金網 和紙マット とする。 ・雪 庇 硬質塩化ビニル一般管 JIS K 6741 外径 89 肉厚 5 S&P仕上 ・30金物 FB 25×3.2 普段ハンモ 1本当り 各31所 FP仕上げ ・新規支持金物 FB 32×3.2 〃 @ 1,000 1ヶ所 〃
3	ルーフドレイン	鋳鉄製ゴールタル塗仕様品 管式、又ははこは図示による。
4	昇降機	3 上
5	笠 木	笠形引掛笠 JIS G 3442 (SGPW) 一般 幅 114.3 の 厚7 4-5 屋根出勾配口 2階から屋根 外径 φ 89.1 肉厚 4.2 和金物 FB 32×3.2 笠形ハンモ 1本当り 各3ヶ所 @1,250 ~1,300 共に FP 仕上 笠形引掛笠 笠形
6	タラップ	ステンレス製 図示による。 段窗補修 1ヶ所セット ・ 段用支持 (踏支用の場) 1ヶ所セット ・ 笠 形
7	丸 環	図示による アンカー 8D 構造用鋼のハガキに D16 L=600 挿入ヨリに接続のこと。 笠形ハガキ のこと FP仕上
8	マンホール	鋳鉄製 1ヶ所セット 防水 防臭型 φ600 ステンレス製 (非金属製品とのこと) 2重蓋構造とする 雨水用桝 雨水系統 φ 600 (詳細図による) 汚水桝 汚水系統 φ 600
9	グレーチング	BH専用型AD 普通トラック用 ・その他 ・歩行用 (詳細図参照) グイプル アスファルト フロー コドコー
10	金所蓋の寸法	鋳鉄製蓋の寸法、形状及び金所蓋部は横割り切り込みのこと。
11	鋳鉄製品製作所	長谷川鉄工所 大阪ドルセ゛ 指定指定
12	受式ゴム栓	立隅排水の部に吊金物用埋込取付のこと。(図示φ40用は 25ミリ以下) 3階以上の部 11ヶ所 吊掛しまたは部に 21ヶ所 場合に アンカーの他 (室内側付・壁面) 使用のステンレス 190 肉厚 t=1.2 W=150 D=100 とする。
13	ステンレス製品	使用ステンレスはすべて SUS 304 とする。
14	手 摺	設置箇所 3階段 駐輪場 自転車置場所内 形状寸法 各所詳細 スリップ 2ドルーフランサ 詳細は図示による。
15	鋼製天井下地	天井下地仕上げは 受け図者による 型式 を使用する。
16	天井点検口	図示の箇所には設ける" 壁上開 (学校部 1階廊下、2階廊下 2階廊下) 天井裏に 各々点検口を設ける。天井高さ以上を取得する。天井高さは 0.12 角型 500×500 (鳴和製作所 アルミ合金) エルモア (株) アルファック製 とし、スムーズ スライド所 製作仕上とする。 (他製作所の場合は施工時に 上下の位置寸法の承認を得ること。
17	吊天井点検口	アルミ製防火戸 製品名 天井高さは 図示による。
18	金属マット	踏板アルミ製 枠 ステンレス t=1.5
19	ステンレス目地棒	図示の箇所に設ける" 3×9 とする。
20	笠 木	SUS 304 t 2.0 ヘアライン 2B 仕上 BA 仕上 No.4 仕上 他は図示による。 笠形加工は 見え掛かり 3ヶ所 とする。
21	防 煙 壁	ステンレス 段裏板 スリーブ t 1.5 ヘアライン 2B 仕上 ステンレス製 学校 ステンレス製 t=1.5 W=280 D=180
22	巡 回 ポスト	ステンレス製 t 2.0 スリーブ部 t 1.5 下地 t 2.0 SUS 304
23	掲 示 板	寸法 ステンレス製 t 2.0 スリーブ部 t 1.5 下地 t 2.0 SUS 304 寸法 ステンレス製 上下一組 左右一対とする。 金具仕様 詳細図による。
24	旗 竿 台	寸法 ステンレス製 上下一組 左右一対とする。 金具仕様 詳細図による。

第15章 建具工事

1	アルミ製建具	1. 外部面 使用建具 ……フラッシュ戸 ……建具仕様とする。 ……各仕様参照 2. 室内 〃 〃 ……建具サイト図による。 3. 網入ガラス 防火設備 (防煙垂壁にする) 製品とする。 4. 塗装 すべて ステンレス (SUS 304) ヤ2.0 特記は 図示による。 5. 特記なければ 建具上部 ……ガラリ とする。 ビート 取付ねじ 特記とする。 6. 網入ガラス 厚さ 6.8 mm 以上の アルミ 建具製品 とし、網入 厚 寸法の 表示のない 内部 網入 ガラス 製品とする。 取付ビート 仕上げ カラー ……塗装仕様とする。 予め 製作図 作製 提出 し 承認を得ること。 特記とする。
2	外部サビ 両開き パネル	1. 5 mm 以上の アルミ 板 製品 とし、補強 部 厚さの 異なるもの とする 内部 補強 のパネル 組みとする。 取付ビス は 原則として 皿ビス 仕上げ カラー ……塗装仕様とする。 予め 製作図 作製 提出 し 承認を得ること。 特記とする。
3	アルミガラリ	1. 通風有効開口ガラリ (31形) 2. 換気 エレベーター機械室 (11形) カラー仕上とし 自動 ステンレス 防虫網張りとする。 2. 屋外通風 開口部は 固定ガラリ (有効開口率 20%) とし 網とする 仕様とすること。
4	製 作 所	1. スチール製品 ……名称工業 (株) 日新鉄鋼 (株) 大阪鉄鋼 (株) 大阪鋼材 他サッシュ (株) 2. アルミ製品 ……アルバル (株) 日新鉄鋼 (株) 大阪鉄鋼 (株) 他サッシュ (株)
5	鋼板定尺	1. 建具製作定尺 出入口 1枚 幅とする。 (アルミ 幅 同様) 2. 管理 すべて ステンレス (SUS 304) ヤ2.0 とし 製作は 図示による。 (SUS 304 2.0 t) 3. 段差 よび 100 すべて ボーダー ナシとする。
6	ミ ラ 枠	1. 便所 鏡 ホール 出入口 (ホール) 3ヶ所 ロ マッシュ 室内 の 製作とする。 2. エレベーター 3ヶ所 は エレベーター 工事 とする。
7	防錆処理	共通仕様書による。
8	自動ドアー	電動 連動式 引き戸 自動ドアー マットは ヒッチ 防 用 ゴム (特殊) 共 引き 戸 装置、(乾電池 ガイド 機構 とし) 特記 カラーアルミ (電源 使用) とする。 メーカー アプローチ エンゼン KK (ロビーマット、(乾) 日新 ヒューマン 機構とする。
9	自動扉押出入口	アプローチ ドア (KK マットシュモ)
10	天使 防ゴム巻	吸排気 ルーフファン 取付 のこと。
11	木製建具	トイレブース ユニット工事 に含む メーカー ……パーテンション KK 日新アルミ建具 (株) 大阪アルミ建具 (株) 日新鉄工 (株) 他 (ユニット KK、日新鉄工 とする。) 図示による。 特記 ……無 無しとは ステンレス (SUS 304) ヤ2.0 とする。
12	建具金物	コミル 製品 昭和金属工業 ゴールド、大阪錠、日新リチャード製品 とする 特記なき限り ステンレス製とする。 錠は マスターキー とする。 とりよう 錠は 3本1組 とし 錠前作製の上 これに 整理箱 1ヶ所 引渡すこと。
13	ヨ ウ ツ ー	すべて 上部電動式 とし 自動チェーン 併設 とする。 メーカー 日新システム、日新システム、日新システム、鋼材メーカー ヨウツー、フラット、ハンモーター 製品は 図示の 型式で 1台ごと" 仕様 (メーカー) 天井点検口の 寸法 最小 300×300 とする。 (天井 張り仕上げ 2ヶ所) 仕様とは メーカー 標準仕様 たとする。 スラット t 0.7mm ヤ ラビー とする。 ガイドレール ホームバー A4 表面仕上げ 塗装 は ステンレス 製とする。
14	防水 防煙垂壁処理	平面図 記載の 垂壁 ほか 必要な 処置は、もとにもれなく 施工のこと。
15	客席 ライティング	スチール 製とし ……同調 操作 日新カーテンウォール、日新アルミ工業 ……製造業

第16章 ガラス工事

1	ガラス止め	網入ガラス ラヴァルとの 納まり 出入口 扉 ガラス は ホワイト系 シーリング 材料で ガラス止め とする。 ラヴァル とは ゴム製 ガラス 押さえ 材料 を 使用 する。 但し ガラスの 端を 金属 枠 溝 への 納まり と する 場合 を 除く。 不燃 扉 の ガラス は 網入 ガラス に 準 ずる とする。
2	熱線吸収ガラス	フロンズペトン 使用 とする。
3	網入ガラス	すべて 磁線入り (ヘアーライン) とする。

第17章 左官及び吹付工事

1	壁 目 地	特記 その他 壁目地 は 原則 設けない ほか、就き 及び 床 張り 下地 等 見合 (くるい 様 製品 とのこと。 コンクリート 打ち 面 は 原則 として 型枠 とし、その 型枠 は 合板 すべて 図示 とする。
2	リシン吹付	リシンは すべて アクリルリシン とする。 仕上げ は、 図面 に 特記 による。
3	パールスター吹付	パールスター 吹付 は、すべて ボコチ 状 (スタッコ 状 と 同じ) とし 防音 処理 のため 凍結 アクル 樹脂 混合 (骨 混入) とする。 骨材 ベージュ (スカンスカン) 着色 仕上とする。
4	スタッコ吹付	コテ押さえ アクリル (AEM) 樹脂 系 薄 吹付 仕上とする。 図面 に 特記 なき 場合は 1回 吹き 仕上げ とする。
5	じゅらく風意匠吹付仕上	じゅらく サテン (超粒 薄 吹付) 材料 使用 仕上げ 図面 に 特記 なき 場合
6	見 本	吹付 は すべて 見本 作り (300×600 程度) 仕様 は 設計者 の 承認 とする。
7	意匠 その他	壁 仕上 その他 の 意匠 は 図示 による。 特記 なき 場合 は 設計者 と 協議 の 上 決定 する。

第18章 塗装工事

1	P P	アクル 樹脂 系 耐候 エマルション 塗装 とし 屋外 鉄 部 は 錆止め 塗り 共 (ステンレス 部 を 除く) は すべて F P 仕上 とする。
2	ポリウレタン塗装 (U. P)	フローリング ブロック 部、 特記 なき 部 は、すべて U. P 仕上 とする。
3	略 号	その他 の 略号 は 原則 は 図示 による。 但し B P と 記載 の ある 場合 は すべて セラミック 系 塗 装 とし 仕様 (メーカー)
4	見 本	セメント、 鉄部 塗装 メーカー の 見本 を 提出 とする。 すべて 塗り 見本 提出 し 許可 を 得 の 上 施工 すること。

第19章 内装工事

1	ビニールシート (1)	アクリレタン ワイビニル 系 長尺 シート 厚 3.0 ~ 4.5 マーブル 模様 床 (張 AC 70 ~ 28 対応) 施工 場所 2階 PEC 廊下 展示 ホール 建築 営業 情報 所ホール 風除ホール、エントランス 前室 、 男女 便所 B型 ビニルタイル
2	ビニールシート (2) (3)	アクル 樹脂 系 ソリッド フロア 施工 場所 天井 点検 室 、 自動 扉 機械 室 、 電気 室 BH 住戸 室 アクル 系 床 ビニルシート 施工 場所 管理 ロビー 管理 室 、 男 便 コーナー 、 学校 便 廊下 、 メーカー 名
3	フローリング ブロック	アクル 系 床 材 、 サンダー 掛け の ニ、 U. P 仕上 とする。 サンダー 掛け 寸 法 は 原則 として 20 ~ 3.2 A 型 とする。
4	接 木 合 板 (1)	アク 接着 剤 使用 の 合板 張り 床 下地 とする。 (W t 300) メーカー 今 上
5	接 木 合 板 (2)	アク 床 用 高 中 合板 (環境 対応 ホ) 使用 メーカー 今 上
6	乳胶 モルタル 下地	アク 塩ビ 系 接着 剤 合板 使用 メーカー 今 上
7	石膏ボード (P B)	アク、 ビニ、 吸音 仕上 面 は 石膏 ボード とする。 吉野石膏 日東石膏 三谷 東京
8	石 綿 板 (P S)	屋 さ は 図示 による。 高 圧 石綿 板 表面 化粧 板 貼 とし 化粧 面 とする。 使用 材料 は スレート ボード (ボード) と 製品 名 ニチハ アスベスト 浅野 スレート
9	ルナフォーグー 塗	日本 ルナフォーグー 協会 加盟 業者 の 責任 施工 とし、 使用 は すべて 適合。
10	見 本	内装 材 は すべて 見本 提出 の 上 使用 の 指示 を 受ける こと。
11	その他 塗装 ペンキ 類	ペンキ 仕上 部 の 下地 ペンキ 塗り は すべて ヒ ペンキ Type 1 又 は S.O.P 下地 調整 塗り (サビ 止 塗装 塗り 共) の 上 塗り 仕様 とする。
12	塗装 その他	鉄 部 の 錆止め 塗装 は、 現場 溶接 部 の 錆 落し 後 の 塗装 とする。

第20章 接着工事

1	アルミ 製 ゴムパール	アルミ 製 ゴムパール とする。 上 端 に 雪 の 入らない 気 仕 スクープ 形 の もの とすること。 但し 浴室 ユニット 設置 アルミ 製 の 上 端 は 不要
2	ポ 木 セメント 板	アス 張 用 とする。 (ガラス 繊維 入 も) は すべて アス セメント 板 とする。
3	室 名 札	図面 の 他 の 図示 は 「室 名 出入口 の 開 所 に すべて 室名札 と 呼ぶ。 室名札 は アクリル 製、アクリル 材 厚 とし 4 mm 以 市販 品 とし、文字 は 黒 仕上 文字 ピクトピー 使用 とする。 取付 位置 は 室内 側 とする。 図示 による。 メーカー は、日栄 クライト 「立川 クライト」 とする。
4	スライディング ウォール	図示 による。 メーカー は、日栄 クライト 「立川 クライト」 とする。
5	暗 幕	レール 形状 は 既成 品 とし 約 150 ヒダ 率 暗幕 共 工事 とする。 形状 は レール 形状 に 準 ずる。 暗幕 は 別途 積算 とする。 (UE 工事)
6	ピクチャー レール	居室 壁 上部 に ピクチャー レール 用 アルミ 製 型 レール (暗幕 用 レール 兼用) と 3 厚 巾 500 内 間 で 取り 付ける。 (メーカー 共 大型 建具 製造 業者 と 共 に 割り 出 し (1 ヒ で 3)
7	スクリーン 用紙 引き 分け 建具	図示 による。 メーカー は 吉井 電 機 二 電 興 製
8	事 由 板 付 掲 示 板	ステンレス 枠 使用 。 掲示 板 は ベニヤ 下地 木 製 パネル の 上 デコール 張り 仕上 とし、 室 内 仕上 は 1.6 % 鋼 板 製 パネル とし、 吉 井 電 工 商 図 室 名 記入 パネル とする。
9	湯沸室 厨房 セット	電熱 器 具 用 ステンレス 流し 台 (L=1,200) コンロ 台 (600) 付 (L=1,200) とする。 棚 板 は 中間 色 とする。 吊 戸 棚 下面 に 蛍光 灯 が 取り付く 場合 は 近く に 取り付く 場合 は 側面 下面 は F.S. T-4 張り仕上げ とする。 産業 工業 (株) 日 厨 所 に 同じ。
10	トイレブース	ユニット 製品 名 " 2700 " 2850 " 1800
11	郵便 受 箱	管理 用 集 は 図 コーナー、 BH 用 は 各 住 戸 玄 関 扉 に 設 ステンレス 手 製 色 程度 の マスク 仕上げ 特記 なき 場合 は 図示 する。 設置 箇 所 は 現場 指示
12	表札 指 示 灯	日栄 クライト … ステンレス ブラシ 仕上 立川 〃 … ハーモニー 仕上 とし、 日 栄 図 示 箇 所 は 各 住 戸 玄 関 扉 に 1 ヶ 所 設 置 とする。
13	アコースティック ドアー	天井 ボード 上 地 下 地 材 は 図示 による。
14	補 理 足 場	仕様、 設置 箇所 メーカー 日本 ドマット、 ダルマット、 東洋 トーマー
15	設備 用 埋込 補強 及び 特殊 ロ	設備 用 の ボックス 類 の 取付 位置 は 下記 (1) ~ (3) 各 項 目 に 従う こと。 (1) 電気 関係 (2) 弱電 関係 (3) 空調 関係 (1) 電気 関係 (コンセント、スイッチ 類 を 含む) は 図示 による。 ただし 図示 なき 場合 は 次 による。 a. 天井 ふところ 内 (露出 配管 の 場合 を 含む) 1 ヶ 所 に 付 1 ヶ 所 とする。 b. 壁 内 (露出 配管 の 場合 を 含む) 1 ヶ 所 に 付 1 ヶ 所 とする。 c. 床 内 は 1 ヶ 所 に 付 1 ヶ 所 とする。 (2) 弱電 関係 は 図示 による。 (3) 空調 関係 は 図示 による。

第21章 家具工事

1	メーカー	大塚家具 、 友澤 、 ……都築鋼業 、 天童木工 コクヨ スチール家具 ……カバタ 、 共栄 、 イトーキ 、 コクヨ
2	製作図	工作に支障 な き 製作図 作成 当 監督 の 承認 とする こと。
3	木材 各 種	図示 の 表例 3 ヘン 4 段 特に 指定 なき 場合 は 木工事 とし、 仕上 材料 は 特記 とする。 すべて 標準 材 の 上 から 1 等 材 張り (ルロ 天) とし、 寸法 重量 に 表示 あるもの とする。
4	コントロールデスク	製作図 により、 決定 する。
5	電 話 台	〃 〃
6	流 し 台	湯沸 コーナー、 授乳 コーナー、 流し 台 は 各 工事 ごと に 製作 の 上 据付 を 行う こと。
7	上記 各 家具 の 受 金 物	造作 家具 の 錠 前 は 原則 として SUS 304 ステンレス 製 と 家具 扉 面 に 取付 す 金 仕 の 上 錠 前 は ステンレス ロス (ヘアライン) 仕上 とする。 その他 の 錠 前 は 原則 として 真鍮 メッキ 製 とする。 (CC仕上)
8	スチール 家具	下記 の スチール 家具 は 別 工事 とする。 数量 の 根拠 は 平面 図 に 記載 する。 (平面 詳細図 展開 図 若しくは 展開 しない もの で 指定 による) が 原則 は 現場 採寸 とする。 1. 書 架 特記 なき 場合 は 固定 式 とする。

室	名	書 架	棚 板	既存 スチール 書架 (固定 セット)	固定 スチール 書架
		1	8 枚	8 枚	7 枚
		1 間 W=900		1 間 W=900	1 間 W=900
書庫 BH 1F		A-9 1間	1	B-5 5段 11	C-5 15
		A-6 6段	3	D-4 4段 2	5段 15
		A-5 5段	2		
		A-4 4段	2		
		製作 台 255		製作 台 465	製作 台 985

A, B仕様 7次C-80 W
C仕様とし 1連毎に L字 補強 板 を 設置する
固定スチール 書架 は 既存 スチール 書架 と 同じ 仕様 とする。

2. 事務 机 椅子 (引渡 式)

事務 室	一般	1	1,850 × 600 × H 1,800
	甲2階	1	同 上 エンケン

第22章 屋外附帯工事

1	雨水 排水工事	図示 による。 雨水 排水 図 の 引き 込 経 (通 路) と 既 側溝 接続 と 既 自 に 設 い な い 場 所 の こと。 (屋外 実施 設 参照)
2	フリーリ 舗装工事	図示 による。
3	自転車 置場 工事	〃
4	犬 走 り 工事	〃
5	舗装 工 事	既存 との 取合い は カッター にて 既存 部 を 残置 に サット に、 基面 平滑 に マスク なく 仕上げ とする。 境界 タイル 張り、 縁石 積、 U 字 溝、 側溝 蓋 り 等 図示 による。
6	自転車置場 屋根 及び 雨水 排水 工事	図示 とする。 / 自動 車 両 移動 式 (ガス 溶) 型 枠 使用 コンクリート の 打ち 方 法 の り。 2. その 他 既製 コンクリート 製 品 及び 製 作 使用
7	擁 壁 工 事	図示 による。 既存 法面 、 造 成 に 係 い て は 適 切 な 処 理 を 行う こと。
8	バリケード 設置 工事	図示 の 箇所 に ステンレス 製 ポール 式 バリケード 設置 のこと。 メーカー は 帝金、 マテン とする。
9	植 込 整 工 事	図示 とする。 / 植物 撤 去 、 移植 処 理 ( ) 型 枠 使用 コンクリート の 打ち 方 法 の り。 2. その 他 既製 コンクリート 製 品 及び 製 作 使用
10	植 栽	植 土 共 、 肥 植 土 等 とする。
11	既存 撤去 仮設 及び 復旧 工事	図 示 の 範 囲 に 限 る。 不 良 箇 所 は すべて 改 修 する こと。
12	アプローチ 照明 工事	図示 による。
13	植栽 散水 設備 工事	〃
14	既存 ポール 移設 工事	移 設 位 置 は 現 場 指 示 とする。
15	既存 施設 撤去 処分	既 存 アスファ、 フラー 遊 具 施 設 、 手 摺 、 法 面 、 U 字 溝 、 側 溝 (東 面) 各 撤 去 処 分
		既 存 設 備 所 は ていねい に 補 修 のこと。
16	既存 埋 土 工 事	不 要 の 土 砂 、 ガラ 等 は 現 場 外 へ 搬 出 、 処 分 する こと。 すべて 、 現 況 に 従い、 植 栽 、 構 造 物 、 舗 装 は 撤 去 しない こと。 重 機 を 使 って 、 埋 め 戻 し 整 地 を 行う こと。 表 面 は 、 既 存 地 形 と 馴 染 ませ 仕 上 げる こと。 又 、 工 事 期 間 中 に 大 雨 等 と 予 想 し 、 既 存 地 形 、 及 び 構 造 物 に 被 害 が 及 ぶ 恐 れ が ある 場 合 は 、 仮 設 土 のう 等 を 設 置 し 、 被 害 を 未 然 に 防 ぐ こと。 又 、 土 砂 流 出 等 に 伴 う 近 隣 へ の 迷 惑 を かけ ない よう 、 十 分 に 注 意 を 払う こと。
17	北側 斜面 擁壁 保護	既 存 擁 壁 に 損 傷 を 与 え ない よう 、 十 分 に 注 意 を 払う こと。 万 一 損 傷 を 与 えた 場 合 は 、 速 や か に 補 修 を 行う こと。 又 、 工 事 期 間 中 に 大 雨 等 と 予 想 し 、 既 存 擁 壁 に 被 害 が 及 ぶ 恐 れ が ある 場 合 は 、 仮 設 土 のう 等 を 設 置 し 、 被 害 を 未 然 に 防 ぐ こと。

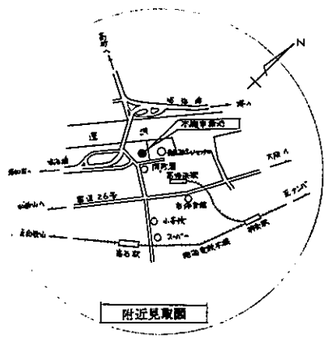
80107
株式会社 栄和設計事務所
06・452・1651
452・1652
452・1653
452・1654

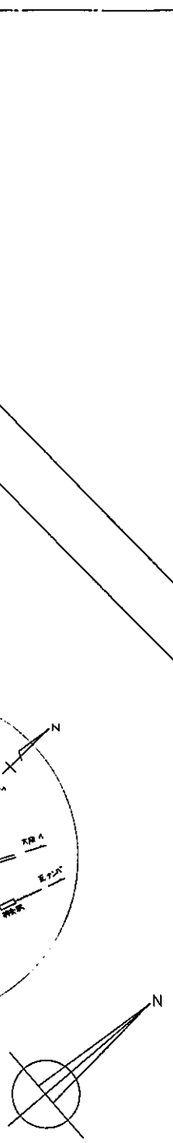
名称 (仮称) 高石市立図書館建設工事

図名 特記仕様書 2

縮尺

図番 A/4





尺　例

- 1F　1階のみもしくは1階部分
- 甲　甲種部分
- ピロティ（ピロティ）部分
- 2　2階建部分
- 塔屋　塔

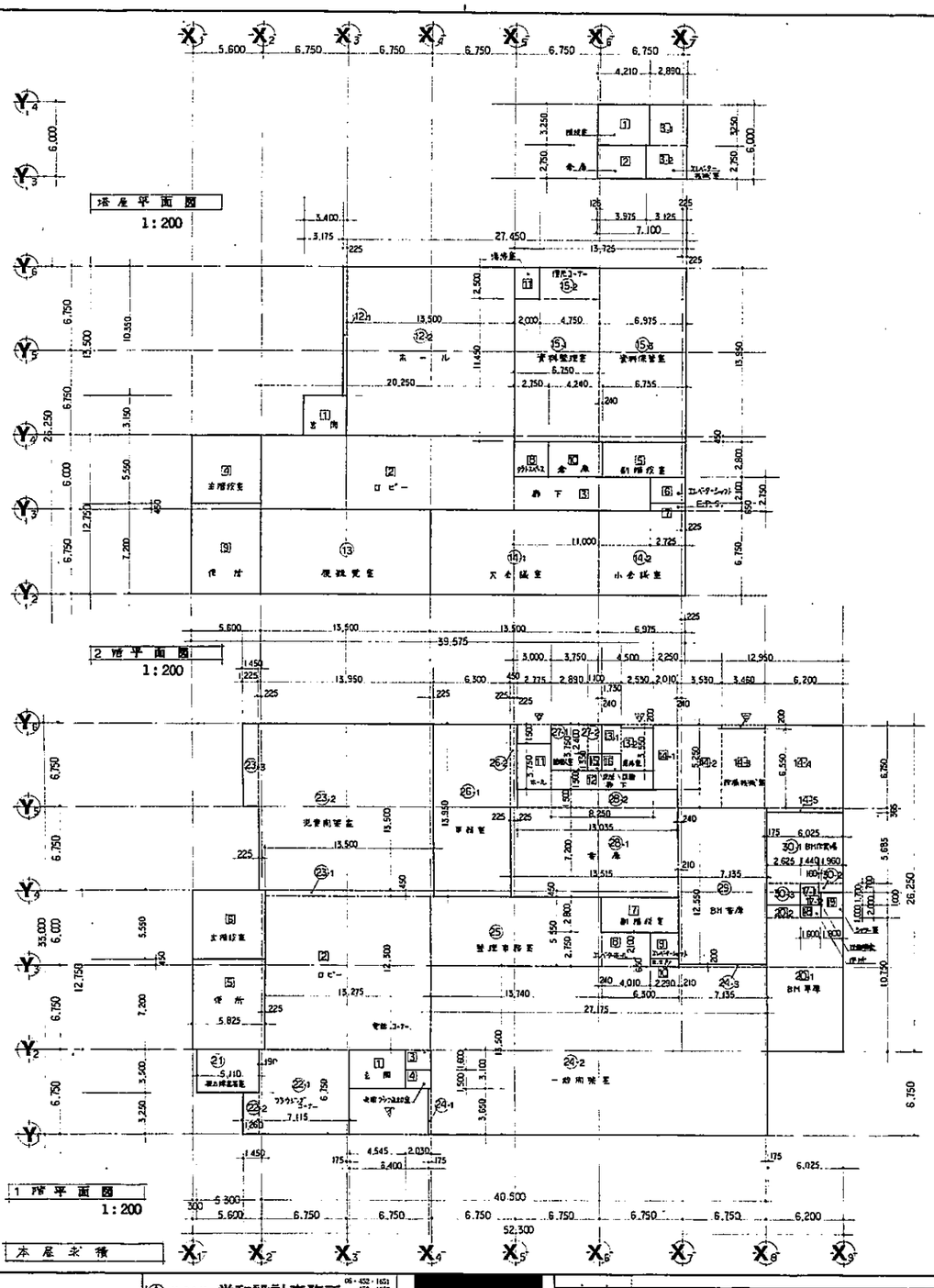
配置図　1:300

注

- 印部　保護ﾚﾝｶﾞ　24-4.5版　気泡緩衝材（気泡間隔）H=2.000 厚）　5 o.p
- 印部　基礎ｱﾝｶｰ　ﾀｲﾌﾟ基礎ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　掘り

尚　既存車路　駐車場内　現況（変更、撤去等）は現況基準とする。

66,100
52,300
46,925
27,450
46,275
32,300
40,700
57,200
34,300
40,000
6,000
7,000
6,800
6,200
6,025
14,700
14,000
8,000
13,000
33,000
4,500
2,500
1,000
1,600
1,960
1,500
10,000
15,000
6,750
6,000
5,600
6,750
225
7,450
3,600
2,775
2,550
3,450
5,300
1,450
175
6,700
4,400
2,200
3,000
5,000
2,550
4,500
7,000
2,150
1,150
1,400
1,900
1,200
1,100
1,000
1,600
1,500
1,000
1,000
1,000



求積表（本屋）

階	室名	符号	算定式	室小計	区小計	合計
				㎡	㎡	㎡
塔屋	階段室	1	3.25 × 4.21 =	13.68		
	倉庫	2	2.75 × 3.975 =	10.93		
	エレベーター機械室	3-1	3.25 × 2.89 = 9.39	17.99	42.60	
		3-2	2.75 × 3.125 = 8.60			
	塔屋合計		(6.000 ～ 7.100)			42.60
2階	玄関	1	3.15 × 3.40 =	10.71		
	ロビー	2	6.00 × 20.25 − 121.50	151.75		
	倒下	3	2.75 × 11.00 − 30.25			
	主階段室	4	5.55 × 5.60 =	31.08		
	副階段室	5	2.80 × 6.735 =	18.86		
	エレベーターシャフト	6	2.10 × 2.725 = 5.72	7.49		
	E. P. S.	7	0.65 × 2.725 = 1.77			
	ダクトスペース	8	2.80 × 2.75 =	7.70		
	使付	9	7.20 × 5.60 =	40.32		
	倉庫	10	2.80 × 4.24 =	11.87		
	湯沸室	11	2.50 × 2.00 =	5.00	284.78	
	ホール	12-1	10.35 × 0.225 = 2.33	184.58		
		12-2	13.50 × 13.50 − 182.25			
	視聴覚室	13	6.75 × 13.50 =	91.13		
	会議室 大会議室	14-1	6.75 × 13.50 = 91.13	138.21		
	会議室 小ホール	14-2	6.75 × 6.975 = 47.08			
	資料室 資料整理室	15-1	11.45 × 6.75 = 77.29	166.45	600.38	
	資料室 倒立ロッカー	15-2	2.50 × 4.75 = 11.87			
	資料保管室	15-3	13.95 × 6.975 = 97.30			
	2階合計		12.75 × 39.575 = 504.58 13.50 × 27.45 = 370.58 3.15 × 3.175 = 10.00			885.16
1階	玄関	1	3.10 × 4.545 =	14.09		
	ロビー	2	12.30 × 13.275 − 163.28	166.53		
	電話コーナー	3	1.60 × 2.03 = 3.25			
	視聴ブラシ洗浄室	4	1.50 × 2.03 =	3.05		
	使付	5	7.20 × 5.825 =	41.94		
	主階段室	6	5.55 × 5.825 =	32.33		
	副 〃	7	2.80 × 6.30 =	17.64		
	エレベーターホール	8	2.75 × 4.01 = 11.02			
	エレベーターシャフト	9	2.10 × 2.29 = 4.81			
	E. S. P.	10	0.65 × 2.25 = 1.49	17.32		
	地域開放ホール	11	3.75 × 2.775 = 10.40			
	出入口 倒下	12	1.50 × 8.25 = 12.38	22.78		
	湯沸室	13-1	2.40 × 1.73 = 4.15	13.13		
	〃-2		5.55 × 2.55 = 8.98			
	視聴覚室	14-1	5.25 × 2.01 − 10.55	101.09		
	〃-2		6.75 × 3.53 = 23.83			
	〃-3		6.55 × 3.46 = 22.66			
	〃-4		6.75 × 6.20 = 41.85			
	〃-5		0.365 × 6.025 = 2.20			
	地域開放倉庫	15	1.35 × 1.10 = 1.49	11.63		
	地域開放 洗面	16	1.35 × 1.73 = 2.33			
	BH用品 交通誘導	17-1	1.70 × 1.44 = 2.45	2.61		
	BH用品 倉庫	17-2	1.00 × 0.16 = 0.16			
	倉庫	18	1.00 × 1.60 = 1.60			
	シャッター	19	2.00 × 1.80 = 3.60			
	BH車庫	20-1	10.75 × 6.025 = 64.77	67.39	508.92	
	〃-2		1.00 × 2.625 = 2.62			
	機力除雪倉庫	21	3.50 × 5.11 =	17.89		
	プラウシャッター	22-1	6.75 × 7.115 = 48.03	52.12		
	〃-2		3.25 × 1.26 = 4.09			
	児童館管理	23-1	0.45 × 13.50 = 6.08	202.67		
	〃-2		13.50 × 13.95 = 188.32			
	〃-3		6.75 × 1.225 = 8.27			
	一般開架室	24-1	5.65 × 0.175 = 0.64	368.93		
	〃-2		13.50 × 27.175 = 366.86			
	〃-3		0.20 × 7.135 = 1.45			
	管理事務室	25	5.55 × 13.74 =	76.26		
	車庫	26-1	13.95 × 6.30 = 87.88	90.92		
	〃-2		5.75 × 0.45 = 3.04			
	管理人室	27-1	3.75 × 2.89 = 10.84	13.48		
	〃-2		2.40 × 1.10 = 2.64			
	倉庫 倉庫	28-1	7.20 × 13.515 = 97.31	(116.86)		
	〃-2		1.50 × 13.035 = 19.55			
	BH倉庫	29	12.55 × 7.135 = 89.54	206.40		
	BH作業場	30-1	5.685 × 6.025 = 34.26	40.09	1,068.76	
	〃-2		0.70 × 1.96 = 1.37			
	〃-3		1.70 × 2.685 = 4.46			
1階			つづく			

面積表

床面積

階	本工事部分 本屋	本工事部分 自転車置場	本工事部分 合計	別棟部分	総計
	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
地階					
1階	1,577.68	28.60	1,606.28	1,480.53	
2階	885.16		885.16	477.77	
塔屋	42.60		42.60	3階 636.04	
				4階 71.07	
合計	2,505.44	28.60	2,534.04	2,665.41	5,199.45
建築面積	1,606.40	28.60	1,635.00	1,560.42	3195.42
敷地面積	19,411.45㎡			建蔽率	16.%
				容積率	26.78

1階（ウチヌキ）	a. ホウヲ基礎 ＝(建築面積)	33.00 × 40.50 = 1,336.50 25.25 × 6.20 = 156.75 12.75 × 5.60 = 71.40 3.50 × 5.30 = 18.59 1.45 + (3.25+6.75) = 14.50 6.75 × 0.225 = 1.52 6.75 × 0.175 = 1.18		
		小計	1,606.40	
	b. ホキ部分	▽ △ 3.65 × 6.40 = 23.36 ▽ △ 1.50 × 2.775 = 4.16 ▽・▽ △0.20×(2.55+3.46) = 1.20		
		小計 △	28.72	
	1階床面積合計	(a − b)		1,577.68

自転車置場 求積

床面積、建築面積共に
13.00 × 2.20 = 28.60

13.000

2.200

平面図 1:200

本屋求積

80107	㈱ 株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654		名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 面積表、求積表 / 縮尺 1:200 / 図番 A/6

内部仕上表　1

階	室名	床	巾木	壁 1	壁 2	壁 3	天井	天井高	建具	塗装	備考
1階	玄関ホール	床用タイル 貼	〃	外装タイル 貼			FS 7.5 金属吸音板(孔明) スタック吸音コケ押え アクリル表面処理	2,650		木部 S.O.P	引き分け自動ドアー (エアカ)
	ロビー	フローリングブロック ウレタン塗装仕上	木製 H=75	モルタルコテ押え E.P.	一部 軽天金物 貼	モルタルコテ押え E.P.	岩綿吸音板 貼 (@9 P.B. 増張り)	2,400	〃	〃	電飾看板 館内案内板 通示板 アライントボックス
	ブラウジングコーナー	〃	〃	モルタルコテ押え E.P.	一部 カーペット貼	〃	〃 (〃)	2,850		〃	アライントボックス
	一般閲覧室 参考資料コーナー	〃	〃	〃	一部@5.5ラスシャ E.P	〃	〃 (〃)	2,850 2,400	〃	〃	電飾 6段書架 (文学) アライントボックス 高飾 3 〃 (〃)
	児童閲覧室	〃	〃	〃	〃	〃	〃 (〃)	〃	〃	〃	電飾 4段書架 (〃) アライントボックス 高飾 3 〃 (〃)
	整理準備室	〃	〃	〃	〃	〃	〃 (〃)	2,400	〃	〃	コントロールデスク (〃)
	エレベーターホール	〃	〃	〃			〃 (〃)	〃	〃	〃	エレベーター (手荷物用)
	視聴覚コーナー 通路	〃	〃	〃			P. B. @12 E.P.	2,400	〃	〃	通路ポスト (スチール) 卵便 〃 (〃) 全木製下駄
	視力障害者室	フローリングブロック ウレタン塗装仕上	木製 H=75	モルタルコテ押え E.P.	一部ラスシャ @5.5 E.P		岩綿吸音板 貼 (@9 P.B 増張り)	2,400	〃	〃	アライントボックス
	便所前ホール	〃	〃 〃	モルタルコテ押え E.P.		モルタルコテ押え E.P.	P. B. @12 E.P	2,400	〃	〃	小物入、時計埋入 床段差ロ
	身障者用便所	床用タイル 貼 (モルタル下地) 下駄ビット		100° タイル 貼		100° タイル 貼	P. S. @ 4 V. P.	〃	〃	〃	便器、手摺 エマニエルトアー 洗面 シンク ホーロー化粧台 器具 Te. B.
	男子便所	モザイック タイル 貼 (〃)		〃			〃 〃	2,500 (床上)	〃	〃	大小便器、大便所ブース(2) 衣類 Te. B. 洗面 シンク ホーロー 化粧台
	女子便所	(〃)		〃		100° タイル 貼	〃 〃	〃	〃	〃	大便器、大便所ブース(3) ハイプリヤット(1) 衣類 Te. B 洗面 シンク ホーロー 化粧台
	階段下物入	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え H=75	コンクリート打放し (普通ベニヤ型枠使用)			コンクリート打放し			〃	
	事務室	ビニール シート 貼 (モルタルコテ押え)	ソフト巾木 H=75	モルタルコテ押え E.P.	一部@5.5ラスシャ E.P. 一部 100° タイル 貼	モルタルコテ押え E.P.	岩綿吸音板 貼 (下地 P.B. 増張り)	2,850 2,400		〃	間仕 化粧石 木枠 Te. B. アライントボックス ライトグリーン(淡)
	管理出入口脇 玄関 (玄関脇) 囲	床用タイル 貼	タイル貼 H=105 (水上)	モルタルコテ押え E.P.			@12 PB(耐火) E. P	2,430 (水上)		〃 〃	より棚 ステンレス 事務カウンター (スペーター付)
	〃 ホール、廊下	ビニール シート 貼 (モルタルコテ押え)	ソフト巾木 H=75	〃			〃 (〃) 〃	2,400		〃	
	管理人室	(〃)	〃 〃	〃			〃 (〃) 〃	〃		〃	小窓 カーテンボックス H-アングル、アライントボックス
	管理人室内物入	@9 ウレタン ベコヤ	錆巾木	@4 ウレタン ベコヤ			@4 ベコヤ			〃	手摺 天端 CT
	湯沸室	ビニール シート 貼 (モルタルコテ押え)	ソフト巾木 H=75	モルタルコテ押え E. P.	一部 100° タイル 貼		@4 F.S. V.P.	2,400		〃	吸込口、コンロ台 換気扇 鋼製高所窓 換気扇 棚板ガラス(カラーアルミ) P.S. (FS の EP)
	視聴コーナー	〃 (〃)	〃 〃	〃	〃		@4 F.S V.P.	〃		〃	洗面器 化粧台 かがみ 天端 Te B タオル掛 紙巻掛 (手洗器)
	女職便所	モザイック タイル 貼 (モルタルコテ押え)		100° タイル 貼			@4 F.S. V.P	2,430 (水上)		〃	一大便器 天井点検口 2段棚
	視聴コーナー	床用タイル 貼		モルタルコテ押え E.P.	一部 100° タイル 貼		@4 F.S. V.P.	〃 (〃)		〃	展示台 (書架併設) アライントボックス 座椅子
	館報視聴室	モルタルコテ押え 防塵塗床	モルタルコテ押え H=100	コンクリート打放し (普通ベニヤ型枠使用)		コンクリート打放し	水モセメント系 アクリルエマルション リシン吹付	3,980 3,880 3,770	コンクリート打放し	〃	ホリゾント、照明装置、ピクチャーレール、カーテン 下地、補修、吹付
	書庫 BM書庫	防塵塗床 (モルタルコテ押え) 通路部 ビニール シート 貼	〃 H=75	コンクリート打放しの上 リシン吹付		コンクリート打放しの上 リシン吹付	水モセメント系 アクリルエマルション リシン吹付	3,610 3,527	コンクリート打放しの上 リシン吹付	〃 〃	電動シャッター スチール製 特殊ボックス棚 (特殊ボックス棚) 手動式 スチール製 集密書架 (固定)
	BH作業場	ビニール シート 貼 (モルタルコテ押え)	ソフト巾木 H=75	モルタルコテ押え E.P		モルタルコテ押え E.P.	@12 P.B.(耐火) E.P	2,400		〃 〃	アライントボックス
	全館 循環コーナー	〃 (〃)		100° タイル 貼			〃 (〃) 〃	〃		〃	吸込口、コンロ台 鋼製高所窓 換気扇 棚板ガラス(カラーアルミ) ガラススクリーン
	〃 視聴覚室	〃 (〃)		モルタルコテ押え E.P	一部 100° タイル 貼		@4 F.S. V.P.	〃		〃	洗面 化粧台 かがみ アコースティアー タオル掛、紙巻掛 (手洗器)
	〃 シャワー室	モザイック タイル 貼 (モルタルコテ押え)		100° タイル 貼		100° タイル 貼	〃 〃	2,520 (水上)		〃	シャワー 衣類置の子 天井点検口
	〃 便所	〃 (〃)		〃			〃 〃	2,430 (水上)		〃	一大便器 天井点検口
	BM準備	モルタルコテ押え 防塵塗	モルタルコテ押え H=175~175 一部 H=75	コンクリート打放しの上 リシン吹付		コンクリート打放しの上 リシン吹付	水モセメント系 アクリルエマルション リシン吹付	3,680 3,580	コンクリート打放しの上 リシン吹付	〃 〃	電動シャッター

( ) 内は下地を示す

特記事項

- 天井材のロ は天井点検口とする。
- コンクリート打放し部　打ち増し厚 吸音 20% とする
- リシン　はすべて　アクリルリシン とする。
- 上階のない部分の スラブ底は すべて 断熱240ℓ し 50% 打込みとする。
- 洗面コーナー　洗面器化粧台には 固定ねじとし　クロム押え 鏡取付け (ステンレス製) 各1ヶ 設置のこと。
- シャワー室　固定ねじ共　900 x 1,800 程度 ヒバ製 衣の子 (特殊ボックス) 設置のこと。
- フローリング ブロック　すべて 厚さ 15 ナラ 1等品 とする
- 1, 2階共 石こう P.B (@12) の アスベスト 除去部分のこと。

特記事項

- リシンは すべてアクリルリシン ヒする。
- 外装タイル貼 建築電子細目ポーダータイル 二丁30~60 厚5 240四方 アイボリー
  建具CW 8 7w 羽根 枕目切り5ピッチ 化粧ビス 石膏貼りとする。お客様にご色合せにご指定とする。
- 敷地境界の復旧 現存自転車置場 Yard仕上 ポスト等移設の為の復旧及び新設はすべて、現況に合せ一責任をもって復旧のこと
- 設計変更 現場の状況(地中埋設物、現況地盤高低差)に応じ変更となる場合は一責任をもって現況に復旧すること。

内部仕上表 2 ( )内は下地を示す

時、場所	室名	床	巾木	腰、壁 1	腰、壁 2	壁	天井	天井高	建具	重要	備考
2階	玄関	床用タイル 45角		外装タイル 45			⑫5P.S.石膏ボード貼 ビニクロス90°巾下地 アクリル系樹脂仕上	2,750 (吹上)			
	ロビー	ビニールシート 45 (モルタル コテ押え)	木製 CLA H=75	じゅらく風塗装 3回仕上 (モルタル コテ押え) -部 ガラス ベニヤ		じゅらく風塗装 3回仕上 (モルタル コテ押え) 壁隅 笠木製 CLA	⑫石膏吸音ボード 貼 (⑫P.B. 張り残り)	2,400		不部 CLA	出入口スロープ(上り口のみ巾ビニールシート45) アライングボックス
	廊下	〃 (〃)	〃 〃 〃 (〃)	〃 (〃)		〃 (〃)	⑫石膏吸音ボード貼 45 (⑫P.B 張り残り)	2,400		〃 〃	
	ホール (展示場)	〃 (〃)	木製 CLA H=75	じゅらく風塗装 3回仕上 (モルタル コテ押え)		〃 (〃)	スパンドレルコンクリート打放し補修 アクリル系樹脂仕上 -部⑫石膏吸音ボード 45 (⑫P.B 張り残り) ⑫石膏ボード 45	2,750 2,400		〃 〃	ピクチャーレール スポットライト用レール アライングボックス 補強ささ (スポットーター下)
	視聴覚室	〃 (〃)	木製 CLA H=75	⑤ガラス張込合板 (遮光特殊機構) 羽根無し CLA		壁 に 含む	⑫12 石膏吸音ボード 張り (⑫P.B 張り)	2,850		〃 〃	スクリーン用吊ボルト含む 2,400 H=1,200 アライングボックス 暗幕 (L=4.5m)
	大会議室	ビニールシート 45 (モルタル コテ押え)	木製 CLA H=75	鏡木金枠 張り		壁 に 含む	〃 (〃)	〃		〃 〃	〃 〃 〃 アライングボックス
	小会議室	〃 (〃)	〃 CLA 〃	〃		〃 (〃)	〃 (〃)	〃		〃 〃	〃 〃 L=3,600 H=1,200 アライングボックス
	資料整理室	〃 (〃)	ソフト巾木 H=75	モルタル コテ押え E.P		モルタル コテ押え E.P	⑫12.P.B (吸込) E.P	2,400		不部 S.O.P	
	倉庫コーナー	床用 タイル 45 り (アクリル系ゴム系接着剤張)		モルタル コテ押え E.P	腰-部 100°タイル 45	モルタル コテ押え F.P -部 100°タイル 45	〃 (〃) 〃	2,500 (吹上)		〃 〃	金物補足 (注) ステンレス製プラスチックマット(3号幅に準)
	湯沸室	ビニールシート 45り (モルタル コテ押え)	ソフト巾木 H=75	モルタル コテ押え E.P	-部 100° タイル 45	100° タイル 45	⑤4 F.S. V.P	2,400		〃 〃	流し台 コンロ台 吊戸棚 鏡面着色器 換気扇 吸込グリル (ステンレス)
	資料保管室	〃 (〃)	〃 〃	モルタル コテ押え E.P	-部⑤ガラスクレセナ E.P	モルタル コテ押え E.P	⑫12 P.B (吸込) E.P	2,850		〃 〃	アライングボックス
	倉庫前ホール	〃 (〃)	〃 〃	モルタル コテ押え E.P		モルタル コテ押え E.P	〃 〃	2,400		〃 〃	消火器入 小物台
	音響倉用倉庫	長尺 タイル 45 (アクリル系ゴム系接着剤張)		100° タイル 45		100° タイル 45	⑤4 F.S V.P	〃		〃 〃	発電機用倉庫 手摺 床面 化粧仕 0.00m アマニエルヘアー 巾木 Te.B
	男子便所	モザイク タイル 45 (〃)	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃		〃 〃	便器、大便所ブース(2) 床面 化粧仕 0.00m シンク 水栓 Te.B.
	女子便所	〃 (〃)	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃		〃 〃	便器 大便所ブース(2) ハイアシスト(1) 手摺 Te.B 床面 化粧仕 0.00m シンク
	倉庫	モルタル コテ押え 防塵塗料 塗り	モルタル コテ押え H=75	コンクリート 打放し (型枠パネル使用)			⑫12 P.B E.P	〃			
塔屋	倉庫 エレベーター機械室	〃	〃	〃			コンクリート 打放し				天井内フック

階段構別	部面	踏上げ	有効巾		踏面 蹴込み納まり仕上	底裏	巾木	壁	段裏 1階	段裏 2階	手摺	壁側手摺	最上階吹抜	その他	備考
階段 主階段	300	152	1,340		ビニールシート 45 (モルタル コテ押え)	ビニールクロス (型枠合板15)		ボーダータイル 45 (型枠合板15) -部 モルタル E.P	アルミ製ルーバー コンクリート打放し (コンクリート打放し) アクリル系樹脂仕上	ビニールシート 45 (モルタル コテ押え)	笠木 笠木 ステンレス製 笠木ステンレス 幅 @100	ステンレス パイプ 2本ロ 中手 間々合シ	金属補強下地 (アクリル 塗下 残り)	サイドボーダー 2幅 C.LA. ロボーダー テラゾーブロック	ピクチャーレール 壁側的大 スイッチ一 電所 くぐり戸
階段 副階段	270	165.3	1,257.5		〃	〃	〃	ソフト巾木	モルタル コテ押え E.P	ビニールシート 45 (モルタル コテ押え)	コンクリート打 モルタル E.P 笠木 テラゾー アロンワ 手摺 ステンレス		P.B. ⑫12 E.P		〃 〃

外部仕上表

項目	概要	備考	項目	概要	備考	項目	概要	備考
1 外部	モルタル コテ押え		12 天井 (造作回廊)	アリ.0 ポリウレタンゴム系シート防水 2重張り カラー仕上 パラペット プレキャストコンクリートブロック押え 庇裏 コンクリート打放しの上 アクリル リシン吹付		17 管理出入口 ポーチ	床 玄関タイル張り (ヒリ止めタイプ) 段鼻ゴム リブマット付タイル (滑止め) 庇 屋根 壁 天井 } 建具断面図 1:50に示す	
2 外壁	外装タイル張り 目地切り		13 小庇	笠木 立上り モルタル防水 躯体 コンクリート打放し 庇裏 コンクリート打放しの上 アクリル リシン吹付		18 駐車場出入口	床 モルタルコテ押え 法地には 目地切り 縦ボウ リブマットタイル 庇 1:50に示す	
3 パラペット外面	コンクリート打放し 目地切り 透明アクリル系樹脂塗	非防塵塗料使用				19 BH出入口 階段	アスファルト舗装 雨水溝(グレーチング蓋付)	
4 パラペット天端	防水モルタル コテ押え					20 バックヤード	〃	
5 〃 内壁	〃 〃					21 屋外附帯工事	雨水排水工事 アプローチ舗装工事 自転車置場工事 植栽工事 遊具設置工事 学童保育園舎工事 アプローチ道工事 緑地広場工事 機械式駐車場設置工事 その他	
6 屋上	大屋根 (12階外) アスファルト露出防水 立上り押え コンクリートブロック 100×100×600 水抜き付. 遮熱 遮熱ブロック仕上. 塔屋屋根 アスファルト防水 断熱コンクリート押え モルタル押え切り仕上 伸縮目地 エラスタイト アセ アスファルト ピッチプー 立上り押え 普通煉レンガ 平積ツキ							
7 戸袋 他	鉄筋コンクリート打ち モルタル コテ押え 一部 スラブ かさ上げ							
8 タラップ	ステンレス 製							
9 枠	⑧19 他 鉄製メッキ 0.8 S.O.P 各所各所 アンカー 廻り ポリウレタンゴム系シーリング材にて コーキング							
10 ルーフドレイン	一般屋根用 Φ100 床 L型 鉄製 特殊製 一部 75型 大庇 用 〃 バルコニー 中間ドレイン 〃							
11 笠木	鉄筋メッキ 樹型 P.P仕上 3回塗り F.B 3×22 鉄製メッキ 0.8 P.P仕上							

自転車置場 4m 鉄製屋根 一般型 使用

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 仕上表 2 縮尺	図番 A/8

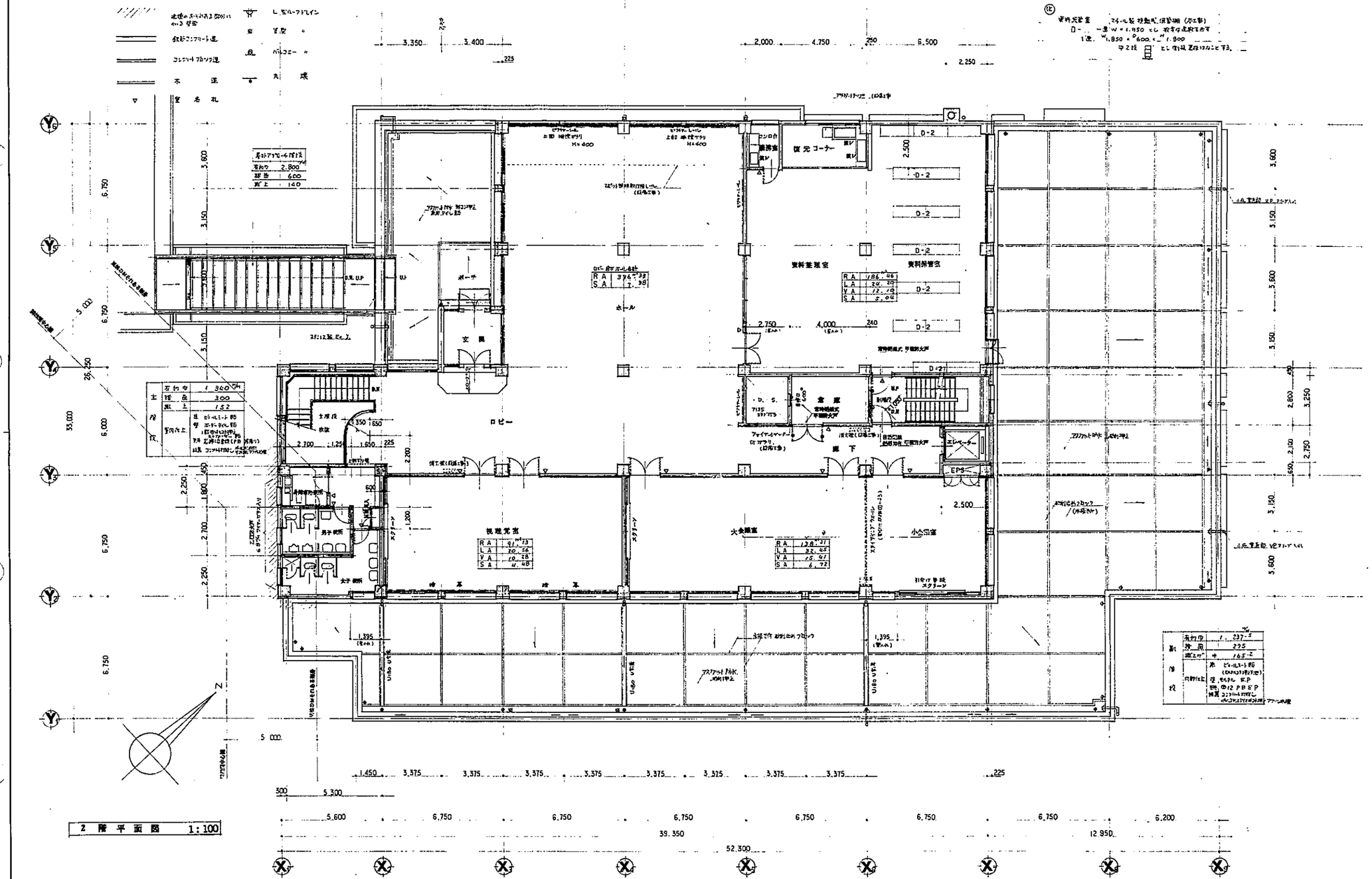
凡　例

- 地盤のみ(もしくは)部分にかかる範囲
- 鉄筋コンクリート造
- コンクリートブロック積み
- 木　造
- マ　ン　ホ　ー　ル

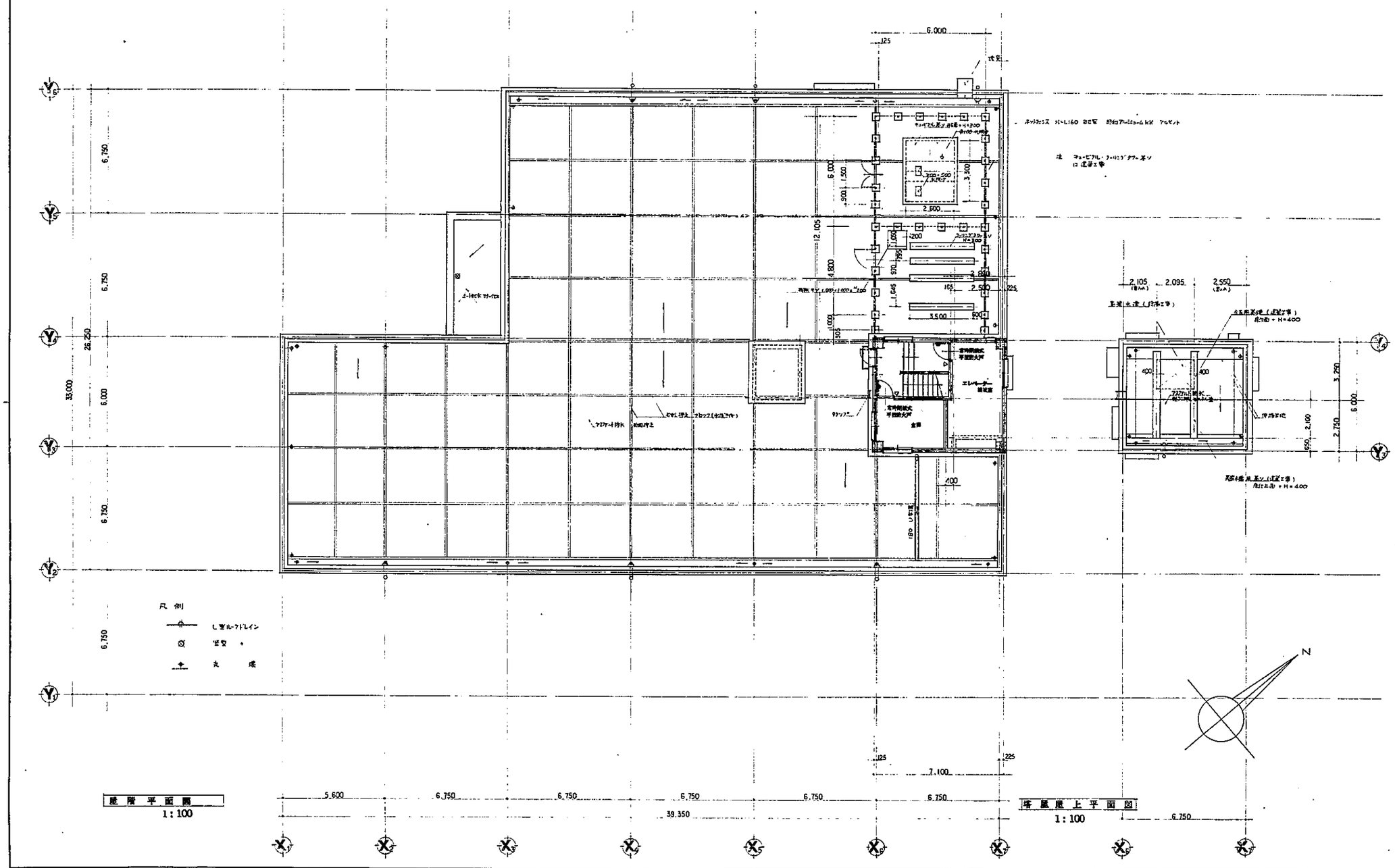
1 階 平 面 図 1:100

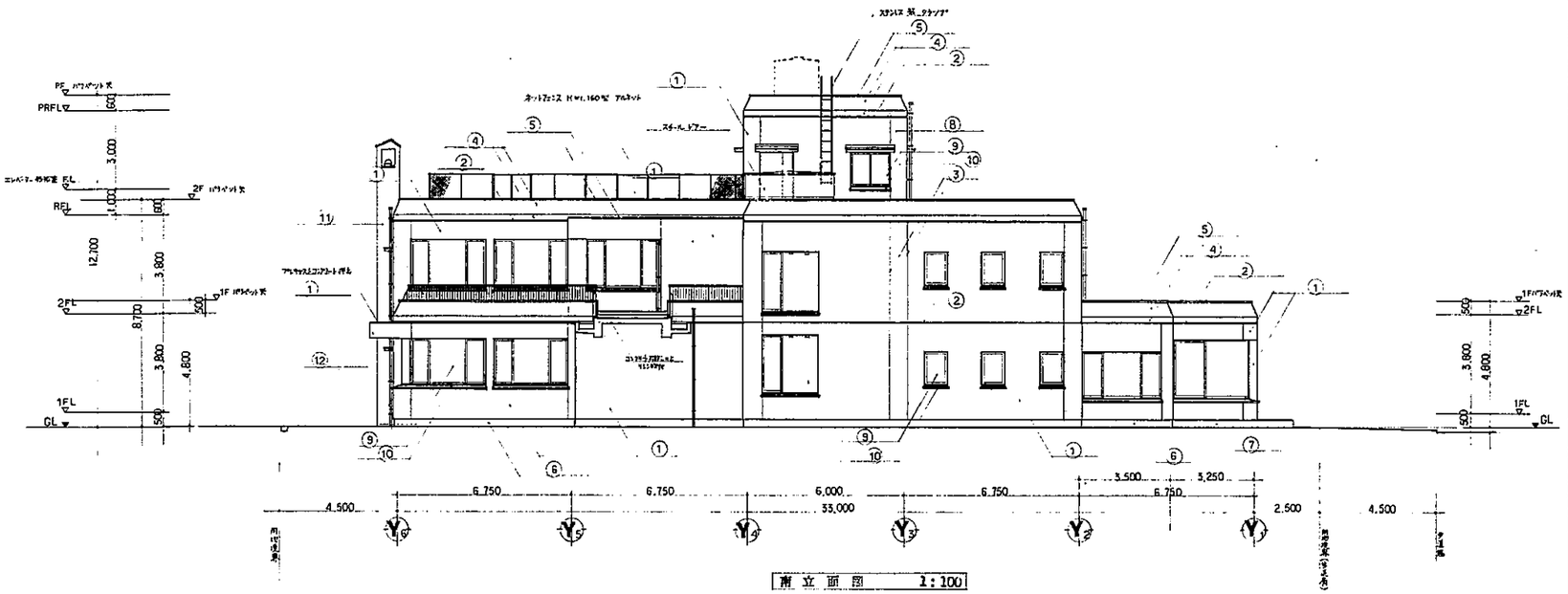
80107	㈱ 栄和設計事務所
名称	(仮称)高石市立図書館建設工事
図名	平面図 1 (1階)
縮尺	1:100
図番	A/9

尺 例

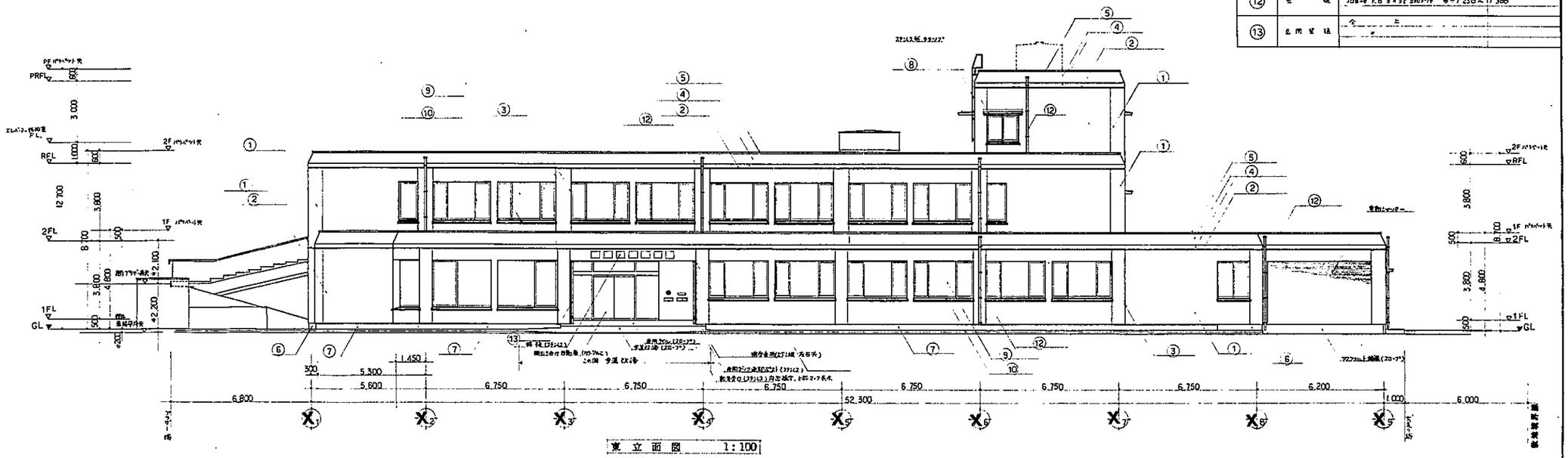


80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 平面図 2 2階 縮尺 1:100 図番 A/10


6,000
125
6,750
6,750
6,750
26,250
33,000
6,000
6,750
6,750
6,750



南 立 面 図　1:100



東 立 面 図　1:100

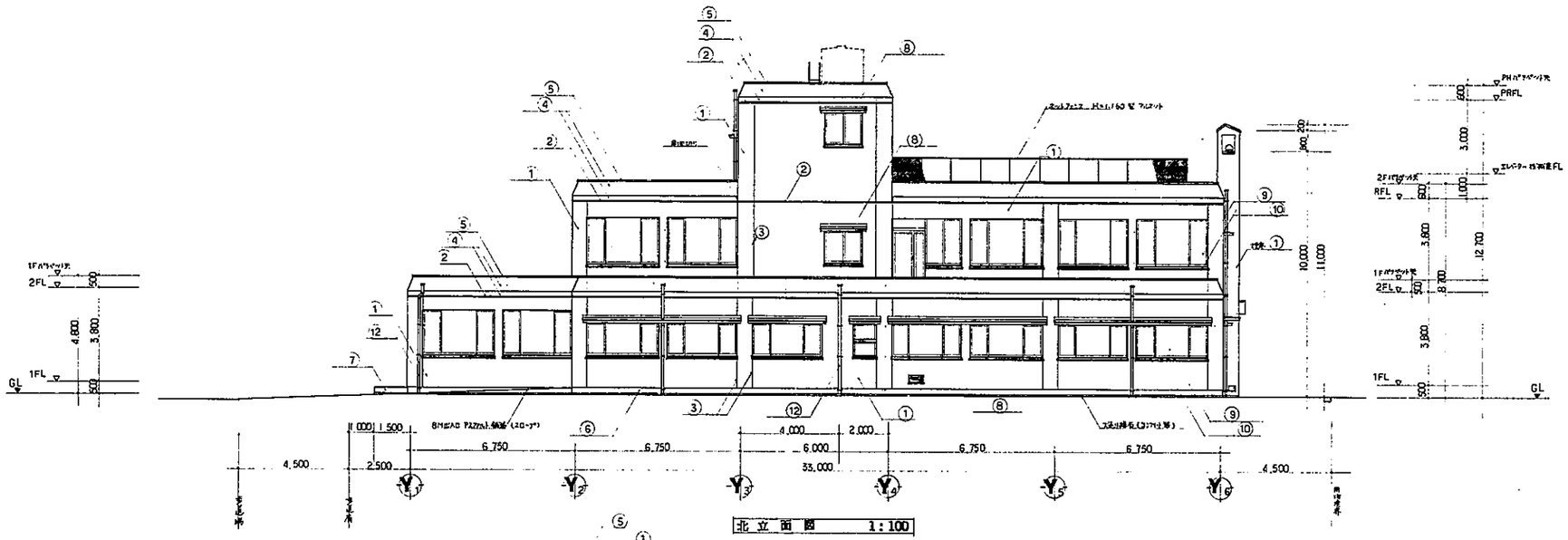
特記事項

・記載事項以外	・本図面は、指定工事以外の各種図面は参照しない。 指定以外の部分は、工事監理者と協議の上、決定する。 なお、やむを得ず変更する場合は、速やかに（別紙様式） にて提出のこと。

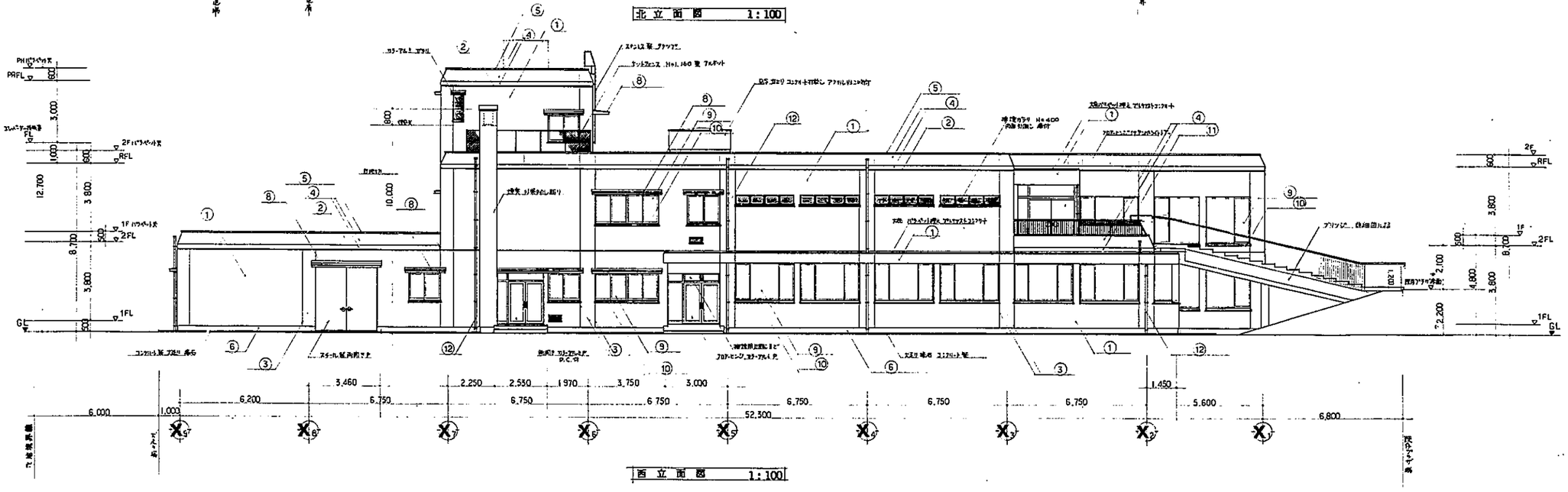
外部仕上表

番号	名称	仕上概要	備考
①	外壁	外装タイル貼　密着張り工法	
②	屋根	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　ｺﾞﾑｼｰﾄ　t=30	
③	庇	〃　〃　t=20	
④	パラペット外面	外断熱工法　コンクリート打放し　撥水剤	
⑤	パラペット笠木	防水モルタル　コテ押え	
⑥	外部幅	モルタル　コテ押え　G.L.+300 まで	
⑦	建具	防犯合わせガラス入り自由扉　コンクリート打放し 自動ドア	
⑧	小庇	鉄　コンクリート打放し 裏　ガラス(透明)入り　Y=6㎜コンクリート打放しにエアモルタル吹付 天端　笠木　モルタル　防水	
⑨	サッシュ	カラーアルミ製	
⑩	ガラリ	カラーアルミ製全段（可動横羽根）　網入型　t=6	
⑪	ルーフドレン	本体　ステンレス　SUS 304　ø 75 受皿　〃　〃　ø 275　深さ 21.7 管　〃　〃　ø 13　@ 100	
⑫	笠木	外壁 ø 114.3 鋼管 t=3 静電粉体焼付塗装 P.P 仕上 内面板 F.B 3×32 溶融亜鉛メッキ　ピッチ 250 ～ 1,300	
⑬	金属建具	全　〃	

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1951 452・1952 452・1953 452・1954	一級建築士登録第23150号 小泉 善重	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 立面図 1 縮尺 1:100 図番 A/12

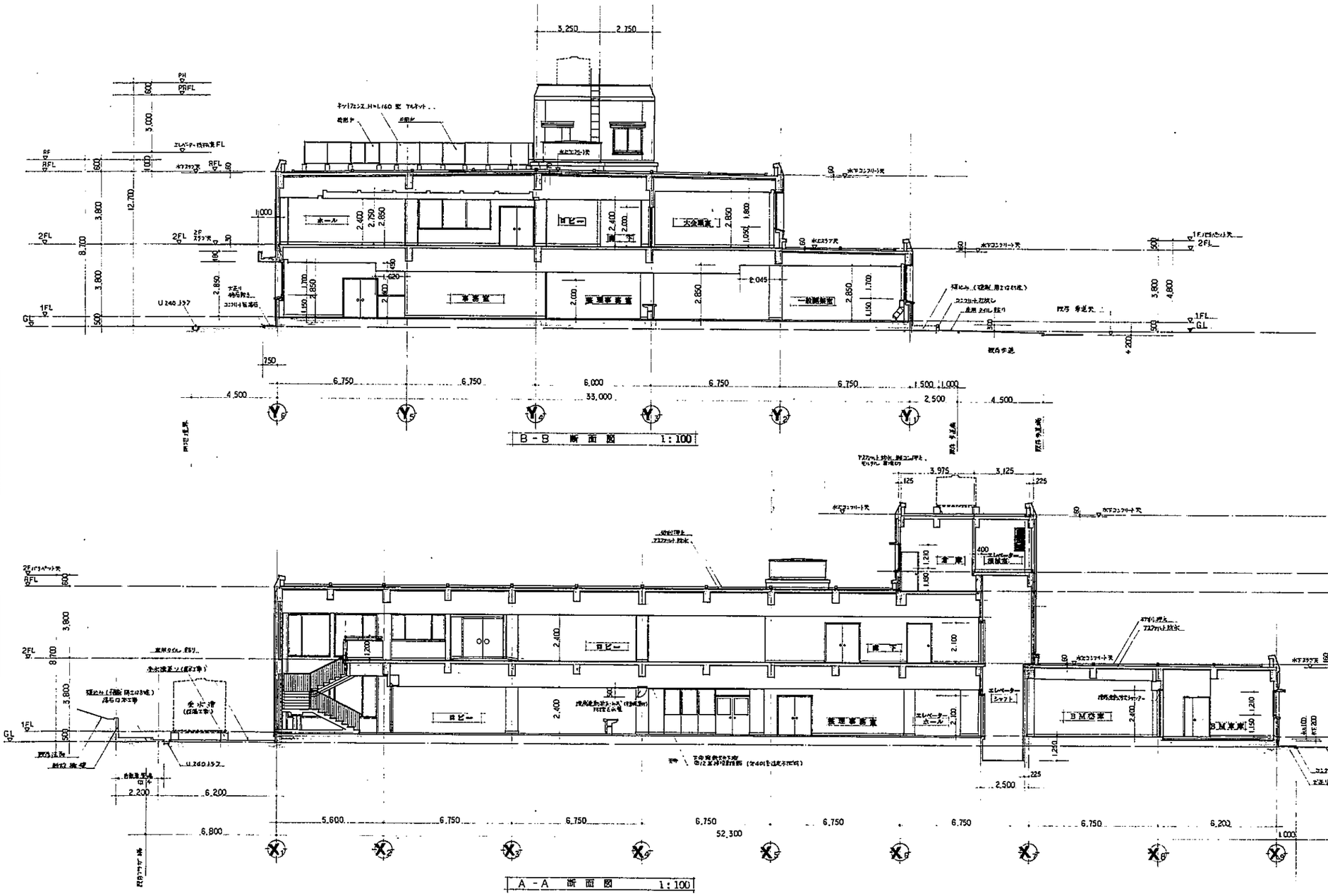


北立面図 1:100

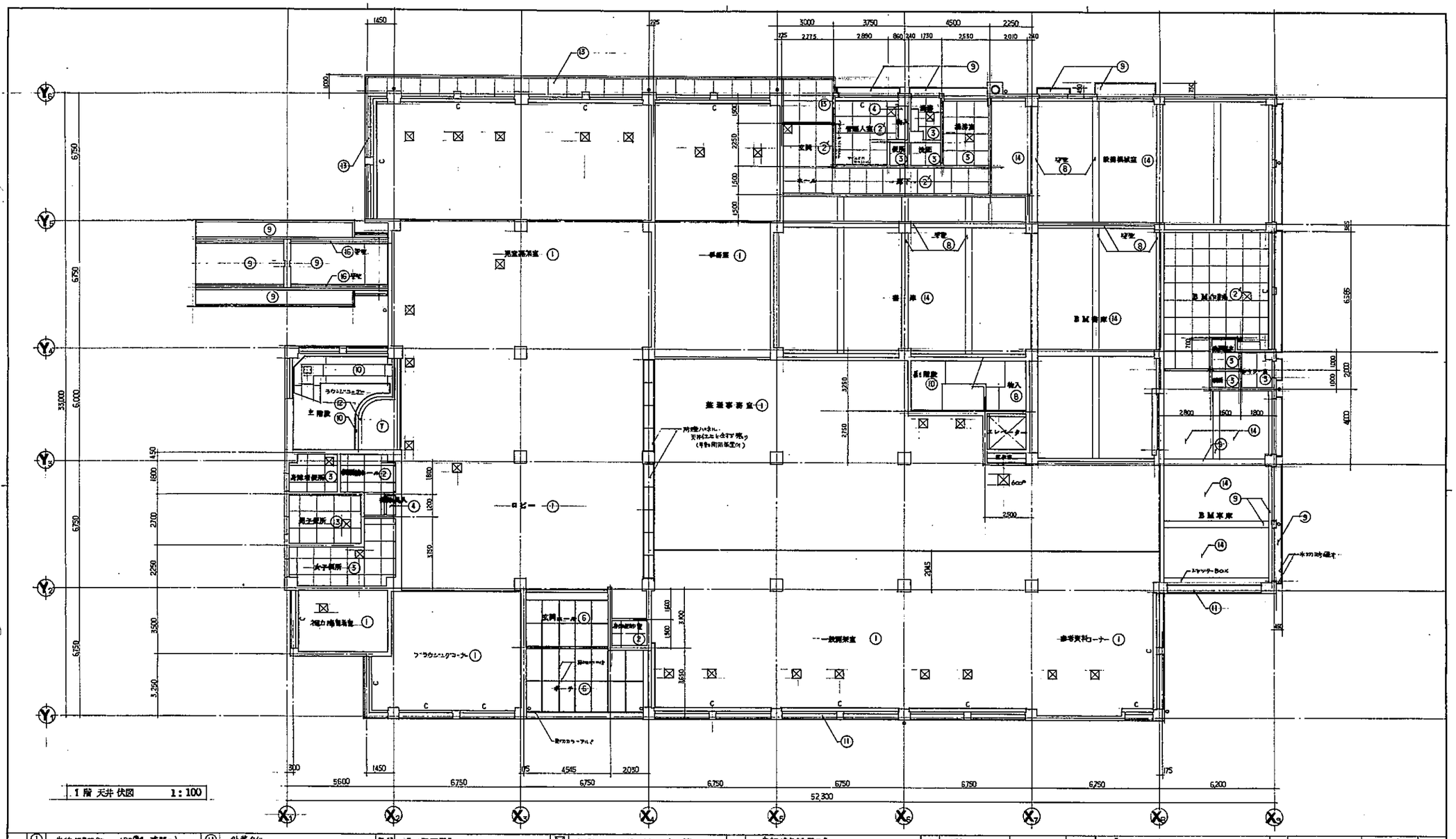


西立面図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所 05・452・1851 052・452・1853 052・452・1854	一級建築士登録第23150号 小泉博重		名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 立面図 2 縮尺 1:100 図番 A/13

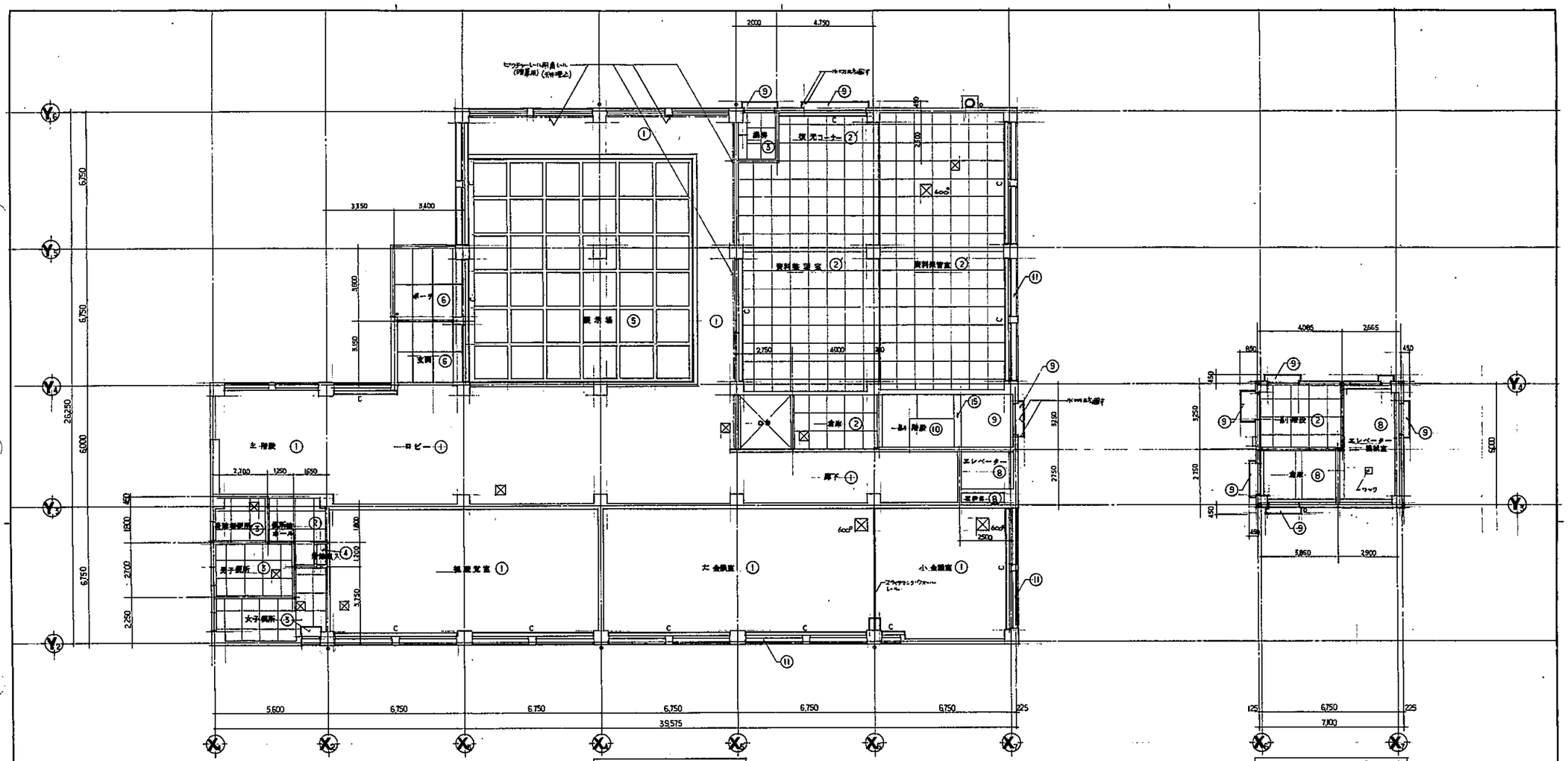


80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 断面図 / 縮尺 1:100 / 図番 A/14



仕上	①	直張 (PB⑨12 捕張り)		⑪	外装タイル		基礎	地中梁型枠		☒	天井ボード、ロックウール化粧吸音板張、その他天井は、特記のない限り、ビニルクロス貼り		○ 空調換気設備工事									○ 電気設備工事										
	②	PB⑨12 EP、(2) PB(耐火)⑨12 EP		⑫	モルタルコテ押 ルナファーゴ掻り						天井高さは4500、ただし電気ハイハット取付部		番号	名称	開口寸法	個数			番号	名称	開口寸法	個数			番号	名称						
	③	FS⑨4 VP		⑬	FS⑨4、アクリルリシン吹付						(位置は設備設計図参照のこと)	A	アネモ ヒューム	510×510	26	J	・	400×400	1	1	A42×1重	141×1,255	91	11	L42	303×1,260						
	④	ルーフドレン⑨4		⑭	木モルタル下地、アクリルリシン吹付							B	アネモ ヒューム12	248×248	2	K	・	350×350	1	2	A42×4	141×5,020	17	12	K40	100φ	32					
	⑤	PB⑨12ビス留めの上、ビニル床シート張り、モルタルコテ押 アクリル樹脂塗		⑮	モルタルコテ押							C	アネモ Ex-15	300×300	1	L	・	300×300	5	3	A42×5	141×6,278		13	D26	640×640						
	⑥	スタッコ吹付(コテ押、アクリルはと(FS⑨4下地)		⑯	木モルタル下地 コールタールエポキシ樹脂塗							D	HS 1,000×400	1,050×450	6	M	・	250×250	1	4	A42×14	141×17,570	4	14	L150	200φ	2					
	⑦	アクリコ吹付(コテ押、アクリルはと(PB⑨12 二層仕上)										E	HS 800×300	850×350	2					5	A41×1	80×1,283	3	15	スローカー	226φ	26					
	⑧	コンクリート打放し										F	アリーズライン	50×1,010	4					6	A41×2	80×2,506	1								
	⑨	コンクリート打放し、アクリルリシン吹付										G	ノズル	265φ						7	E42	303×1,260									
	⑩	コンクリート打放しの上、アクリルはと吹付										H	ノズル	318φ						8	H150	400φ	4								
			C	カーテンBox コーブライトBox																												

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1851 452・1852 452・1853 452・1854	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 1階 天井 伏図 / 縮尺 1:100 / 図番 A/15



仕上凡例

①	床：磁器質タイル張 (PB㊦12 捨張り)	⑪	外壁 ｻｲﾝ	天井高さ	天井ﾀﾞｸﾄ ｱﾙﾐ押出 天井仕上げ全て下記
②	PB㊦12 EP ② PB(耐水)㊦12 E.P.	⑫	ｶﾙｶﾙﾄｱ吹付 ﾙｸﾞﾗｰﾝﾄﾞ調		特記の他 4500 ｱﾙﾐ製ﾊﾆｶﾑ下地製品
③	FS㊦4 EP	⑬	FS㊦4 アクリルリシン吹付		(位置ﾀﾞｸﾄ断面詳細図参照 ﾍﾞﾈ現場最調整)
④	ﾊﾟｰﾃｨｸﾙ㊦4	⑭	ｶﾓｾﾒﾝﾄ系、アクリルリシン吹付		
⑤	PB㊦12ﾓﾙﾀﾙ上ｶﾙｶﾙﾄｱﾝﾎﾞｺﾃ押 アクリル樹脂	⑮	ｴﾏﾙｼｮﾝ EP		
⑥	ｽﾀｯｺ吹付ｺﾃ押 アクリルﾘｼﾝ (FS㊦4下地)				
⑦	ｽﾀｯｺ吹付ｺﾃ押 アクリルﾘｼﾝ (PB㊦12ﾗｲﾄｺﾞﾐ下地)				
⑧	ｺﾝｸﾘｰﾄﾗﾌﾞ仕上				
⑨	ｺﾝｸﾘｰﾄﾗﾌﾞ仕上 アクリルﾘｼﾝ吹付				
⑩	ｺﾝｸﾘｰﾄﾗﾌﾞ仕上 ﾊﾟｰﾃｨｸﾙ ｶﾓｾﾒﾝﾄ系ﾓﾙﾀﾙ アクリル樹脂	C	カーテンBOX・ブラインドBOX		

○ 空調換気給排水衛生設備工事

記号	名称	開口大きさ	個数
A	アネモ E2-25	510×510	11
B	アネモ E2-12.5	245×245	
C	アネモ E2-15	300×300	
D	HS 1,000×600	1,050×650	
E	HS 800×300	850×350	
F	ブリーズライン	50×1,010	
G	ノズル	268φ	5
H	ノズル	318φ	
J	〃	400×400	1
K	〃	350×350	1
L	〃	300×300	2
M	〃	250×250	2
N			

○ 電気設備工事

記号	名称	開口大きさ	個数
1	A42×1連	141×1,255	12
2	A42×4	141×5,020	
3	A42×5	141×6,275	
4	A42×14	141×17,570	
5	A41×1	80×1,253	3
6	A41×2	Box.2506	2
7	E42	303×1,260	
8	ﾊﾉ150	400φ	
9	P40K	198φ	20
10	P20K	146φ	
11	C42	303×1,260	
12	H40	100φ	29
13	D26	640×640	20
14	L150	200φ	
15	スピーカー	226φ	16

80107

㈱ 栄和設計事務所
06-452-1651
452-1652
452-1653
452-1654

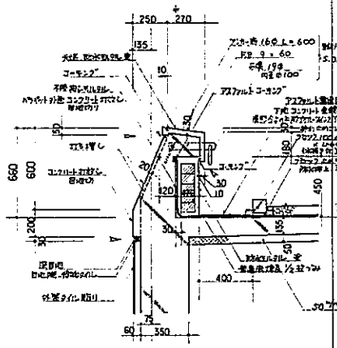
名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

図名 2 PH階 天井伏図

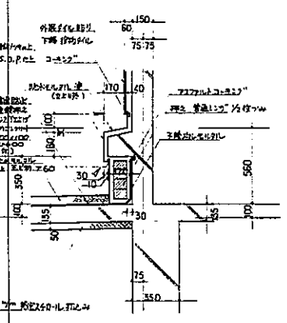
縮尺 1:100

図番 A/16

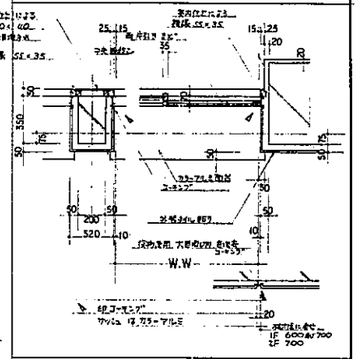
a 部 詳 細 図 （パラペット廻り） 1/20



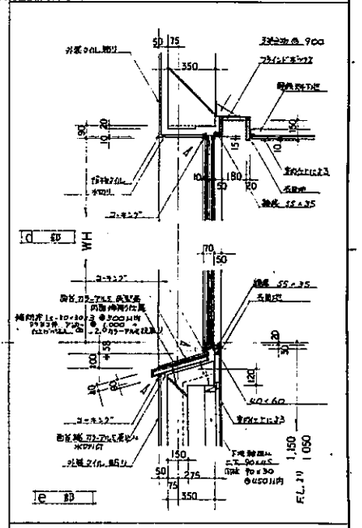
b 部 詳 細 図 （壁際防水仕舞） 1/20



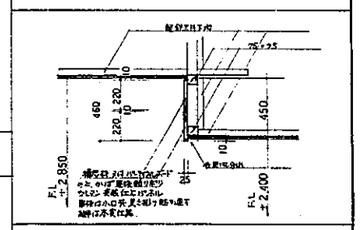
c 部 詳 細 図 （サッシュ 竪枠廻り） 1/20

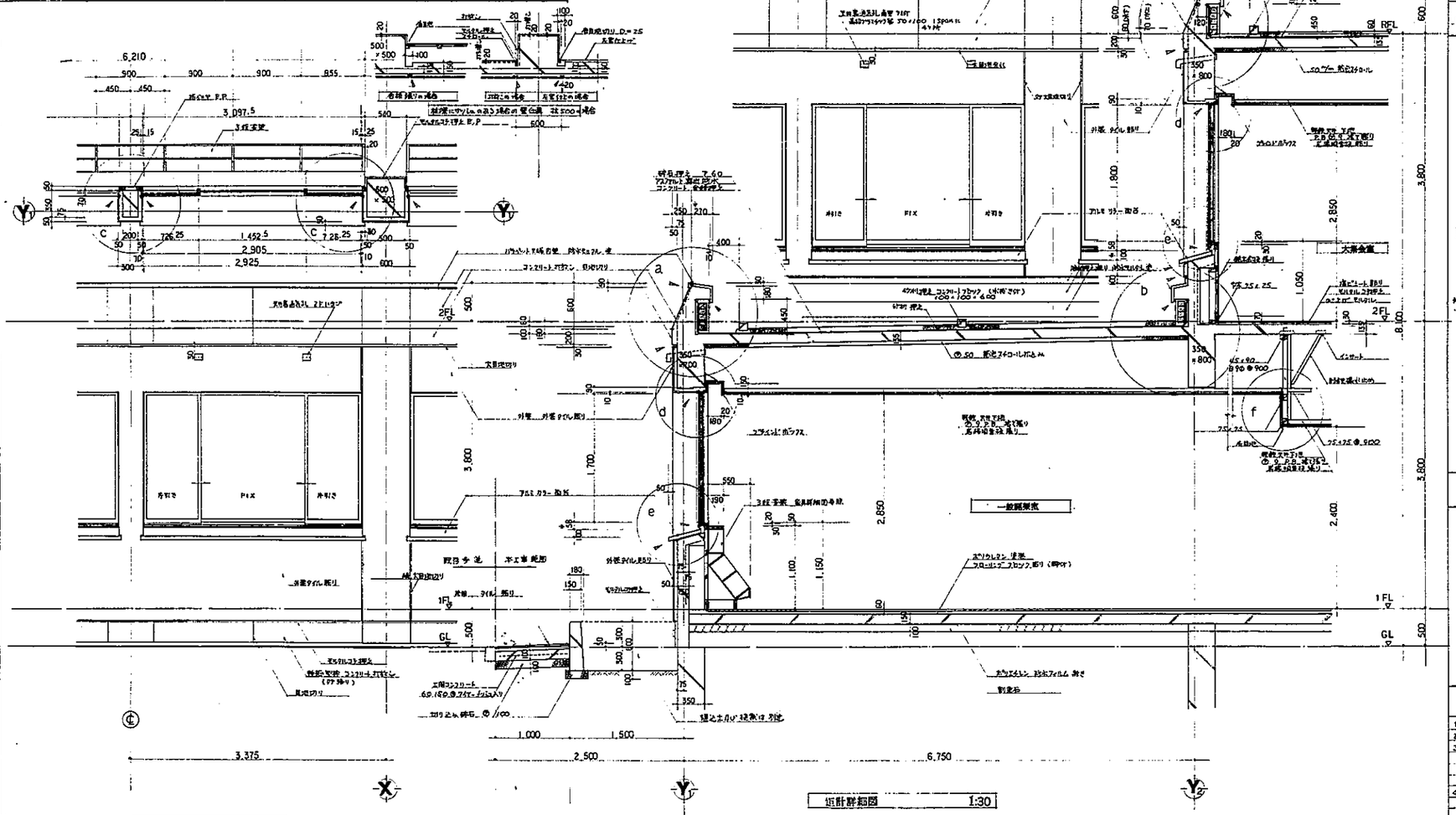


d,e 部 詳 細 図 （サッシュ 上かど下枠廻り） 1/20



f 部 詳 細 図

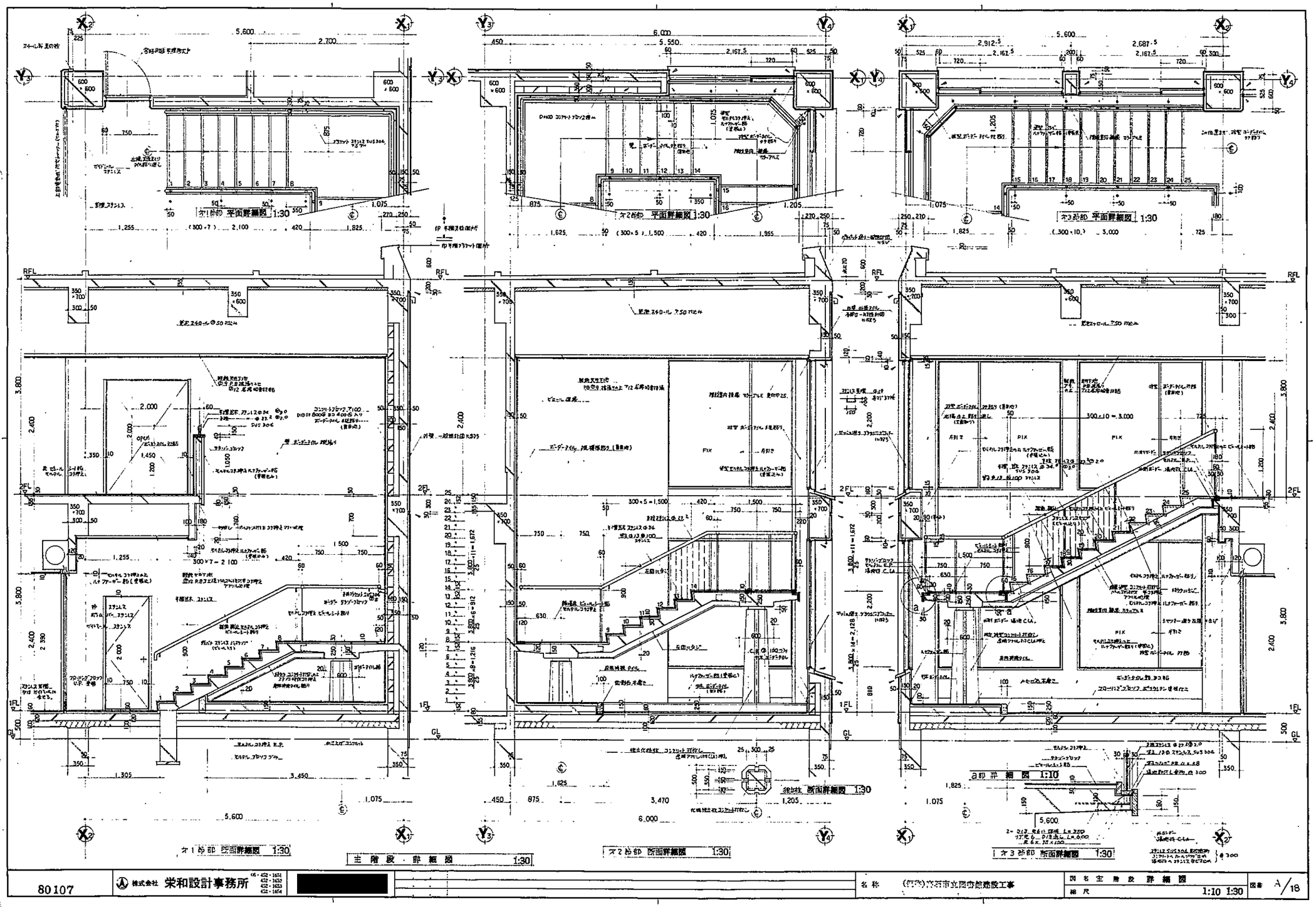




矩計詳細図 1:30

特記事項		1:30
1	パラペット外壁	防水層保護押え用コンクリート打設とする。
2	〃 天井	特記無き限りポリマーセメントフィラー系シーリング材仕上とする。
3	使用材種	本材使用箇所は各部詳細による。
		屋根スラブ 下端筋 異形1上
		外壁筋 S.D.P.下 異形1上仕舞
		C.L.A.下 各室詳細による。
4	ベランダ床仕様	外 60×60 @ 450
		内 20×60 @ 300
		但し上下共端から 150 程度 60×60

80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 矩計詳細図 各部詳細図 / 縮尺 1:30 1:20 / 図番 A/17



80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)茨木市立図書館建設工事	図名 主階段詳細図	図番 A/18
				縮尺 1:10 1:30	

PH1階平面詳細図 1:50

2階 平面詳細図 1:50

1階 平面詳細図 1:50

(イ) 断面詳細図 1:30

(ロ) 断面詳細図 1:30

80107

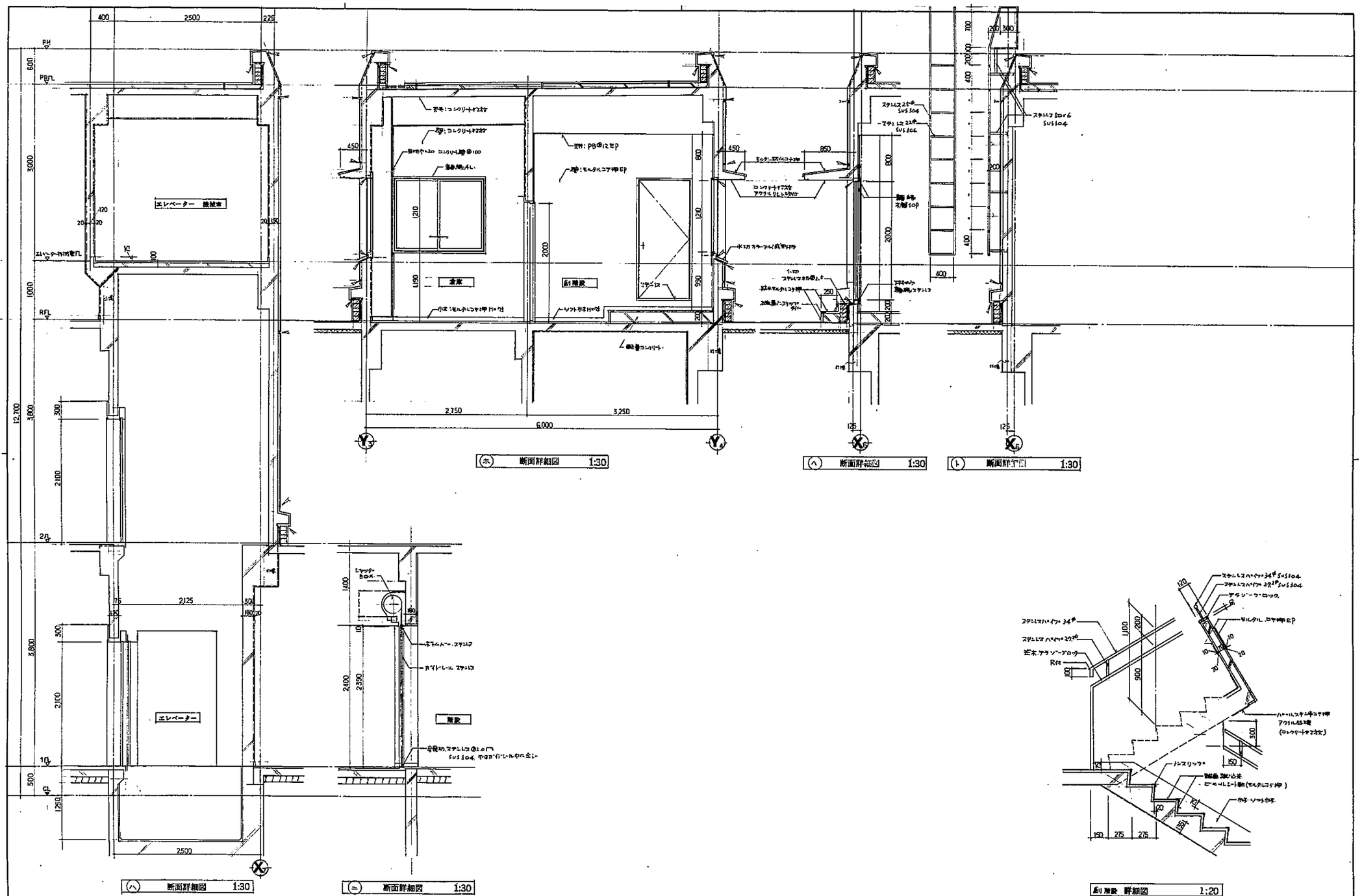
株式会社 栄和設計事務所

名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

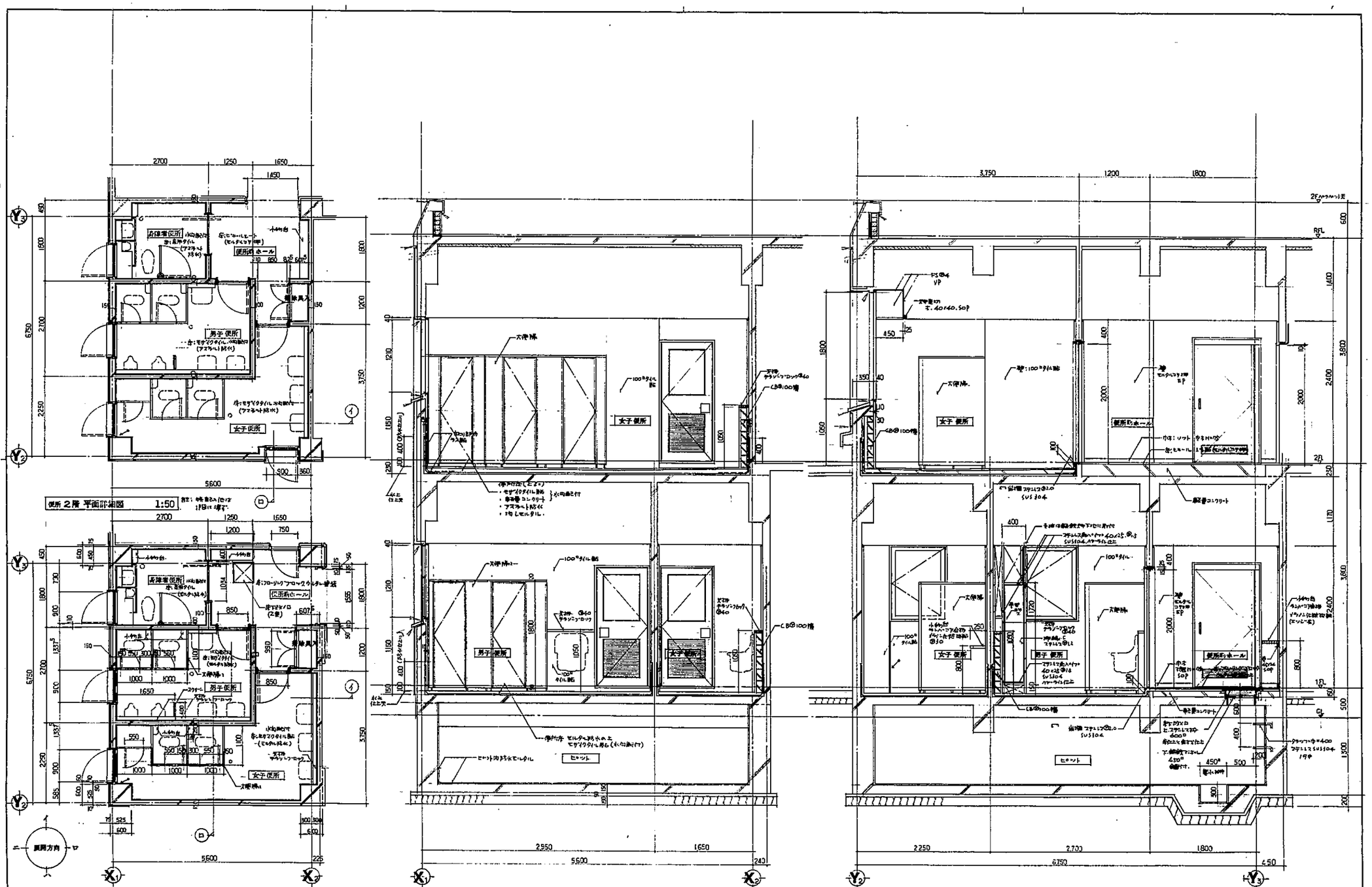
図名 R1階段 エレベーター他 平面詳細図 断面詳細図

縮尺 1:50 1:30

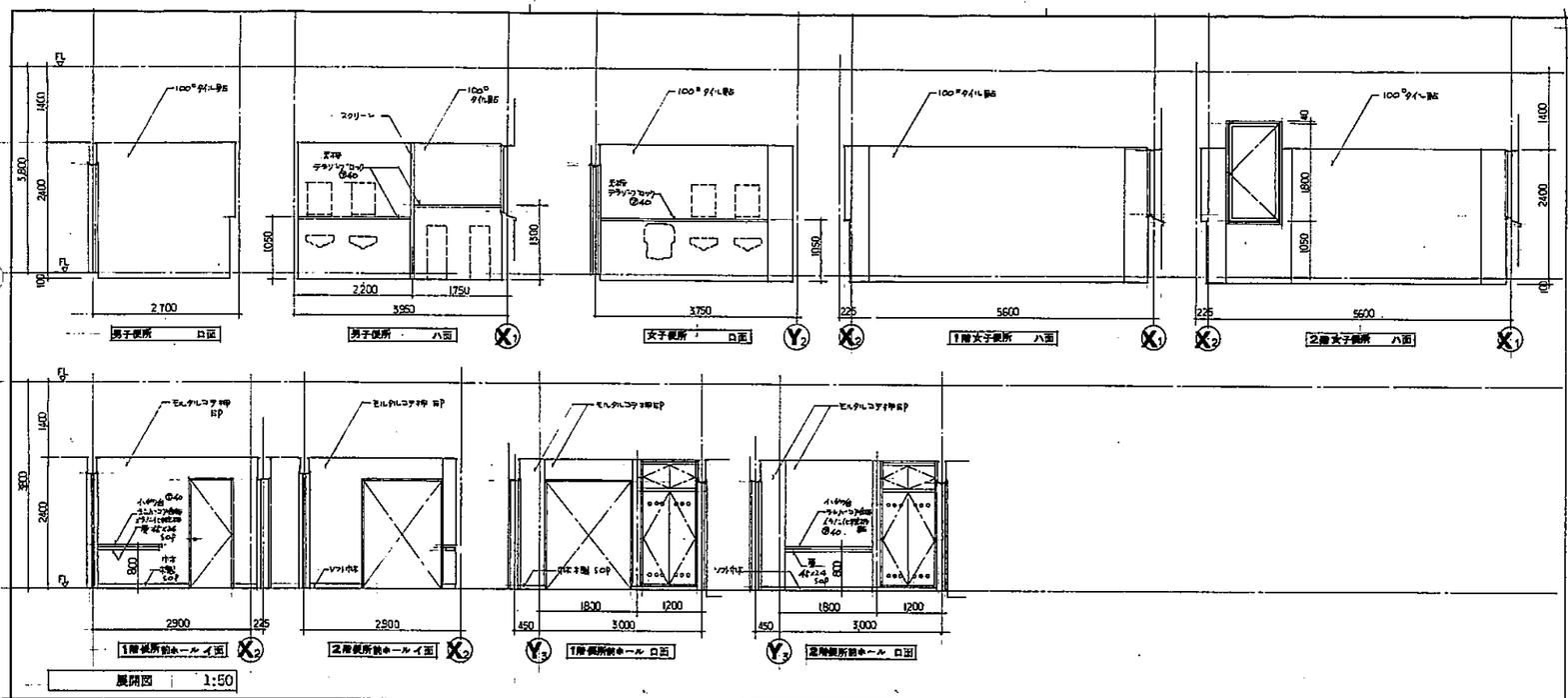
図番 A/19

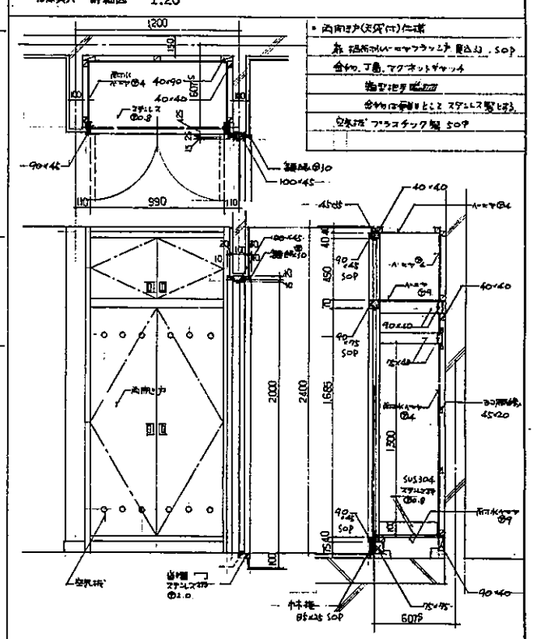


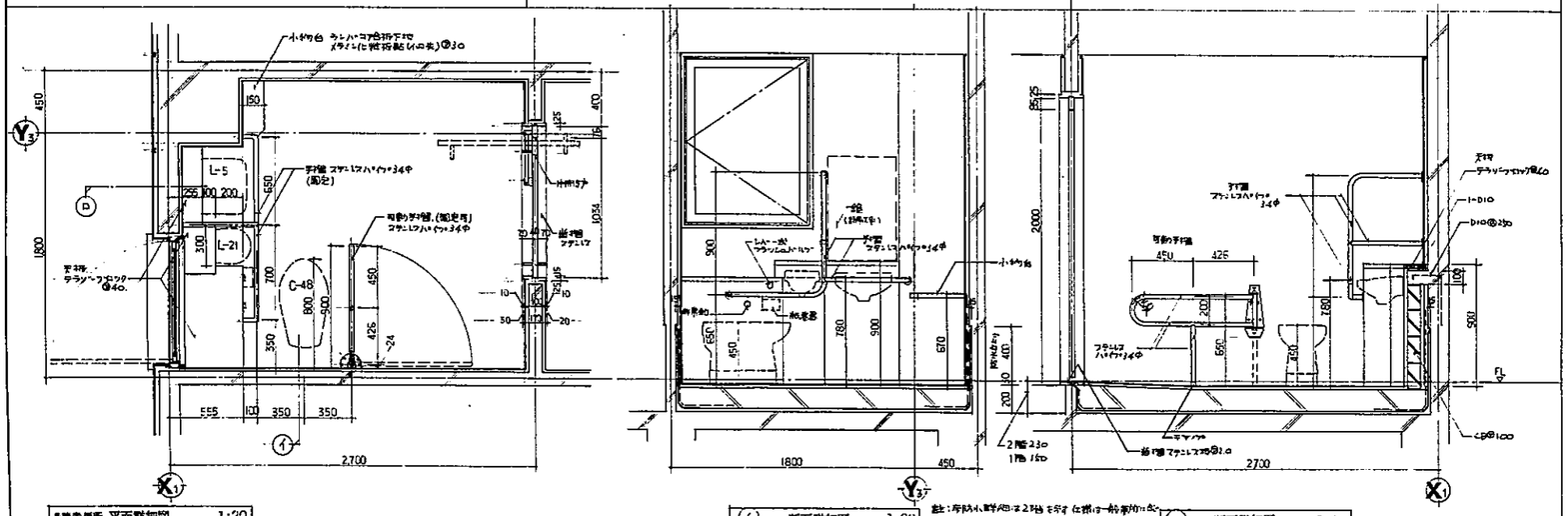
80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1650 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 階段 エレベーター廻.断面詳細図 部分詳細図	図番 A/20
				縮尺 1:20 1:30	

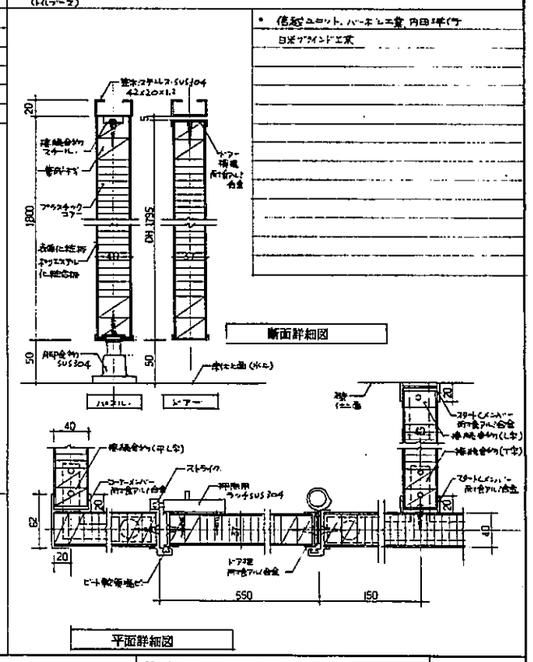


80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 便所 平面詳細図 断面詳細図 / 縮尺 1:50 1:30 / 図番 A/21







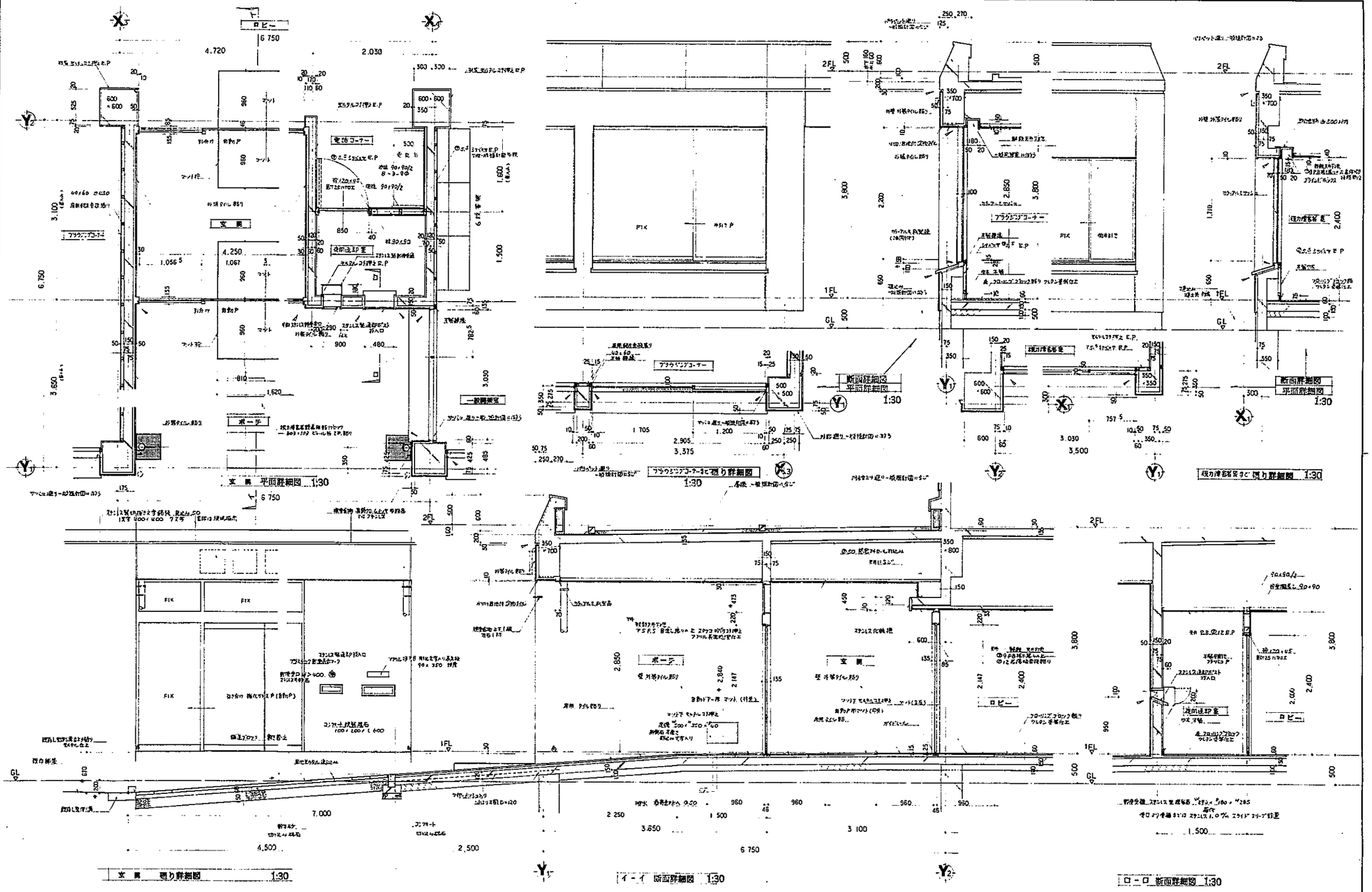


- 便所内装記入のない場合は一般便所の仕様に準ず。
- 内部は H.H.モントラルユニ、エマエルマモドア
- 外部壁 塗仕上塗装 扉 メラミン化粧板 フラッシュ (カラリング)
- 手摺 (国産 号鉄共
- 便器スタンド2ヶ所 SUS304 パフ仕上げ

- 洗面ユニット、ハーモレス天板 内田洋行
- 白系ワンボウル天板

[redacted]

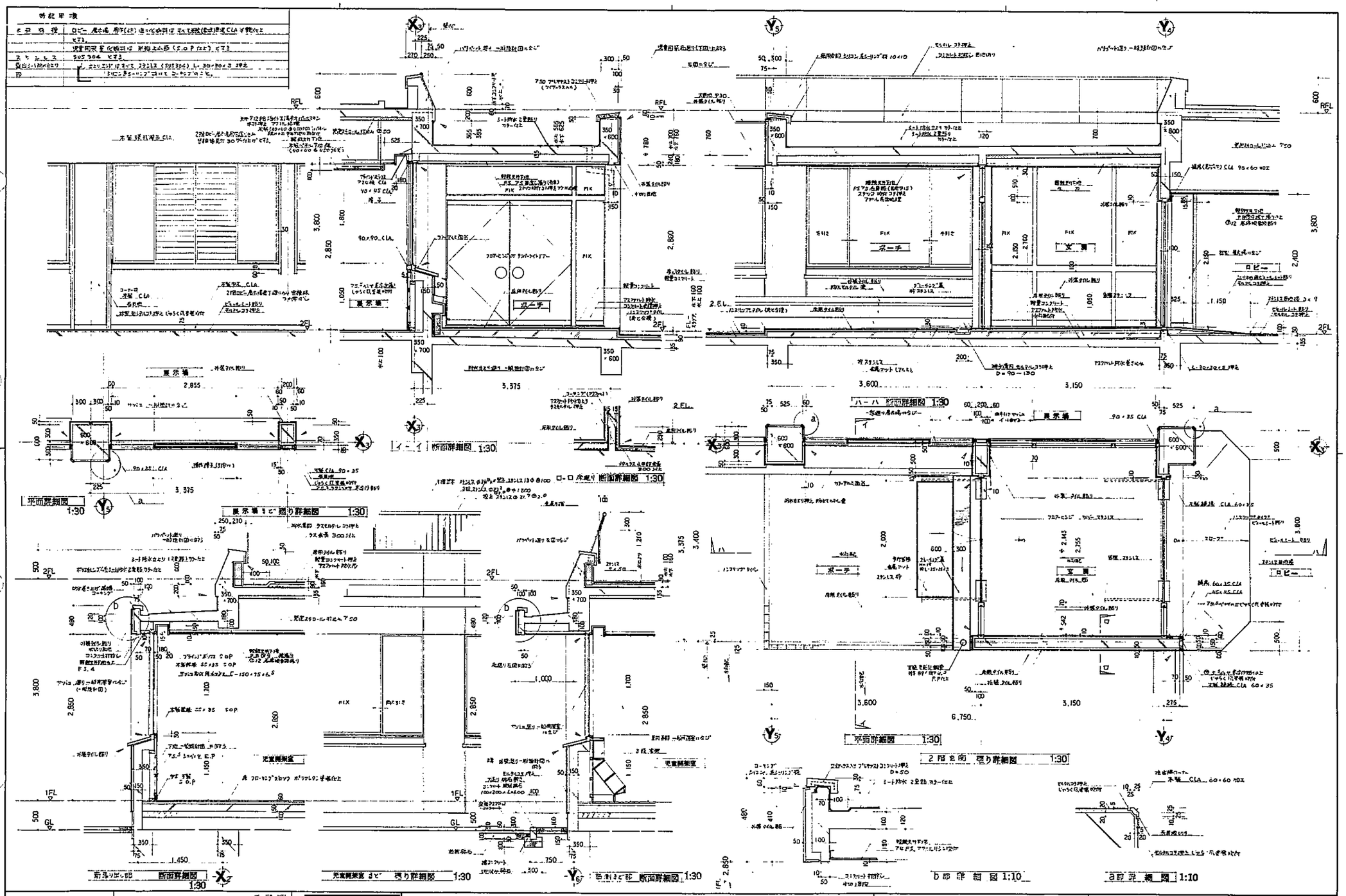
80107	株式会社 栄和設計事務所	一級建築士事務所 愛知県知事登録 第 452・1652 号	名称	(仮称)西石市立[redacted]整備工事	図名 便所 展開図 部分詳細図 / 縮尺 1:50 1:20 1:3 / 図番 A/22



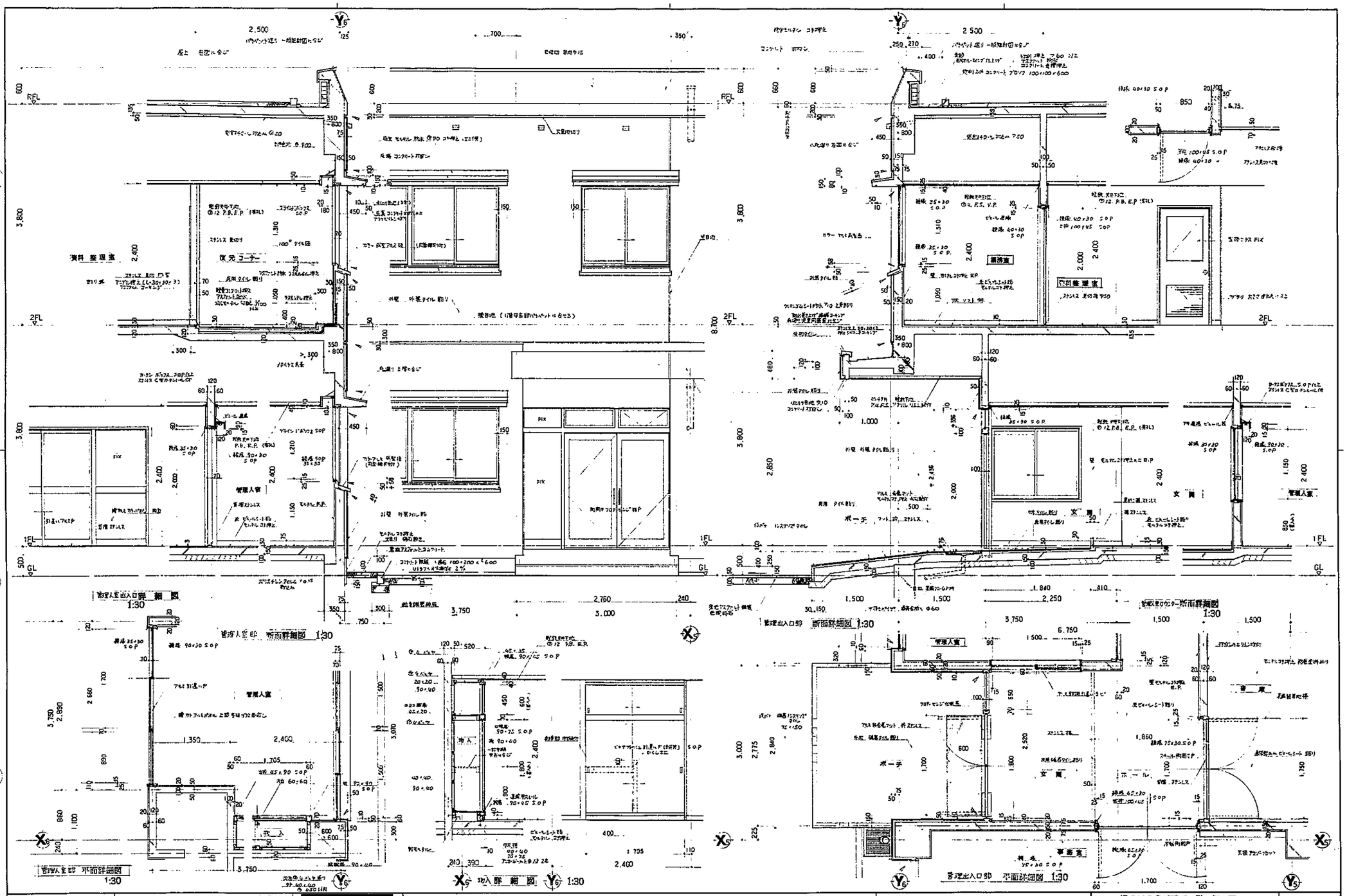
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)宮若市立図書館建設工事	図名 玄関廻り 詳細図 / 縮尺 ブラウジングコーナー・視力検査室まわり 1:30 / 図番 A/23

特記事項

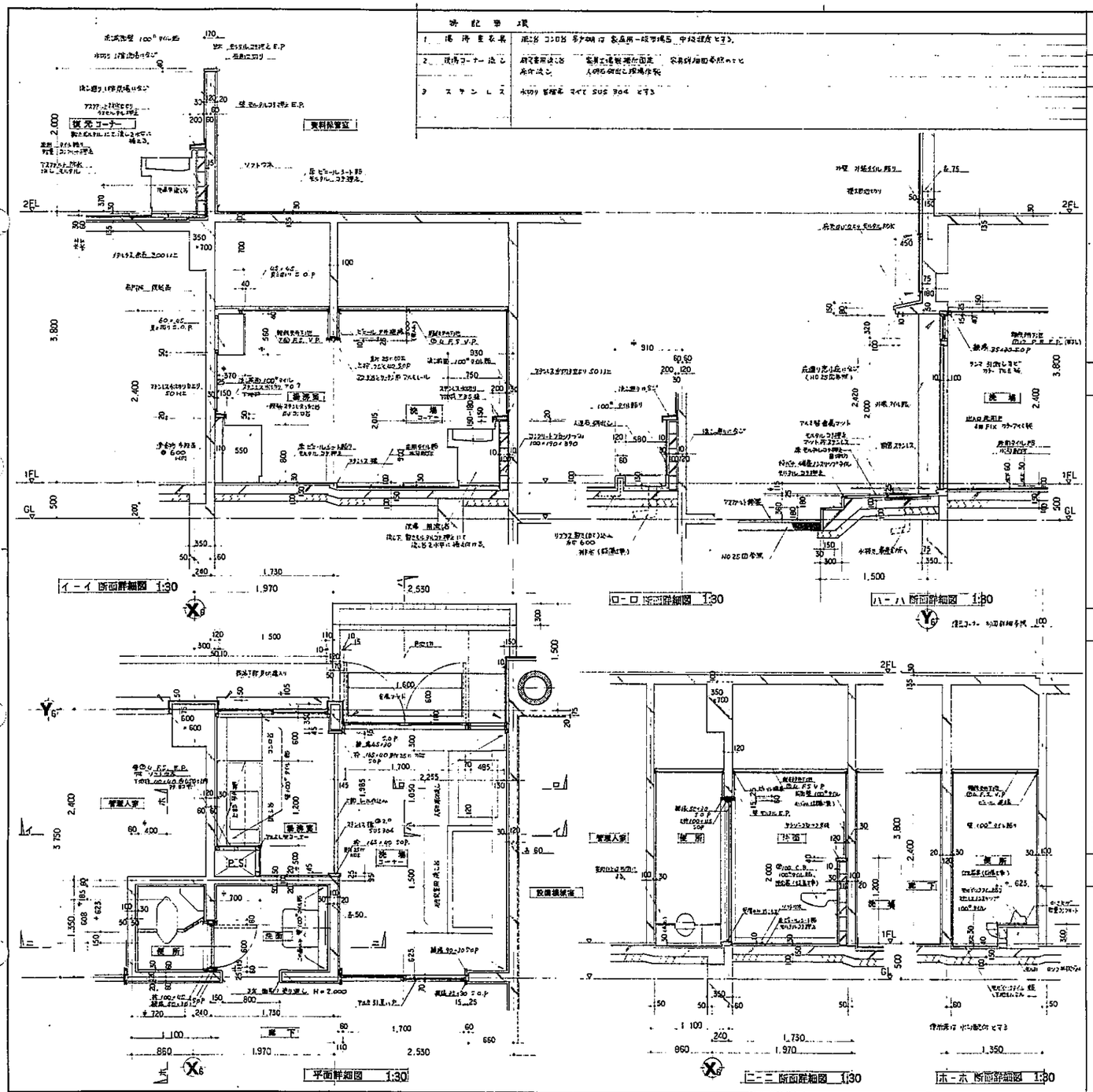
木 工 事	ロビー、展示場、廊下(2F)、便所(女子)は、それぞれ段差解消用床 CLA-4 張りとする。
	その他、児童開架室(保育室)は、段差解消用床(5.0 P 仕様)、とする。
ク ロ ス	SUS 304 とする。
金属パイプ加工	ステンレス 鋼管 STK 23.2 (SUS 304) t=1.20 φ 34.0 とする。
印	シルバーカラーアルマイト Silver とする。



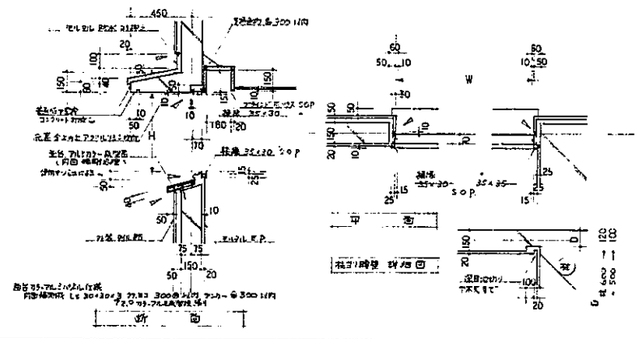
80107	株式会社 栄和設計事務所		名 称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図 名 2階玄関、展示場まど、廻り詳細図 縮 尺 児童開架室まど廻り詳細図 1:30 1:10
				図番 A/24



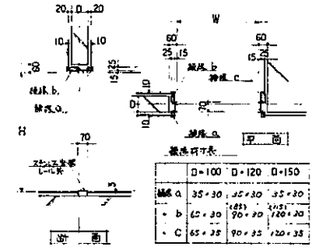
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)新石巻市立図書館建設工事	図名 管理出入口廻り詳細部 詳細図 縮尺 2F復元コーナー 断面詳細図 1:50
				図番 A/25



小 庇 廻り詳細図 1:20

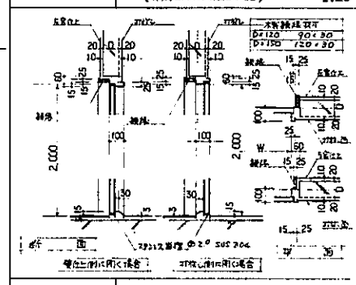


室内アルミ建具 廻り詳細図 1:20

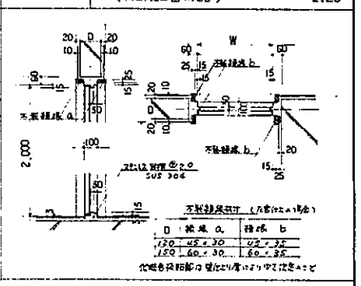


	D=100	D=120	D=150
縦框 a	35×30	45×30	35×30
〃 b	60×30	45×30	70×30
〃 c	65×35	90×35	120×35

鋼製出入口建具 廻り詳細図 (片側コンクリート打設しない場合) 1:20

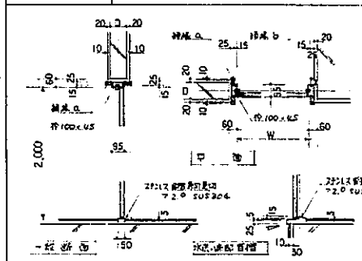


鋼製出入口建具 廻り詳細図 (両側仕上面の場合) 1:20



D	縦框 a	縦框 b
100	40×30	40×35
120	50×30	50×35
150	65×30	65×35

不装止具符 廻り詳細図 1:20



D	縦框 a	縦框 b
100	40×30	40×35
120	50×30	50×35
150	65×30	65×35

注 上部各図は 建具を示す 従って建具種別 取合部材等により 詳細図は 違い 先端部図作成の上 建具の承認を受け 支障なく施工すること。2 見切寸法 基準 各図面欠損部により 詳細寸法を割り増すこと。(上部仕上げまで 約巾 25㎜ の場合を示す)

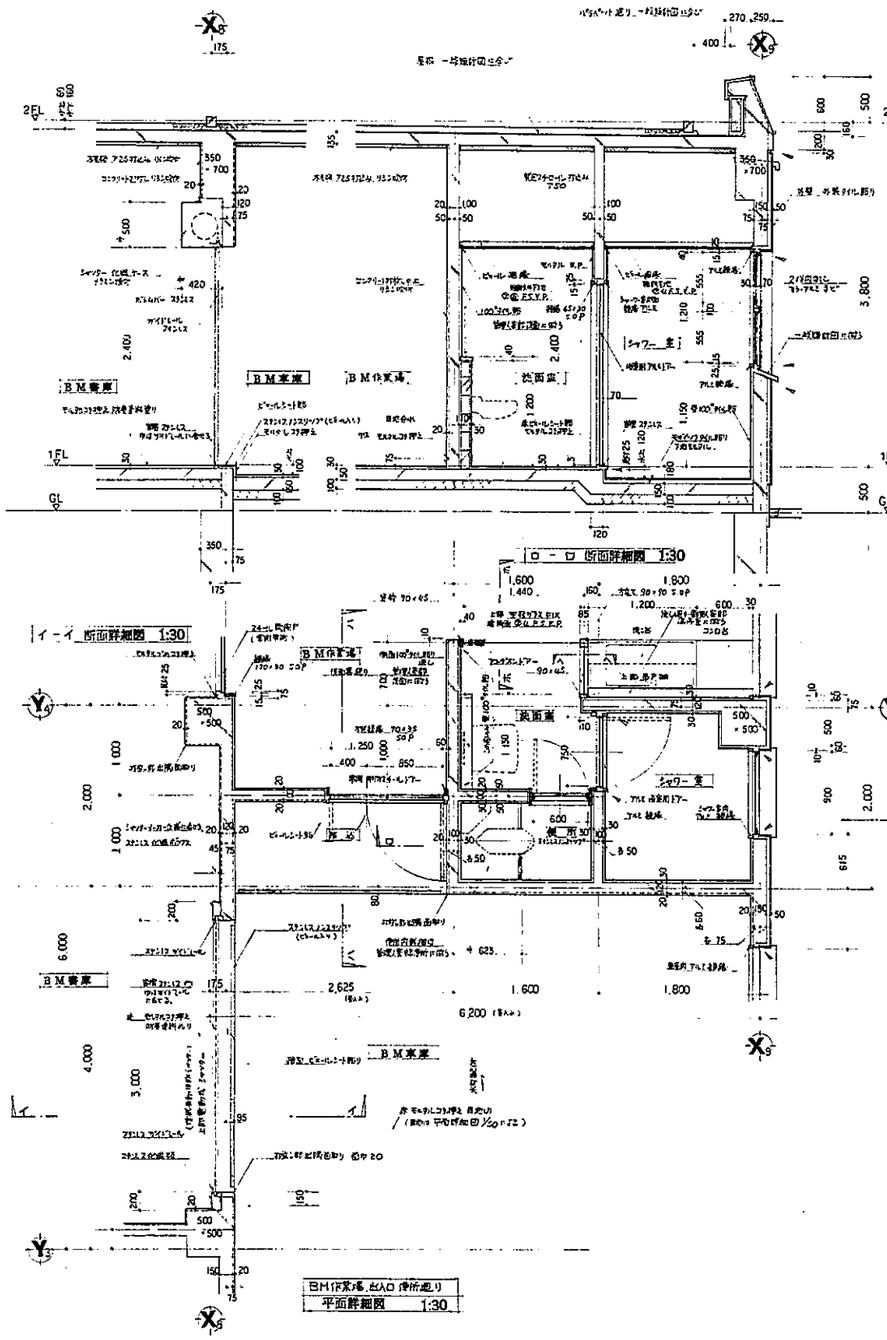
80107

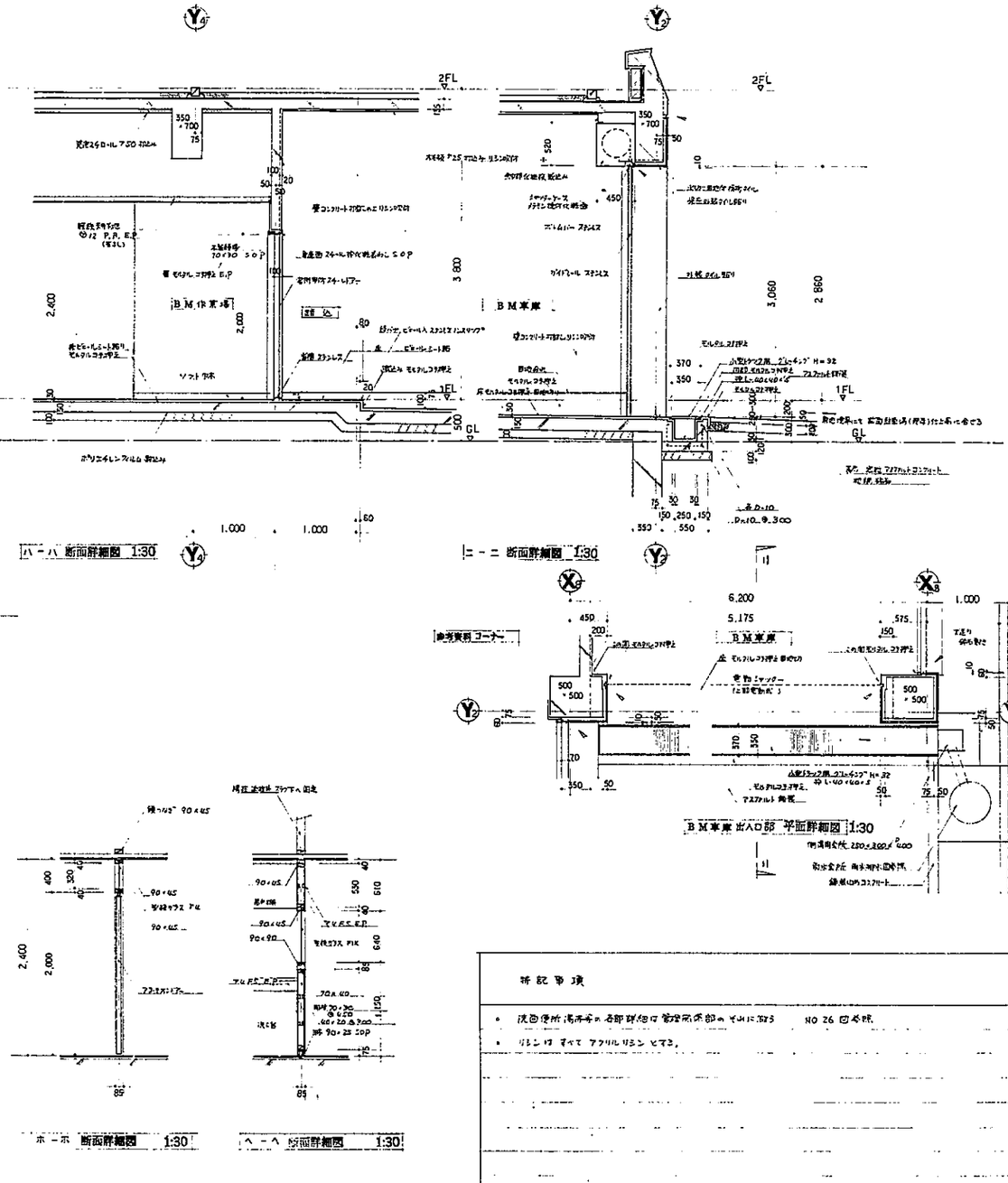
株式会社 栄和設計事務所
[redacted]

名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

図名 管理面低部型 廻り詳細図
縮尺 2F標準コーナー 1:30 1:20

図番 A/26

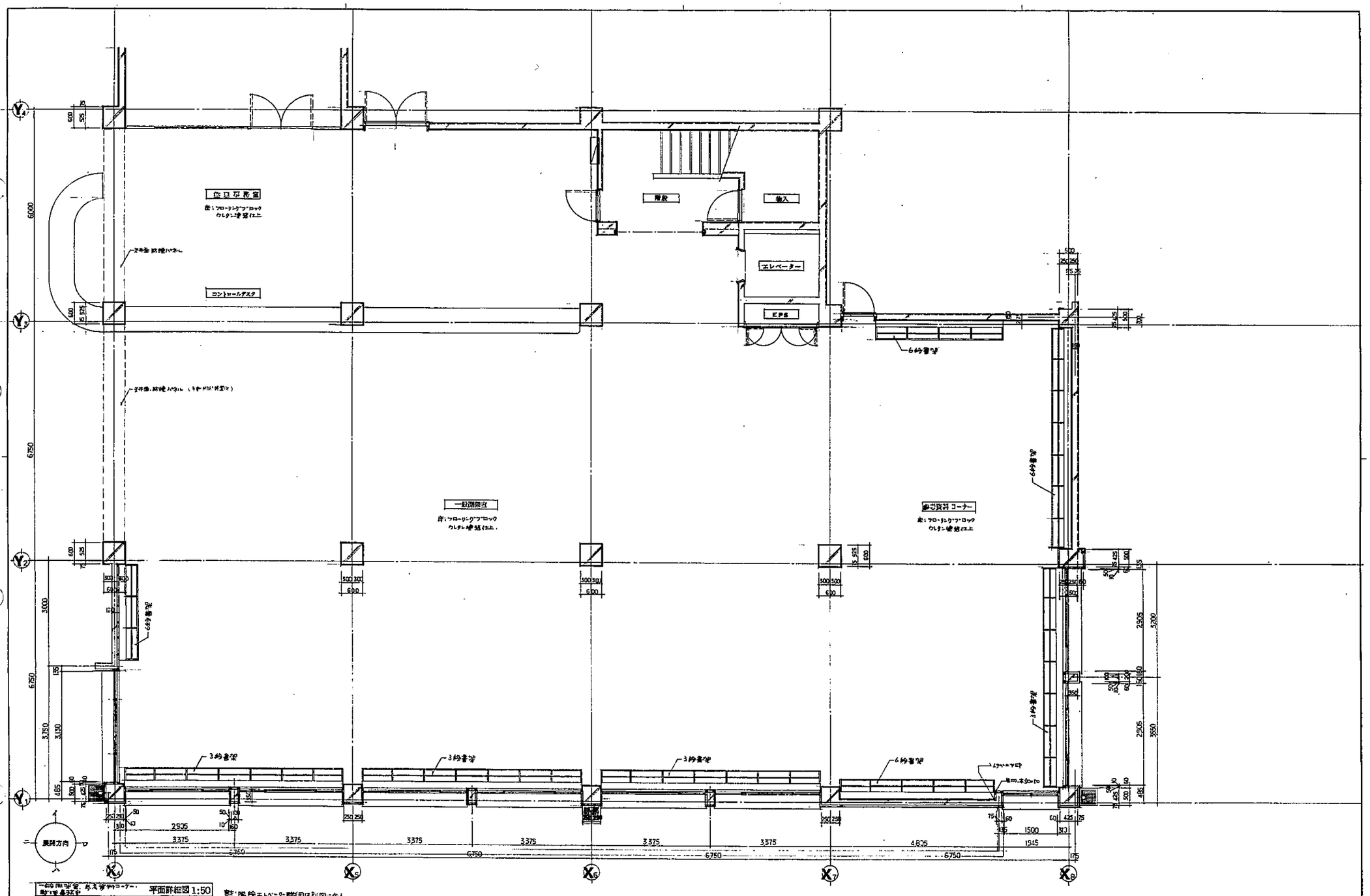




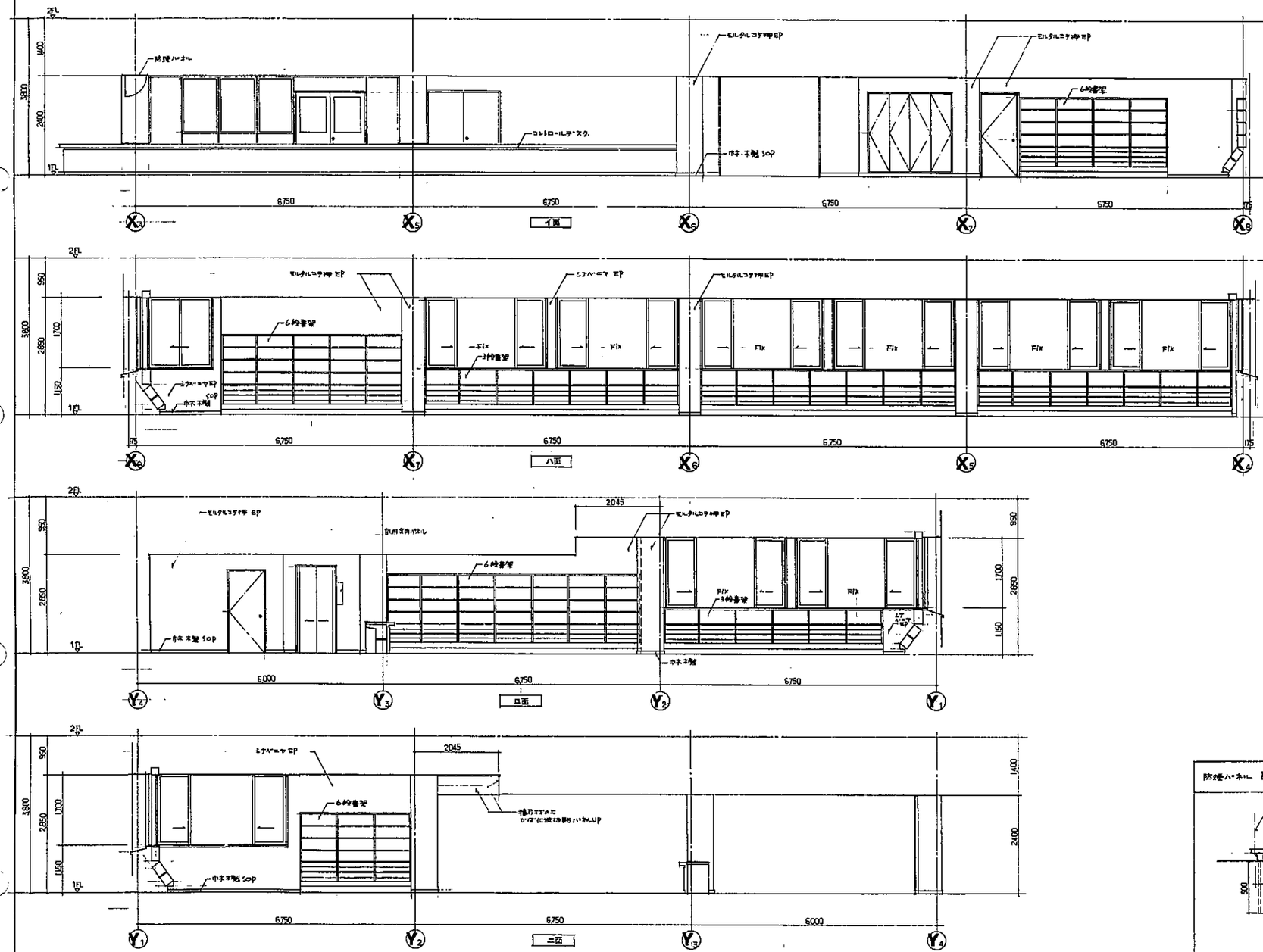
特記事項

- 洗面便所 浴室等の各部詳細は 管理用便部のそれに準ず NO 26 図参照
- 塗装は すべて アクリル樹脂 とする。

80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 BM車庫及びBM作業場 廻り詳細図	図番 A/27
			縮尺 1:30	

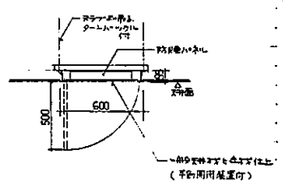


80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館改修工事	図名 管理事務室,一般閲覧室,参考資料コーナー 縮尺 平面詳細図 1:50 図番 A/28



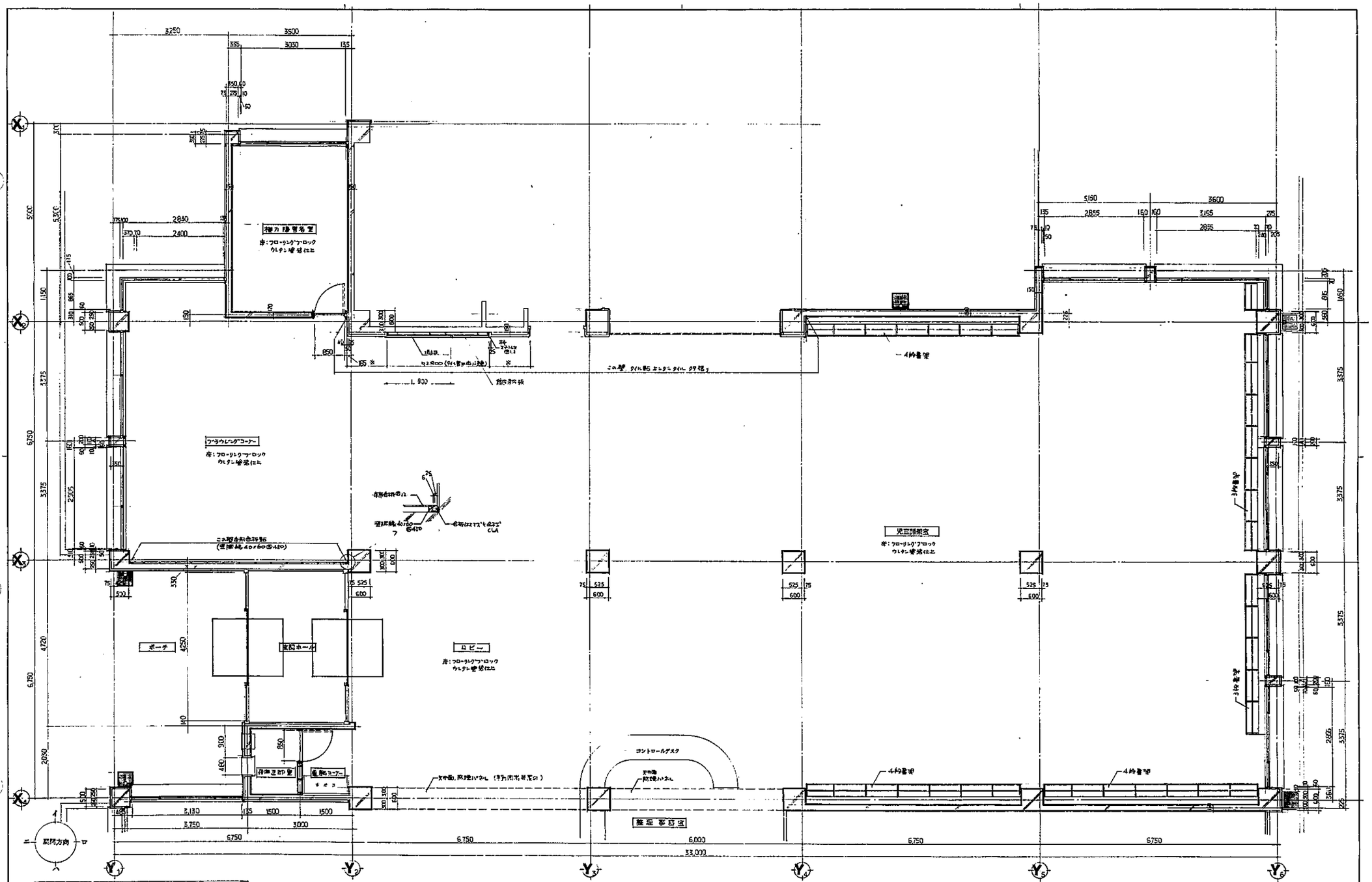
一般閲覧室、参考資料コーナー、管理事務室　平面詳細図：1:50

防護パネル　詳細図　1:20



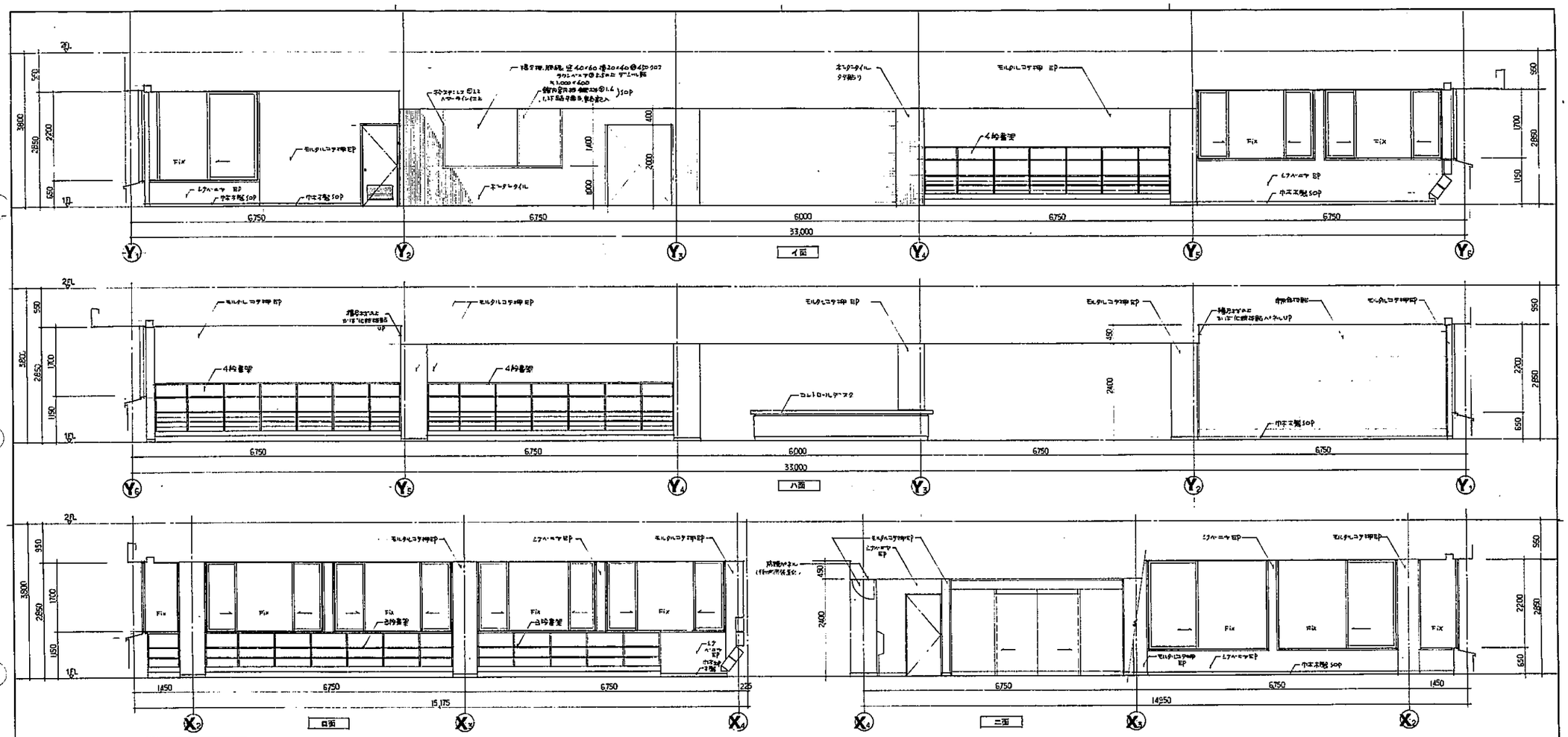
- 三室ロビーカーテン壁H=1.1m、U形防護パネル(BP)
  受付シャッター　自動シャッター　仕上式当
- ニ室(閲覧室)と他の諸室との遮音間仕切壁等は
  天井裏に含む
- 詳細その他はメーカーに問い合わせ

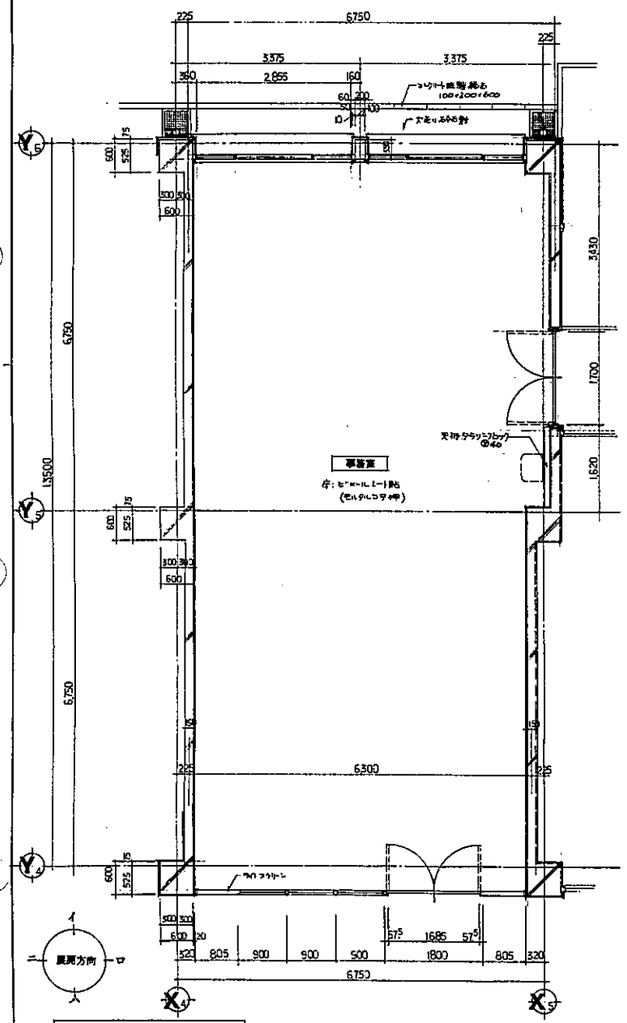
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (新築)高石市立図書館建設工事	図名 基準詳細図 一般閲覧室、参考資料コーナー 縮尺 展開図 部分詳細図 1:50 1:20
				図番 A/29

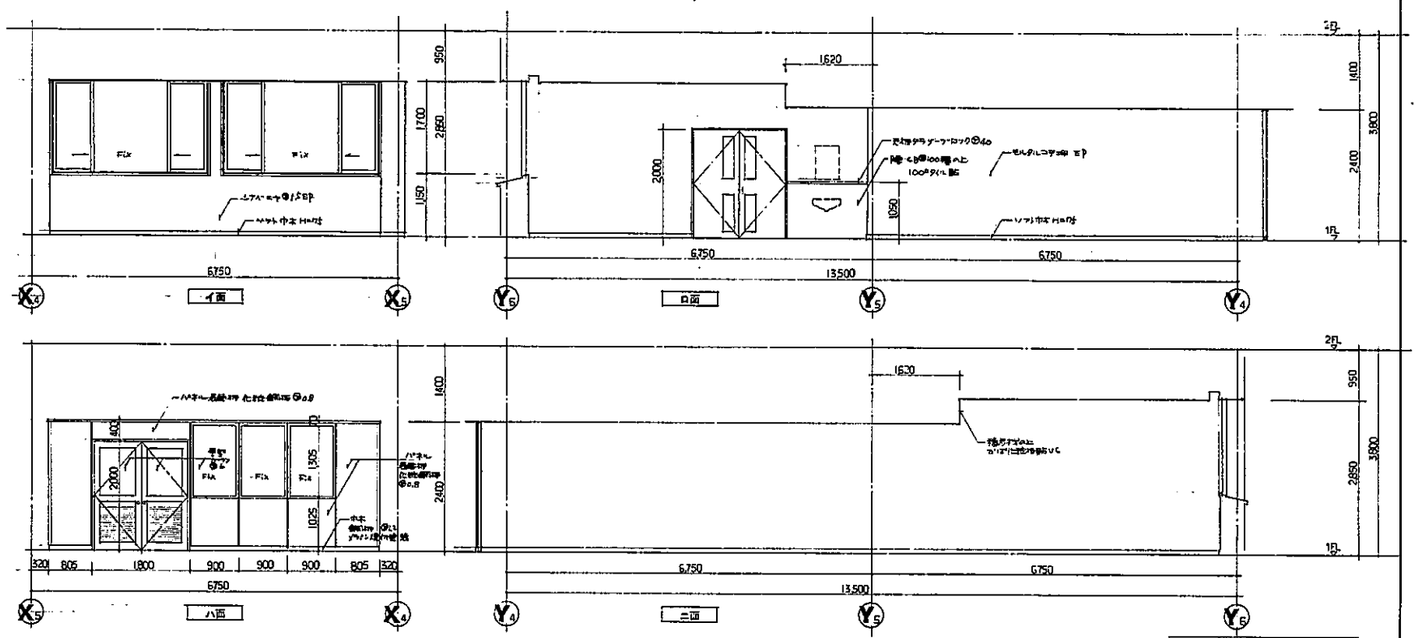


和力隊員事務室
フラウンジコーナー・ロビー・児童閲覧室　平面詳細図

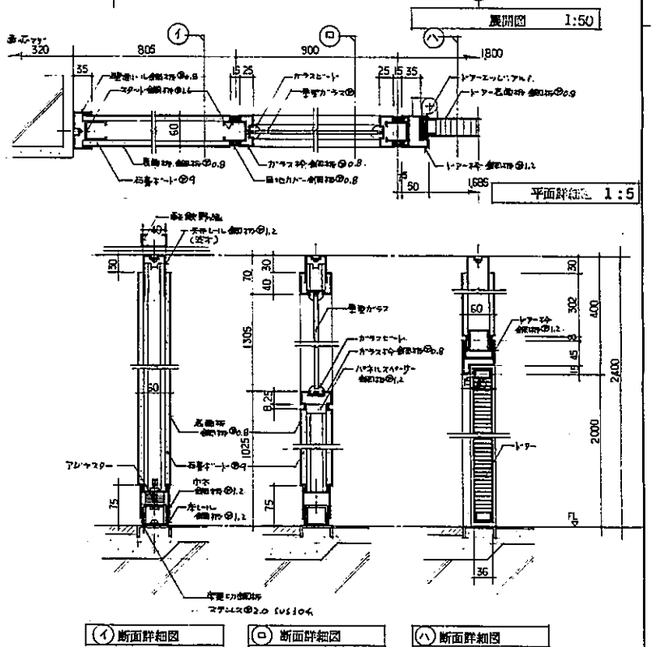
80107	株式会社 栄和設計事務所	一級建築士登録第23150号 小泉 孝重	名称 (仮称)高岡市立福岡図書館建設工事	図名 児童閲覧室・ロビー・フラウンジコーナー・和力隊員事務室	図番 A/30
				縮尺 平面詳細図 1:50	


2FL
1FL
3800
2850
2200
650
Fix
モルタルコテ押え
ホウキ目
ホウキ目 50φ
ホウキ目 50φ
ホウキ目 50φ

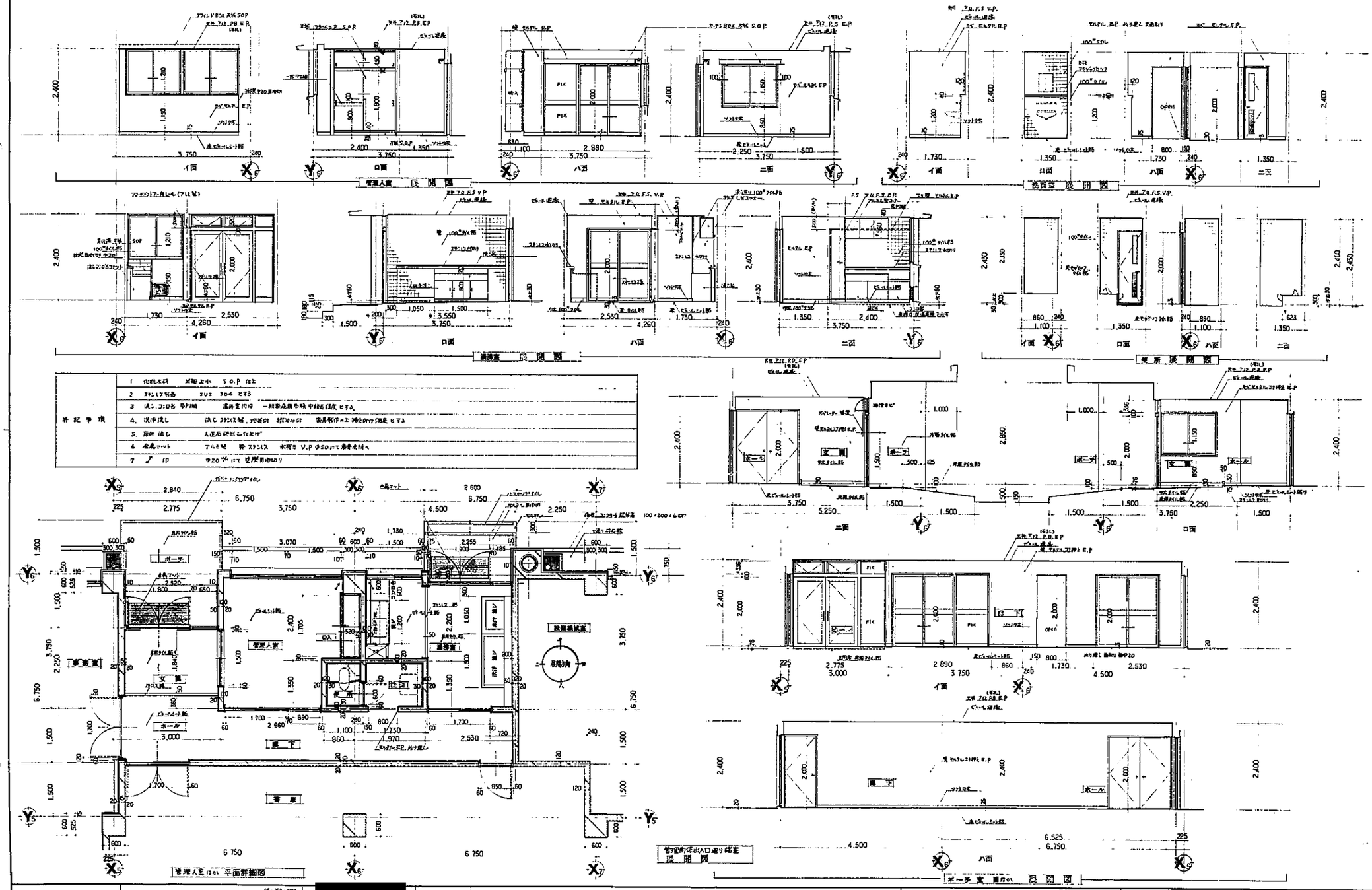




	ライトスクリーン仕様
	メーカー名 内田洋行 日新カーテンウォール 三喜商事 同等以上
参考仕様	○ ハネール （名称仕様）
	表面材ポーセル樹脂塗装@0.8、裏材ちがポー 石膏ボード@9
	○ 中木 （ 〃 ）
	塗装@1.2 メラミン焼付塗装
	○ 笠木(天板ール) （ 〃 ）
	塗装@1.2 メラミン焼付塗装
	○ スタッド （ 〃 ）
	亜鉛めっき鋼板t@1.6
	○ トーヤ枠 （ 〃 ）
	塗装@1.2、メラミン焼付塗装
	○ ガラス枠 （ 〃 ）
	塗装@0.8、メラミン焼付塗装
	○ トーヤー （ 〃 ）
	表面材ポーセル樹脂塗装@0.8、ポポラー ロールコアー
	補強材ポー塗装@1.6、エッチャーアルミ複合材ポポアルミ仕上
	自動ドアーセンサー、フランス落し、ドアーロック、ドアーチェック

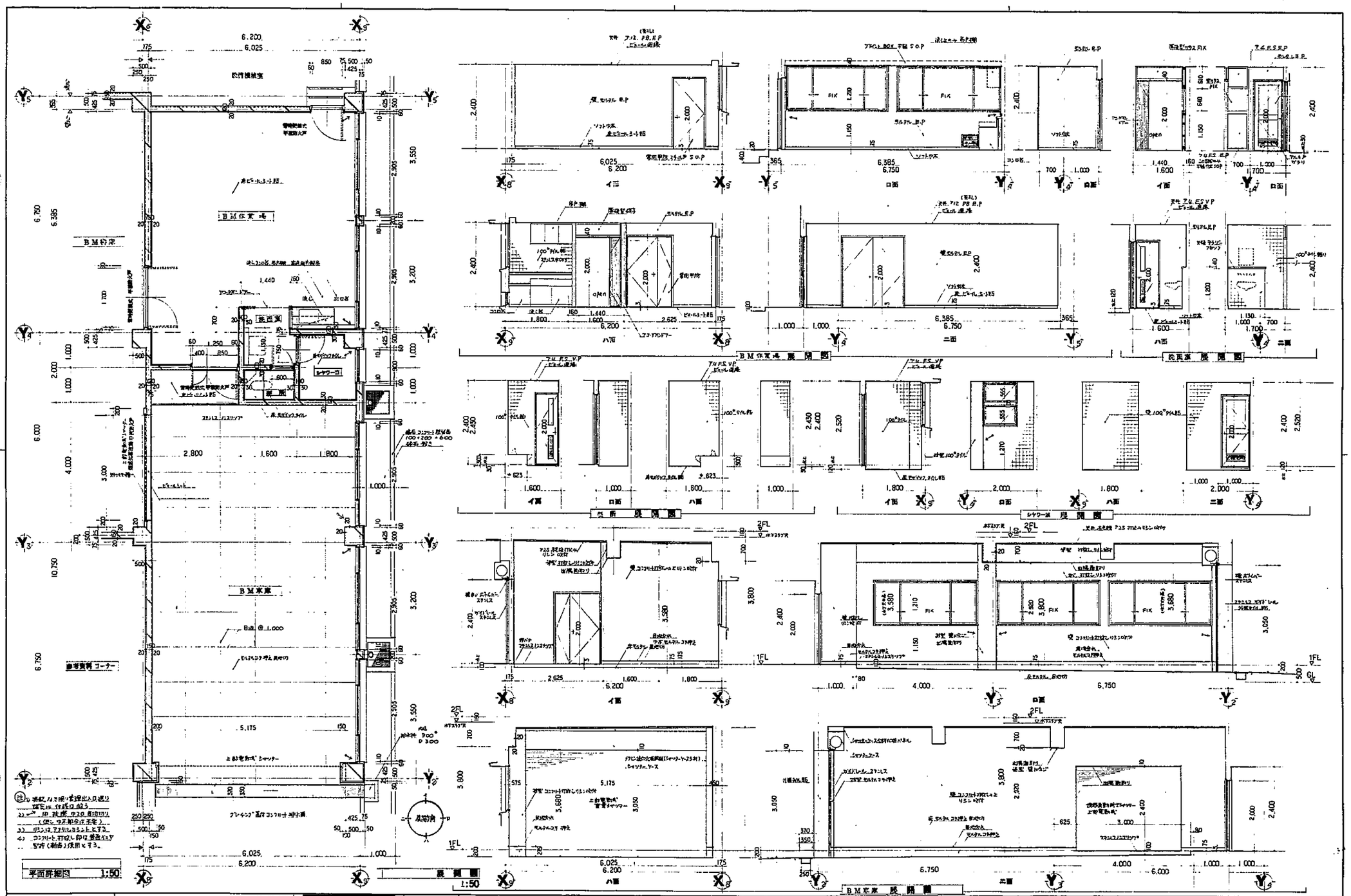


80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館新築工事、	図名 事務室 平面詳細図 展開図 部分 詳細図 縮尺 1:50 1:5
				図番 A/32



特記事項	1	化粧木枠　断面寸法　5.0.P 位上
	2	ステンレス製品　SUS 304 とする
	3	床シンコロ等　溝断面図は　一般部及開口部、中間部位とする。
	4	現場流し　流し ステンレス製、内部仕上　打放しVP　表長断仕上 端2cm下隅定とする
	5	扉仕 流し　人造石研出し仕上げ
	6	金属マット　アルミ製　枠 ステンレス　床開き V.P φ50 ㎜ 排水先枠へ
	7	ﾀｲﾙ　φ20 ㎜ 目地 黒目地切り

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)吹石市立図書館建設工事	図名 管理出入口通り雨屋 平面詳細図 展開図 / 縮尺 1:50 / 図番 A/33



80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 BM収集場 平面詳細図 展開図	図番 A/34
				縮尺 1:50	

注) ・コンクリート打放しは 普通ポルトランド型特 (新品) 使用とする。
打設は 中20 ㎜ 目荒りし (コンクリート壁アゴ100 ㎜) 下地調整とし
リシンは アクリルリシンとする。
・屋前面床面は 水下 5 ㎝とする。

八面

二面

イ面

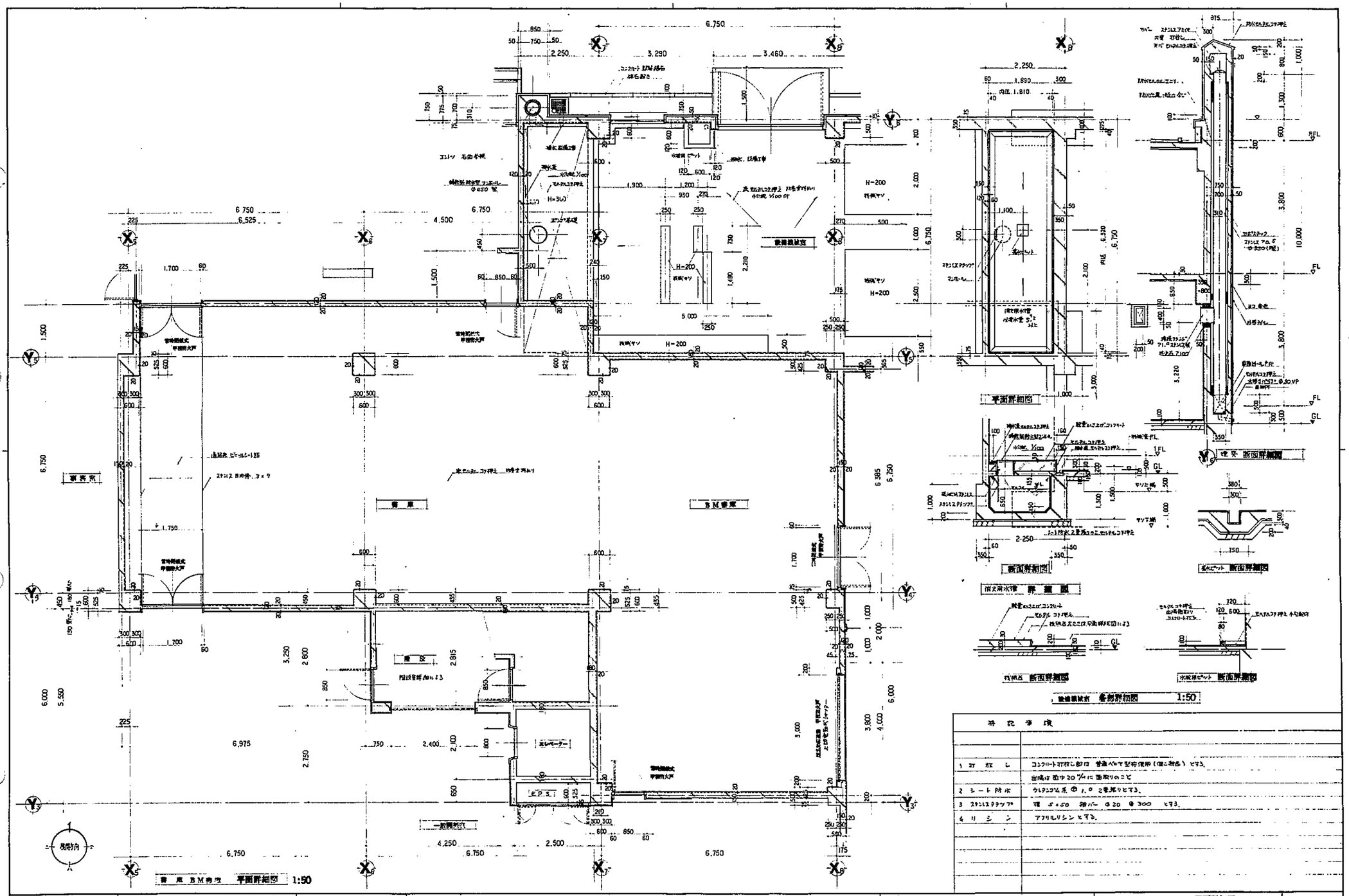
ロ面

展開図 1:50

設備機械室 平面詳細図 1:50

設備機械室外部出入口 廻り詳細図 1:30

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立同寺前建設工事	図名 設備機械室 平面詳細図 展開図 縮尺 各部詳細図 1:50 1:30
					図番 A/35



特記事項	
1 打放し	コンクリート打放し部は 普通ベルモ型枠使用（型に制限）とする。
	出隅は面中20 ㎜に面取りのこと
2 シート防水	ウレタンゴム系 ㎡当り 2.0 ㎏塗りとする。
3 ステンレスクラッブ	種 SUS 幅 150 厚 t 2.0 @ 300 とする。
4 リシン	アクリルリシンとする。

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 倉庫 BM倉庫 平面詳細図 / 縮尺 各部詳細図 1:50 / 図番 A/36

倉庫 BM倉庫
断面詳細図 展開図
1:50

一面

二面

八面

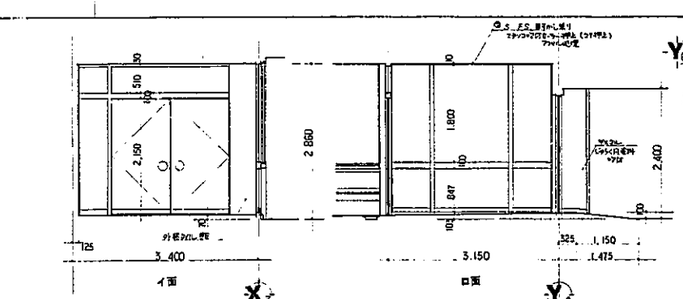
四面

倉庫 BM倉庫
展開図 1:50

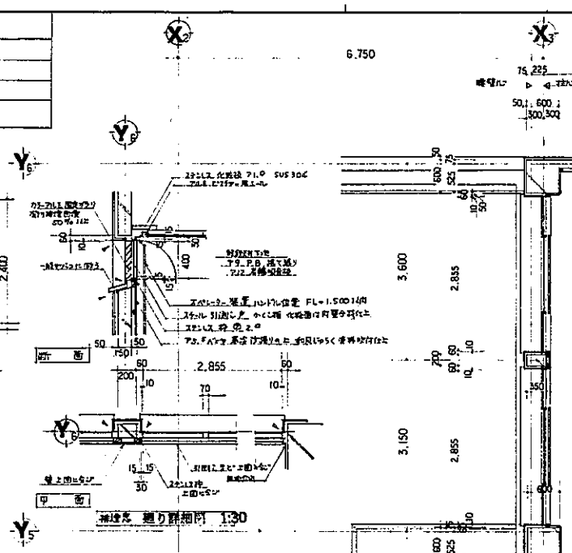
80107	株式会社 栄和設計事務所 05・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	名称	(仮称)高石市立図書館新築工事
		図名	倉庫 BM倉庫 断面詳細図 展開図
		縮尺	1:50
		図番	A/37

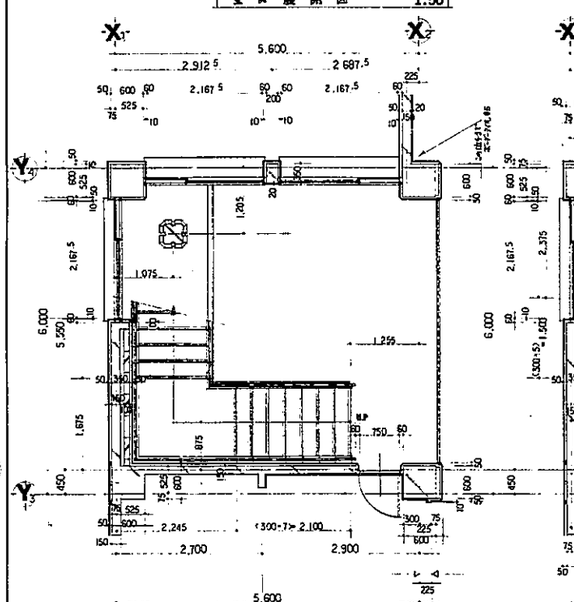
特記事項

使用木材	下地材	構造 1 h
	化粧材	ロビー、ホール(展示場)廊下の見え掛り化粧材 (羽目板張 荷重り 幅木 腰壁 腰3面 ラワンプロの木)
		は すべて 難燃(準不燃)処理とし 仕上げは CLA 塗装仕上とする。

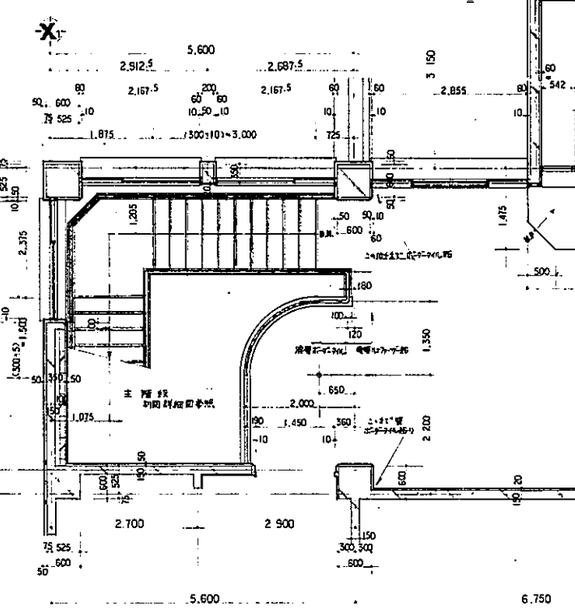


玄関展開図 1:50

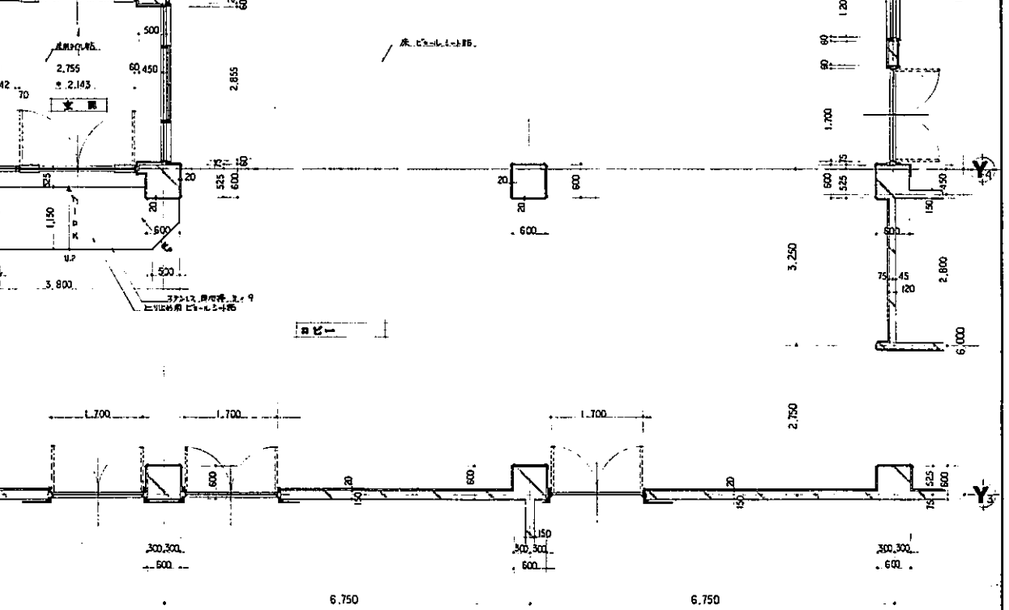




主階段(1F) 平面詳細 1:50

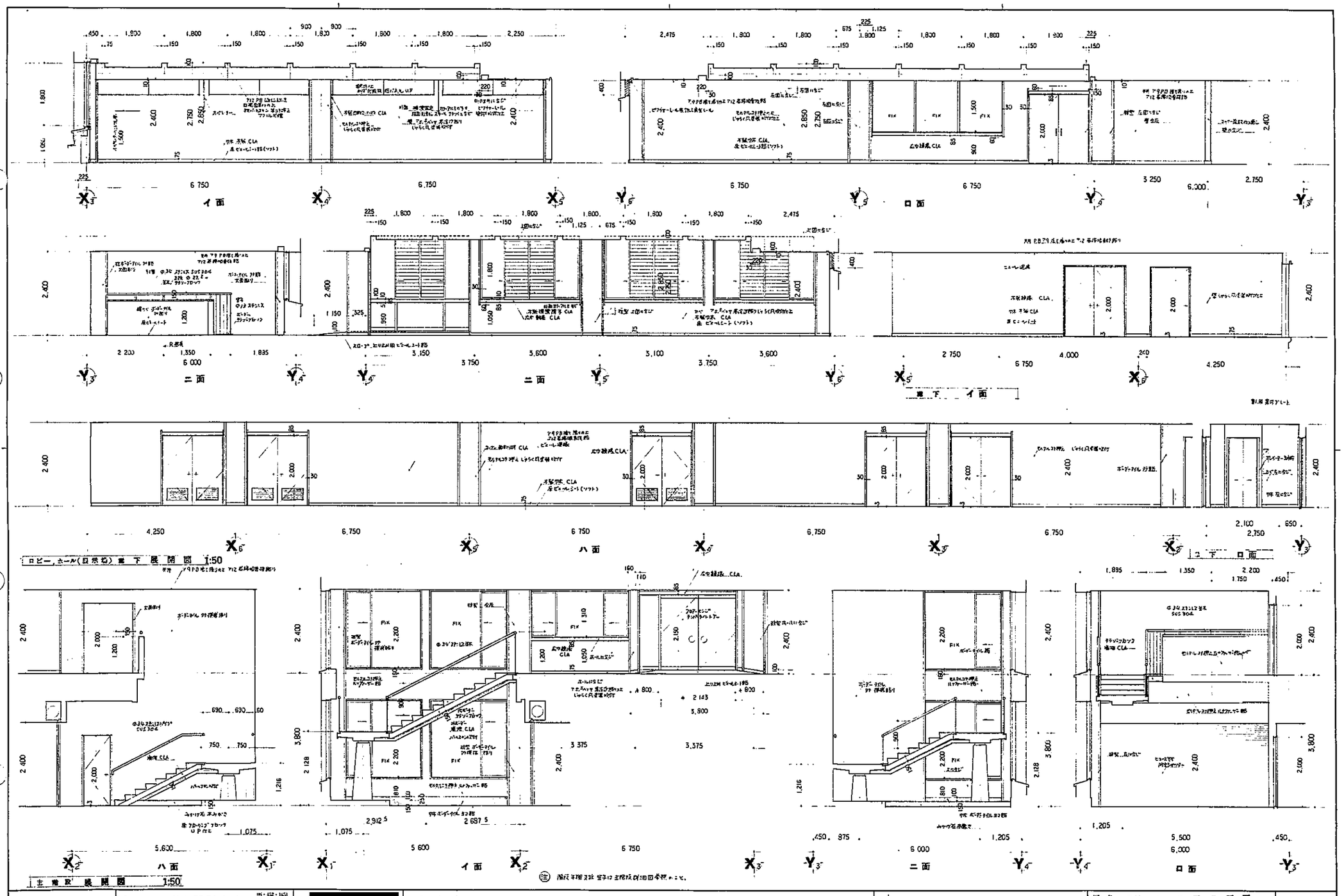


主階段(2F) 平面詳細図 1:50

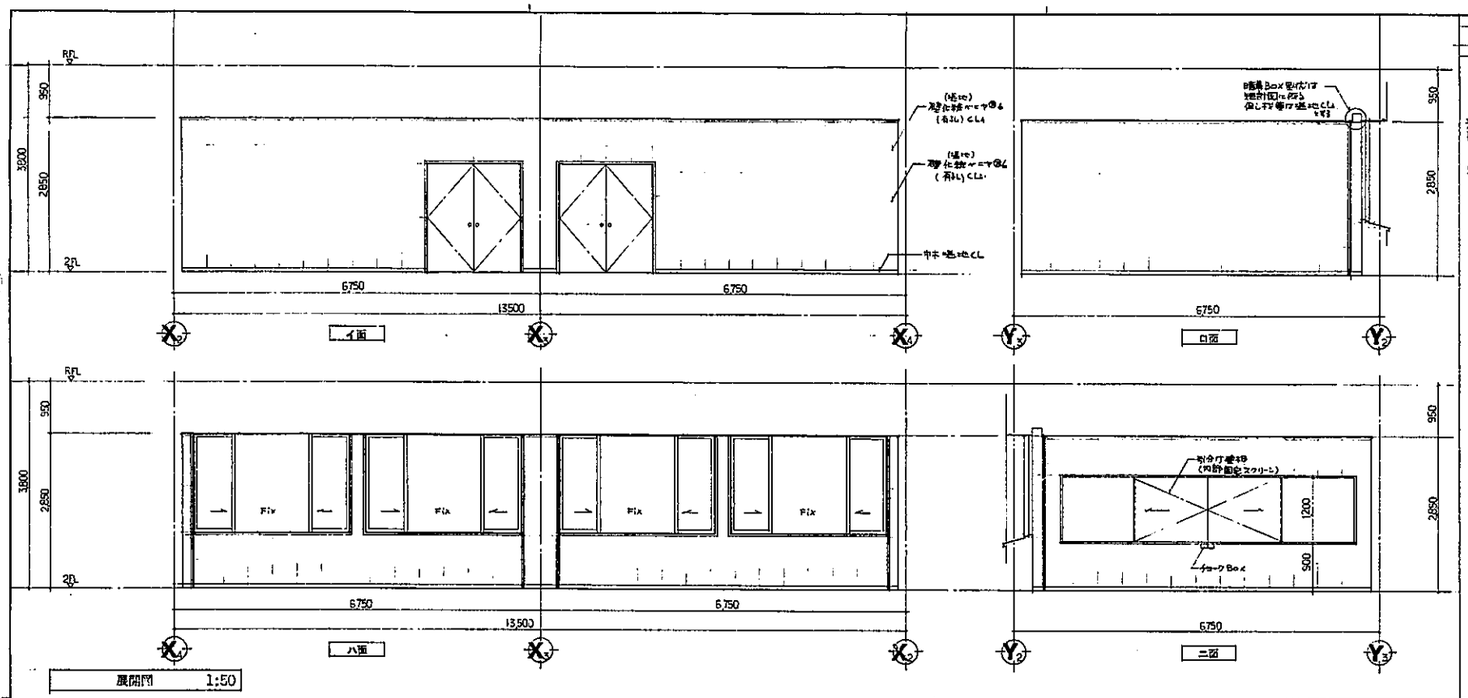


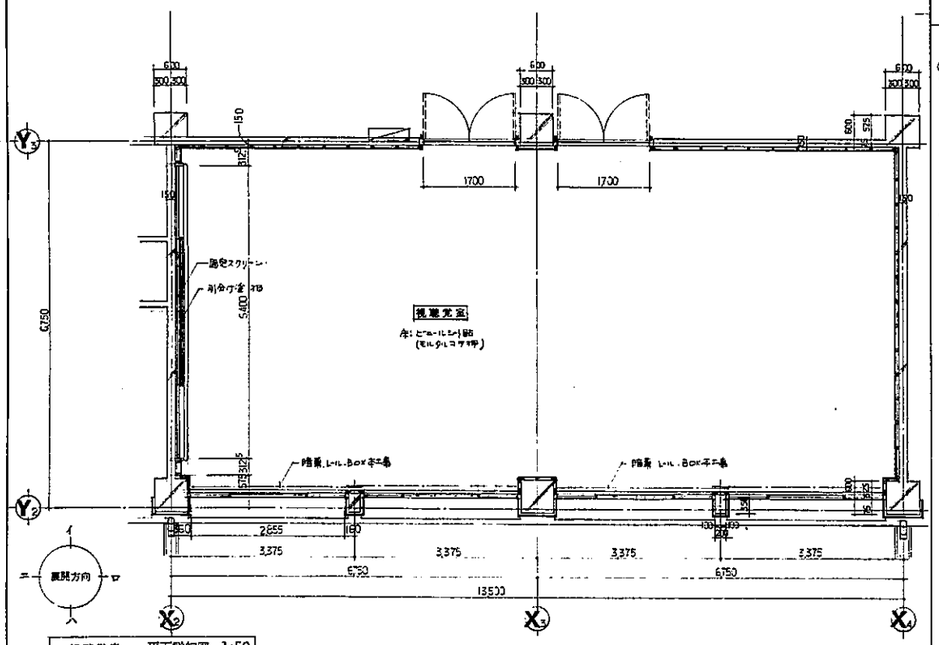
玄関ロビー ホール 平面詳細図 1:50

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 玄関ロビー ホール(展示場) 縮尺 階段 平面詳細図 展開図 1:50 1:30 図番 A/38

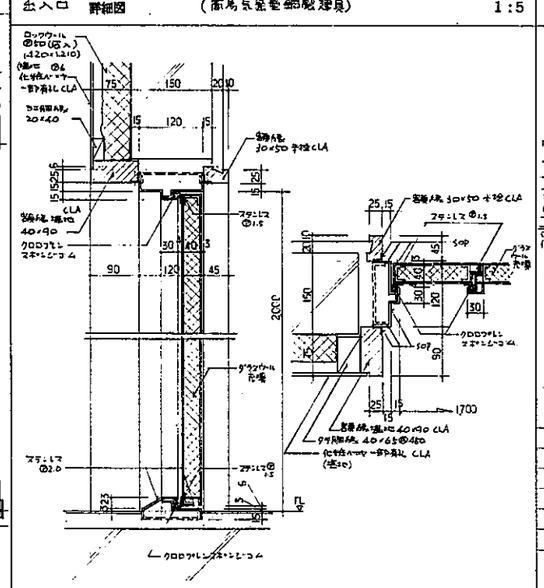


80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)宮若市立図書館建築工事	図名 ロビー、ホール、廊下展開図 縮尺 主階段展開図 1:50	図番 A/39

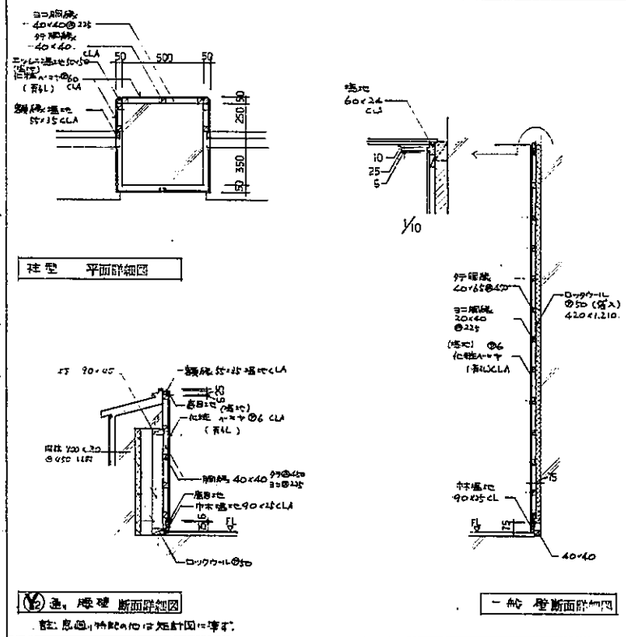




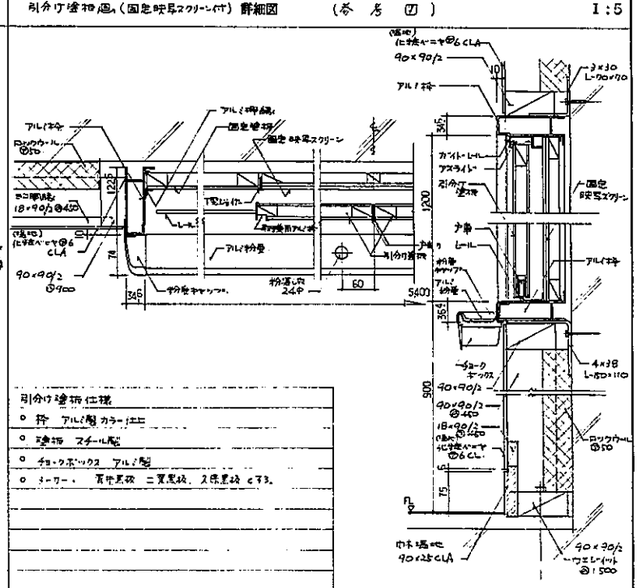
出入口 詳細図 (簡易気密電動遮音扉) 1:5



壁仕上 詳細図 1:20



引分け壁仕様(固定吸音スクリーン付) 詳細図 (各所図) 1:5



引分け壁仕様
- 枠 アルミ製 カラーは上
- 天板 スチール製
- チョークボックス アルミ製
- メーカー 吉野製作所 二葉製線 又は同等とする。

80167	株式会社 栄和設計事務所		名称	(仮称)[redacted]新築工事	図名 視聴覚室 平面詳細図 展開図 部分 詳細図
					縮尺 1:10 1:20 1:50 1:5
					図番 A/40

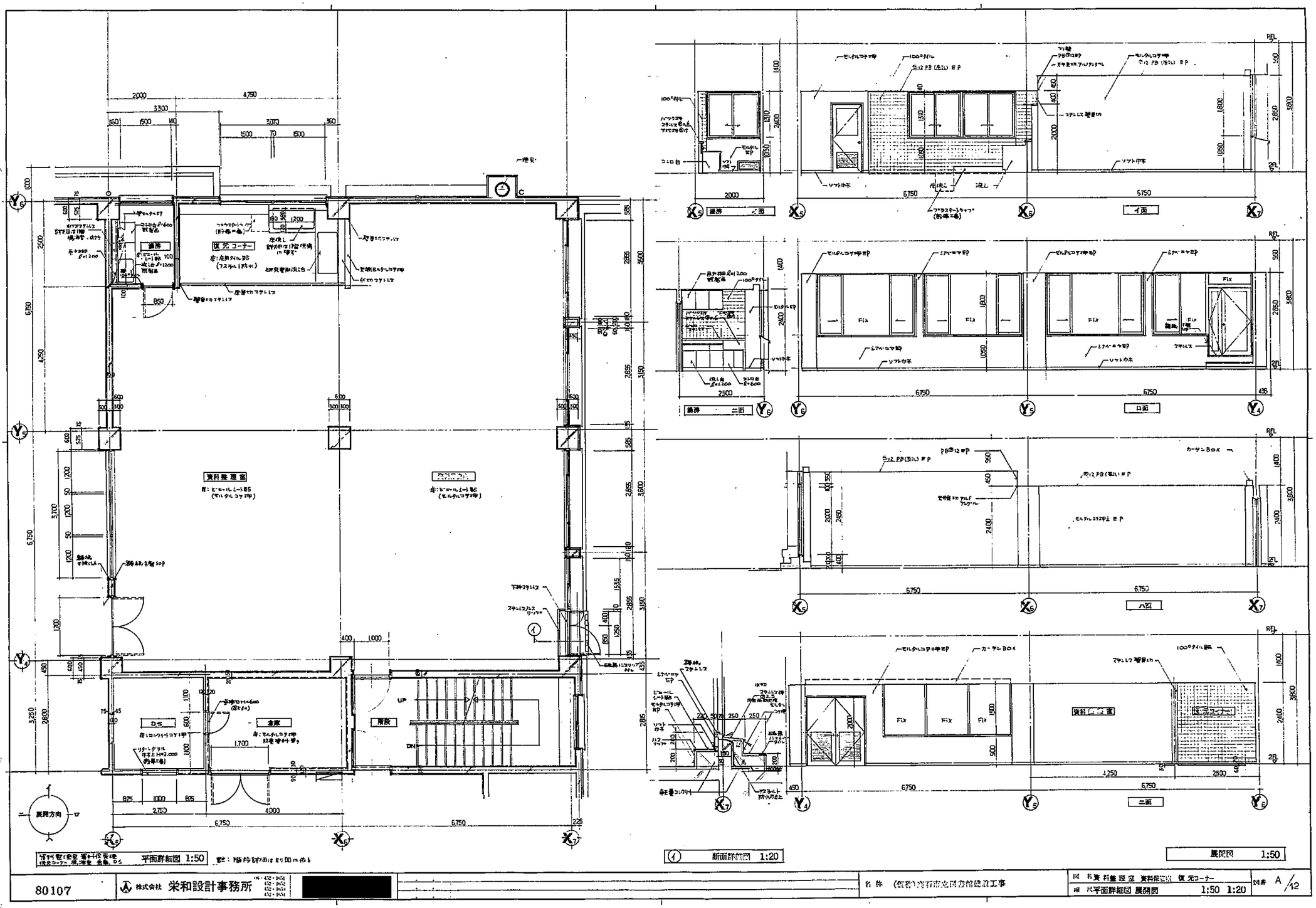
壁(エ)　詳細図　1:20

展開図　1:50

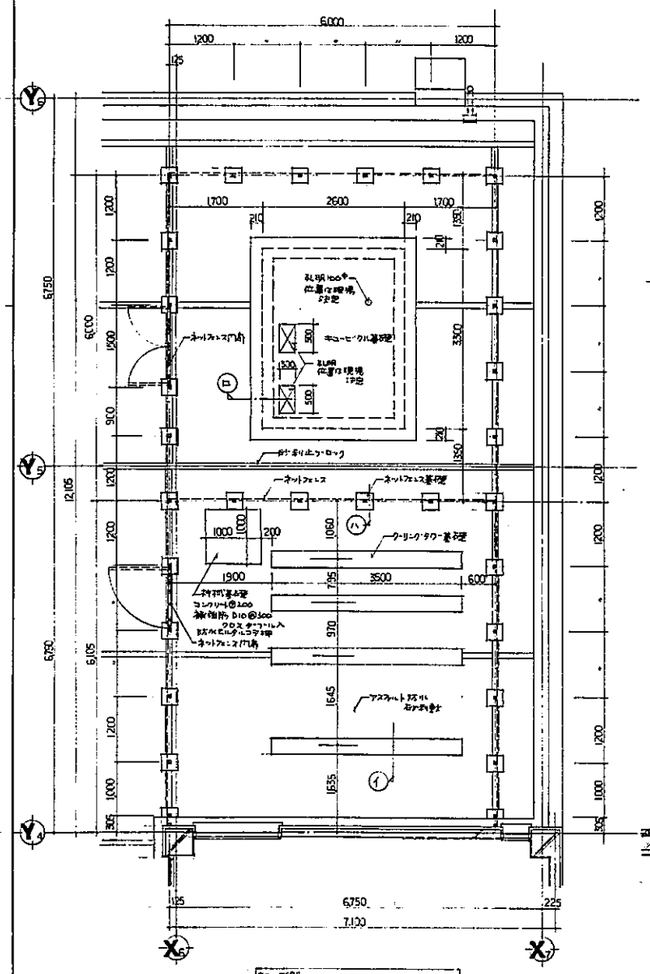
平面詳細図　1:50

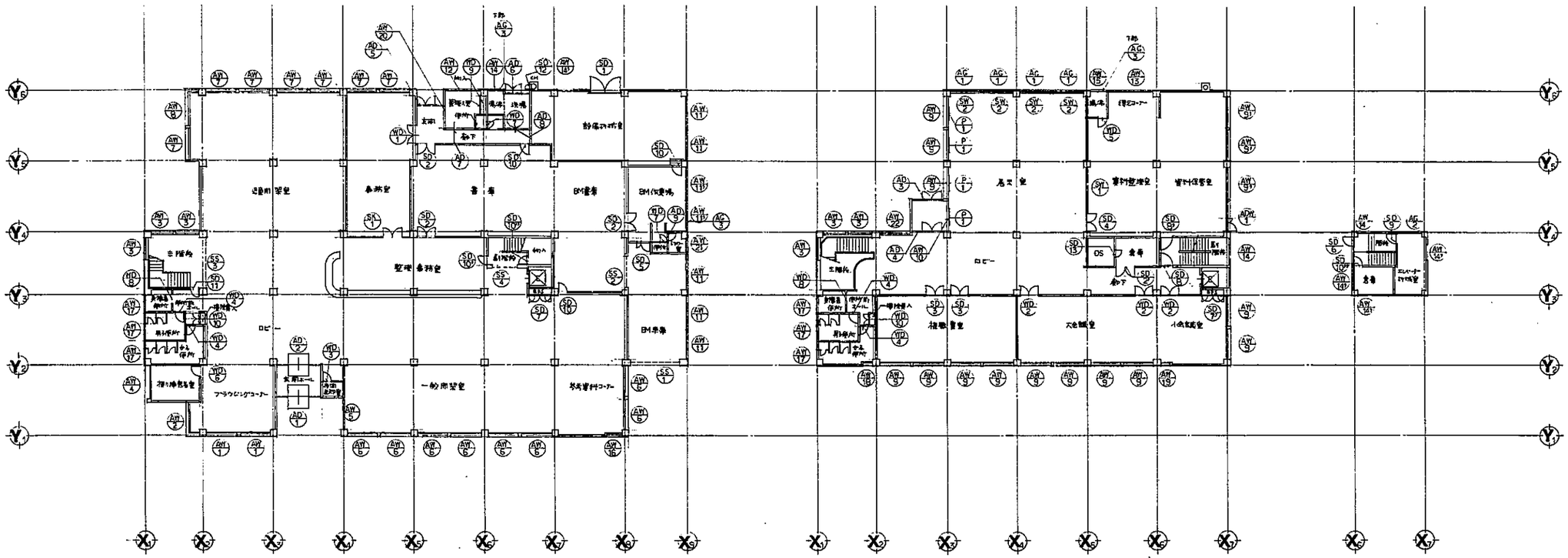
スライディングウォール　詳細図　（参考図）　1/33

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 （仮称）[redacted]	図名 会議室 平面詳細図 展開図 部分詳細図 縮尺 1:20 1:50 1:33 図番 A/41



80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)宮若市立図書館建設工事	図名 資料整理室 資料保管庫 復元コーナー 縮尺 平面詳細図 展開図 1:50 1:20 / 図番 A 12


6000
1200
1700
2600
1700
1200
6750
6000
1500
1200
1200
1200
1200
1200
1200
1200
1200
1000
1200
1200
1200
1200
1200
1200
1200
1200

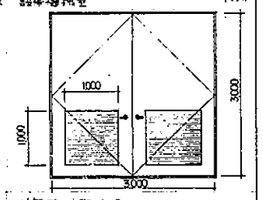
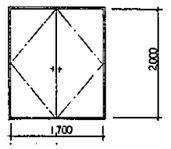
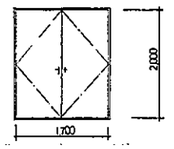
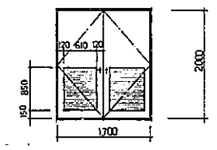
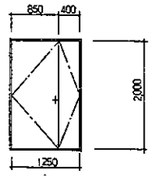
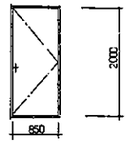
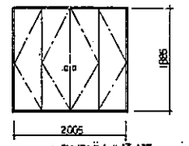
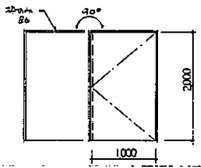


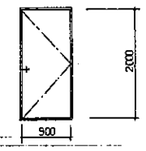
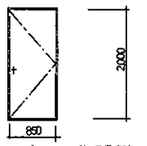
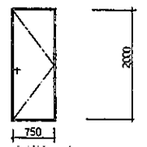
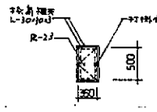
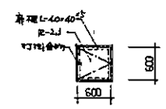
建具 KEY PLAN 1:200

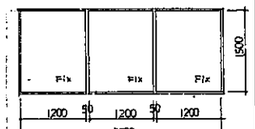
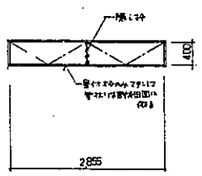
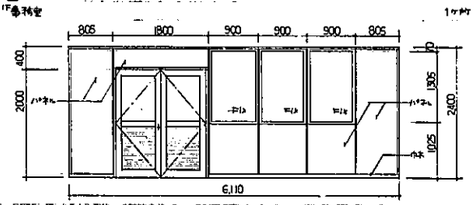
建具 共通 事項

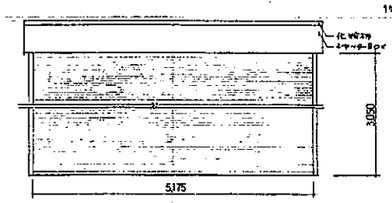
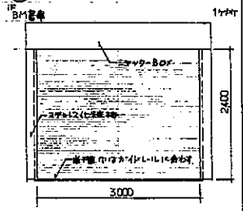
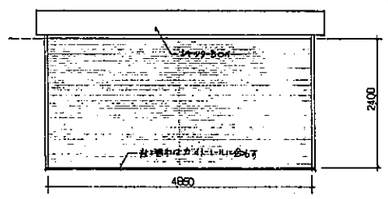
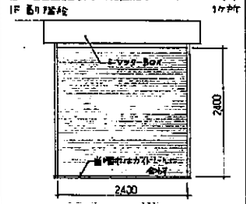
- 記入寸法は全て枠内法寸法を示す。型伏にあたっては 真等 現場調整調整を行う。
- 建具の仕様は、仕様書 建具工事の項に依る
- 記号は下記の通りとする
  - SD —— 鋼製扉
  - SW —— 鋼製 窓
  - SK —— 鋼製 ライトクリーン
  - SS —— 鋼製 シャッター
  - AD —— アルミ製扉
  - ADW —— アルミ製 窓 付
  - AW —— アルミ製 窓
  - AC —— アルミ製 カラリ
  - WD —— 木製扉
  - P —— 障子
- 建具金物は特記なき限りステンレス製とする。表面色 なきときは 磨金製 クロームメッキとする。
  全て見本品提出に依り決定する。 ステンレスは SUS-304 とする
- フロアヒンジ(FH)、トップダイナミック(DC)、ラバトリーヒンジ(LH)、丁番、軸吊扉 等は取付建具の重量に耐えるものを見本品提出にて決定する。尚取付部分は裏板補強のこと
- 錠前は 全館主通のマスターキーとする
- ＊ 市場品 ※-Box に納めること
- 指錠、立錠等の 種類は特記なき限り FL+900 の位置に取付ける
- 扉開閉機甲種防火戸の DC はストップなしとする。
- ガラス面は ハーフクリア(熱吸収型)複層ガラス(網入型加強ガラスとする)の上 ルーバー(オリバルライト)を行う
  扉下面はセラミックタイプロック(ネオマトン)の上、上記を行う。
- 天井内ケース内建具は トイレブース工事に含む
- 自閉スプリング 特記の他は 枠巾に合わす
- アルミ製 カラリは雨水の 内と外を遮るものとし 隙間とする。
  気密 と 排水 の 組合いは シリコンコーキング 等を行うこと。
- アルミ製建具の性能
  気密 風圧力 ～ の場合 240㎏/㎡ 風圧 100㎏ の場合 180㎏/㎡
  水密性 50㎏/㎡
  気密性 建具 5㎥/hr·m 以下、枠 12㎥/hr·m 以下 (風速 30m に於ける 0.8㎥/hr·m² 以下)

89107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 建具KEY PLAN 共通事項 / 縮尺 1:200 / 図番 A/44

記号名称	SD 1 鋼製扉両開きカラリバフラッシュ戸	SD 2 / SD 2' 鋼製扉両開きフラッシュ戸	SD 3 鋼製扉両開きフラッシュ防音戸	SD 4 鋼製扉両開き、カラリバ付フラッシュ戸	SD 5 鋼製扉両開きフラッシュ戸	SD 6 鋼製片開きフラッシュ戸	SD 7 / SD 7' 鋼製 ガラリ付両開きフラッシュ戸	SD 8 / SD 8' 鋼製片開フラッシュ戸
場所個数	1F 設備予備機室 1ヶ所	2F 書庫, BM倉庫 2'-2F 倉庫	2F 視聴覚室 2ヶ所	2F 資料整理室 1ヶ所	1F BM保管庫 1ヶ所	B1F 倉庫 1ヶ所	7-1F EPS 7'-2F EPS 7-1 ヶ所 7'-1 ヶ所	2F 倉庫前 8-二ヶ所 8'-一ヶ所
姿図								
寸法								
仕上	外部 EP 内部 SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	7-SOP 7'-[illegible]	SOP
見込	枠150 扉50	枠100 扉40	枠120 扉40	枠100 扉40	枠100 扉40	枠100 扉40	枠86 扉36	枠見込 120, 86, 扉50
ガラス	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金物	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	7箇, レバーハンドル錠 アームストリッパー	7箇, レバーハンドル錠 アームストリッパー	[illegible]	[illegible]
錠前	なし	2-1箇所錠 2'-なし	[illegible]	本製吊錠	本製吊錠	5ヶ所錠 下 ステンレス	7-なし 7'-本製	8-[illegible] 8'-[illegible]
備考	施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス		8-常時開錠甲種防火戸 8'-常時閉鎖甲種防火戸

記号名称	SD 9 鋼製片開きフラッシュ戸	SD 10 / SD 10' / SD 10" 鋼製片開きフラッシュ戸	SD 11 鋼製片開きフラッシュ戸	SD 12 鋼製片開き片面フラッシュ・アングル戸	SD 15 鋼製片開き片面フラッシュアングル戸
場所個数	1F EVホール・ターミナル機械室 1ヶ所	10-倉庫, BM倉庫 10'-1F 副機室 10"-1F 倉庫 10ヶ所 10'ヶ所 10"ヶ所	1F 主機室 1ヶ所	塗装溜枡口 1ヶ所	2F DS事務室 1ヶ所
姿図					
寸法					
仕上	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP
見込	枠100 扉40	枠100 扉40.	枠100 扉40	枠扉共30	枠B6 扉40
ガラス					
金物	錠前建, シリンダー錠付, D.C. アタリ金物とめ	10"ヘアライン SUS 軸吊建シリンダー錠付 DC. 建具下端アタリ金物 (10"ヶ所)	錠前建 SUS DC アタリ	7箇, 平打丸金具(FB-32×4.5), シリンダー南京錠	7箇, 平打丸金具(FB-32×4.5), シリンダー南京錠
錠前	なし	10-ヘアライン片面 1ヶ所なし	なし	なし	なし
備考	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス(10"ヘアライン片面 SD50)	常時開錠甲種防火戸 施錠ステンレス(片面 SD50)		常時開錠甲種防火戸

記号名称	SW 1 鋼製可動間仕切壁	SW 2 鋼製間仕切り 掃除口	SK 1 鋼製 ライトスクリーン、マドル扉 (カラリバ付)
場所個数	2F 資料整理室 1ヶ所	2F 倉庫 4ヶ所	1F 事務室 1ヶ所
姿図			
寸法			
仕上	SOP	外部 SOP 内部 シラスタニロンEP付	
見込	100	86	
ガラス	網入型 ガラス Φ6.8		強化ガラス Φ6
金物		隠し丁番 ラッチ、オペレーター(掃除口扉用開口止め) 1ヶ所	扉吊丁番, フラッシュ落し, シリンダーエッヂ, レバーハンドル錠.
錠前	木製吊錠	手掛け金物	なし
備考		開閉時、90度位開き、隠し枠	1F 共用廊下側, DS-1はタイプに準ず.

記号名称	SS 1 鋼製電動シャッター	SS 2 鋼製電動シャッター	SS 3 鋼製電動シャッター	SS 4 鋼製電動シャッター
場所個数	1F BM車庫 1ヶ所	1F BM倉庫 1ヶ所	1F 主機室 1ヶ所	1F 屋内階段 1ヶ所
姿図				
寸法				
仕上	シャッターBOXメラミン焼付, スラット亜鉛鋼鈑 SOP フラット t1.6	シャッターBOXメラミン焼付 スラット亜鉛鋼鈑 SOP メルト t1.6	スラット亜鉛鋼鈑 SOP フラット t1.6	スラット亜鉛鋼鈑 SOP スラット t1.6
見込				
ガラス				
金物				
備考	電動シャッター 非ムバー・ガイドレール形ステンレス	電動シャッター 非ムバー・ガイドレール形 錆難燃ステンレス	電動シャッター 甲種防火戸 熱感知ヒューズ付, 非ムバー 上吊 当付錠共 ステンレス	電動シャッター 甲種防火戸 熱感知ヒューズ付 非ムバー 上吊 当付錠共 ステンレス

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 建具表 1	図番 A/45
				縮尺 1:50	

記号名称	AD 1 アルミ製 勝手口ドア引分け自動ドア	AD 2 アルミ製 勝手口ドア袖付引分け自動ドア	AD 3 アルミ製 勝手口ドア袖付 両開きドア	AD 4 アルミ製 勝手口ドア袖付 両開きドア	AD 5 アルミ製 勝手口ドア袖付 片開きドア、内倒しランマ付	AD 6 アルミ製 勝手口ドア 片開きドア	AD 7 アルミ製 勝手口ドア袖付 引違いドア
場所個数	1F 玄関 1ヶ所	1F 玄関 1ヶ所	2F 玄関 1ヶ所	2F 玄関 1ヶ所	1F 管理人玄関 1ヶ所	1F 機械 1ヶ所	1F 管理人室 1ヶ所
姿図							
寸法	4250 / 2147 / ±2,880	4250 / 2147	2755 / 2150 / 2760	2755 / 2150	2570 / 2000 / 2436	2265 / 2000 / 2420	2560 / 2100
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	無色アルミ
見込	135	135	100	100	100	100	70
ガラス	引分自動ドア用強化ガラス(上下アルフレーム付) 西面ピーフロート5t⑩	引分自動ドア用強化ガラス(上下アルフレーム付) 西面ピーフロート5t⑩	両開きドア用強化ガラス(上下アルフレーム付) 西面ピーフロート5t⑩	両開きドア用強化ガラス(上下アルフレーム付) 西面ピーフロート5t⑩	線入型ガラス⑥6.8 フロアヒンジ用ガラス孔あけ加工	線入型ガラス⑥6.8	型板ガラス⑥4
金物	ミリオン本締錠、自動扉用特品一式(マットスイッチ2ケ、マット1ケ、ヒートル1ケ)	ミリオン本締錠、自動扉用特品一式(マットスイッチ2ケ、マット1ケ、ヒートル1ケ)	ミリオン本締錠(1F)フロアヒンジ(2F)	本勝吊錠	本勝吊錠	本勝吊錠	引違い召合せ一式
錠締	なし	なし	なし	なし	内倒しランマ用錠	表面取付	大勝面錠
備考				錠ケース上下共H100	錠ケース上下共H100	床面ピボット軸受	台輪ステンレス

記号名称	AD 8 アルミ製引違い戸	AD 9 アルミ製 片開きガラリ付 ガラス戸	ADM 1 アルミ製 引違い窓、勝手口ランマ付 両開き戸
場所個数	1F 洗場 1ヶ所	1F ヒヤー室 1ヶ所	2F 管理人管理室 1ヶ所
姿図			
寸法	1700 / 2000	750 / 2000 / 150	2855 / 1800 / 650 / 2450 / 2000 / 450
仕上	無色アルミライト	無色アルミライト	カラーアルミ
見込	70	70	70
ガラス	線入型ガラス⑥6.8	型板ガラス⑥4	線入型ガラス⑥6.8
金物	引違い金物一式	丸棒、ビボ(樹脂製 定錠タイプ 非常解錠定置付)	引違い金物一式、丸棒、ミリオン錠錠 フラットヒンジ錠とも
錠締	木製吊錠	外ステ製、内アルミ製	一般木製作図 扉下のみステンレス
備考	台輪ステンレス	浴室用	扉下ガラスとも H=1500

記号名称	AW 1 アルミ製 勝手口付窓	AW 2 アルミ製 勝手口付窓(面取)	AW 3 アルミ製 勝手口付窓	AW 4 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 5 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 6 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 7 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 8 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓(面取)勝手口窓
場所個数	ブラウジングコーナー 2ヶ所	ブラウジングコーナー 1ヶ所	主婦控 6ヶ所	寝室兼書室 1ヶ所	一般病室 1ヶ所	一般病室 各寝室コーナー 8ヶ所	児童病室 最病室 7ヶ所	児童病室 1ヶ所
姿図								
寸法	2905 / 2200	865 / 2840 / 2200	2,675 / 2200	3090 / 1710	3180 / 1700	2905 / 1700	2895 / 1700	3,165 / 815 / 1700
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	合成	合成	合成	合成
見込	100	100	100	70	70	70	70	70
ガラス	熱線吸収ガラス⑥8	熱線吸収ガラス⑥8	熱線吸収ガラス⑥8	熱線吸収ガラス⑥6	合成	合成	合成	合成
金物	片引金物一式	片引金物一式	片引金物一式	片引金物一式	合成	合成	合成	合成
錠締	木製吊面	木製吊面	カラーアルミ吊面	木製吊面	合成	合成	合成	合成
備考	左右勝手違い有 水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	左右勝手違い有 水切(合成)	水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	合成	合成	合成	合成

記号名称	AW 9 / AW 91 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 10 アルミ製 勝手口窓	AW 11 / AW 111 アルミ製 両側引戸 中央勝手口窓	AW 12 アルミ製 二重引違い窓	AW 13 アルミ製 二重引違い窓	AW 14 / AW 141 アルミ製 引違い窓	AW 15 アルミ製 引違い窓	AW 16 アルミ製 引違い窓
場所個数	9-1 寝取調室、点滴室用 9 1ヶ所 9-1 資料室前室 9-1 3ヶ所	3F 展望室 1ヶ所	11-1 訓練室 訓練用特別室 11-1 8ヶ所	1F 管理人室 1ヶ所	2F 個元コーナー 1ヶ所	14-1 病棟 個人部屋 14-2 3F,4F 14-3 5F,6F 14-4 7F	1F 洗場 1ヶ所	1F 外来受付コーナー 1ヶ所
姿図								
寸法	2855 / 1800	2855 / 1800 / 2747 / 100 / 847	2,905 / 1210	1500 / 70 / 1500 / 3070 / 1210	1500 / 70 / 1500 / 3070 / 1310	1500 / 1210	1500 / 1310	1500 / 1700
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	合成	合成	合成	合成
見込	70	70	70	70	70	70	70	70
ガラス	9-1 熱線吸収ガラス⑥6, 9-1 線入型ガラス⑥6.8	フロートガラス⑥8	線入型ガラス⑥6.8	線入型ガラス⑥6.8	合成	合成	合成	熱線吸収ガラス⑥6
金物	片引金物一式		片引金物一式	引違い金物一式	合成	合成	合成	合成
錠締	木製吊面	木製吊面	11-1 アルミ製 11-1 木製	木製	合成	14-1 木製 14-1 アルミ製	木製	合成
備考	水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	水切(カラーアルミ成形品 網戸付)⑥40	合成	合成	合成	合成	合成

82107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高田町文化会館建設工事	図名 建具表 2 / 縮尺 1:50	図番 A/46

記号名称	AW 17 アルミ製 片開き窓	AW 18 アルミ製 片開き窓	AW 19 アルミ製 嵌殺し窓	AW 20 アルミ製 引違い窓	AW 21 アルミ製 二段内倒し窓	AW 22 アルミ製 縦滑り出し窓 中央無目入窓		
場所個数	1,2F 男トイレ/女トイレ/身障者便所 6ヶ所	2F 女子便所 1ヶ所	3F 小会議室 1ヶ所	1F 管理人室 1ヶ所	1F シャワー室 1ヶ所	2F 印刷室 1ヶ所		
姿図 寸法	1200 / 900	1800 / 900	FIX 1600 / 900	1150 / 1500	100 555 555 1210 / 900	FIX 1310 / 2865		
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	公左	無色アルマイト	カラーアルミ	カラーアルミ		
見込	70	70	70	70	70	70		
ガラス	網入型ガラス ⑥6.8	熱線吸収ガラス ⑥6	公左	トーメイ ⑥5	網入型ガラス ⑥6.8	熱線吸収ガラス ⑥6		
金物	片開き金物一式(ラームストッパー付)	片開き金物一式(ラームストッパー付) D.C(スパゲ)		引違い金物一式	内倒し金物一式	片開金物一式		
塗装	木製 外部	木製 外部	公左	木製 両面	アルミ 外面	木製 外部		
備考	ポリカ(カラーアルミ成型複層加入)⑥40	公左	公左		ポリカ(カラーアルミ成型複層加入)⑥40	公左		
記号名称	AC 1 アルミ製 固定ガラリ	AC 2 アルミ製 固定ガラリ	AC 3 アルミ製 固定ガラリ					
場所個数	3F 廊下室 4ヶ所	P1 エレベーターマシン室 1ヶ所	1F 機械室, B1 倉庫 2ヶ所 機械室 3ヶ所					
姿図 寸法	400 / 2865	1210 / 450	200 / 600					
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ					
見込	70	70	70					
ガラス								
金物	防虫網張り(ステンレス SUS304 40メッシュ)	防虫網張り(ステンレス SUS304 40メッシュ)	防虫網張り(ステンレス SUS304 40メッシュ)					
塗装	アルミ 外面	木製 外部	木製 外部					
備考	ポリカ(カラーアルミ成型複層加入)⑥40	公左	公左					
記号名称	WD 1 木製 両開き, ガラス入 フラッシュ戸	WD 2 木製 両開きフラッシュ戸	WD 3 木製 片開きフラッシュ戸	WD 4 木製 片開き, ガラリ, ガラス入フラッシュ戸	WD 5 木製 片開き, ガラリ, ガラス入フラッシュ戸	WD 6 木製 片開き, ガラリ付フラッシュ戸	WD 7 木製 片開き, ガラリ, ガラス入 フラッシュ戸	WD 8 身障者用 片開きフラッシュ戸
場所個数	1F 倉庫室 1ヶ所	2F 会議室 3ヶ所	1F 電気室前室 1ヶ所	1,2F 男子, 女子便所 4ヶ所	2F 湯沸室 1ヶ所	2F 湯沸室 1ヶ所	1F 倉庫 2ヶ所	1,2F 身障者便所 2ヶ所
姿図 寸法	60 760 300 650 180 / 2000 / 1700	1350 / 650 110 110 / 2000 / 1700	2000 / 850	180 500 850 150 / 2000 / 10 630 110 / 850	180 450 500 150 / 2000 / 10 630 110 / 860	2000 / 10 630 110 / 860	180 650 150 / 2000 / 150 100 / 600	85 / 2000 / 75 1054 / 1110
仕上	掛ハーマヤSOP	金属製(一部合成樹脂(塗装とも))粉末塗装掛ハーマヤSOP	掛ハーマヤSOP	両面水掛ハーマヤSOP	両面水掛ハーマヤSOP	掛ハーマヤSOP	両面水掛ハーマヤSOP	枠 スチール製 メラミン焼付, 扉 メラミン化粧合板フラッシュ
見込	40	40	40	40	40	40	40	枠 170 扉 40
ガラス	型板ガラス ⑥4			型板ガラス ⑥4	型板ガラス ⑥4		型板ガラス ⑥4	
金物	T番, レバーハンドル錠, ラッチ, 落し, DC 戸当り錠1ヶ所	公左	T番, レバーハンドル錠, DC 戸当り錠1ヶ所	T番, レバーハンドル錠, DC 戸当り錠1ヶ所	T番 空錠, DC 戸当り錠1ヶ所	T番, レバーハンドル錠, DC 戸当り錠1ヶ所	T番 DC 確認付錠受金具	自閉金物一式
塗装	自動 ステンレス ㎡	自動 ステンレス ㎡		自動 ステンレス ㎡	自動 ステンレス ㎡	自動 ステンレス ㎡	自動 ステンレス ㎡	自動 ステンレス ㎡ ヒートエンボサンドトップ
記号名称	WD 9 木製 文字ガラリ付引違いフラッシュ戸	WD 10 木製 天窓付 両開きフラッシュ戸						
場所個数	1F 管理人室 1ヶ所	1,2F 湯沸室, ホール 格子集入れ 2ヶ所						
姿図 寸法	450 / 1685 / 1705	450 / 1585 / 990						
仕上	掛ハーマヤSOP	掛ハーマヤSOP (両面ハーマヤ)						
見込	33	33						
ガラス								
金物	自動ドアレール 戸車 錠前別途	T番, マグネットキャッチ, 箱管押手1個						
塗装		空気層 プラスチック製 50φ 既製品						

記号名称	PT 1 木製 引合せ戸
場所個数	2F 湯沸室 4ヶ所
姿図 寸法	1825 / 1465
仕上	木地 ユポ(透明)CLA
見込	40
ガラス	
金物	
塗装	

80107

株式会社 栄和設計事務所
06・452・1651
452・1652
452・1653
452・1654

[redacted]

名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

図名 建具表 3

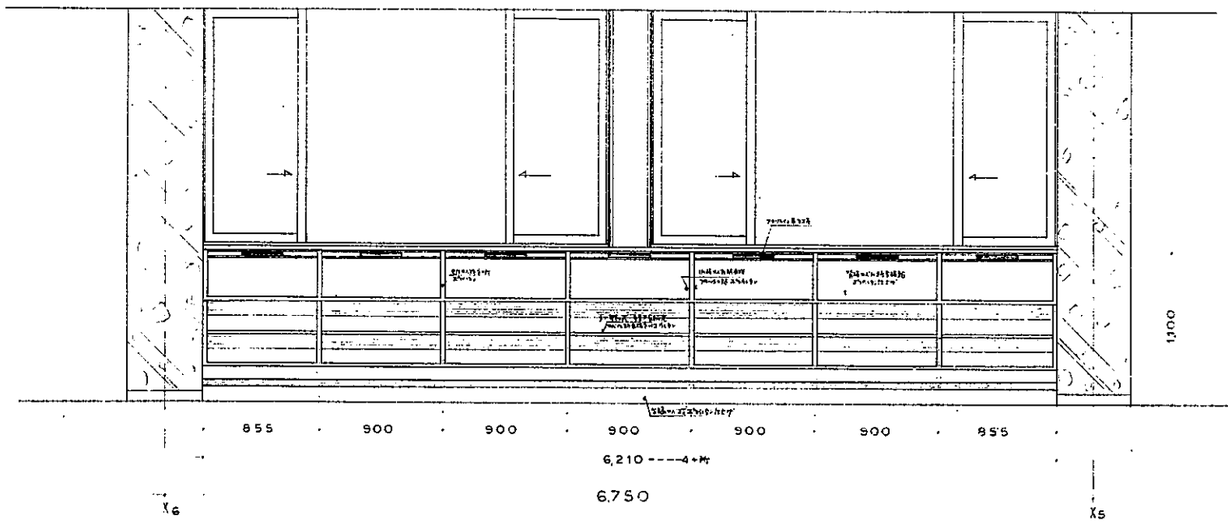
縮尺 1:50

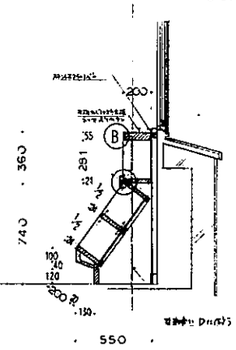
図番 A/47

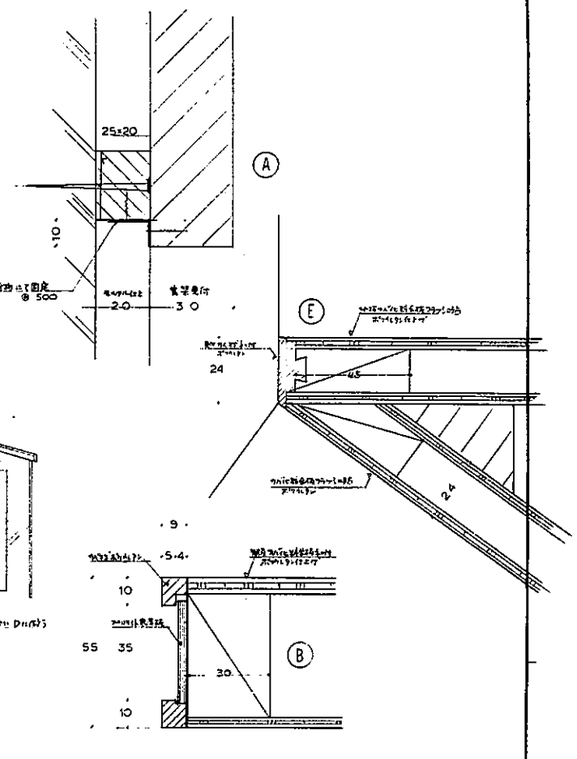
一般閲覧室 本架書架一覧表

場所	段数	総延長	コマ数	台数	備考
窓側	3段書架	6,210	7	4	下部2段 傾斜棚
	6段〃	6,210	7	1 〃	〃
	〃	4,410	5	1 〃	〃
	〃	3,600	4	1 〃	〃
	〃	2,700	3	1 〃	〃

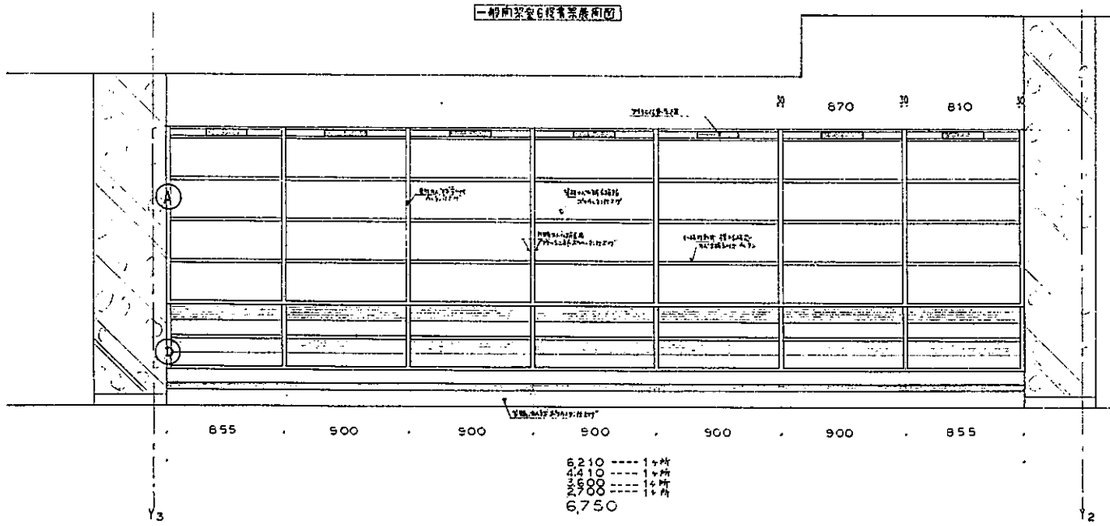
一般閲覧室3段書架展開図

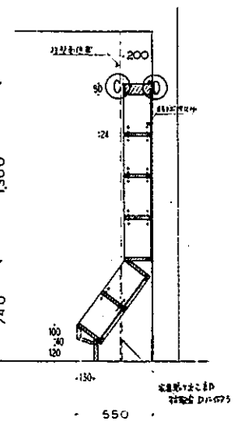


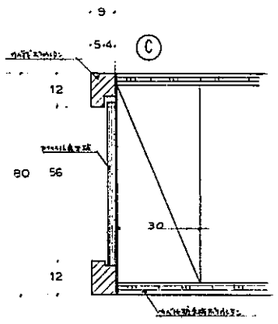


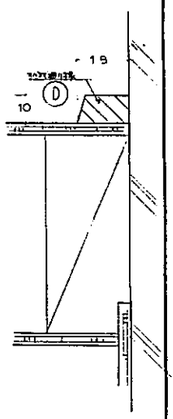


一般閲覧室6段書架展開図









印は 開枝 加側枝 とする

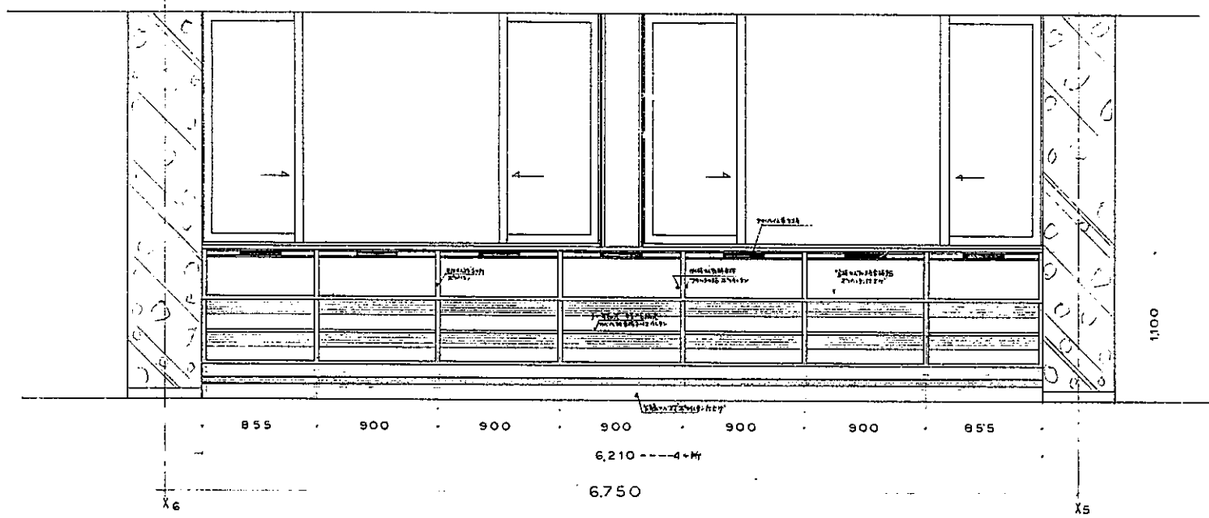
(注) 各部材仕様は NO A/49 図 児童閲覧室 に 全じ

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 本架書架詳細図 1	図番 A/48
				縮尺 1:20 1:1	

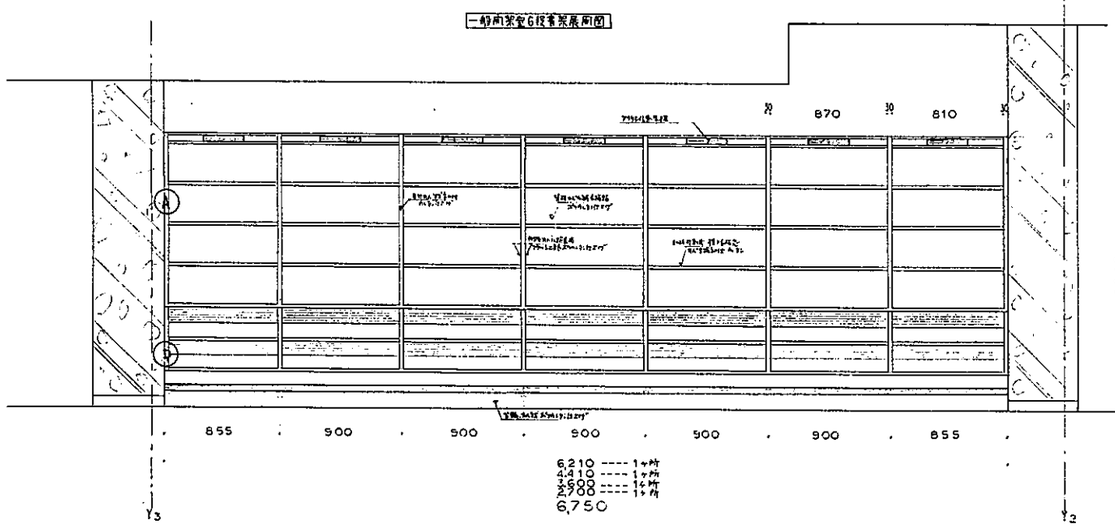
一般用架空木製書架一覧表

	場所	段数	総延長	コマ数	ヶ所数	備考
	窓側	3段書架	6,210	7	4ヶ所	下段2段傾斜付
	壁側	6段〃	6,210	7	1〃	〃
		〃	4,410	5	1〃	〃
		〃	3,600	4	1〃	〃
		〃	2,700	3	1〃	〃

一般用架空3段書架展開図



一般用架空6段書架展開図



段は 傾斜 前側 とする

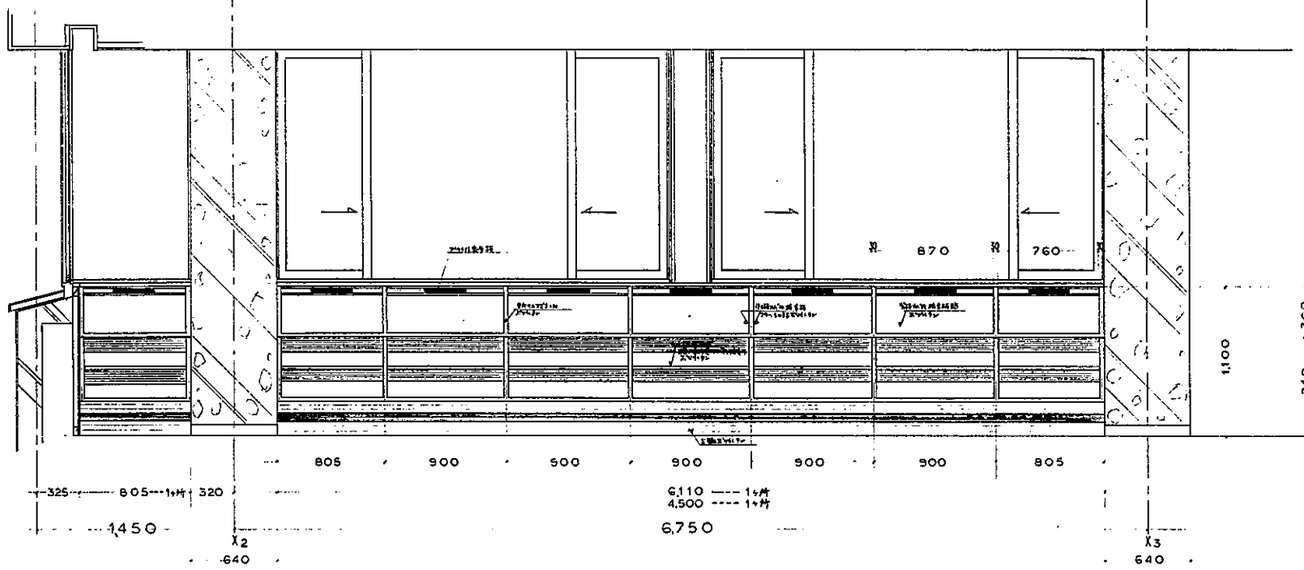
(注) 各部詳仕様は NO A/49 図 建具関係表 による

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 木製書架詳細図 1 縮尺 1:20 1:1 図番 A/48

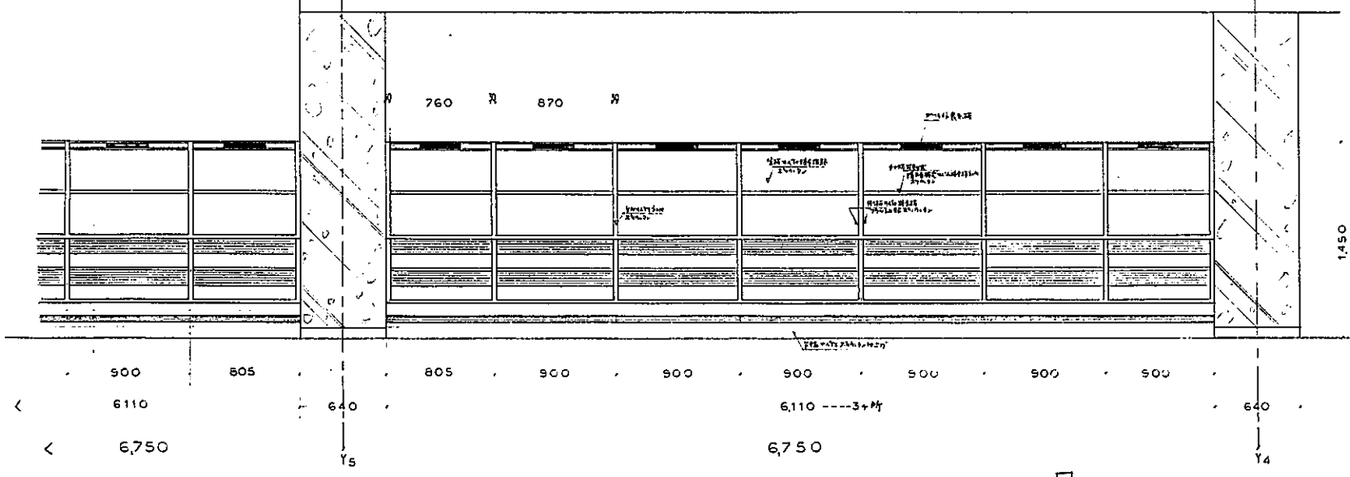
児童閲架室 木製書架一覧表

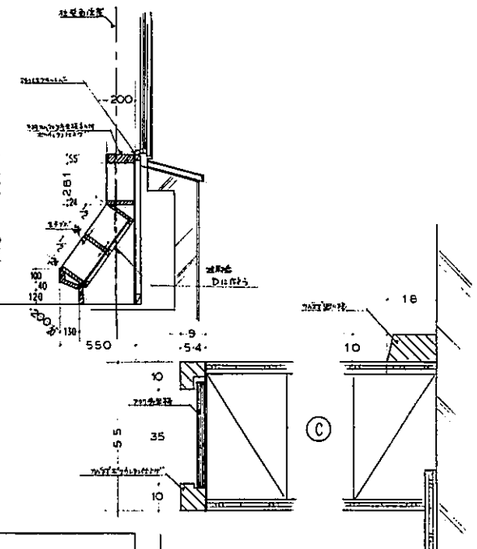
場所	形式	総延長	コマ数	セット数	備考
2階	3段書架	6,110	7	1ヶ所	下部2段傾斜付
〃	〃	4,500	5	1 〃	〃
〃	〃	805	1	1 〃	〃
3階	4段書架	6,110	7	3 〃	〃

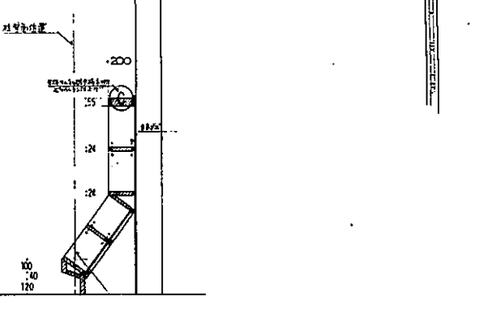
児童閲架室3段書架展開図



児童閲架室4段書架展開図







斜部は隣接棚の側板を示す

床面系統書架仕様書

側 材	ｶﾊﾞｰﾄ地被覆板0.5ﾐﾘ×巾32<55°>ﾌﾗｯﾄﾄｯﾌﾟ3ヶ所接着、表面ｳﾚﾀﾝｸﾘｱｰ塗装ﾀﾞﾌﾞﾙ30
天 板	19ﾐﾘ×巾32ﾐﾘ×0.6ﾐﾘ×巾32<55°>ﾌﾗｯﾄﾄｯﾌﾟ3ヶ所接着、表面ｳﾚﾀﾝｸﾘｱｰ塗装仕様、上段奥ﾀﾞﾌﾞﾙ55、6段奥ﾀﾞﾌﾞﾙ80
ﾀｰﾚｰﾄ板	19厚合板化粧、表裏 ｶﾊﾞｰﾄ地被覆板0.5ﾐﾘ×巾24 ｳﾚﾀﾝｸﾘｱｰ塗装
背 板	ｶﾊﾞｰﾄ地被覆板0.5ﾐﾘ×巾32<55°>貼り
底板補強	ｶﾊﾞｰﾄ地被覆板0.5ﾐﾘ×巾32<55°>ﾌﾗｯﾄﾄｯﾌﾟ3ヶ所接着ﾀﾞﾌﾞﾙ24
転倒防止	ｱﾝｸﾞﾙﾁｪﾙ5ﾌﾐﾘ巾、1段奥行300×35×3、6段奥行300×60×3<ﾅｶﾈ利用>
塗 装	溶剤着色ｸﾘｱｰ、65%及び5%粉末ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ焼付塗装
付 属	ｽﾁｰﾙﾌﾚｰﾑはとめ
組立順序	床面上のﾚﾍﾞﾙ調整をｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯｸﾞﾗﾝﾄ式とする。
注 意	ﾌﾗｯﾄﾄｯﾌﾟ3ヶ所は天ﾀﾞﾌﾞﾙ55、6段ﾀﾞﾌﾞﾙ80以外、全ﾀﾞﾌﾞﾙ部はすべてﾀﾞﾌﾞﾙ24入りとする。ﾀﾞﾌﾞﾙ部及び開閉部は前面から見える。

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 木製書架詳細図 2 / 縮尺 1:20 1:1 / 図番 A/49

Ⓐ 供出ケースワゴン 4台

Ⓑ 抽出ケースワゴン 3台

Ⓑ' 片開ケースワゴン(車椅子用) 1台

Ⓓ 返却ワゴン 2台

Ⓒ CUPワゴン 2台

1500R

1500R

1.500 700 6,000 700 6,000

4,500

1,500 1500 1,500

700

コントロールデスク 詳細図

1/10

カウンター仕様書

天板	ランバコール芯、メラミン化粧板t12+40 前板ラバー付ステンレス ヘアライン #80
腰板	カバー板受材 0.6ミガキ仕上げ(SUS) フラッシュ構造、在庫ショコン対策、見付カバー付 #40
台輪	カバー板受材 0.6ミガキ仕上げ(SUS) 在庫ショコン対策 #24
アキ板	汚れやすい部分を除きフラッシュ構造、在庫ショコン対策、取付ネジ隠し付 #24 ネジ1ヶ所
金具	丁番 ステンレス製 2ヶ所
特記	ボウルアンダーカウンター
現場納材	床面より水レベル調整金具付とし、各種カウンターをボルト締め(4ヶ所)後扉リバウ及び地震とする。

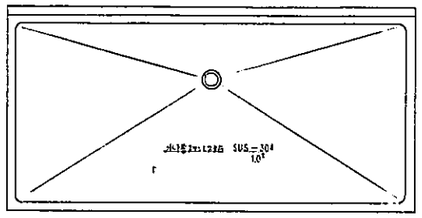
コントロールデスク 一重

カウンター	一式					
ワゴン	A 供出ケースワゴン	B 抽出ケースワゴン	B' 片開ケースワゴン	C CUPワゴン	D 返却ワゴン	
	4台	3台	1台	2台	2台	

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 木製備品詳細図 3	図番 A/50
				縮尺 1:20 1:1	

个所数一覧

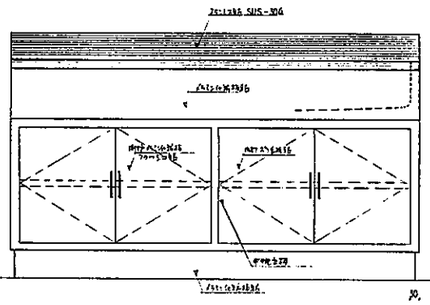
流し台	1階洗場用 洗場コーナー 1台 2階湯沸コーナー 1台	2台
電話台	一階ロビー	1台



1,500

750

流し台、1階洗場1台 2階湯沸コーナー1台



900

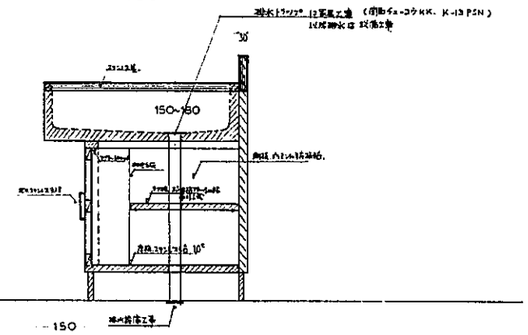
100

210

800

100

30



750

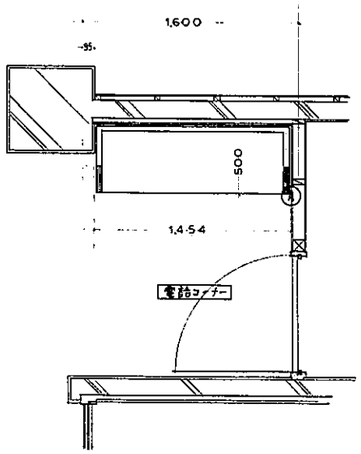
流し台仕様書

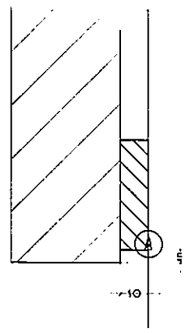
本体	全面パイロンエ法様12t ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ張り 23t ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ張り下地ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ製作、ｾﾐｵｰﾀﾞｰｺｰﾅｰ付
ﾀｰﾝ ｱｰﾑ	ステンレス製 23t ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ張り下地ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ製作、ｾﾐｵｰﾀﾞｰｺｰﾅｰ付、ｽﾎﾟﾘｭｰﾄﾞ付
引出し	ステンレス製 23t ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ張り下地
水 栓	ステンレス製 SUS-304、13φ
排水ﾄﾗｯﾌﾟ	洗面ｷｬｯﾌﾟ付(ｸﾛﾑﾒｯｷ) K-18PSN
床 ﾌﾞﾗ	ステンレス製 10t ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ下地
全 ｶﾊﾞｰ	1階、ステンレス天板、下地ステンレス2mm、全周ﾌﾞﾁ、ﾋﾗ 勾配で5%ﾋﾈ止めﾓﾙﾀﾙ仕上
ﾄﾞｱﾋﾝｼﾞ	マグネット付ｷｬｯﾁ

電話台仕様書

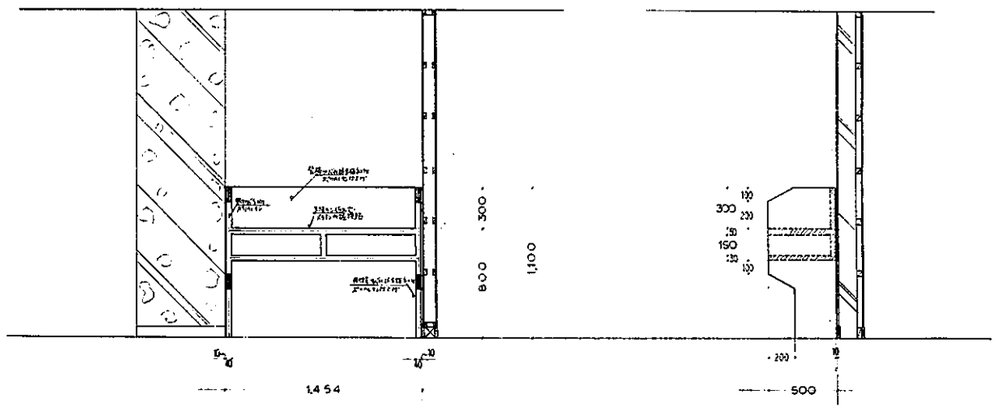
天 板	ｶﾝﾊﾞｯｸｽ石ﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ張り12t 割れﾒﾗﾐﾝｽﾁﾛｰﾙ 巾50
脚 ﾌﾞﾗ	ﾏﾙﾁﾊﾝﾏｰ塗装0.6mm厚を用く45°、ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ3.2厚は、ｾﾐｵｰﾀﾞｰｺｰﾅｰ製作ｻﾋﾞﾏｰｸﾛﾑﾒｯｷ ｽﾍﾟｰｽは 巾40
引 出	ｽﾁｰﾙｷｬﾋﾞﾈｯﾄ

ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ ｽﾍﾟｰｽは すべて A/20 図に ﾘﾄﾗｽ

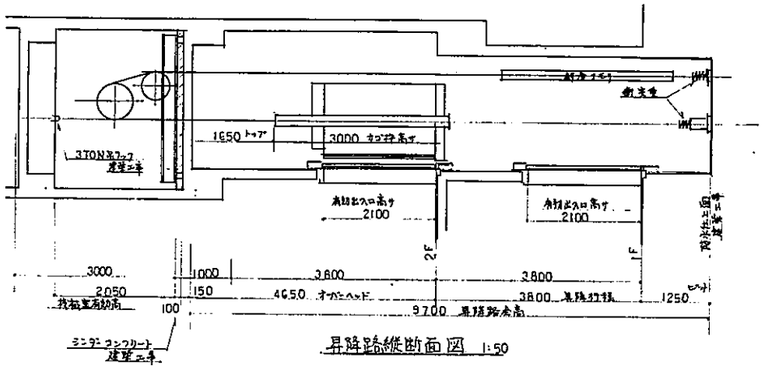




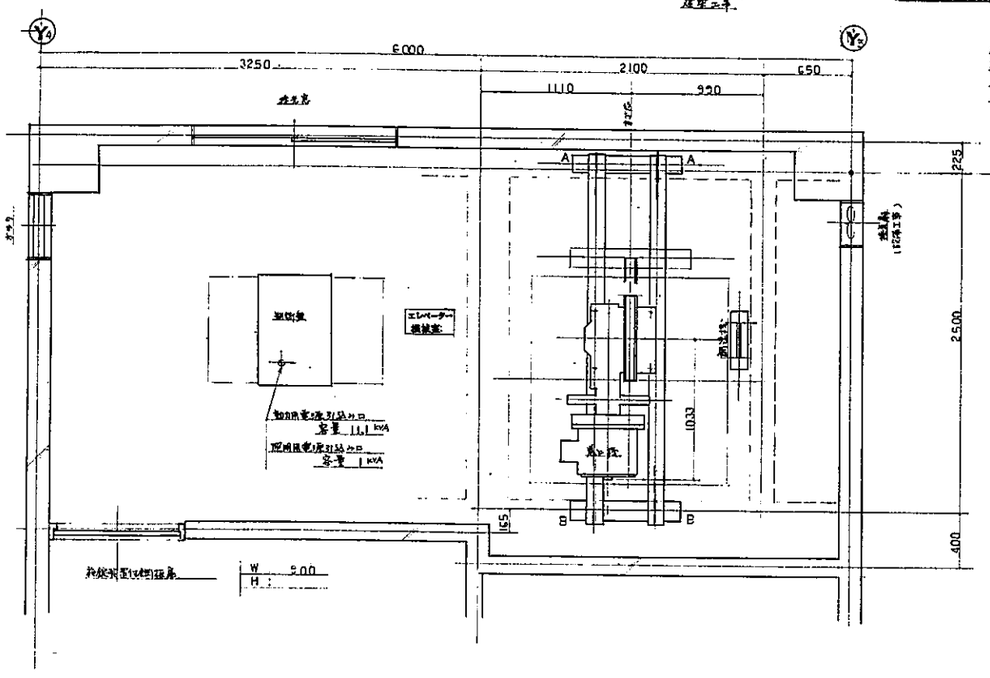
電話コーナー電話台



80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 木製家具詳細図 縮尺 1:1 1:10 1:20	図番 A/51



昇降路縦断面図 1:50

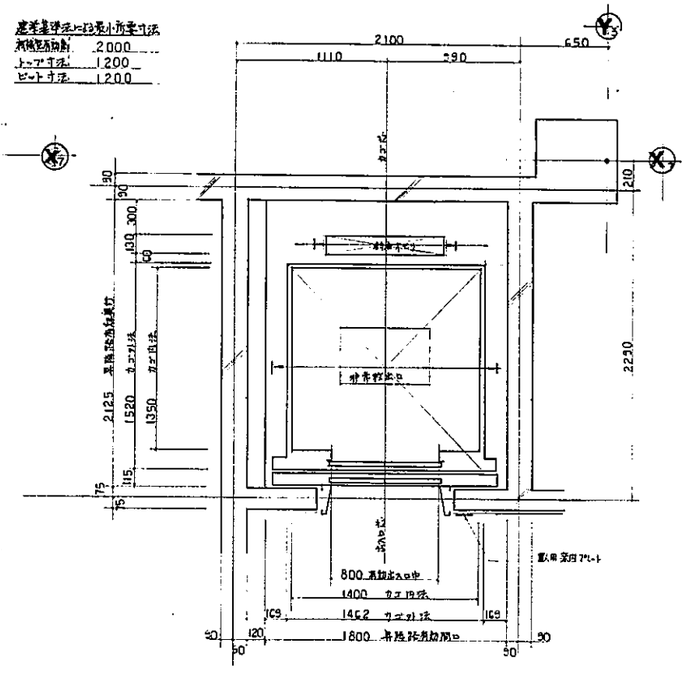


機械室平面図 1:20

梁に加わる荷重

A-A 梁	3600KG
B-B 〃	3400 〃

建築基準法による最小所要寸法	
有効昇降路内	2000
トップ寸法	1200
ピット寸法	1200



昇降路平面図 1:20

P11·CO·45

エレベーター仕様概要

用途	事務用
制御方式	交流帰還制御方式
操作方式	セレクティブコレクティブ
容量	750KG 11名
速度	45 m/min
電源	動力用 3相 210V 60Hz 照明用 単相 100V-60Hz
巻上電動機	7.5 KW
停止個所	1, 2F (乗 2 個所)
カゴ内法	間口 1400 × 奥行 1350 (800 × 2100) 乗降口高さ
戸閉方式	電動式二枚片中央開き式

特記
主索子材質
ロープ 6×19 鋼線ロープ仕上 生仕上
エレベーター インターホーン設備 (1台分)

凡例

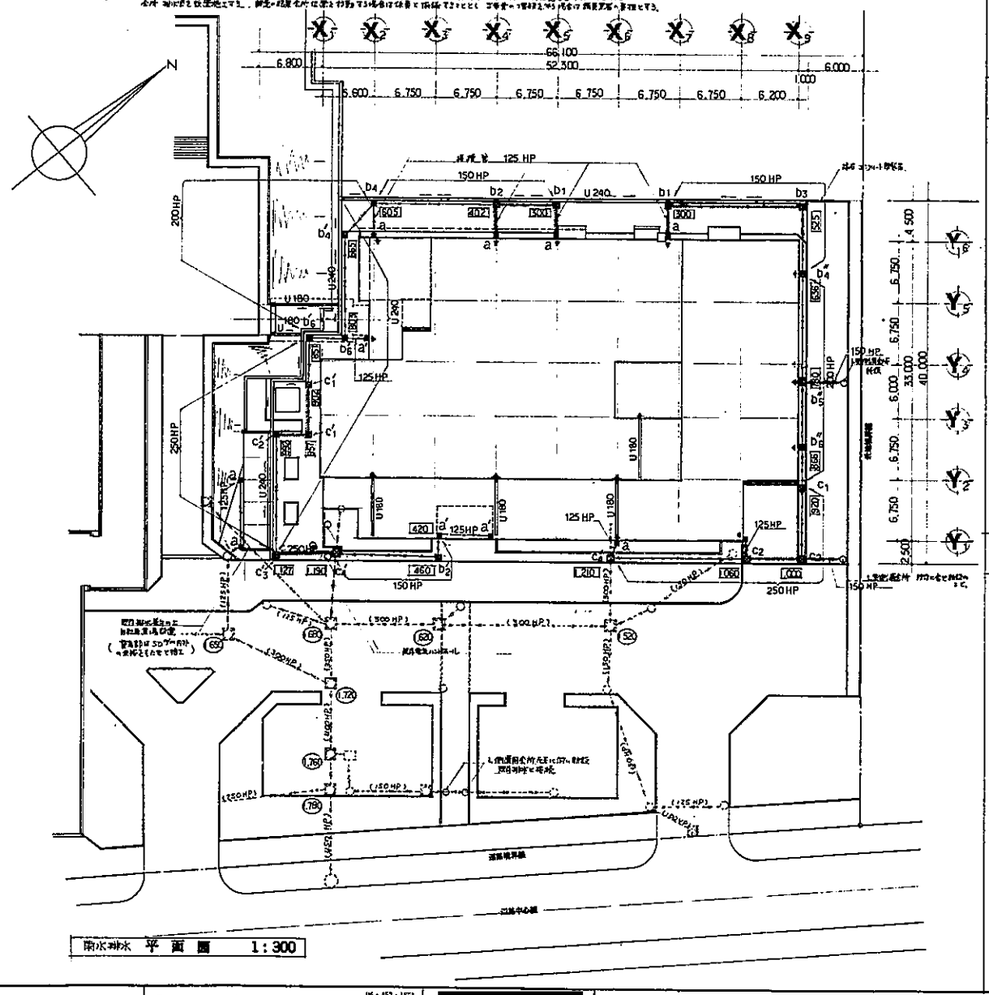
記号	名称	内容	記号	名称	内容
○	汚水会所	直結桝水抜	U字溝		蓋入荷または内荷やすみ
⊠ ○	〃	雨水桝 ○内径φ600			
VP VP	塩ビ雨水管	VP 硬質塩ビ管 ( ) 内径呼び径を示す			
			排水溝		現場打コンクリート製 プレキャスト蓋付
⊡	都設会所	雨水桝			
⊠	〃	□内径寸法 ○内径φ 中継ぎ会所 (コバラ内径寸法)			
———	〃 排水管	ヒューム管 管径は呼び径を示す			
———	〃 〃	コンクリート巻き(巻立)部分			

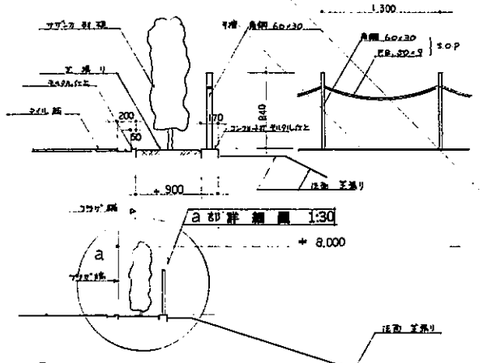
排水勾配

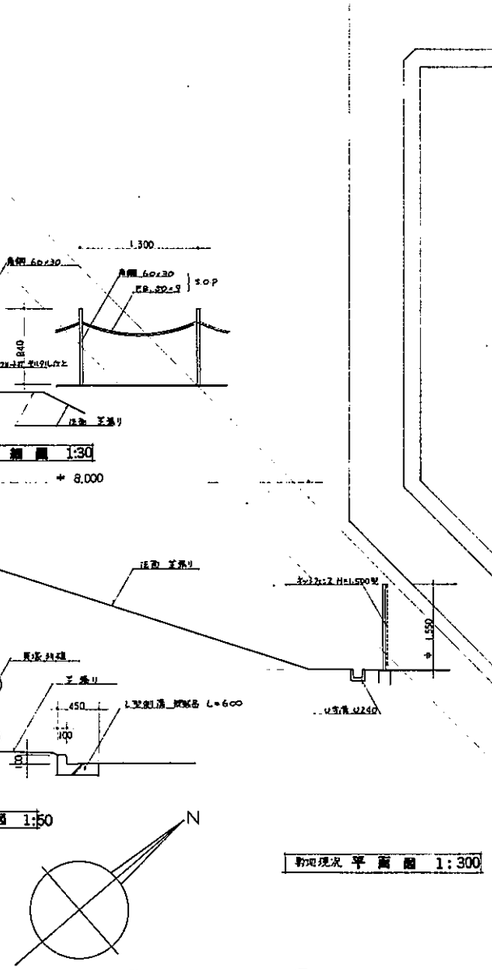
管径	排水勾配
100~150 mm	1/50 以上
150~200 〃	1.5/100 〃
200~250 〃	1.2/100 〃
250~ 〃	1/100 〃

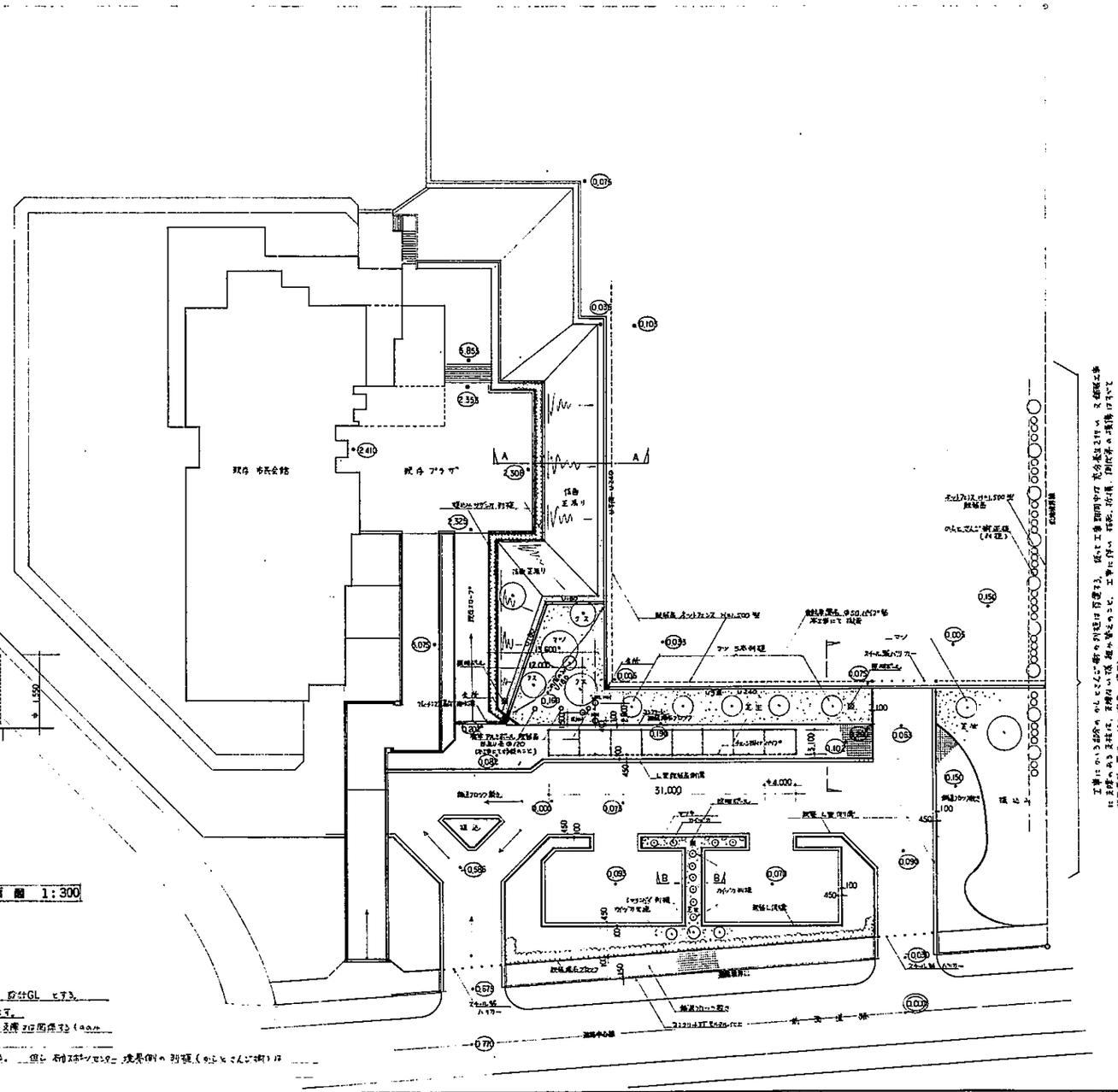
雨水桝会所、ヒューム管埋設コンクリート
基礎 コンクリート Fc 21 = 135 kg/cm² とする。
鉄筋 〃 〃 = 180 〃
とする。
使用鉄筋材 SD 30 とする。

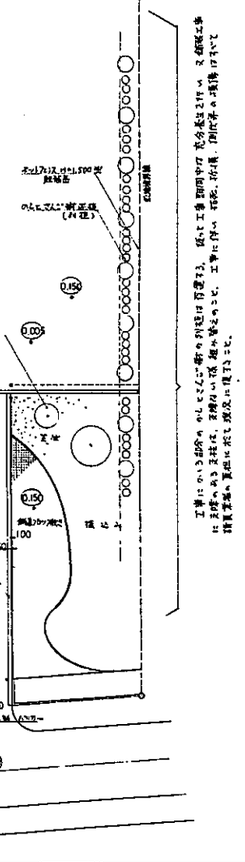
注) 既存電気、電話ハンドホール廻りの 補正は行なう ハンドホール、配管等全ての埋め土 埋戻するときの フィル転圧作業にて 十分な締固めを 条件 施工前と状態地とする。 舗装の補装材は原則として現状復旧とする。 ただし 舗装ハツリ時に 特に 指示する場合は 指示に従って 施工すること。











現況 平 面 図 1:300

注 設計GL : 0.00 = +190 を 設計GL とする。
* ○ 内数字は 現況高さを示す。
建築、照明設備 は 本工事に支障 が 出 ない ように 移設 する。
建築の 移植工事は 別途 とする。 但し 石積ネットセット 境界側の 樹種 (かえで、さんご樹) は 移植とする。

工事にのうる部分の かんきつ類の 処分は 行政 指導 する。 伐採工事 前 に 所有者 と 協議 を 行う こと。 工事に伴う 支障木 は 現場 にて 処分 する こと。 工事に伴う 支障木 の 処分 に 関して は 施主 と 協議 を 行う こと。

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 敷地現況図	図番 A/54
				縮尺 1:300 1:50 1:30	

凡例、及び屋外附帯工事内容一覧

敷地内	1. 自転車置場	ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ張屋根置場 3m × 3m 1基	現況図参照
	2. ボーリングフェンス	現況図に示すボーリングフェンス	〃
	3. U字ﾗｲﾝ側溝	〃 〃 U197 現状ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	〃
	4. 工作物	ﾀｲﾙ貼 擁ﾌﾞﾛｯｸ 1ヶ所 自転車置場に伴う土留擁壁 コンクリート擁壁	〃
	5. 植栽	本工事にて植える予定なし（別途）	
外構工事	1. 擁壁ﾀｲﾙ貼	ﾀｲﾙ貼 ﾎﾞﾙﾀﾞﾘﾝｸﾞ 全面 特殊（本仕事） 仕上は現場確認	
	2. 既存ﾎﾞｰﾙ	特殊（電気配線）工事です。	

	工事名称	凡例	内容	備考
新設工事	1. ｸﾘｰﾝﾄﾗﾌﾟ（溝ｸﾘｰﾝﾄﾗﾌﾟ）		注意、雨水共 現図参照とする。	NO.56 図参照
	2. 自転車置場		前面道路より U197 共 〃	NO.37図 〃
	3. 雨水桝 水		U197 会所共 〃	NO.53図 〃
	4. 擁 壁		現場ｺﾝｸﾘｰﾄ打 重量擁壁	
	5. 犬 走 り		花崗石 7:100 敷きつめ 機械敷均 100×200×600	
	6. 土止めおよび		採用ﾀｲﾙ貼（表および前面図示の範囲）	
	7. ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装		表層 密粒ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ 7.50 基層 ⑥ 粗粒度砕石 7:100 (プレキャスト舗装7:00 前面駐車場は特記のない限り 出荷荷入土 300 入れ替えとする。(歩道および車止ローラー転圧のこと)	
	8. 歩 道		300°程度ｽﾛｰﾌﾟ使用 ｱｽﾌｧﾙﾄ 1層仕上	
	9. 横断歩道		ライン 白 又は黄 別図表示のこと。(白色)	
	10. 雨水 排水		既製 U 型側溝 W=450 擁壁 コンクリート 排水 100×200×600	図中明記の無い場合は、
	11. 植 込		植栽および、周土共 別途とする	
	12. 現状埋設物 管 路		ビル第 現状ブロック 下引 とする。	

屋外附帯工事 平 面 図 1:200

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 屋外附帯工事 平 面 図	図番 A/55
				縮尺 1:200	

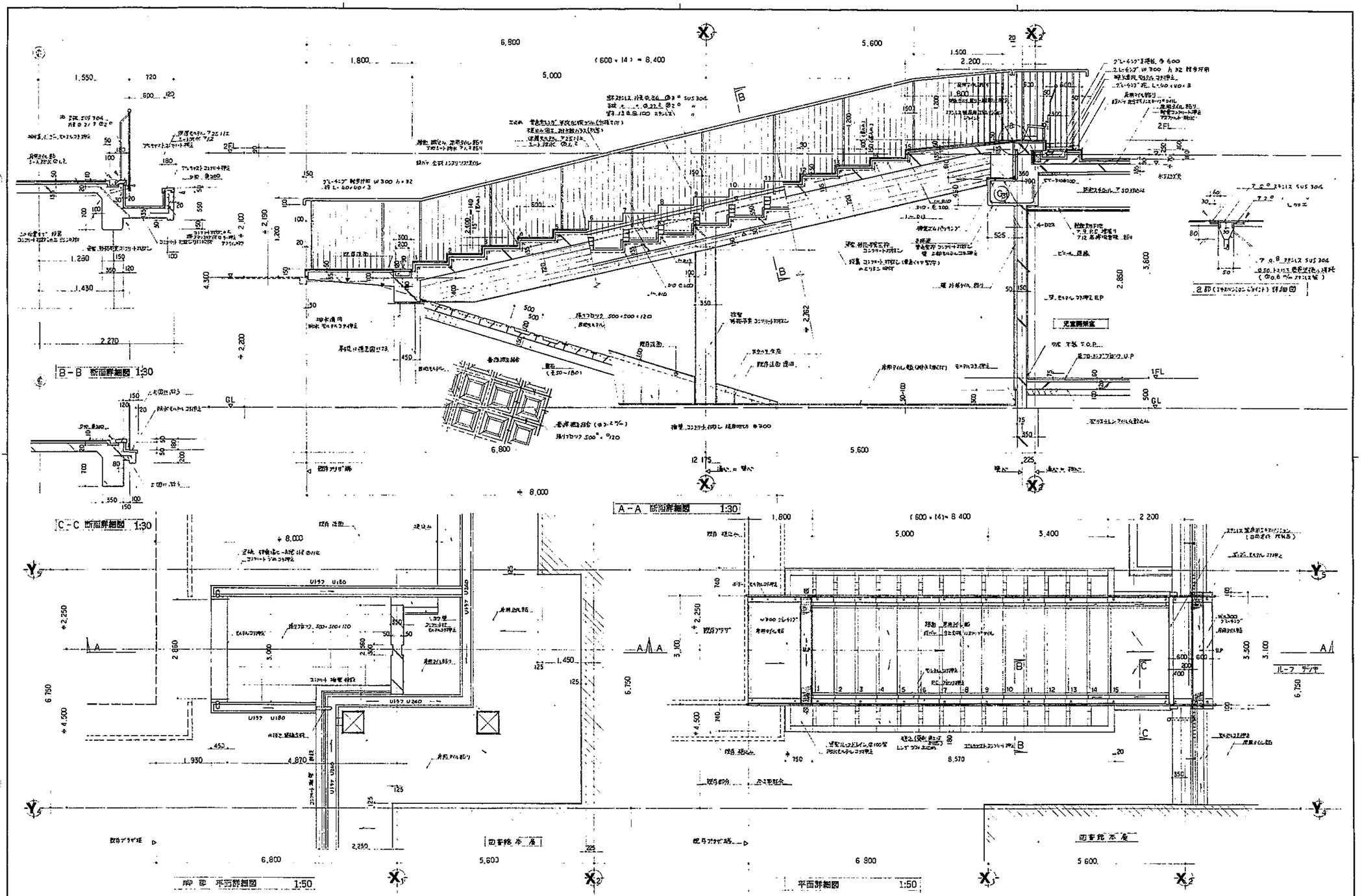
凡例、および屋外附帯工事内容一覧

敷地工事	1 敷地整地	既存地盤を整地する。	
	2 ポンプピット	雨水排水ポンプピット	〃
	3 U197用排水	〃 〃 U197 用排水ピット	〃
	4 工作物	フェンス H=1.8m 独立基礎 W=0.5 L=2.0@3.0	〃
	5 植栽	屋上緑化	
外構工事	1 擁壁	別紙構造図による。	
	2 門 扉	別表(建具表)による。	

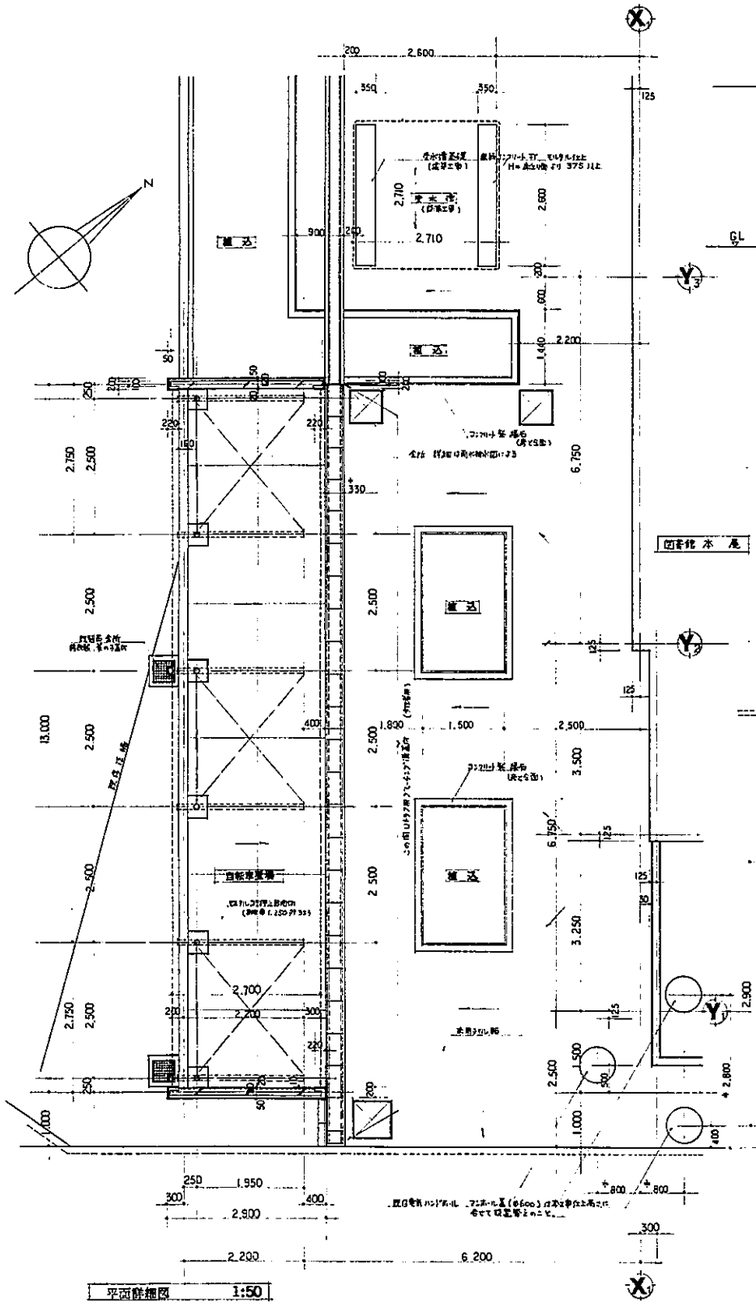
	工事名称	凡例	内容	備考
新設工事	1 アプローチ 車路舗装		透水、保水性 対面舗装 t=12。	NO.56 図参照
	2 自転車置場		敷面積 U197 共 〃	NO.57 図 〃
	3 側溝 雨水		U197 全体共 〃	NO.53 図 〃
	4 擁 壁		擁壁コンクリート打 下記参照 壁	
	5 ガ ー リ		鋳鉄 下100 側溝 L=4.0 残石積基礎 100×200×600	
	6 U197 U字溝		自由勾配 (詳細 断面 図参照)	
	7 アスファルト舗装		A 共 表層アスファルト コンクリート 下30 基層 ⑩ 粗粒度 下100 ⑩ 100×100=下100	(図参照 コンクリート 舗装 300 入 厚さ 下12。
	8 芝 生		300 厚 客土 下 芝 植	
	9 縁石 乗越		ライン 白 表示 斜線 表示 ピン。(白色)	
	10 境界 縁石		既存 L型 側溝 W=450	図参照
	11 塀		擁壁 コンクリート 舗装 100×200×600	
	12 埋設物 排水		既存 白 埋設物、 断面 共 記 下3	
			既存 埋設物 下 下 下3。	

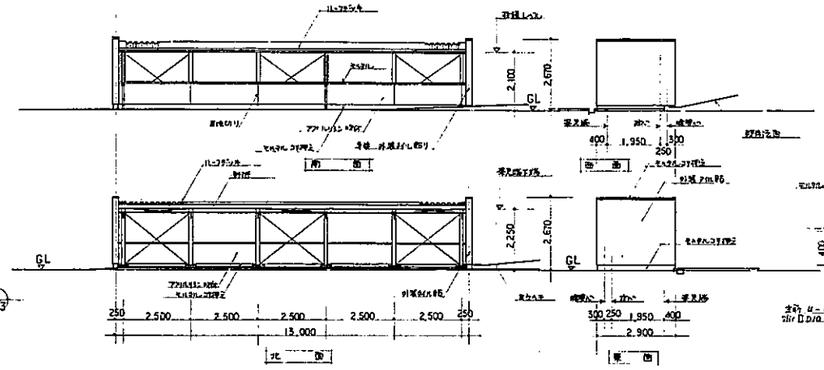
屋外附帯工事 平 面 図 1:200

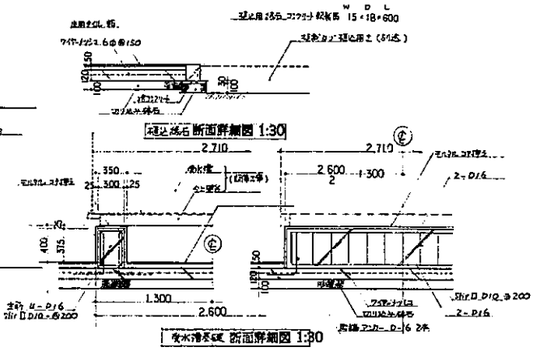
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 屋外附帯工事 平 面 図 / 縮尺 1:200 / 図番 A/55

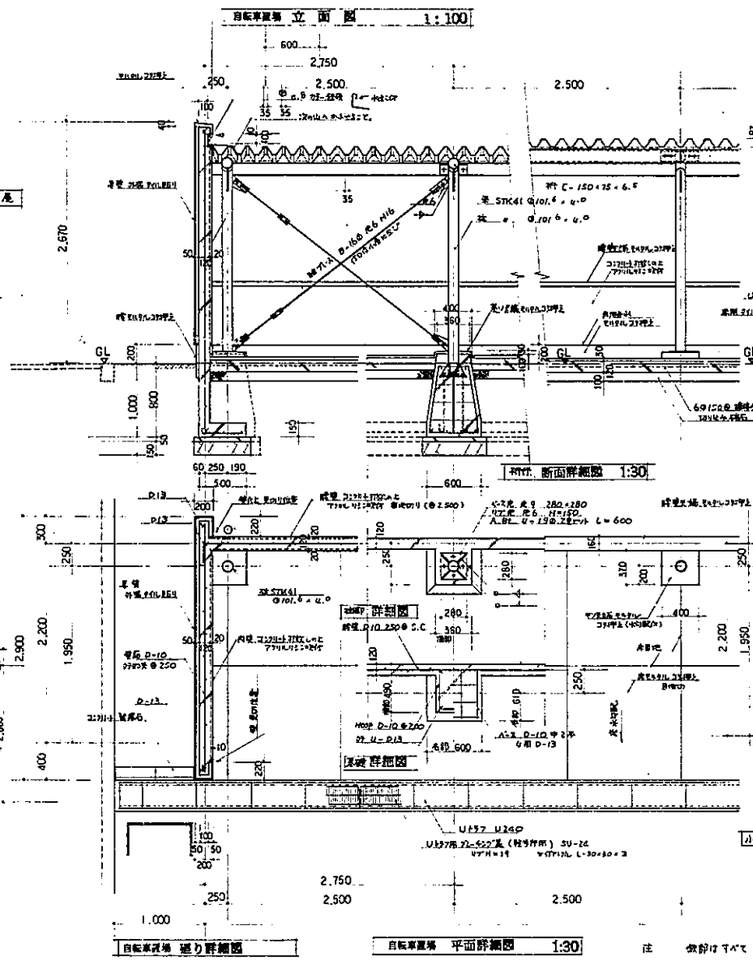


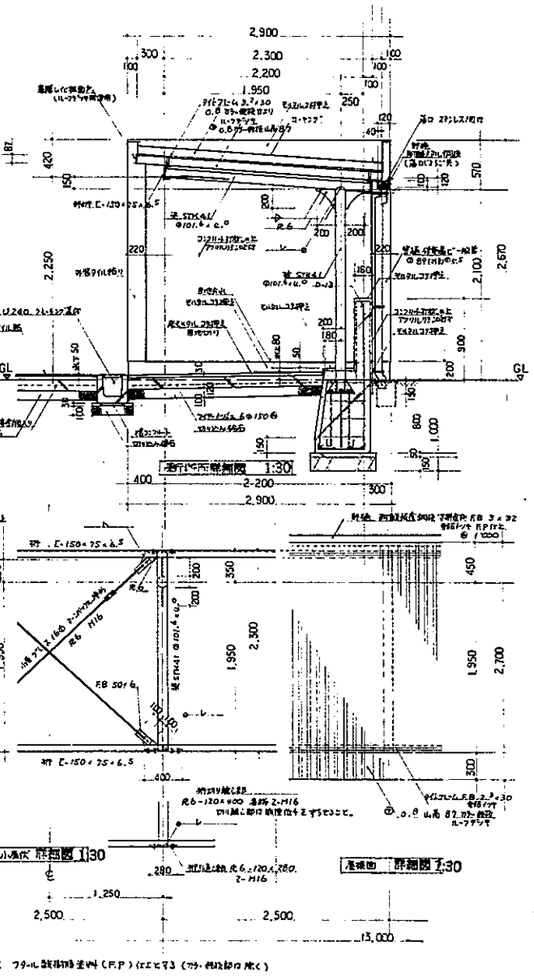
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 屋外アプローチ階段(ブリッジ) 詳細図	図番 A/56
				縮尺 1:50 1:30	







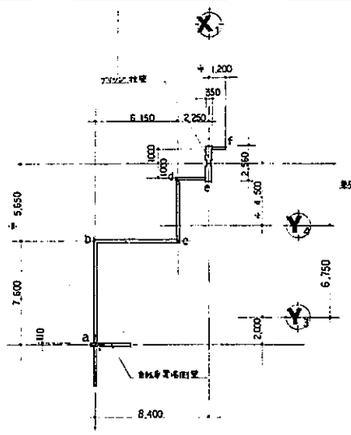




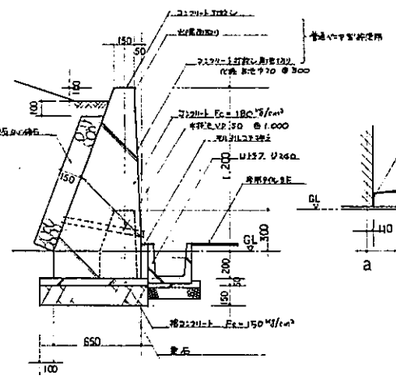
注 鉄部はすべて フタール錆止塗料 (SP) (ただし ｽﾃﾝﾚｽ部は除く)

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 自転車置場 廻り詳細図	図番 A/57
				縮尺 1:100 1:50 1:30	

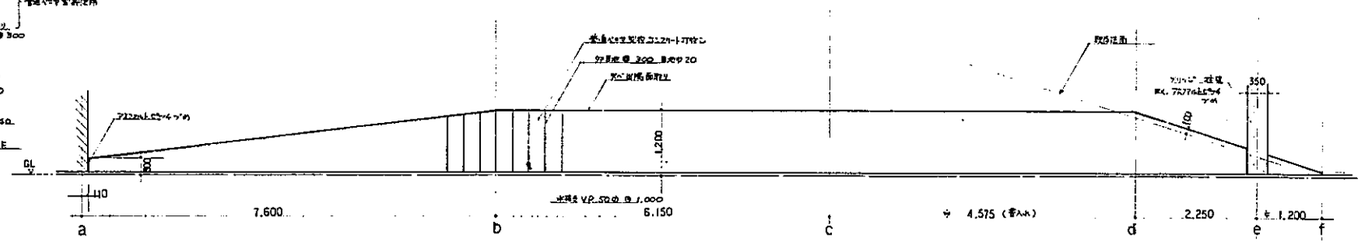
擁壁　詳細図　1:200　1:50　1:20



平面図　1:200

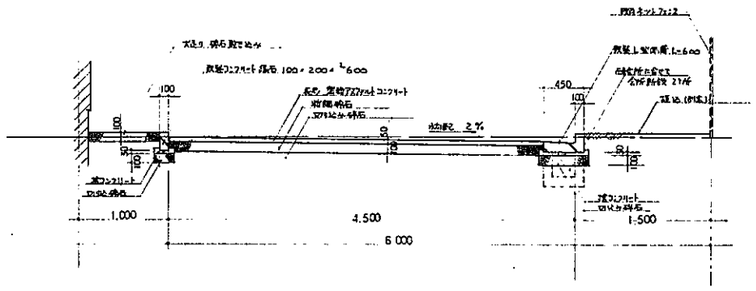


断面詳細図　1:20

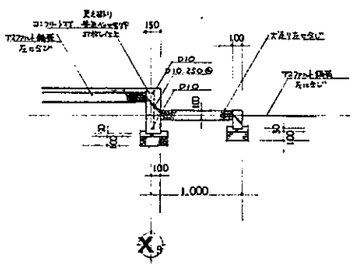


立面図　1:50

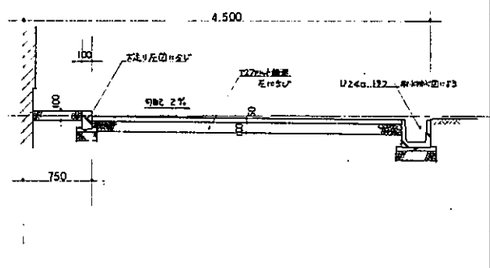
イ－イ　断面詳細図　1:30



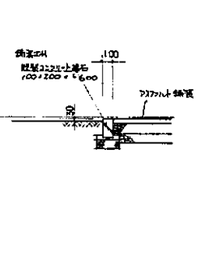
ロ－ロ　断面詳細図　1:30



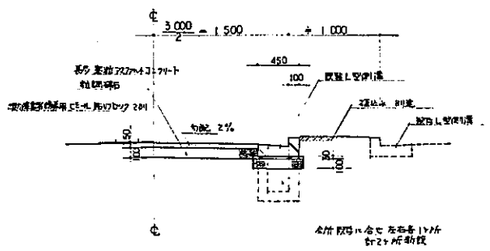
ハ－ハ　断面詳細図　1:30



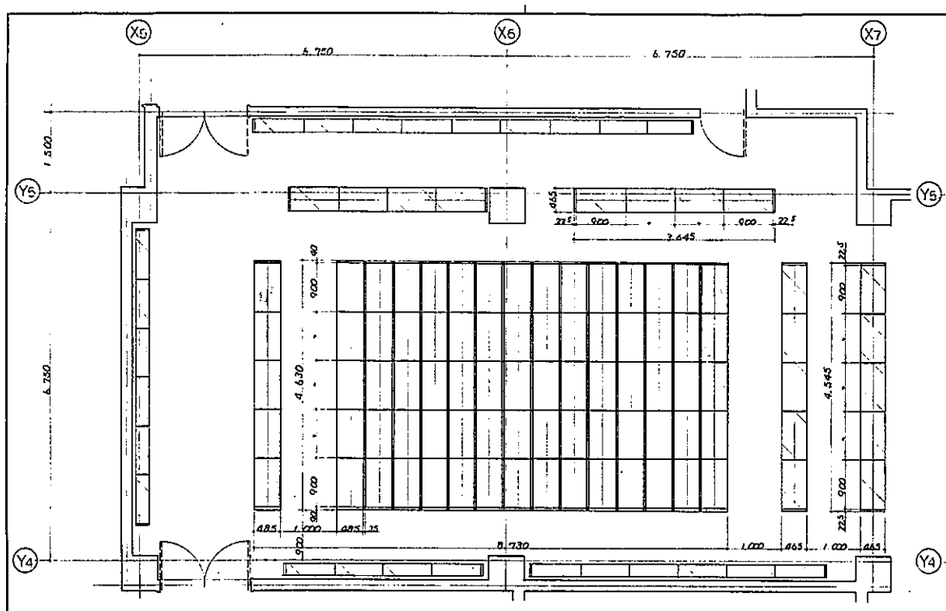
ニ－ニ　断面詳細図　1:30



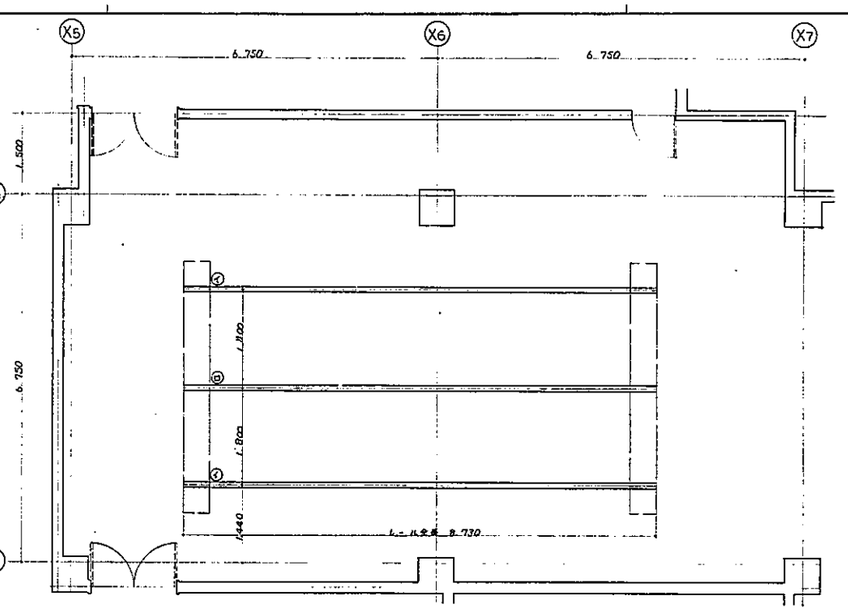
ホ－ホ　断面詳細図　1:30



80107	株式会社 栄和設計事務所	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事
		図名	屋外附帯工事　各部詳細図
		縮尺	1:200　1:50　1:30　1:20
		図番	A/58



1階平面図 S=1/50　　固定棚はBM書庫の詳細に準ずる



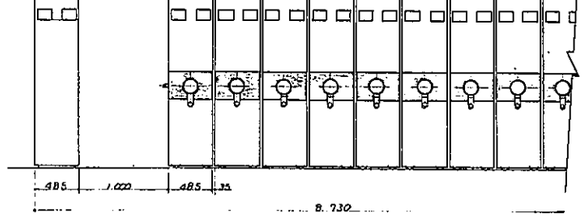
レール配置図 S=1/50

仕様

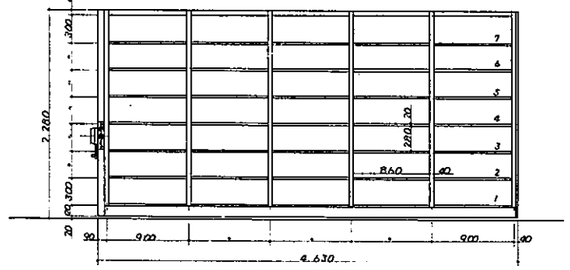
項目		記事
棚の性能		書庫
型式		コンパクト
通路巾		1,000 及び M/M
棚のサイズ	間口	柱芯々 900 M/M
	奥行	埋式 485 M/M
	全高	仕上基面上 2280 M/M
	1段高さ	有効 280 M/M
	段板	中フ厚板
1段許容荷重		単式均り 40 K/㎡
単式積載段数		1050 冊
床方式		モルタル埋込方式 厚さ 30 M/M

凡例

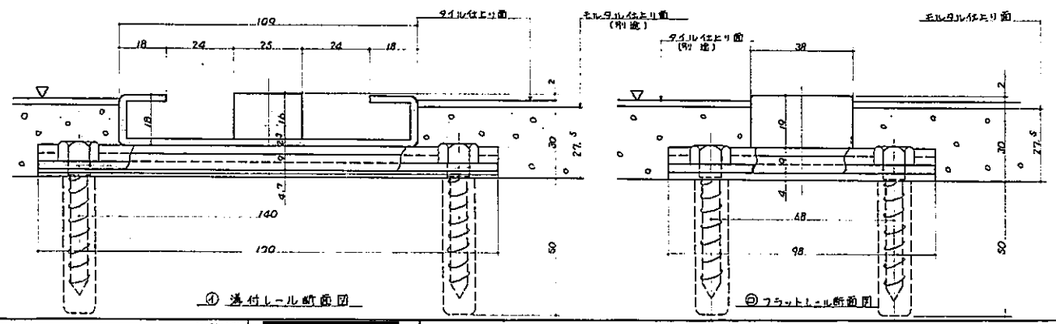
固定棚
可動棚
① 導付レール
② フラットレール



正面図 S=1/30



側面図 S=1/30



① 導付レール断面図　　② フラットレール断面図

ハンドル式手動棚仕様書

1. 棚構造は支柱に角パイプを使用、支柱と横桟を溶接して箱形構造を形成し床台枠に嵌め込み長期間の使用に耐える構造。
2. 通路ロック装置は前正面の操作側にありロック装置を引くと通路がロックされる。引き出して、目視確認がしやすい構造。
3. ロック装置を掛けた側には絶対動かず操作出来には動かす事ができるラチェット構造。棚と棚が接触すると自動的にロックが解除する自動解錠構造。
4. 車輪は特製鋳鉄製ローラーを使用しざらに両側を無注油式の軸受で受ける構造。
5. 駆動装置は常に水平移動するように可動列片側全車輪をシャフトで連結し ハンドル減速装置よりチェーンで動力を伝達する片側全輪駆動方式。
6. 棚板調整ピッチ 50 ㎜間隔で簡単に上下出来ること。

材料

支柱	□1.6×40×40	STKR-41	塗装仕上
横桟	1.6 mm	SPCC	〃
棚板	1.0 〃	〃	〃
補板	1.2 〃	〃	〃
天板	1.0 〃	〃	〃
側板	1.0 〃	SPCC	〃
台枠	3.2 〃	SPHC-P	〃
ローラー枠	3.2 mm	〃	塗装仕上

塗装

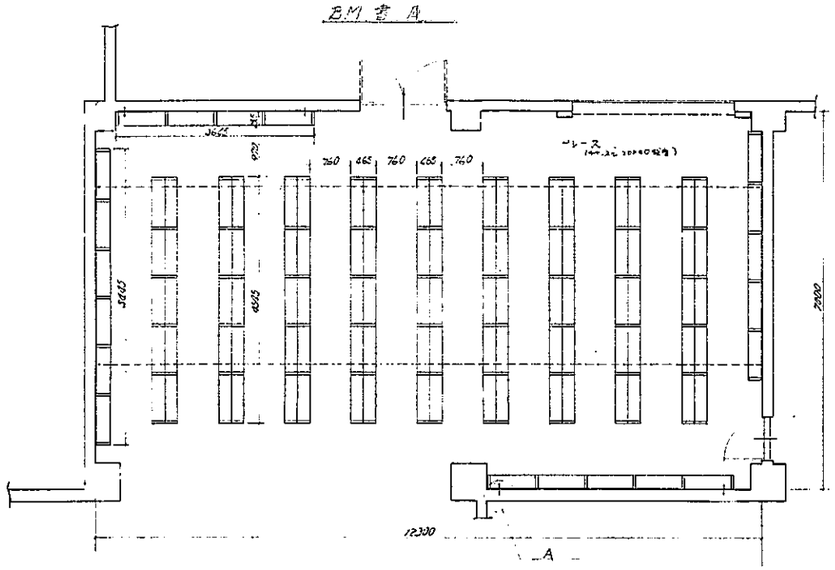
被膜化成処理	脱脂 タリン鉻亜鉛被膜化成自動処理	
仕上塗装	前処 メラミン樹脂塗料使用	静電自動塗装

駆動装置

1. ハンドル	ハンドル化粧板	ABS 樹脂
	握り (回転型)	ナイロン66 樹脂
2. チェン スプロケット	チェン	JIS NO35 JIS NO50
	スプロケット	JIS NO35 JIS NO50
3. 車軸	炭素鋼鍛鋼丸棒	(FCD 60)
	外径	92φ
4. 車軸	2.0φ特殊構造用炭素鋼	(S35C)
5. 軸受	ピローブロック	(内径 20φ)
6. 中間伝動軸	30φ一般構造用炭素鋼鋼管	(STKR)

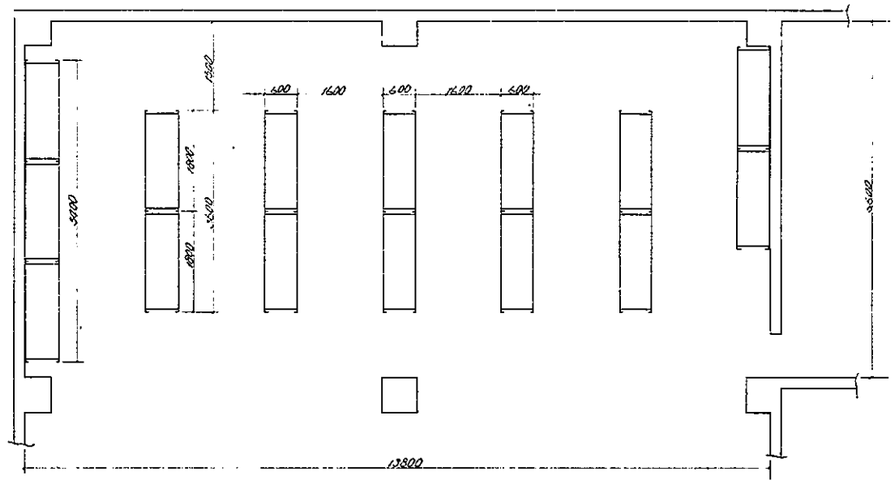
80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 スチール製書庫詳細図 (1) (参考図)	図番 A/59
			縮尺 1:1 1:30 1:50	

B.M 書 A

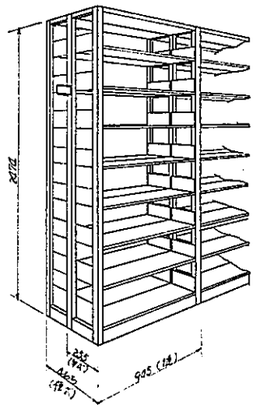


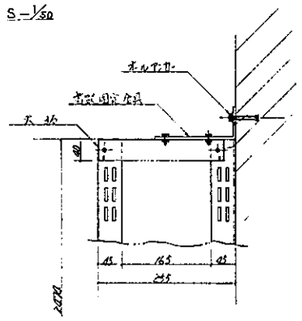
S.-1/50

2F 資料展望室

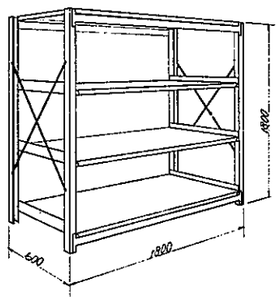


S-1/50





書架背板 壁面固定図 S-1/5



書架	寸法 (W) × (H) × (D) mm	数量	棚板数	
4連単五8段	3645 × 2474 × 255	1組	32枚	
5連 〃 〃	4545 × 2474 × 255	2〃	80〃	
6連 〃 〃	5445 × 2474 × 255	1〃	48〃	
5連 相五8段	4545 × 2474 × 465	9〃	720〃	

注) 書架 (相五) には3角見出し放付とする。

中量ラック	寸法	数量	棚板数	
天板共4段	(W) 1800 × (H) 1800 × (D) 600	16組	70枚	

注) 1段当りの安全荷重は 500kg

80107	株式会社 栄和設計事務所	05・432・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 スチール書架詳細図(2) (標準図) 縮尺 1:1 1:50	図番 A/60

鉄筋コンクリート標準配筋図

適用範囲：本配筋図は、鉄筋コンクリート構造・鉄骨鉄筋コンクリート構造の配筋に適用する。

§1 一般事項

1-1 基礎

杭基礎 ……
杭心 ……
杭径 中心 …… 外径 …… 二本組 ……
長さ …… 2本 ~ …… m ……
継手 …… 溶接 ……

1-2 コンクリート 普通コンクリート …… Fc = 210 kg/cm²
土間コンクリート …… Fc = 150 〃
捨コン …… Fc = 150 〃

1-3 鉄筋 許容応力度 …… SD30

1-4 養生 試験体 …… 16本 …… 供試 …… 現場養生 …… 標準養生 …… 供試体 …… 試験機 …… 試験 …… 試験 …… 試験

基礎伏図 1:100

凡例

ベタ基礎 GL @ 420

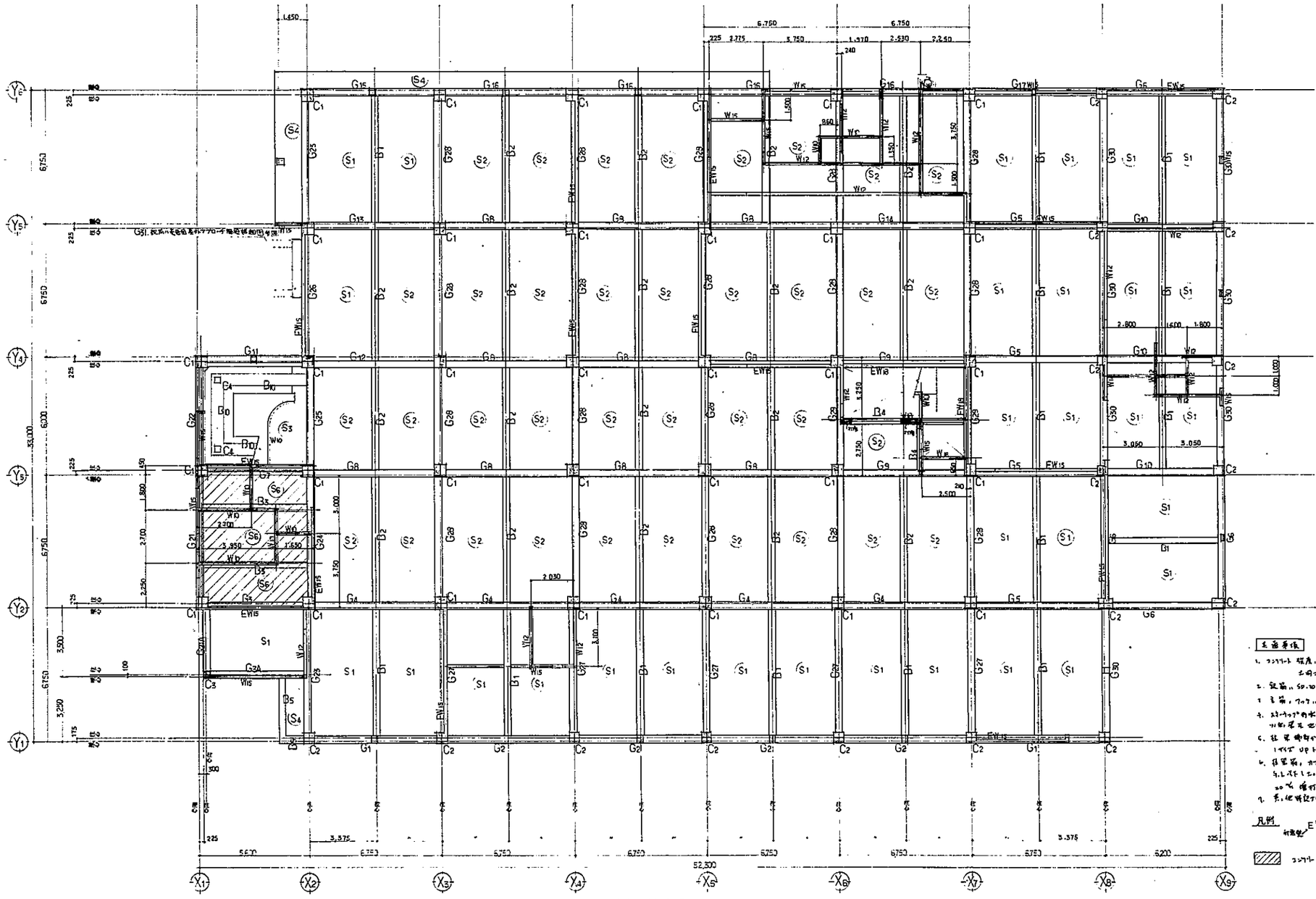
〃 〃 GL @ 70

杭 PC杭(A種) φ400 50本
アンボーリングセメントミルク注入工法
(オーミング付)
支持層 GL -26.000 砂礫層
GL -24.000 〃 } 同本
特記サキ張り ベース下端ハ GL -1.550 トスル
土間 t=150 SD.93 D10 @200 ダブル ニスル。

試験杭 φ 10杯

ボーリング位置 (1201~4)

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 基礎伏図	図番 S/2
				縮尺 S=1:100	



2階床梁伏図　1:100

主要事項

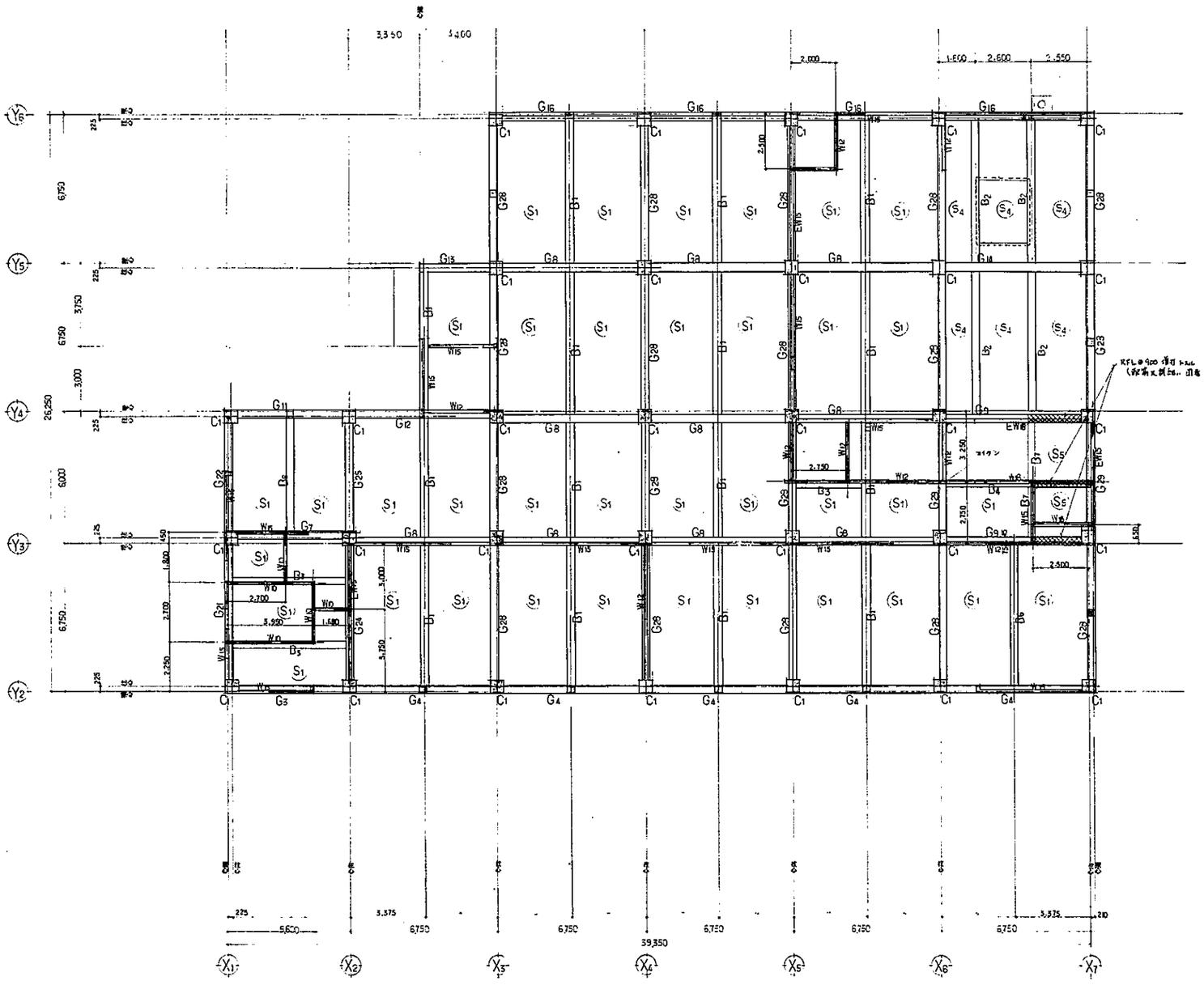
1. コンクリート強度：基礎 $\sigma_{28}F_c=210\ kg/cm^2$
   土間コンクリート $\sigma_{28}F_c=150$ ～
2. 鉄筋：SD30以上 SR24以上 ガス圧接とする。
3. 主筋：フック：標準図(5/1)による。
4. スターラップの末端：下端筋とのみ込む U型補強筋
   の場合：梁せい中まで 標準とする。
5. 柱梁接合部のせん断補強筋：
   1ヶ所で 4本とする。
6. 柱型箱：カブリ 40㎜とする。
   (ただし土に接する所は 60㎜)，柱型は
   20㎜ 増打とカブリ 60㎜とする。
7. 表，記号記入なき場合：標準図(5/1)による。

凡例

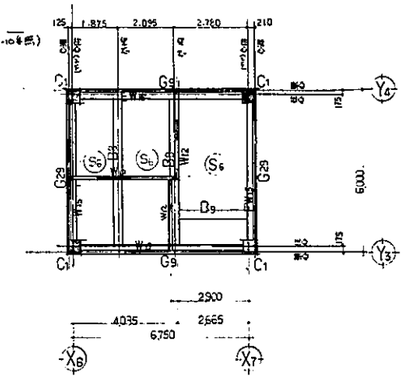
耐震壁 EW15 ～の厚さ15㎝

コンクリート土間 スラブ厚150

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 2階柱梁スラブ伏図 縮尺 S=1:100	図番 S/3

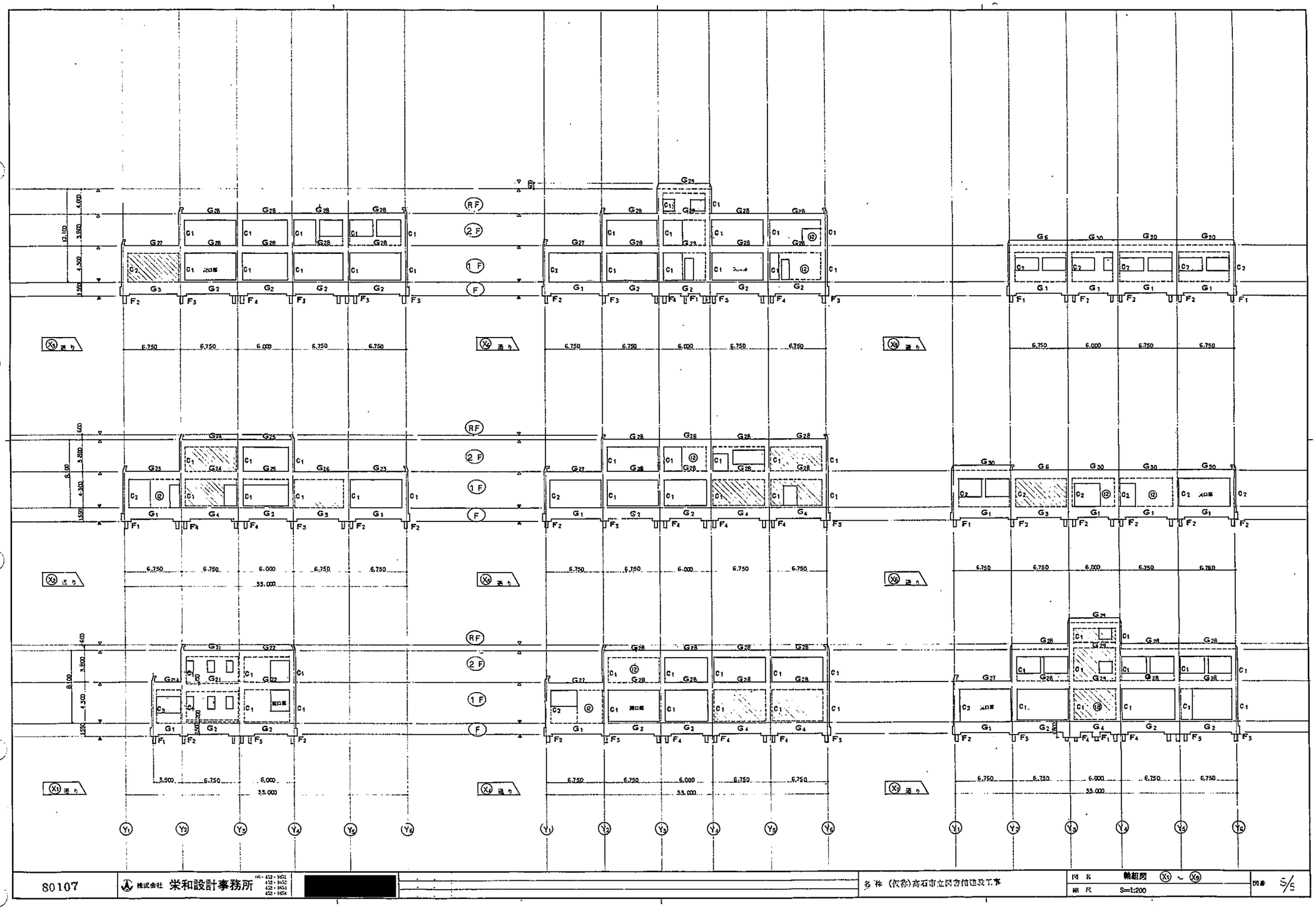


R階床架伏図　1:100

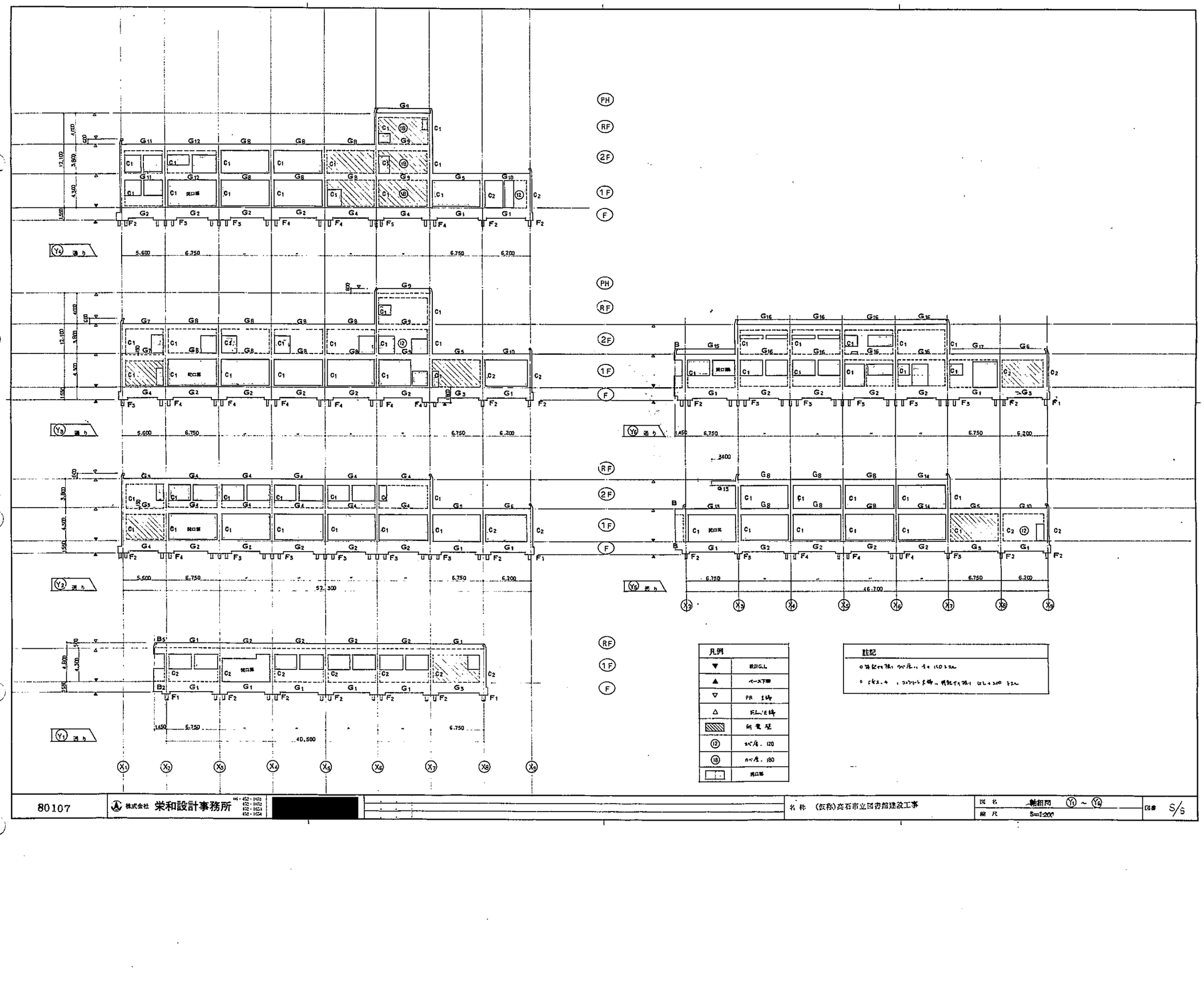


P.H.R階床架伏図　1:100

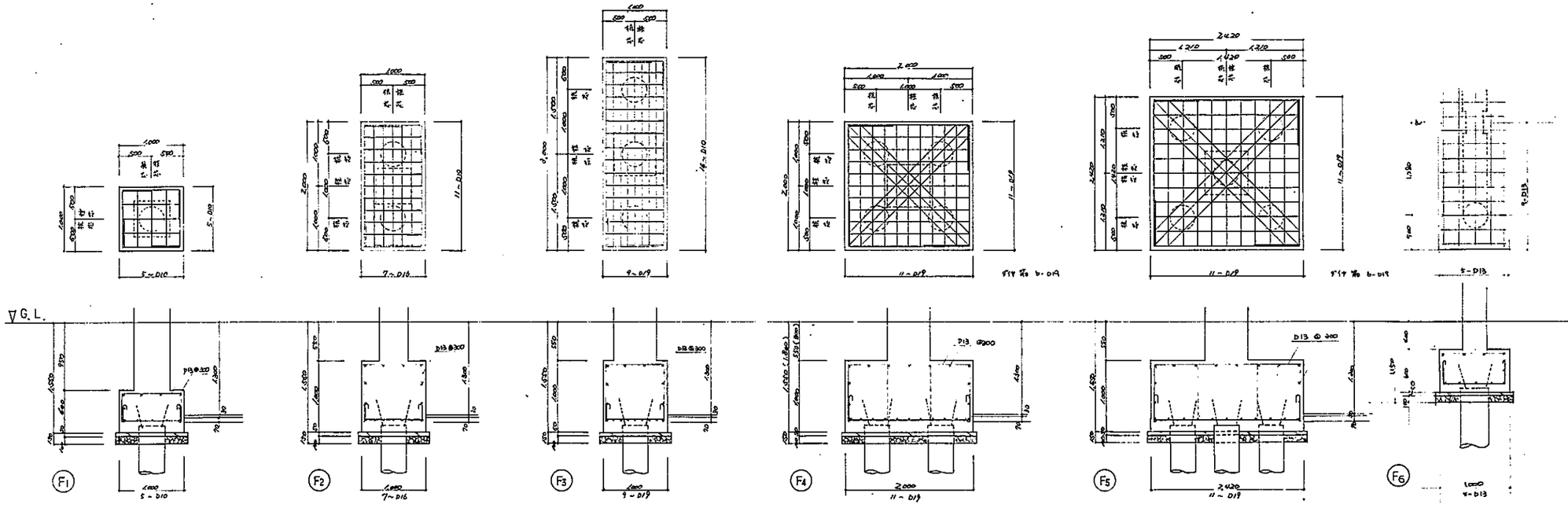
80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高知市立図書館建立工事	図名 R階柱梁スラブ伏図 縮尺 S=1:100	図番 S/4



80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 軸組図 X1 ～ X9	図番 S/S
				縮尺 S=1:200	



80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 軸組図 Y1 ~ Y6
			縮尺 S=1:200
			図番 S/5



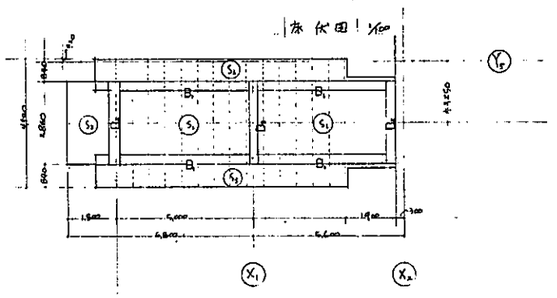
基礎配筋図 1:30

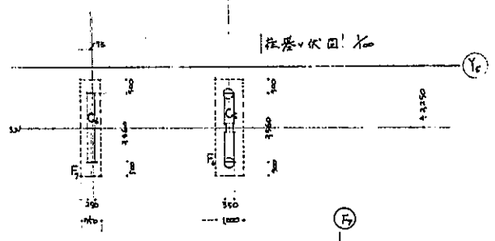
註記
FC 鋼管ｸﾗｽﾀｰ 40 mL2L
白FC 鋼管ｵﾌﾟｼｮﾝ共ｸﾗｽﾀｰ 場合ﾊ 積算配筋可面ﾉ 削除ｽﾙ事.

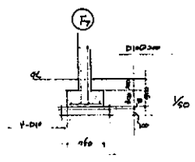
他中 梁 断 面 表

	FG1		FG2		FG3		FG4		FB1		FB2
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部,中央
断面											
B×D		350×1300		350×1500		350×1300		350×1500		350×1300	350×1000
上端	5 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	6 - D22	6 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22
下端	5 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22
STP	D10 @200	〃	D10 @200	〃	D10 @200	〃	D10 @200	〃	D10 @200	〃	D10 @200
腹筋	4 - D10	〃	4 - D10	〃	4 - D10	〃	4 - D10	〃	4 - D10	〃	4 - D10
補助筋	D10 @1,000	〃	D10 @1,000	〃	D10 @1,000	〃	D10 @1,000	〃	D10 @1,000	〃	D10 @1,000

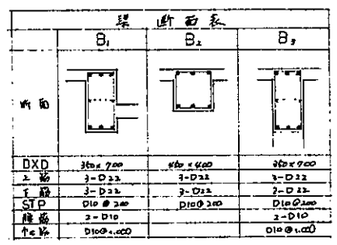
註記 行幅 ｺﾝｸﾘｰﾄ，配筋，積算ﾛ ﾓﾄ.

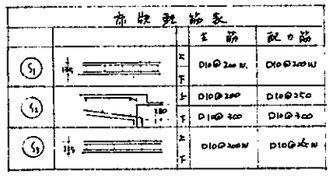


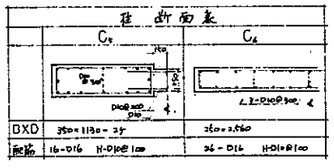




屋外ｱﾌﾟﾛｰﾁ階段







80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 基礎配筋図 梁断面表 / 縮尺 S=1:30 / 図番 S/7

梁 断 面 表

		G1			G2			G3			G3A			G4			G5			G6			G7		
		内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端
PHR	断 面																								
	B×D																								
	上 端																								
	下 端																								
	STP																								
R	断 面																								
	B×D							350×700						350×800									350×700		
	上 端							3-D22	2-D22	3-D22				3-D22	2-D22	3-D22							3-D22	2-D22	3-D22
	下 端							2-D22	3-D22	2-D22				2-D22	3-D22	2-D22							3-D22	3-D22	2-D22
	STP							D10-@300						D10-@300									D10-@300		
2	断 面																								
	B×D	350×700			350×700			350×700			350×700			350×800			350×700			350×700			350×700		
	上 端	4-D22	(3)-D22	3-D22	4-D22	4-D22		5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	2-D22		6-D22	3-D22		7-D22	3-D22		4-D22	(3)-D22	3-D22	6-D22	3-D22	4-D22
	下 端	2-D22	3-D22	(3)-D22	3-D22	3-D22		3-D22	3-D22		1-D22	3-D22		3-D22	3-D22		5-D22	4-D22		2-D22	3-D22		8-D22	3-D22	3-D22
	STP	D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300		

		G8			G9			G10			G11			G12			G13			G14			G15		
		内 端	中 央	外 端	内 端 (12m)	中 央	外 端 (12m)	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端	内 端	中 央	外 端
PHR	断 面																								
	B×D				350×600																				
	上 端				6-D22	2-D22	4-D22																		
	下 端				2-D22	3-D22	2-D22																		
	STP					D10-@300																			
R	断 面																								
	B×D	350×800			350×800						350×700			350×800			350×700			350×800					
	上 端	4-D22	(3)-D22		6-D22	3-D22	6-D22				3-D22	2-D22	3-D22	4-D22	2-D22		4-D22	4-D22		5-D22	3-D22	3-D22			
	下 端	2-D22	3-D22		3-D22	3-D22	3-D22				2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22		3-D22	2-D22		3-D22	4-D22	2-D22			
	STP	D10-@300			D10-@300						D10-@300			D10-@300						D10-@300					
2	断 面																								
	B×D	350×800			350×800			350×700			350×700			350×800			350×700			350×800			350×700		
	上 端	6-D22	3-D22		6-D22	3-D22	6-D22	5-D22	3-D22	5-D22	3-D22	2-D22	3-D22	6-D22	3-D22		6-D22	3-D22	4-D22	6-D22	3-D22	3-D22	5-D22	2-D22	4-D22
	下 端	3-D22	4-D22		3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22		5-D22	4-D22	2-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22
	STP	D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300			D10-@300		

基 礎	t=900
備 考	D10 @ 1,000

註記 [redacted]

80107	株式会社 栄和設計事務所	06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名 称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図 名 梁断面表 縮 尺
					図番 S/8

梁 断 面 表

		G16 内端	G16 中央	G16 外端	G17 内端	G17 中央	G17 外端	G21 内端	G21 中央	G21 外端	G21A 内端	G21A 中央	G21A 外端	G22 内端	G22 中央	G22 外端	G23 内端	G23 中央	G23 外端	G24 内端	G24 中央	G24 外端	G25 内端	G25 中央	G25 外端
PH R	断面																								
	B×D																								
	上端																								
	下端																								
	STP																								
R	断面																								
	B×D	350×800						350×800						350×700						350×800			350×700		
	上端	3-D22	2-D22	3-D22				3-D22	2-D22	3-D22				3-D22	2-D22	3-D22				3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
	下端	2-D22	3-D22	2-D22				2-D22	3-D22	2-D22				2-D22	3-D22	2-D22				3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22
	STP	D10-@200	←	←				D10-@200	←	←				D10-@200	←	←				D10-@200	←	←	D10-@200	←	←
2	断面																								
	B×D	350×800			350×700			350×800			350×700			350×700			350×700			350×800			350×700		
	上端	5-D22	3-D22		4-D22	2-D22		4-D22	2-D22		2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	5-D22	3-D22		3-D22	2-D22	
	下端	3-D22	3-D22		2-D22	3-D22		2-D22	3-D22		3-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22		2-D22	3-D22	
	STP	D10-@200	←		D10-@200	←		D10-@200	←		D10-@200	←	←	D10-@200	←	←	D10-@200	←	←	D10-@200	←		D10-@200	←	

		G26 内端	G26 中央	G26 外端	G27 内端	G27 中央	G27 外端	G28 内端	G28 中央	G28 外端	G29 内端	G29 中央	G29 外端	G30 内端	G30 中央	G30 外端
PH R	断面															
	B×D											350×600				
	上端											3-D22	4-D22			
	下端											3-D22	2-D22			
	STP											D10 @200				
R	断面															
	B×D							350×700			350×700					
	上端							4-D22			4-D22					
	下端							3-D22			2-D22					
	STP							D10 @200			D10-@200					
2	断面															
	B×D	350×700			350×700			350×700			350×700			350×700		
	上端	3-D22	3-D22		5-D22	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22		5-D22	3-D22		3-D22	3-D22	3-D22
	下端	3-D22	2-D22		2-D22	3-D22		3-D22	3-D22		3-D22	3-D22		2-D22	3-D22	2-D22
	STP	D10-@200	←		D10-@200	←	←	D10-@200	←	←	D10-@200	←		D10-@200	←	←

柱 断 面 表

		C1	C2	C3	C4
PH	断面				
	B×D	500×500			
	主筋	8-D22			
	Hoop	D10 @100			
2	断面				
	B×D	600×600			
	主筋	8-D22			
	Hoop	D10 @100			
1	断面				
	B×D	600×600	500×500	350×350	300×300
	主筋	8-D22	4-D22 4-D16	4-D19	4-D16
	Hoop	D10 @100	D10 @100	D10 @100	D10 @100

80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 柱 梁断面表 / 縮尺 / 図番 S/9

80107

株式会社 米和設計事務所

PH.R.F.L.

R.F.L.

2F.L.

G.L.

X6 通 ラーメン図

Y3 通 ラーメン図

(仮称)岩石市次回作業工事

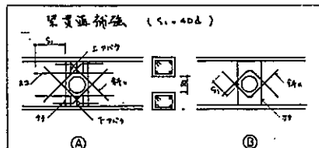
縮尺 S=1:50

S-10

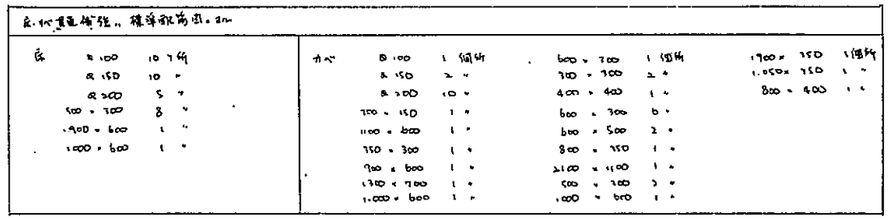
小梁断面表

	B1		B2		B3, ₁B3		B4		B5		B6	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面												
B×D	350×600		350×600		350×600		300×500		350×600		350×600	
上端	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22 4-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	4-D22
下端	2-D22	2-D22	2-D22		2-D22	2-D22	2-D22		2-D22		2-D22	
STP	D10 @200		D10 @200		D10 @200		D10 @200		D10 @200		D10 @200	
肋筋	2-D10		3-D10		2-D10		2-D13		2-D10		3-D10	

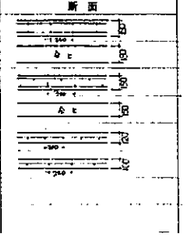
	B7		B8		B9		B10	
	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
断面								
B×D	300×350		300×500		300×500		800×250	
上端	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22 1-D16	2-D22 1-D16
下端	2-D22	2-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22 1-D16	2-D22 1-D16
STP	D10 @200		D10 @200		D10 @200		D13 @200	
肋筋							3-D13	



記号	型式	補強筋				備考
		縦方向	引張	圧縮	肋筋	
$a \leq 100$	B	2-D13	2-D13			SD
$100 < a \leq 150$	A	2-D13	2-D13	2-D13	D10-150@	SD
$150 < a \leq 200$	A	2-D16	2-D16	2-D16	D10-300@	SD
$200 < a \leq 250$	A	2-D19	2-D19	2-D19	D10-300@	B
$w = H$ $700 < H$	A	2-D16	2-D16	2-D16	D10-300@	1

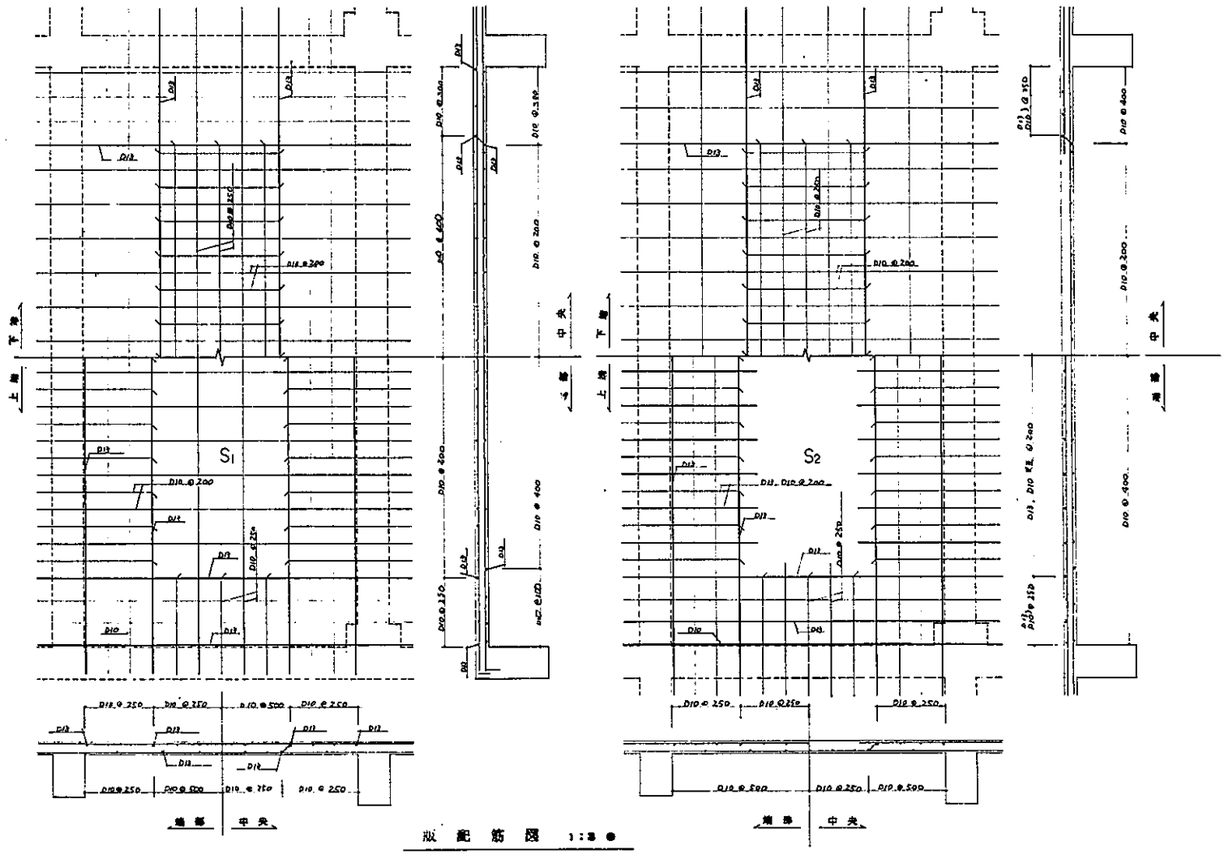


壁配筋表

	厚さ	縦筋	横筋	開口補強	断面
W18	180	D10 @200 ダブル	D10 @200 ダブル	外 2-D16 内 2-D16 外 2-D16 内 2-D16	
EW18	180	D10 @200 ダブル	D10 @200 ダブル	外 2-D16 内 2-D16 外 2-D16 内 2-D16	
W15	150	D10 @200 ダブル(内外)	D10 @200 ダブル(内外)	外 2-D13 内 2-D13 外 2-D13 内 2-D13	
EW15	150	D10 @200 ダブル(内外)	D10 @200 ダブル(内外)	外 2-D13 内 2-D13 外 2-D13 内 2-D13	
W12	120	D10 @200 シングル	D10 @200 シングル	外 2-D13 内 2-D13 外 2-D13 内 2-D13	
W10	100	D10 @250 シングル	D10 @250 シングル	外 2-D13 内 2-D13 外 2-D13 内 2-D13	

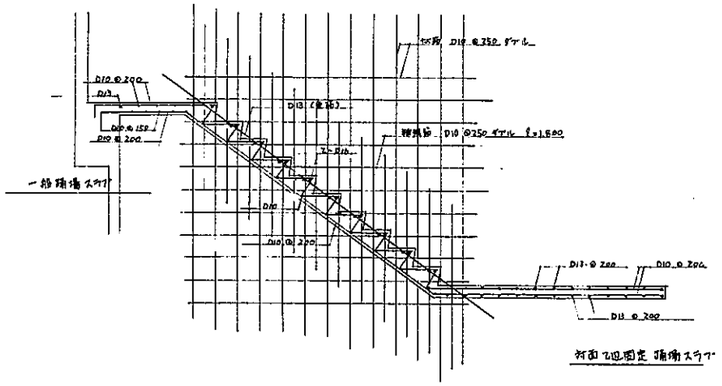
版配筋表

		短辺 端部	短辺 中央	長辺 端部	長辺 中央
S1	上端	D10 @200	D10 @400	D10 @250	D10 @500
	下端	D10 @400	D10 @200	D10 @250	D10 @250
		135			
S2	上端	D10, D13 @200		D10 @250	
	下端	D10 @400	D10 @200	D10 @500	D10 @250
		135			
S3	上端	D13 @150	D13 @150	D13 @150	D13 @150
	下端	D10 @250	D10 @250	D10 @250	D10 @250
		135			
S4	上端	D10 @200	D10 @200	D10 @250	D10 @250
	下端	D10 @200	D10 @200	D10 @250	D10 @250
		135			
S5	上端	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	下端	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
		135			
S6	上端	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
	下端	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
		135			
S7	上端	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
	下端	D10 @200	D10 @200	D10 @200	D10 @200
		135			
S	上端				
	下端				
		200			
S	上端				
	下端				



版配筋図 1:30

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 配筋図 床版配筋図 縮尺 S=1:30	図番 S/11


D10 @200
D13
D10 @150
D10 @200
D10
D10 @200
D13 @200
D10 @200
D13 @200
一般階踊り場スラブ
踊場筋 D10 @250 ダブル ℓ=1,600
D13 @250
D10 @200
D10 @200
D13 @200
D10 @200
D13 @200
D10 @200
D13

(仮称)高石市立図書館建設工事
に伴う 地質調査業務

土質柱状図 (No. 1)

調査地 高石市高師浜丁　　調査年月日 昭和 55年 7月 10日 ～ 55年 7月 11日

標高 TBM-0.027 M　　孔内水位 GL-2.00 M　　技術者 広野 真

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m
-0.027	0.00	0.40		暗灰	盛土	GL-2.70mまで 粗砂主体 以深は細砂よりなる シルト分を含む			
-0.427	0.40	0.35		暗灰	細砂	粘土混り			
-0.777	0.75	0.45		暗灰	シルト質細砂	貝殻片を含む			
-1.227	1.20	0.50		暗灰	細砂	シルト分を含む			
-1.727	1.70	0.50		暗灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-2.227	2.20	0.50		暗灰	砂まじり粘土	粘土分20%以下 シルト分5%以下			
-2.727	2.70	1.20		暗灰	粘土	粘土分20%以下 シルト分5%以下			
-3.927	3.90	1.80		暗灰	細砂混り中粗砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-5.727	5.70	0.30		灰	シルト質細砂	含水大			
-6.027	6.00	0.70		灰	細砂	貝殻片を少量含む			
-6.727	6.70	0.50		暗灰	砂まじり粘土	有機物を多く含む			
-7.227	7.20	0.50		灰	細砂	シルト分を少量含む			
-7.727	7.70	0.50		青灰	細砂	最大径4mm 粒度 一様に 10%程度 粗砂 細中砂			
-8.227	8.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を少量含む			
-8.727	8.70	0.50		青灰	シルト	有機物を含む 貝殻片を含む			
-9.227	9.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-9.727	9.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-10.227	10.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-10.727	10.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-11.227	11.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-11.727	11.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-12.227	12.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-12.727	12.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-13.227	13.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-13.727	13.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-14.227	14.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-14.727	14.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-15.227	15.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-15.727	15.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-16.227	16.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-16.727	16.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-17.227	17.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-17.727	17.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-18.227	18.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-18.727	18.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-19.227	19.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-19.727	19.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-20.227	20.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-20.727	20.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-21.227	21.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-21.727	21.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-22.227	22.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-22.727	22.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-23.227	23.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-23.727	23.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-24.227	24.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-24.727	24.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-25.227	25.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-25.727	25.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-26.227	26.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-26.727	26.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-27.227	27.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-27.727	27.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-28.227	28.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-28.727	28.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-29.227	29.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-29.727	29.70	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			
-30.227	30.20	0.50		青灰	細砂	シルト分を含む			

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値 0 10 20 30 40 50 60 70
1.00	14/30	4	7	8	
2.00	14/30	6	5	3	
3.00	4/32	1	3	1	
3.50	1/40			1	
4.00	1/31			1	
5.00	15/30	4	4	7	
6.00	27/30	7	5	15	
7.00	28/30	5	8	15	
8.00	17/30	5	6	7	
9.00	10/30	3	4	3	
10.00	5/30	2	2	2	
11.00	24/30	6	9	10	
12.00	64/30	15	20	19	
13.00	53/30	18	17	16	
14.00	71/30	2	2	3	
15.00	13/30	3	5	8	
16.00	13/30	5	6	4	
17.00	45/30	6	6	3	
18.00	12/30	3	4	5	
19.00	23/30	5	6	11	
20.00	46/30	11	12	14	
21.00	11/30	3	4	4	
22.00	30/30	5	8	11	
23.00	61/30	9	17	15	

試料

採取方法	不撹乱	採取率	試験深度 m

相対密度：（ゆる〜中〜密）　相対稠度：（軟〜中〜硬）

高石市立図書館建設工事に伴う地質調査業務

土質柱状図 (No. 2)

調査地 高石市高師浜丁　　調査年月日 昭和 55年 7月 21日 ～ 55年 7月 23日

標高 TBM-0.032 M　　孔内水位 GL-1.75 M　　技術者 広野 真

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m
-0.032	0.00	6.00		暗灰	盛土	GL-1.7mまで 細砂主体 以深は細砂よりなる 上部は有機物を混入す			
-6.032	6.00	0.60		暗灰	細砂	粘土混り			
-6.632	6.60	0.55		灰	細砂	粘土分5%以下			
-7.187	7.15	0.90		暗灰緑灰	細砂	粘性土-中礫を部分的に混入			
-8.087	8.05	0.70		暗灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-8.787	8.75	0.60		暗灰	細砂	シルト分を少量含む			
-9.387	9.35	1.05		青灰	砂質シルト	細砂を混入			
-10.437	10.40	0.60		青灰	シルト質細砂	含水大			
-11.037	11.00	0.85		青灰	細砂混りシルト	細砂を少量含む			
-11.887	11.85	0.80		青灰	シルト質細砂	有機物、含む			
-12.687	12.65	0.80		青灰	シルト	有機物を含む 貝殻片			
-13.487	13.45	0.55		青灰	細砂	貝殻細片を少量含む			
-14.042	14.00	2.00		青灰	人工盛り 中細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下を混入 含水小			
-16.042	16.00	1.45		青灰	中細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-17.487	17.45	0.60		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-18.087	18.05	0.60		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-18.687	18.65	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-19.242	19.20	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-19.797	19.75	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-20.352	20.30	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-20.907	20.85	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-21.462	21.40	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-22.017	21.95	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-22.572	22.50	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-23.127	23.05	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-23.682	23.60	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-24.237	24.15	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-24.792	24.70	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-25.347	25.25	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-25.902	25.80	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-26.457	26.35	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-27.012	26.90	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-27.567	27.45	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-28.122	28.00	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-28.677	28.55	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-29.232	29.10	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-29.787	29.65	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			
-30.342	30.20	0.55		青灰	細砂	粘土分5%以下 シルト分5%以下			

標準貫入試験

深度 m	N値 回/cm	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値 0 10 20 30 40 50 60 70
1.00	23/30	5	8	15	
2.00	19/30	2	8	11	
3.00	1/35	0	1	0	
4.00	3/30	1	1	1	
5.00	3/33	1	1	1	
6.00	24/30	7	9	15	
7.00	30/30	2	9	12	
8.00	24/30	10	9	5	
9.00	25/30	3	9	13	
10.00	11/30	3	4	6	
11.00	3/30	3	1	2	
12.00	6/30	1	2	4	
13.00	55/30	12	19	24	
14.00	6/30	3	2	1	
15.00	27/30	2	9	18	
16.00	69/18	27	42		
17.00	63/16	43	20		
18.00	19/30	1	7	6	
19.00	18/30	11	4	3	
20.00	9/30	2	3	4	
21.00	12/30	4	4	4	
22.00	60/18	21	39		
23.00	16/30	6	6	6	
24.00	11/30	3	4	7	
25.00	60/17	13	47		
26.00	47/30	21	17	14	
27.00	61/20	43	32		
28.00	60/11	47	13		
29.00	61/20	28	33		
30.00	37/30	5	10	12	

試料

採取方法	不撹乱	採取率	試験深度 m

相対密度：（ゆる〜中〜密）　相対稠度：（軟〜中〜硬）

高石市立図書館建設工事に伴う地質調査業務 **土質柱状図** (No. 3)

調査地 高石市高師浜丁 …… 調査年月日 昭和55年7月22日～55年7月23日

標高 TBM −0.035 m 孔内水位 GL−1.85 m 技術者 [redacted]

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	記事	相対密度	相対稠度	現位置貫入抵抗 kg/cm²	深度 m	打撃回数/貫入量	N値	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	標準貫入試験 N値 0 10 20 30 40 50	試料採取方法	試料取乱し	試料乱さず	現位置貫入抵抗 kg/cm²	標尺 m
1					暗褐灰～青灰	埋土	砂れきからなる 最大径は30%程度 全般に粘土10～15%のれきを混入、下部ではシルト分を含む				1.00	28/30		10	11	8						1
2											2.00	6/30		1	1	6						2
3											3.00	4/30		2	1	1						3
4	-4.135	4.10	4.10								4.00	3/30		1	1	1						4
5	-4.375	4.40	0.30		暗灰	砂質シルト	貝殻混り 含む 細砂～細砂層を挟む				5.00	3/32		1	1	1/2						5
6	-4.635	4.70	0.30		暗灰	細砂	貝殻片を含む。				6.00	7/30		4	1	2						6
7	-4.775	4.80	0.10		青灰	砂質シルト	10%以下のれきを混入				7.00	32/30		7	11	14						7
8	-5.435	5.40	0.60		青灰	細砂	一部シルト層を挟む。				8.00	10/30		3	3	2						8
9	-6.435	6.40	1.00								9.00	25/30		7	7	11						9
10	-6.535	6.50	0.10		青灰	砂れき	15%以下のれきを混入、基質は粗中砂 含水大				10.00	47/30		13	17	17						10
11	-7.735	7.70	1.20		青灰	礫混り粗中砂	10%以下のれきを少量混入、含水大				11.00	33/30		7	8	7						11
12	-7.935	7.90	0.20		暗灰	砂質シルト	れきを少量混入				12.00	53/30		13	23	30						12
13	-8.235	8.20	0.30		暗灰	砂れき	15%以下のれき混入、含水大				13.00	7/30		3	2	5						13
14	-8.435	8.40	0.20		暗灰	砂質シルト	細礫混り 含む 粘性小				14.00	5/30		1	3	2						14
15	-8.535	8.50	0.10		青灰	細砂	細礫を混入				15.00	6/30		1	2	1						15
16	-8.835	8.80	0.30		青灰	細砂	細礫を少量混入、				16.00	6/30		2	2	2						16
17	-9.135	9.10	0.30		暗灰	砂質シルト	細礫混り 含む 粘性小				17.00	28/30		7	7	4						17
18	-9.335	9.30	0.20		青灰	粘土	均質 粘性大				18.00	8/30		3	2	3						18
19	-9.435	9.40	0.10		青灰	中礫砂	下部には礫を混入 含水大				19.00	11/30		3	4	4						19
20	-9.635	9.60	0.20		青灰～暗灰	粘土	上部はシルト分を少量含むが、全体に均質 粘性大				20.00	13/30		3	3	6						20
21	-9.735	9.70	0.10								21.00	8/30		3	3	2						21
22	-9.935	9.90	0.20		青灰	砂質シルト	細礫混り 含む 細砂を少量混入、				22.00	10/30		4	3	3						22
23	-10.035	10.00	0.10		暗茶灰	細礫土	一部中砂含む				23.00	50/15		22								23
24	-10.235	10.20	0.20		青灰	砂れき	10%以下のれきを多く混入 基質は粗中砂 含水大				24.00	50/19		26								24
25	-10.435	10.40	0.20								25.00	50/14		33								25
26	-10.535	10.50	0.10		灰	砂質粘土	細礫混り 少量含む、細砂層を挟む				26.00	28/30		9	11	11						26
27	-10.735	10.70	0.20								27.00	18/30		5	7	6						27
28	-10.835	10.80	0.10		灰	細～中砂	含水大 れきを少量混入				28.00	50/18		18								28
29	-11.135	11.10	0.30		青灰	砂れき	15%以下のれきを混入				29.00	50/12		33								29
30	-11.335	11.30	0.20								30.00	50/14		33								30

東建地質調査株式会社

高石市立図書館建設工事に伴う地質調査業務 **土質柱状図** (No. 4)

調査地 高石市高師浜丁 調査年月日 昭和55年7月24日～55年7月26日

標高 TBM −0.853 m 孔内水位 GL−1.20 m 技術者 [redacted]

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	地質名	記事	相対密度	相対稠度	現位置貫入抵抗 kg/cm²	深度 m	打撃回数/貫入量	N値	10cmごとの打撃回数 10cm	20cm	30cm	標準貫入試験 N値 0 10 20 30 40 50 60 70	試料採取方法	試料取乱し	試料乱さず	現位置貫入抵抗 kg/cm²	標尺 m
1					暗灰～青灰	埋土	主に砂れきからなり、GL−4m付近より細砂となる。粘性小 粘性15%以下のれきを混入する				1.00	4/30	6	4	6						1
2											2.00	1/30	2	1	6						2
3											3.00	1/12			1/12						3
4	-4.185	4.10	4.40								4.00	2/30	1/1		1/6						4
5	-4.485	4.40	0.30		暗灰	粘土	粘性 非常に大				5.00	1/30	1/1		1/6						5
6	-4.685	4.60	0.20		暗灰	砂質シルト～細砂	性20%以下のまま混入、貝殻片を含む 部分的に細中砂 含む				6.00	18/30	8	5	5						6
7	-4.835	4.75	0.15		黄緑灰	細砂	貝殻片含む 粒子は比較的均一 含水小				7.00	14/30	7	8	11						7
8	-5.035	4.95	0.20		暗灰	砂質シルト	貝殻片を少量含む 細砂を挟む				8.00	8/30	5	2	1						8
9	-5.135	5.05	0.10		暗灰	細砂	シルト分を少量含む				9.00	5/30	1/1	1/1	4						9
10	-5.435	5.35	0.30		青灰	シルト混り細砂	含水小				10.00	13/30	4	4	5						10
11	-5.735	5.65	0.30		暗青灰	細砂	シルト混り 均一 粒径				11.00	8/30	4	2	2						11
12	-5.935	5.85	0.20		暗灰	シルト	貝殻混り含む 粘性中				12.00	4/30	1	1	2						12
13	-6.135	6.05	0.20		青灰	シルト質粘土	貝殻混り含む 粘性中				13.00	5/30	2	1	2						13
14	-6.335	6.25	0.20		青灰 緑灰	砂質シルト	細礫混り含む 粘性小				14.00	5/12	3	1	2						14
15	-6.435	6.35	0.10		青灰	砂れき	15%以下のれきを混入				15.00	3/30	1	1	1						15
16	-6.635	6.55	0.20		暗青灰	細砂	シルト分を少量含む 含水小				16.00	4/30	1	2	2						16
17	-6.835	6.75	0.20		青灰	シルト	細礫混り 均一				17.00	3/30	1	1	2						17
18	-7.035	6.95	0.20		青灰	粘質シルト	細礫混り 粘性小				18.00	3/30	1	1	2						18
19	-7.135	7.05	0.10		青灰	シルト	均一 粘性大				19.00	4/30	1	1	3						19
20	-7.335	7.25	0.20		青灰	粘質シルト	細礫混り 粘性小				20.00	3/30	1	1	2						20
21	-7.435	7.35	0.10		青灰	細砂	細礫混り含む				21.00	7/30	3	3	4						21
22	-7.635	7.55	0.20		暗灰	シルト	細礫混り含む				22.00	3/30	1	1	2						22
23	-7.735	7.65	0.10		暗茶灰	細礫土	木片を挟む				23.00	4/30	1	1	3						23
24	-7.935	7.85	0.20		青灰	砂れき	最大径25%一部に10%以下のれきを混入、基質は粗中砂 含水大				24.00	4/30	1	1	3						24
25	-8.135	8.05	0.20								25.00	4/30	1	1	3						25
26	-8.335	8.25	0.20								26.00	4/30	1	1	3						26
27	-8.435	8.35	0.10								27.00	4/30	1	1	3						27
28	-8.635	8.55	0.20								28.00	4/30	1	1	3						28
29	-8.735	8.65	0.10		青灰	砂混りシルト	細礫混り含む 粘性小				29.00	4/30	1	1	3						29
30	-8.935	8.85	0.20		青灰	砂混りシルト	細礫混り含む 砂分に細砂				30.00	4/30	1	1	3						30

東建地質調査株式会社

80107	株式会社 栄和設計事務所 [redacted]	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 土質柱状図 (2)	図番 5/14
				縮尺	

電気設備工事特記仕様書

工事名称	(仮称)高石市立図書館建設工事
工事場所	高石市高師浜7-6-5
工事期間	昭和　年　月　日より昭和　年　月　日まで
建築概要	RC構造 2階建　1階 1,577.60㎡　2階 885.16㎡　塔屋 42.60㎡　延床面積 2,505.44㎡ 自転車置場 28.60㎡

一般事項

1 本工事は本仕様書，添付図面，日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」電気協会「内線規程」その他関係諸法規に準拠し安全に施工すること。
2 本工事に必要な諸官公庁 電力会社への申請及び手続きは全て請負者の負担にて遅滞なく行うこと。
3 使用機材に関しては予め監督員に見本または製作図面を示しその承認を受けること。
4 施工にあたってはなるべく施工図面を作成し監督員の承認を受けること。
5 施工にあたっては関連工事と綿密な連絡をとり工事全般に支障なきようにすること。
6 本工事施工に関して現場の納りまたは取合い，器具の取付位置，取付工法等の軽微な変更（使用数量の5%以内）は監督の指示により行い この場合においては請負金額の変更は行わない。
7 本工事請負契約書による瑕疵担保期間内において施工の不備，機器の不良による事故発生時は全て請負者負担にて修理，補修の事。

工事種目
工事範囲

1 高圧引込及び受変電設備工事
本工事は図示の如く電力会社柱より高圧にて引込を行い以降 キュービクルに至る配管配線及機器取付並びにキュービクル据付調整試験の一切とする。（なお基礎設計者の躯体施工費用も含む。）
2 幹線 動力設備工事
本工事は図示の如く キュービクル以降 電灯分電盤，動力操作盤に至る配管配線及機器取付並び動力回路に於ては末端機器迄の配管配線の一切とする。
3 電灯コンセント設備工事
本工事は図示の如く電灯分電盤以降 末端 照明器具，配線器具に至る配管配線及器具取付並び点灯試験の一切とする。
4 電話空配管設備工事
本工事は図示の如く引込口以降 末端電話受口に至る配管 の一切とする。なおコピーター用配管も本工事に含む。
5 放送設備工事
本工事は図示の如く放送用アンプ設置以降 末端 スピーカーに至る配管配線 機器取付調整の一切とする。
6 電気時計設備工事
本工事は図示の如く親時計設置以降 末端子時計に至る配管配線 機器取付調整の一切とする。
7 インターホン設備工事
本工事は図示の如く親機設置以降 末端子機に至る配管配線 機器取付調整の一切とする。なお身障者用表示設備も本工事に含む。
8 テレビ共聴設備工事
本工事は図示の如く共聴アンテナ設置以降 末端テレビ受口に至る配管配線 機器取付調整の一切とする。
9 自動火災報知設備工事
本工事は図示の如く受信機設置以降 末端感知器に至る配管配線 機器取付調整の一切とする。
10 防排煙制御設備工事
本工事は図示の如く制御盤設置以降 末端リレー及び感知器に至る配管配線 機器取付調整の一切とする。

特記事項

1 地中配管部は防食テープ巻きとする。
2 露出配管部は錆止塗装のエナメル仕上げ2回塗り以上とする。
3 配線器具のプレートはステンレス製とする。
4 全配管には全てプルボックス（16%ビニール被覆引張）を入線すること。
5 特記工事は記入なき法規上必要な工事は全てはずすことなく施工すること。
6 照明器具及びスピーカーの手配と補強は建築工事とする。
7 露出配管は屋内仕様配管を使用のこと。

使用機材

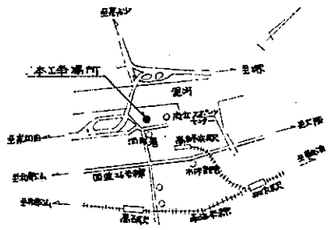
1	電線・高圧ケーブル	住	石	日	立	藤	倉	古	河
2	低圧ケーブル	上記の外		大	崎	タ	ツ	タ	
3	電線管	松	下	東	芝	日	パ	イ	
4	盤	製	九	州	日	浦	円	外	
5	受変圧器	三	菱	大	変	松	下	東	芝
6	コンデンサー	〃		日	コ	指	月		
7	照明器具	松	下	東	芝	三	菱		
8	配線器具	〃		〃					
9	制御機器	〃		ビ	ク	タ	ー	東	芝
10	電気時計	〃		T	I	C			
11	インターホン	〃		ア	イ	ホ	ン	東	芝
12	テレビ機器	八	木	D		×			
13	火災報知器	ニ	ッ	タ	ン	能	美		
14	電線管附属品	松	下	東	芝	日	パ	イ	堀	場

凡例

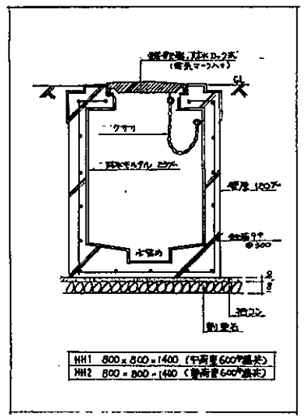
記号	名称		備考
	電灯分電盤		器具回号照
	動力操作盤		〃
	電報盤		〃
	端子箱又は盤		
(M)	電動機		設備工事
●	液面電極	保持器共	標記は極数を示す。
ⓒ	ケミコイル用コントローラー	本体は空調工事に含む。	取付配線は本工事
	照明器具	壁光灯	器具参照
◎	〃	〃	〃
⊖	〃	〃	〃
○ ○	〃	白熱灯	〃
●	〃	非常用照明	〃
●	〃	誘導灯B級単灯	〃
◘	〃	水銀灯	〃
• •3 •4	埋込スイッチ	1P10A，3路，4路	(場所によりフルカバー使用)
○	パイロットランプ		(〃)
●	リモコンセレクタースイッチ		
✗	リモコンスイッチ		
⊕ ⊕2	埋込コンセント	2P15A×1，2P15A×2	(場所によりフルカバー使用) 標記Eは2P20A引
⊕	〃	2P20A×1	(〃)
⊕	フロアーコンセント	〃 回転式	
⊕	〃	〃 引掛式	〃
⊕	〃	3P30A×1 〃 〃	〃
⊕	電話受口	公衆用 モジュラージャック	
⊕ ⊕	〃	一般用 〃 ローゼットン	
	放送用アンプ	卓上型	器具参照
◎	スピーカ	天井埋込型	〃
◎	〃	壁掛型	〃
ダ	アッテネーター		
●	電気時計	親時計	器具参照
◔	〃	子時計	〃
●	インターホン	親機	〃
●	〃	子機	〃
●	〃	ドアホン子機	〃
	身障者用表示盤	2回路用	〃
○	〃 表示灯		〃
⊡ ⊡	〃 押釦	トイレ用押釦，緊急押釦	〃
	テレビ共聴アンテナ		
四	分配器・盒	2分配×1，ブースター UV-35dB×1，UV混合器×1	共架
⊖ ⊖R	テレビ受口	中間型，端末型，直列ユニット(分配器内蔵とす)	

名古屋高石市消防組合消防本部

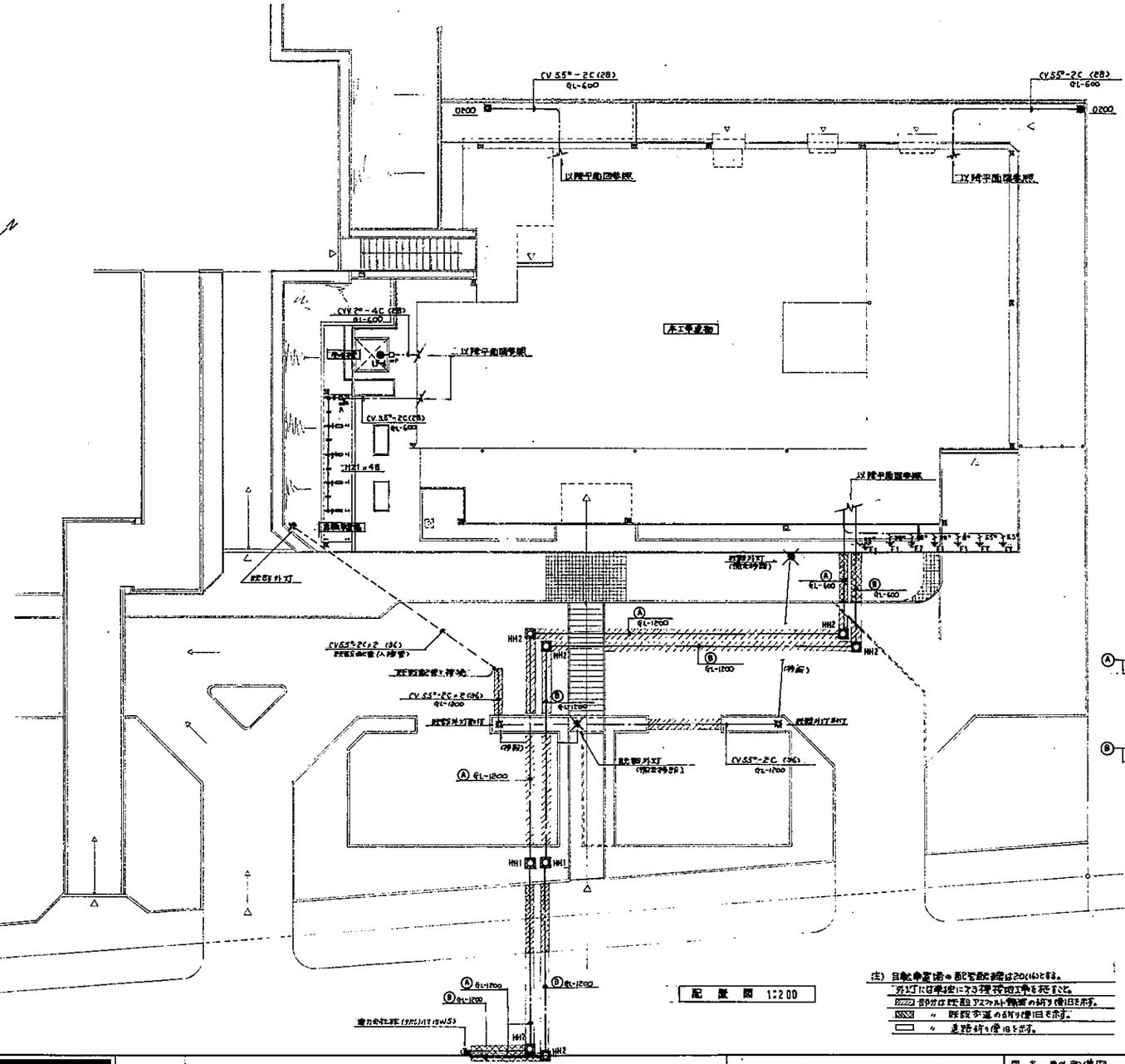
80107	株式会社 栄和設計事務所 [redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名	特記仕様書・凡例
				縮尺	
				図番	E/1



附近見取図



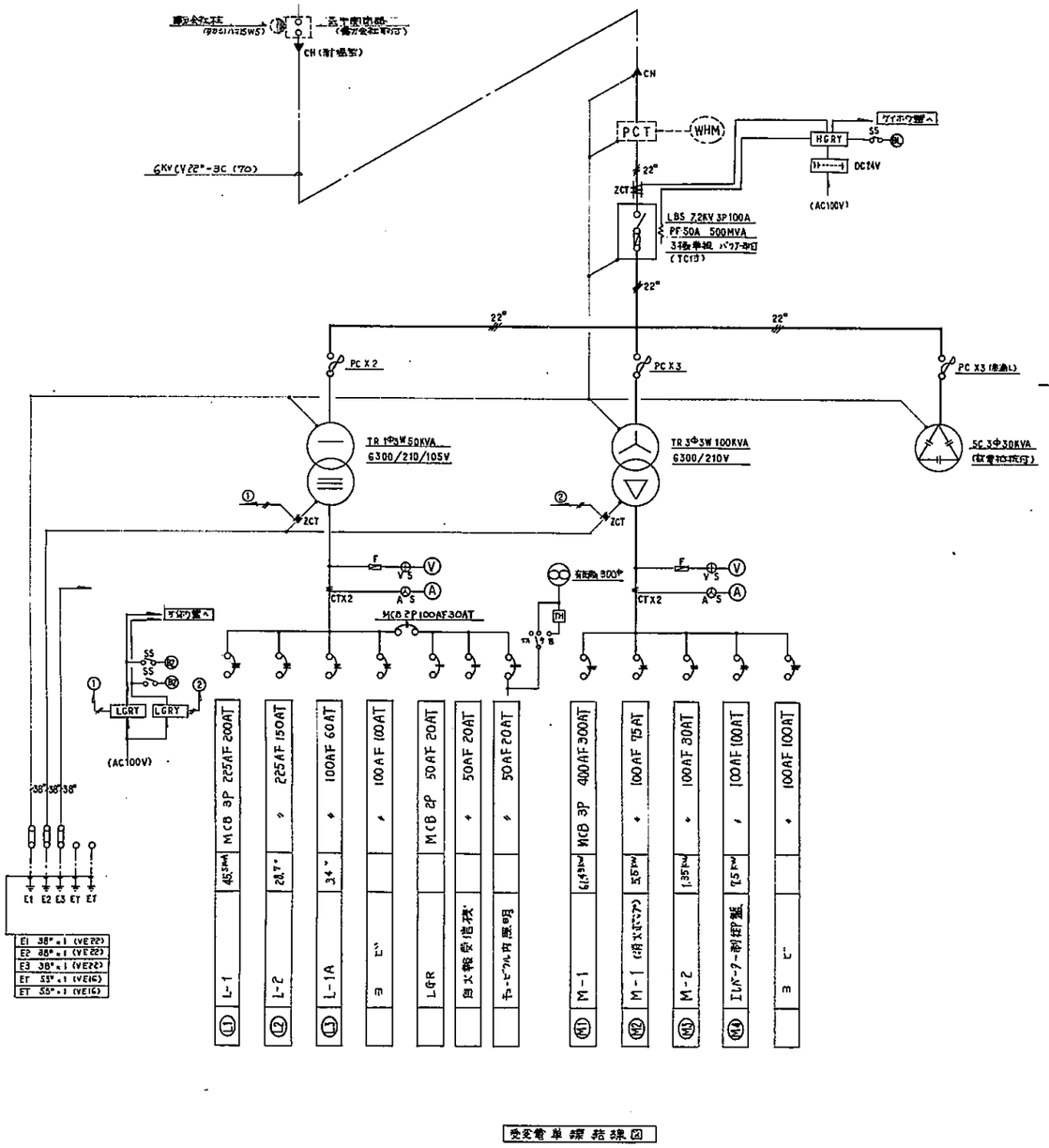
ハンドホール参考図



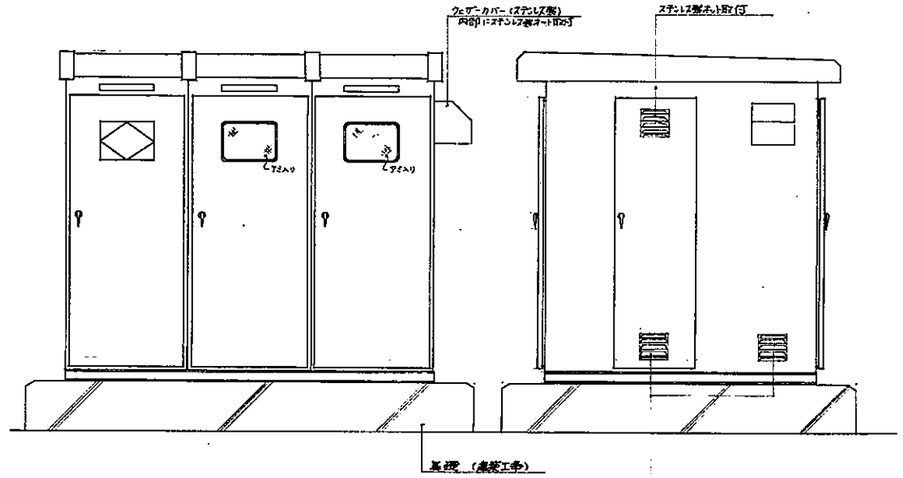
配置図 1:200

注) 自転車置場の配管配線は2D(16)とする。
別工には単独にて3埋設工事を施すこと。
▨ 部分は既設アスファルト舗装の切り復旧を示す。
▩ 〃 既設歩道の切り復旧を示す。
□ 〃 道路切り復旧を示す。

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 屋外設備図 縮尺 1:200 図番 E 2/2



受変電単線結線図

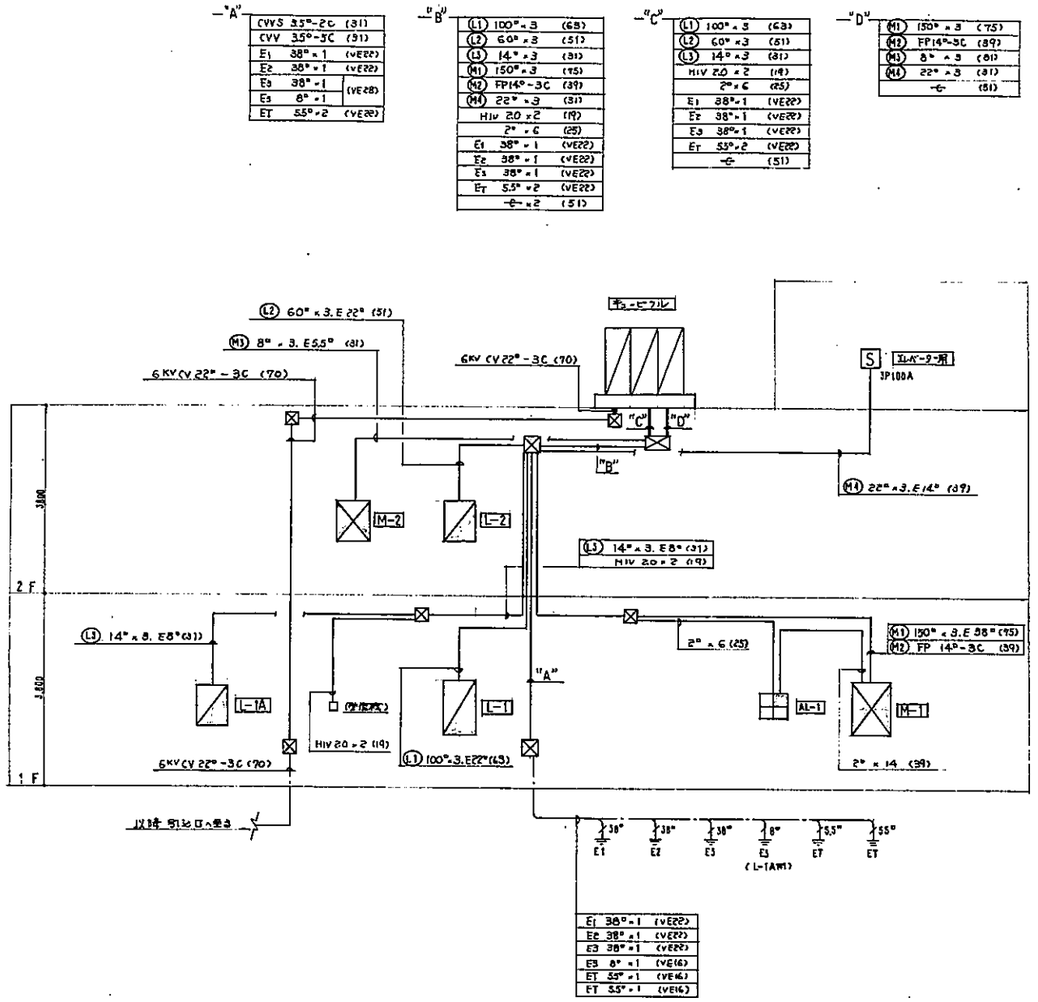


キュービクル参考姿図

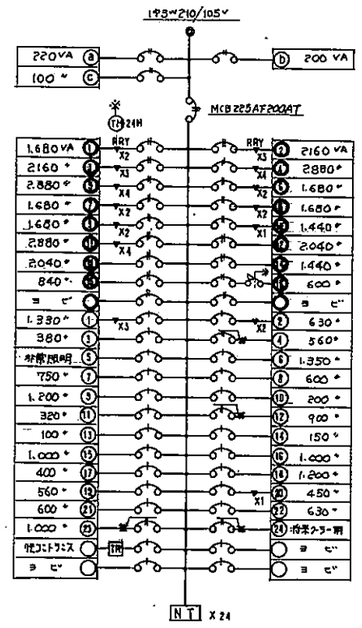
注記

1	扱扉は側面、天井、扉 2.3t 底板 低圧配電盤 3.2t以上とする。
2	扉にはストッパーを取付けること。
3	換気ガラリの内面にはステンレス防虫網を取付けること。
4	LBSの前面には透明アクリライト製保護板 (3t以上) を取付けること。
5	低圧配電盤の裏面通路にはすき透ゴムマット (耐電圧 7000V以上) を敷設すること。
6	外周フェンスの出入口扉には立入禁止および高圧危険の表示銘板を取付けること。
7	耐塩塗装を施すこと。 (フタルザン塗料塗り)
8	キュービクル内高圧配線は高圧架橋ポリエチレンプロピレンゴム電線 (KIP) を用いること。
9	高圧機器の絶縁距離はG号Aとする。
10	取扱説明書入り本箱 (15cm) を納入のこと。
11	変圧器には防振ゴムを取付けること。
12	100AF以上のブレーカーの しゃ断容量は 15KA以上とする。
13	配電盤の上部および背面には蛍光灯を取付けること。(FL10W-1 × 6本)
14	配電盤の裏面にコンセント (15A) 1個取付けること。

99107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 受変電設備図 / 縮尺 / 図番 E/3



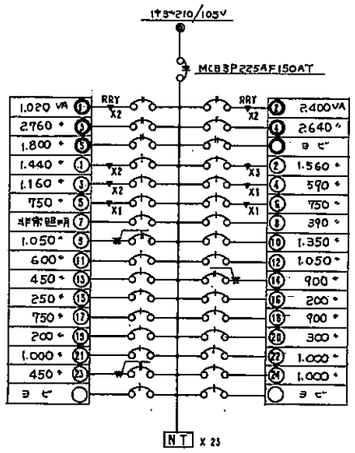
幹線系統図



(45.590VA)

MCB 2P 50AF 20AT	×21
EL B 2P 30AF 20AT (003)	×4
MCB 1P 50AF 20AT	×24
リモコンリレー 1P 20A	×35
リモコントランス 100/24V	×1
MgS 1P 20A	×1
タイマー (24H) 停電補償3	×1

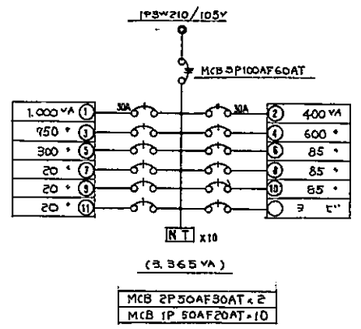
L — 1



(28.710VA)

MCB 2P 50AF 20AT	×6
ELB 2P 30AF 20AT (003)	×3
MCB 1P 50AF 20AT	×23
リモコンリレー 1P 20A	×14

L — 2



(3,365 VA)

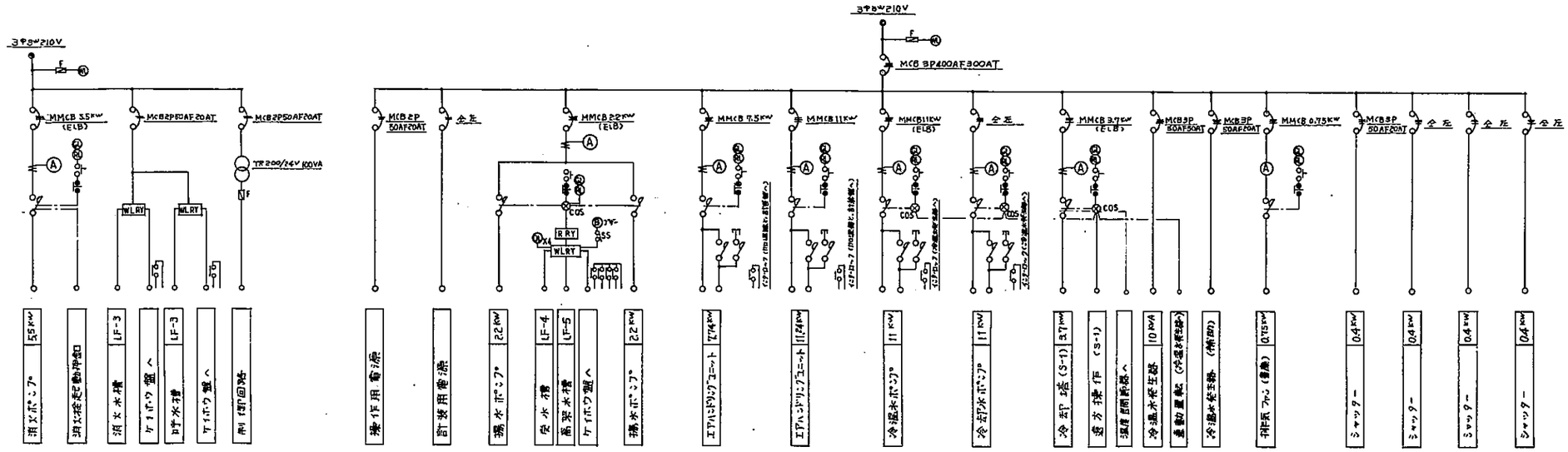
MCB 2P 50AF 30AT	×2
MCB 1P 50AF 20AT	×10

L — 1A

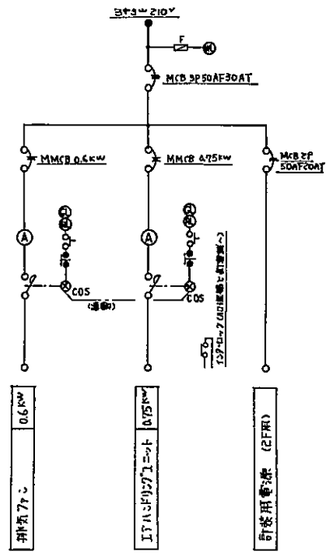
(回路番号表示)

(N)	200V 一般回路
(NC)	〃 リモコン回路
(N)	100V 一般回路
(NC)	〃 リモコン回路

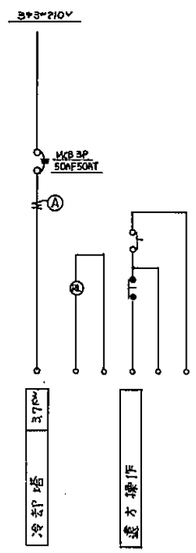
80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 幹線系統図・盤姿幹線図
			縮尺
			図番 E /4



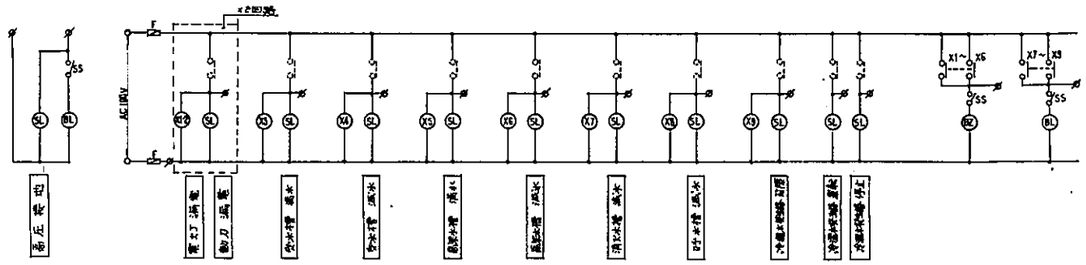
M－1

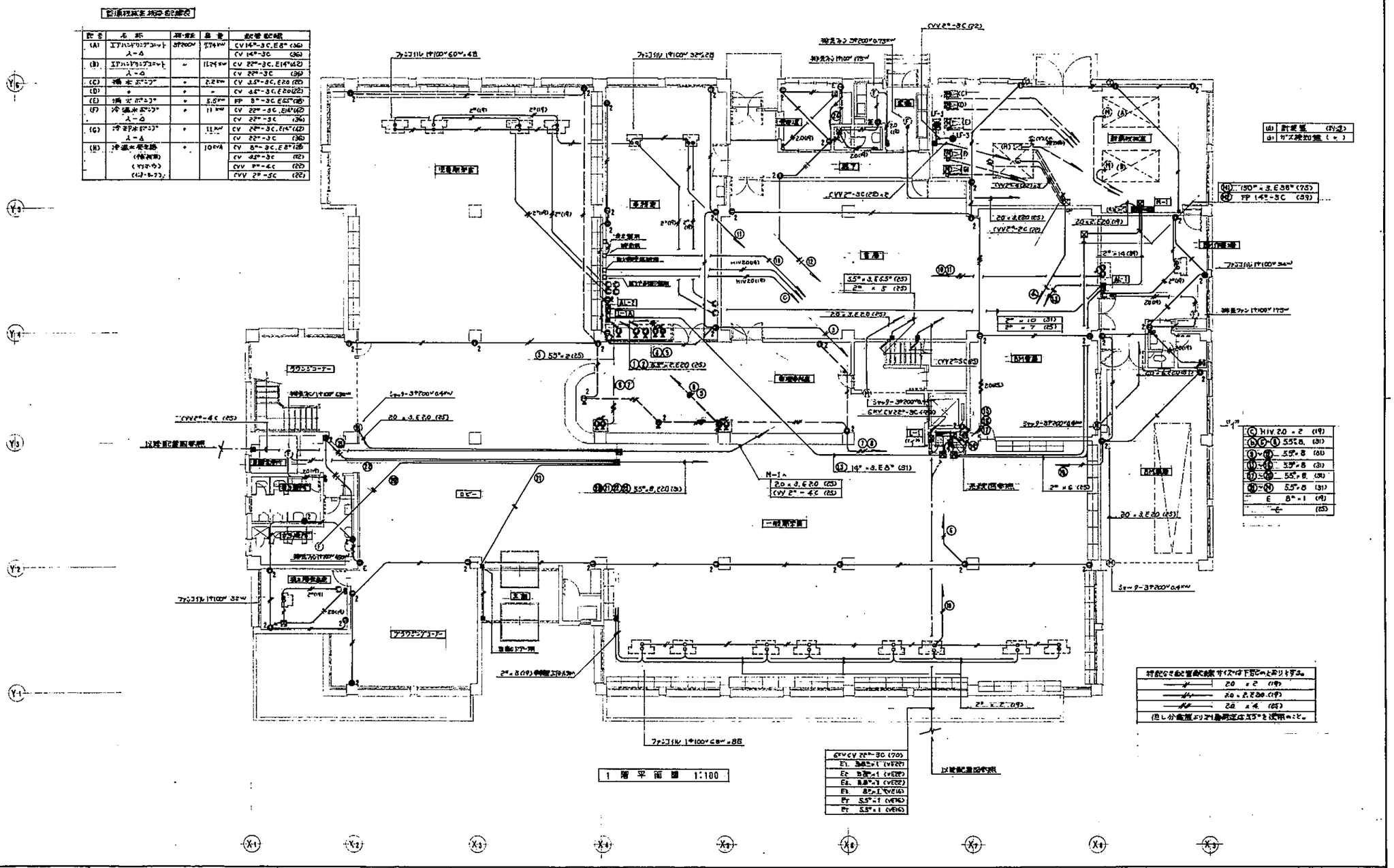


M－2

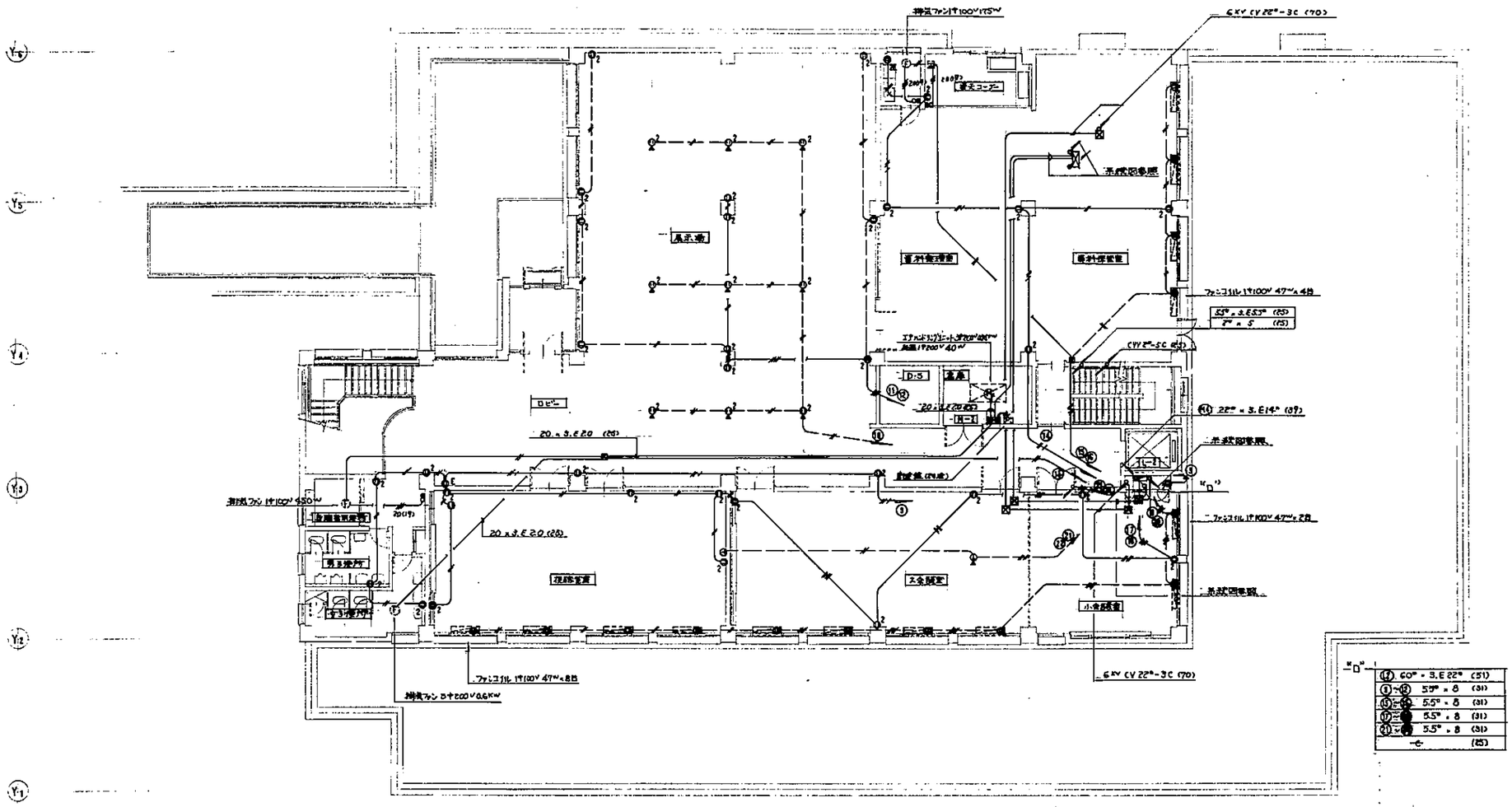


S－1 屋外給水管 (耐候ﾌﾗﾙｻﾝ塗料塗り)


AC1φ1w
高圧受電
警報灯 消火
動力 運転
雑排水槽 揚水
雨水槽 揚水
雑排水槽 揚水
雨水槽 揚水
雑排水槽 揚水
雨水槽 揚水



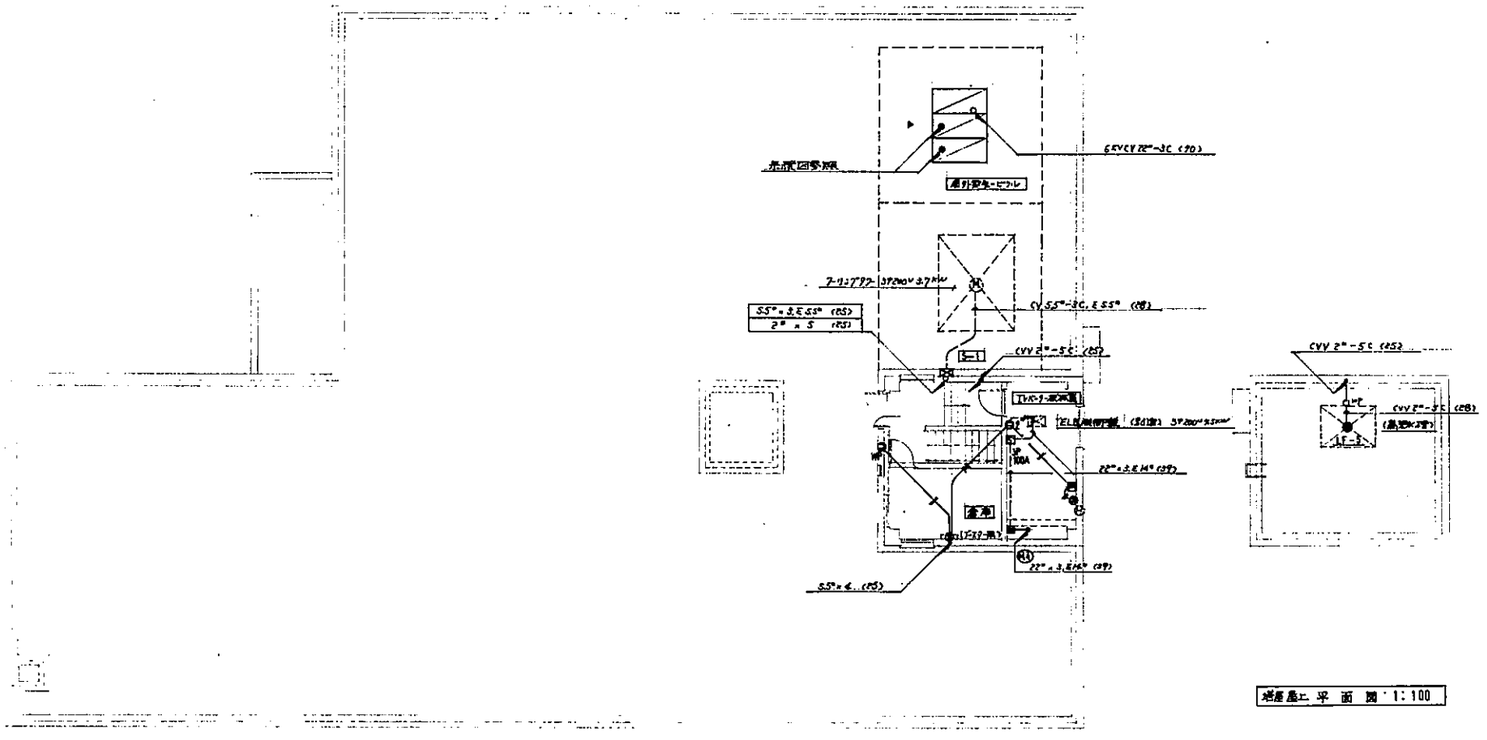
80107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 幹線・動力・コンセント設備図	尺度 1:100	図番 E/6



2 階 平 面 図 1:100

特記なき限り電線サイズは下記のとおりとする。
20 × 2 (19)
20 × 2.E 20 (19)
20 × 4 (25)
但し分電盤より下り幹線は 60° を使用のこと。

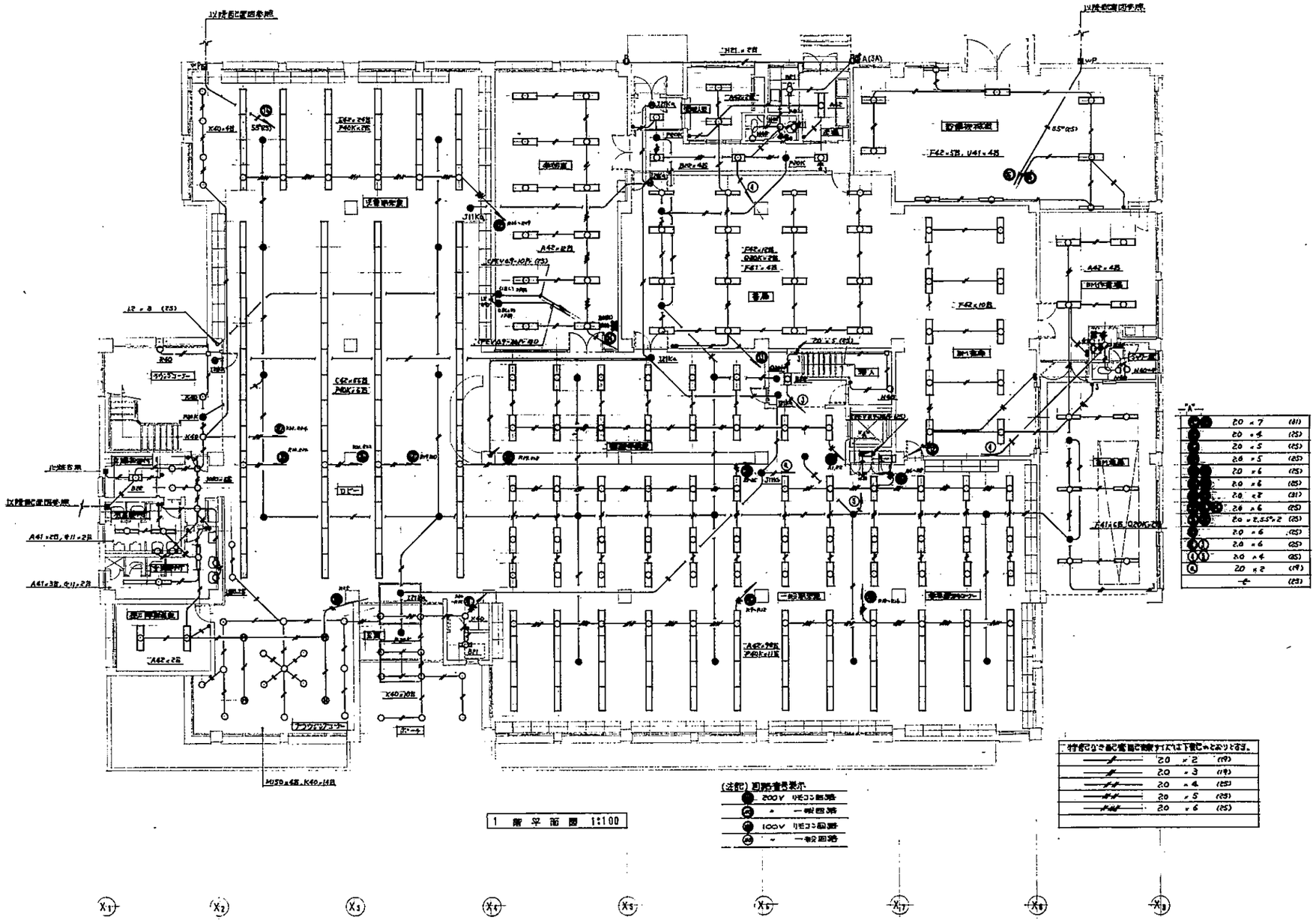
80 107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 幹線 動力・コンセント計画図	図番 E/7
				縮尺 1:100	



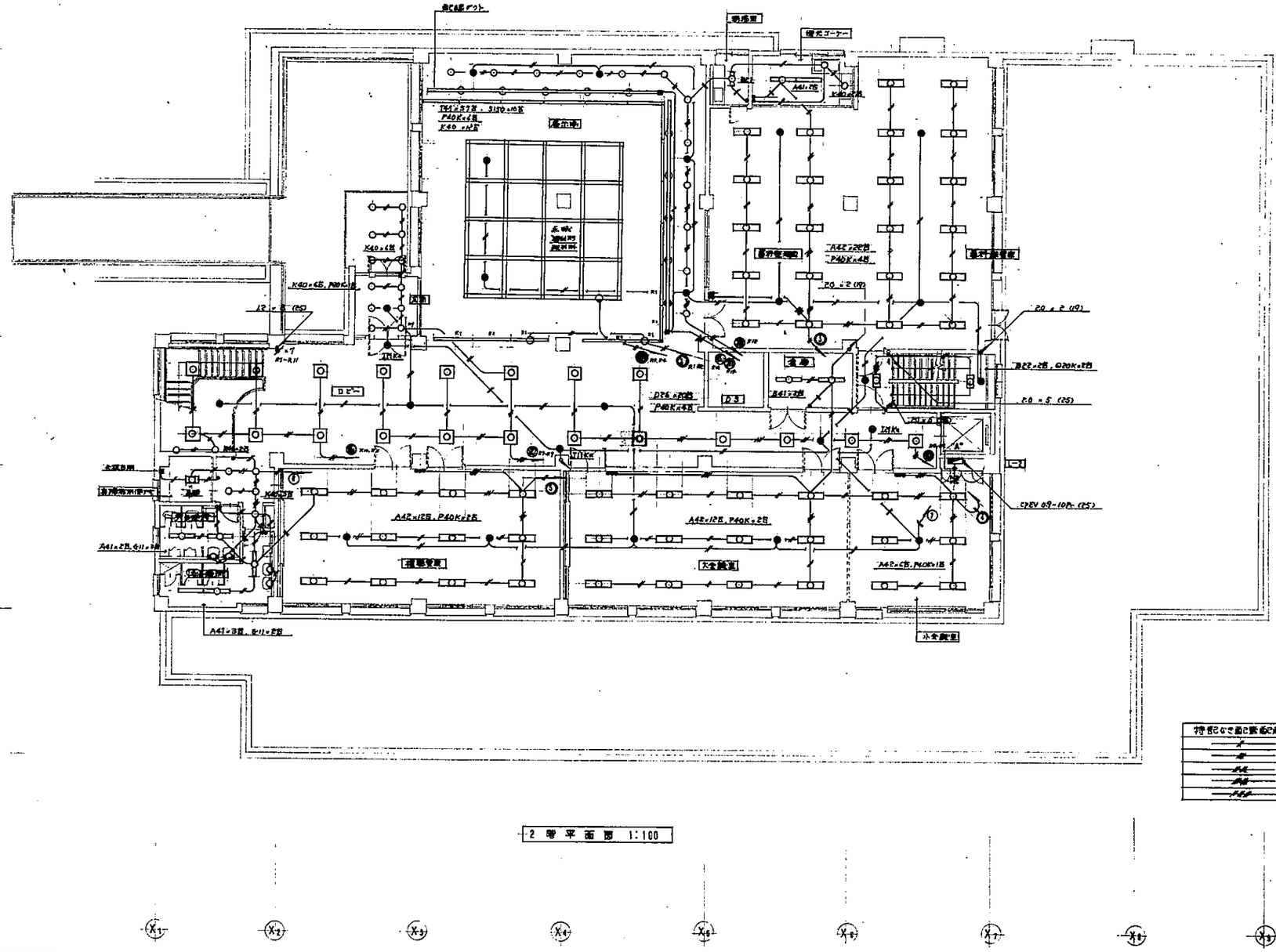
増屋根上 平 面 図 1:100

R 階 平 面 図 1:100

80 107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名 称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図 名 [illegible]	図番 E/8
				縮 尺 1:100	



80 107	株式会社 栄和設計事務所	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事
		図名 電灯設備図
		縮尺 1:100
		図番 E/9



"A"

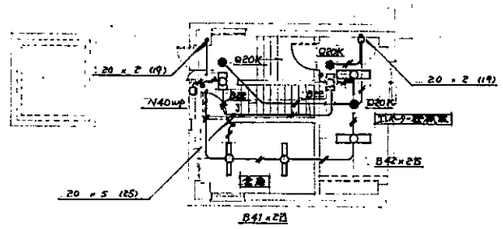
	20 × 6	(25)
	20 × 6	(25)
	20 × 7	(31)
	20 × 6	(25)
	20 × 4	(25)
	20 × 4	(25)
	←	(25)

特記なき壁に敷設配管サイズは下記のとおりとする。

	20 × 2	(19)
	20 × 3	(19)
	20 × 4	(25)
	20 × 5	(25)
	20 × 6	(25)

2 階 平 面 図 1:100

80 107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 電灯設備図 縮尺 1:100	図番 E/10

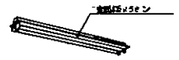


塔屋屋上平面図 1:100

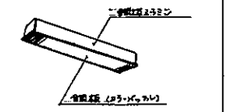
R 階平面図 1:100

80 107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 電灯設備図 縮尺 1:100	図番 E/11

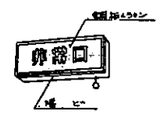
照明器具参考図



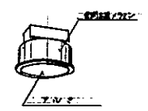
A42	FL40W×2	AC200V
A41	FL40W×1	〃



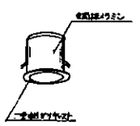
F42	FL40W×2	AC200V
F41	FL40W×1	〃



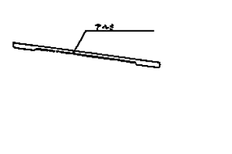
J11Ka	FL20W×1 カド=カ内蔵 片面型	AC100V
J11Kb	〃 〃 両面型	〃



M150	ハイカライト 150W	AC200V
N40WP	IL40W 防水型	AC100V
N40	〃	〃

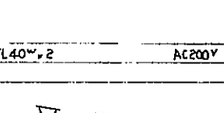


P40K	IL40W カド=カ内蔵	AC100V
P20K	IL20W 〃	〃
Q20K	IL20W カド=カ内蔵	AC100V

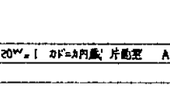


T41	FL40W×1	AC200V
U41	FL40W×1	AC200V

B42	FL40W×2	AC200V
B41	FL40W×1	〃
B22	FL20W×2	AC100V
B21	FL20W×1	〃



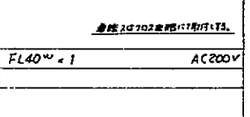
F42	FL40W×2	AC200V
F41	FL40W×1	〃



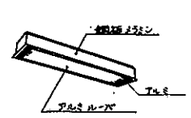
J11Ka	FL10W×1 カド=カ内蔵 片面型	AC100V
J11Kb	〃 〃 両面型	〃

N40WP	IL40W 防水型	AC100V
N40	〃	〃

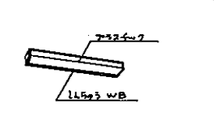
Q20K	IL20W カド=カ内蔵	AC100V



U41	FL40W×1	AC200V

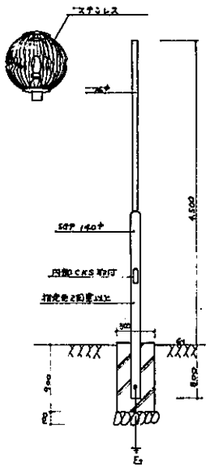


C42	FL40W×2	AC200V



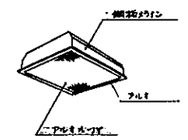
G11	FL10W×1	AC100V

K40	IL40W	AC100V

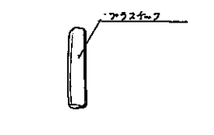


R40	IL40W (ポール形)	AC100V

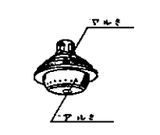
S150	IL150W (ビーム形)	AC100V



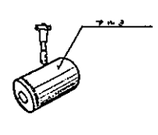
D26	FL20W×6	AC100V



H21	FL20W×1 防水型	AC100V



L150	IL150W (ビーム形)	AC100V



0200	HF200W	AC200V

1 蛍光灯はFL20W以上は予熱始動形ラピッドスタート式，20W未満は点灯管グロースタート式とする。
2 水銀灯の安定器は定電力型安定器とする。
3 誘導灯及び通路誘導灯は消防法適合品とする。
4 非常照明器具は建築基準法認定品とする。
5 官庁勤仕様とする。
6 200V器具 及び 防水型の器具は器具アースをとること。
7 器具の取付はスラブ(躯体)インサート，ボルトにて躯体にまで取付のこと。(蛍光灯FL20×2灯，40×1灯以上)

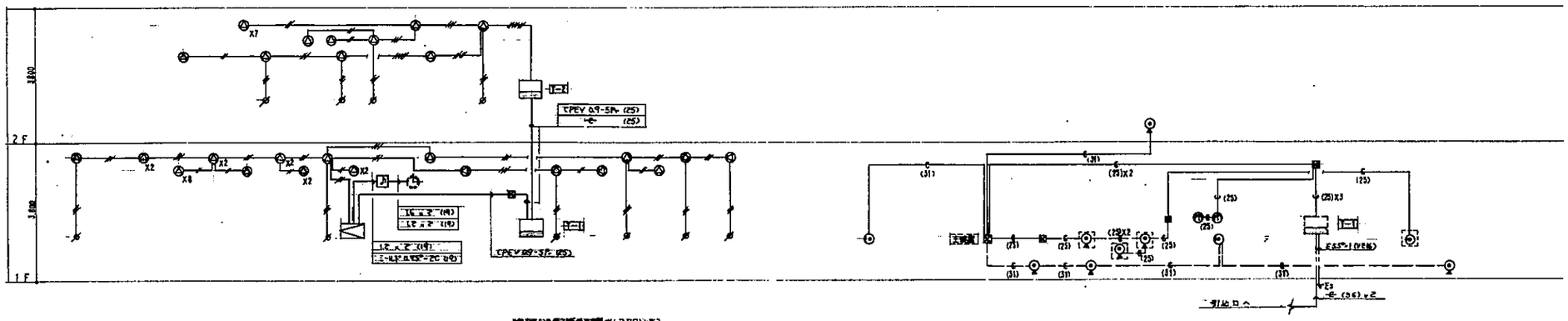
株式会社 栄和設計事務所
06・452・1651
452・1652
452・1653
452・1654

名称 (仮称)高石市立図書館建設工事

図名 照明器具参考図

縮尺

図番 E/12

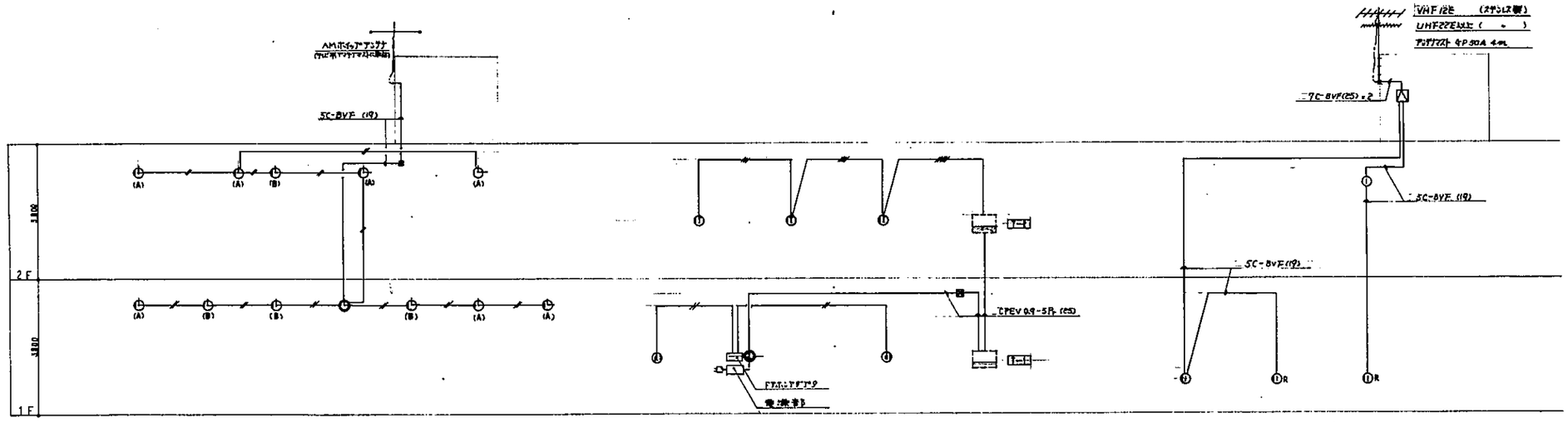


特記なき配管径は線ぱ1.2(19)とする。

放送設備系統図

電話交換設備系統図

□ 部分はコンピューター用受口を示す。



特記なき配管径は線ぱ1.2(19)とする。

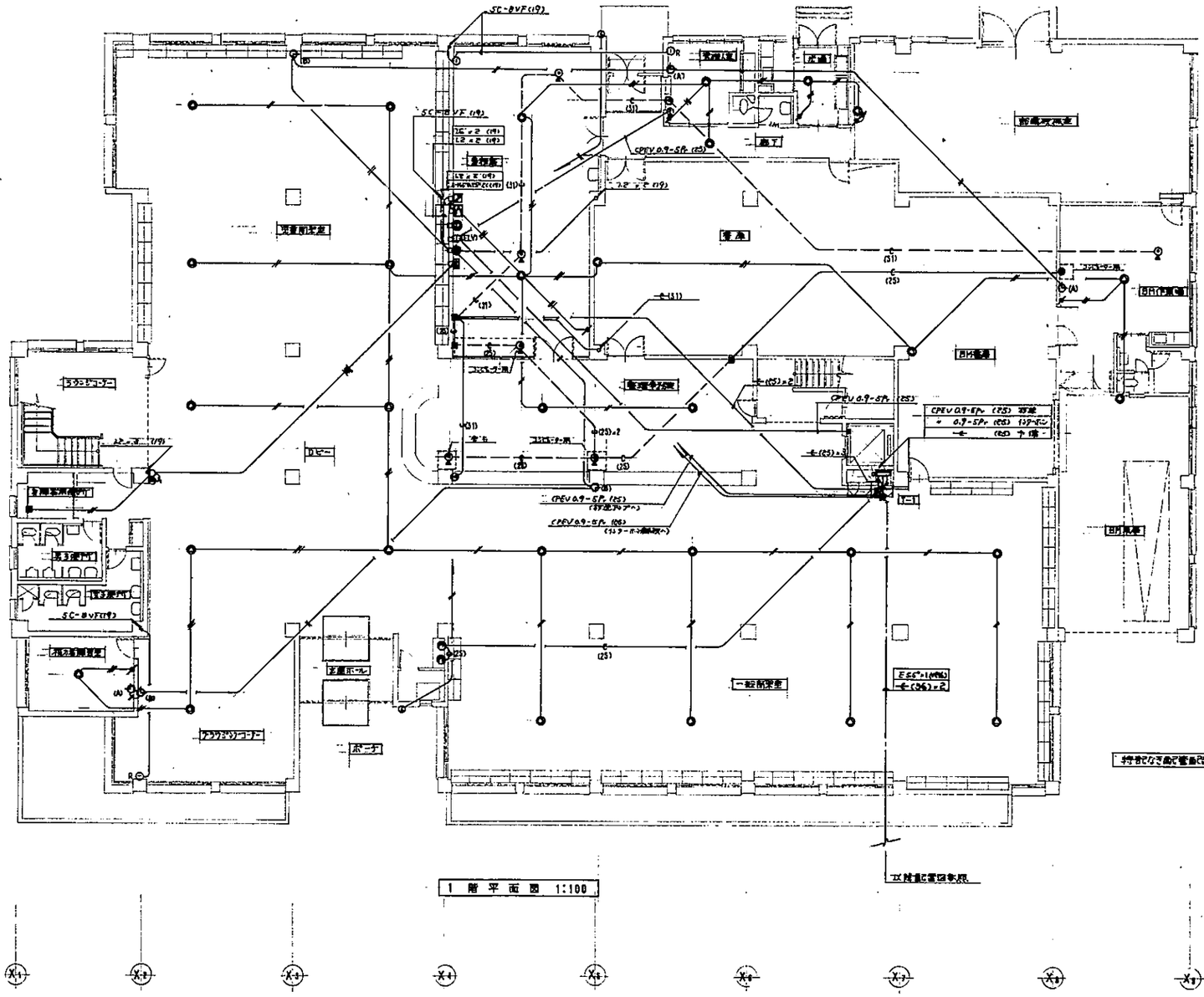
電気時計設備系統図

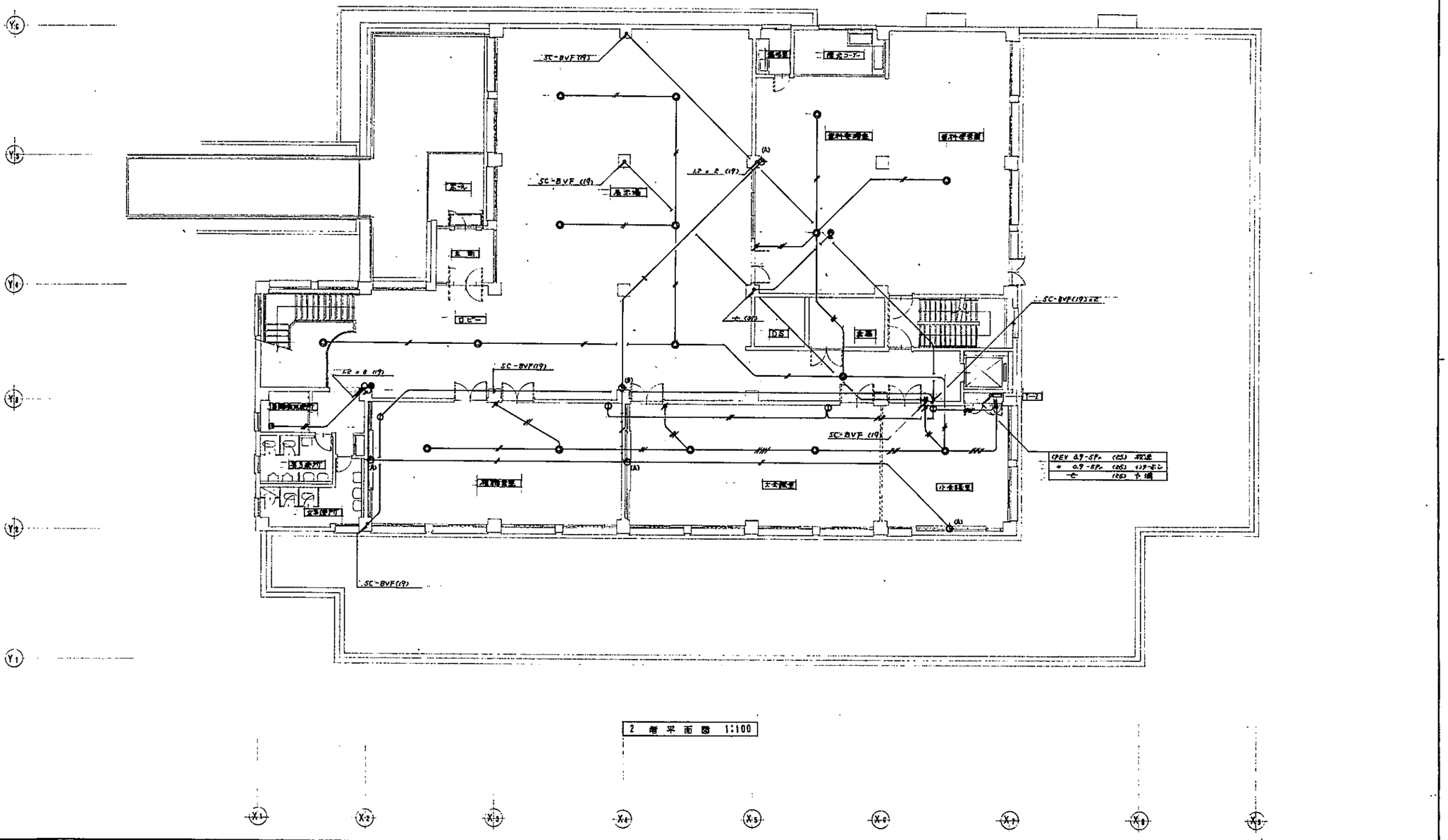
特記なき配管径は線ぱ1.2(19)とする。

インターホン設備系統図

テレビ共聴設備系統図

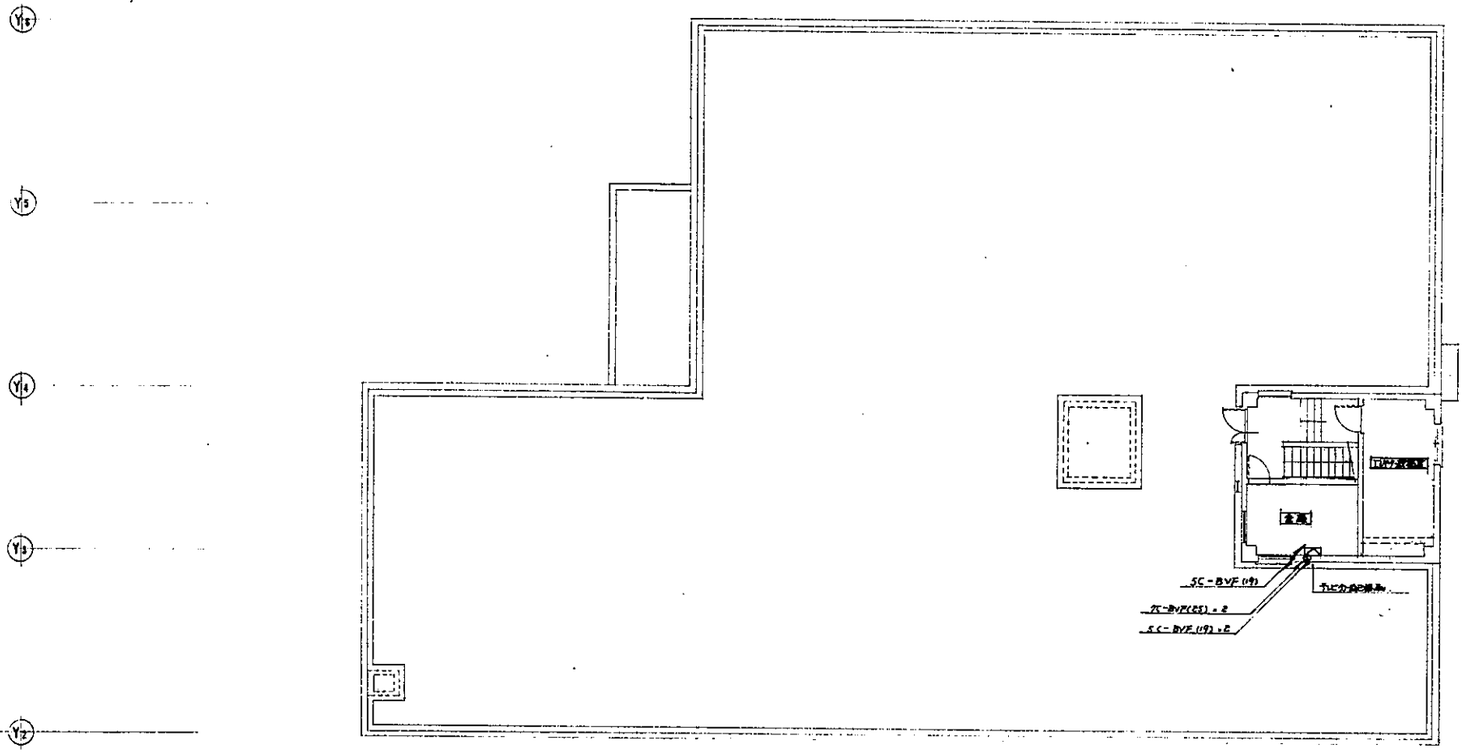
80 107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 弱電設備系統図	図番 E/13
					縮尺	


SC-8VF(19)
CPEV 0.9-5P (25)
CPEV 0.9-6P (25) 予備
0.9-5P (25) 予備
(25)予備
(25)予備
(25)



2 階 平 面 図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所 05・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 電話設備図	図番 E/15
					縮尺 1:100	



R 階 平 面 図 1:100

塔屋屋上 平 面 図 1:100

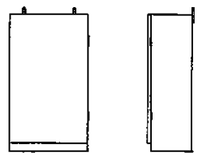
80 107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名	設備設計(集予面図)	図番 E/16
				縮尺	1:100	

弱電機器参考図

放送用アンプ

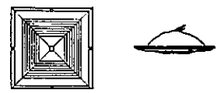
電源	AC100V 60Hz DC24V
定格出力	60W
周波数特性	100～10,000 Hz ±3dB (1000Hz基準)
入力回路	マイク×2, ピック×2, テープ再生・ピーク・チャイム・予備・緊急×各1
出力回路	テープ録音, ライン出力, 館内ピーカース 1768, 4Ω 5回路+1系
附属品	ダイナミックマイクロホン×2, 取扱説明書×各1

ミュージックチャイム



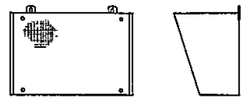
電源	AC 100V 60Hz
出力	-25dB 5kΩ
曲目	ウェストミンスターの鐘 1回

天井埋込スピーカ



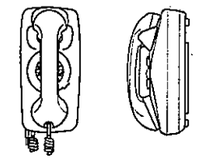
定格入力	3W
入力インピーダンス	3.5kΩ 10kΩ
周波数特性	130 ～ 8,000Hz
出力音圧	92dB以上 (1m 1Wにて)
使用スピーカ	16cm
材質	ABS 樹脂

壁掛金属製スピーカ



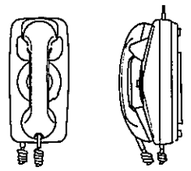
定格入力	3W
入力インピーダンス	3.5kΩ, 10kΩ
周波数特性	130 ～ 12,000Hz
出力音圧	92dB以上 (1m 1Wにて)
使用スピーカ	16cm
材質	ケース：木製 , ネット：布ジャージ

インターホン（親機）



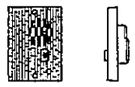
電源	DC12V （電源部要）
通話方式	並列結線による3局同時通話
附属品	ドアホン アダプター共
材質	プラスチック

インターホン（子機）



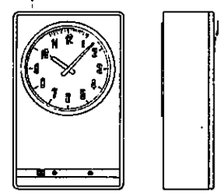
通話方式	並列結線による3局同時通話
材質	プラスチック

ドアホン（子機）



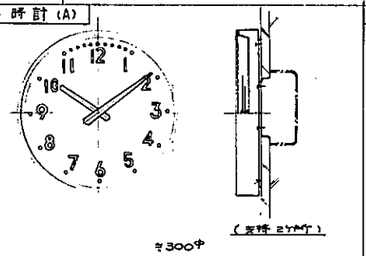
通話方式	拡声形局時通話
材質	アルミ

親時計



電源	AC100V 60Hz
出力回路	DC24V 単極 30秒 1回路
指針動作	30秒運針
停電時補償	乾電池式 動作時間 最低30時間
時報装置	24時間制 5分取出
精度	標準誤差 0秒 ラジオコントロール型

子時計（A）

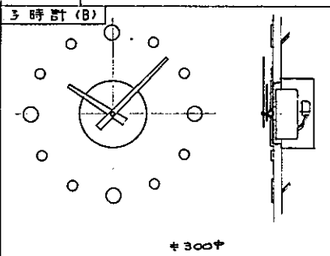


φ300中

（文字 ステンレス）

機械	DC24V 単極 30秒運針
枠	鋼板
文字板	〃
指針	アルミ

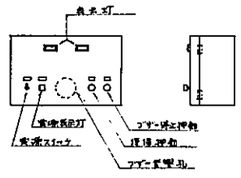
子時計（B）



φ300中

機械	DC24V 単極 30秒運針
化粧板	青銅 ホワイトブロンズ仕上
文字	青銅 黒色
指針	青銅 黒色

非常者用表示灯 (2灯)



材質	鋼板メラミン焼付 アソミ15%
入力電圧	AC100V
回路電圧	DC24V トランス BY 電流計内蔵

表示灯

材質	プラスチック ステンレス枠
ランプ	赤色

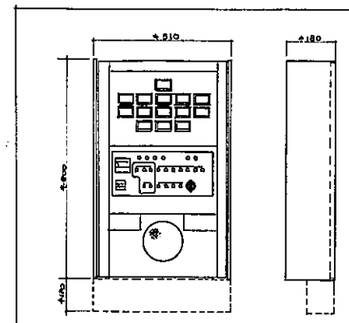
復帰押釦

材質	ステンレスプレート

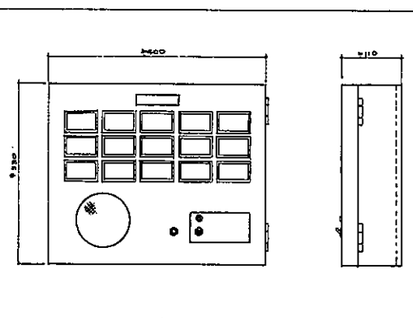
トイレ用押釦

材質	ステンレスプレート
押釦	赤色
エッチング文字	気分が悪くなった時押釦を押して下さい。

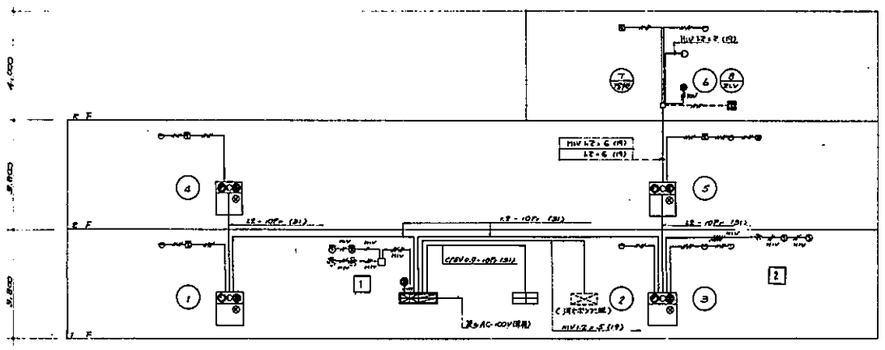
80 107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 弱電機器参考図	図番 E/17
				縮尺	



操作盤参考姿図



表示板 参考姿図



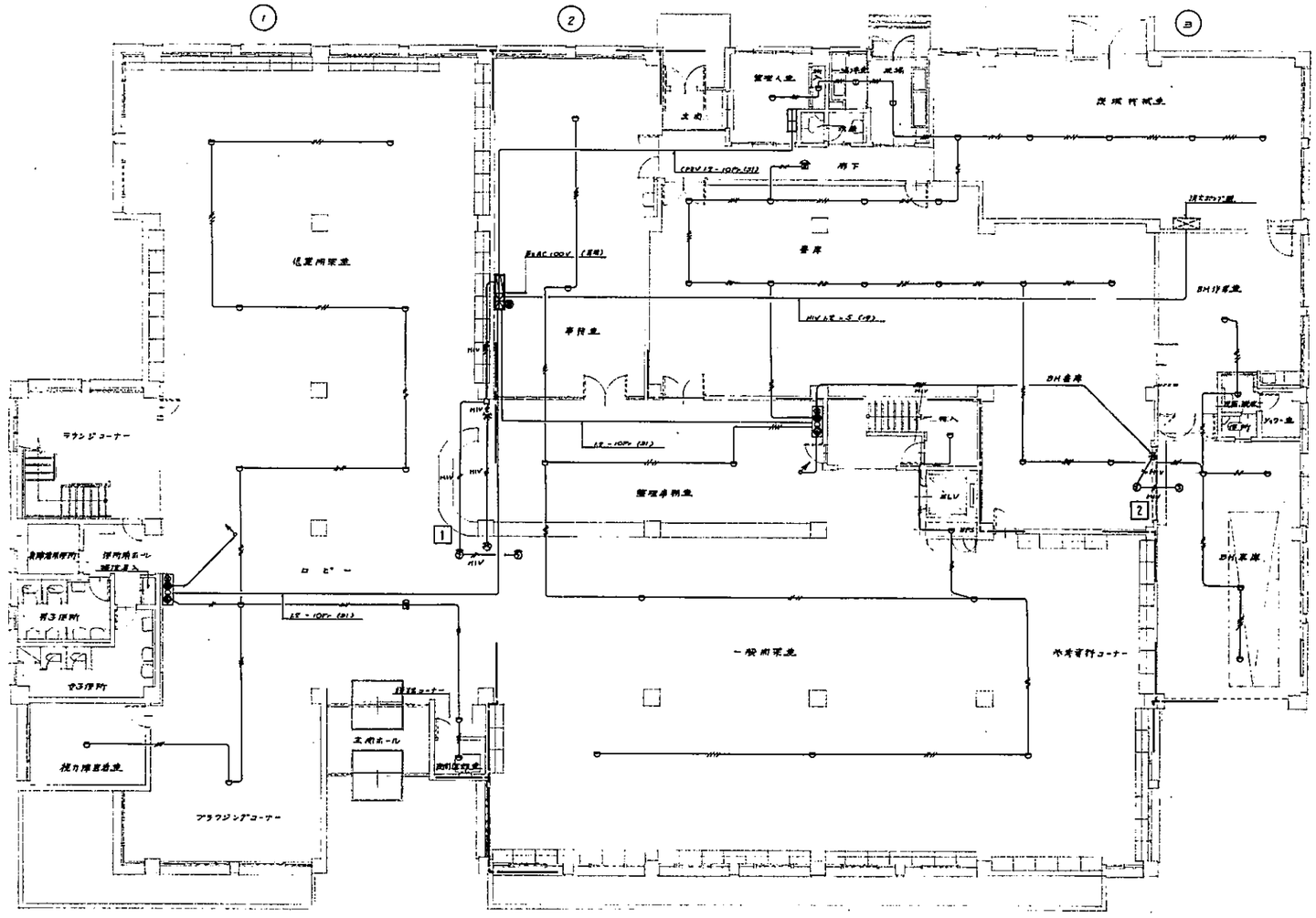
系 統 図

凡 例

記号	名称	備考
	操作盤	P-1 t2.3 ﾀﾃﾏｲﾄ 1T神様 3L
	表示板	t5
◉	表示灯	P型1級
○	表示灯	AC24V, (ｶﾗｰﾌｨﾙﾀｰ付, 白金・ﾚﾝｽﾞ付)
●	警鈴	DC24V, 150ｸﾞﾙｰ
⊗	消火栓起動押釦	AC24V 保護灯付
	複合型	煙式感知器, (ｶﾒﾗ統制ﾕﾆｯﾄ含)
D	差動式スポット型感知器	2種 保護灯付
D	定温式スポット型感知器	1種 保護灯付 70℃, 防水型,
煙	煙感知器	2種 保護灯付 台座埋込型, 露出型
音	明上	明上 上,赤色型,
明	明上	明上 上,表示ﾎﾞｯｸｽ付,
煙	煙感知器	2種保護灯付 台座埋込型, 露出型
音	明上	明上 上,赤色型,
為	防煙垂壁用ﾚﾘｰｽﾞ	DC24V. (建築工事)
谷	ｼｬｯﾀｰ閉鎖装置	〃 (〃)
	消火ポンプ盤	(別途)
———	配管配線	天井ｺﾝｸﾘｰﾄ内ｼｰﾘﾝｸﾞ隠ぺい,
- - - - -	同上	壁下ｺﾝｸﾘｰﾄ内ｼｰﾘﾝｸﾞ隠ぺい,
4 P	明上 ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	
□	ｼﾞｮｲﾝﾄﾎﾞｯｸｽ	
——	警報ﾄﾘｶﾞ線	
5W	明上番号	表示板用, NO.1～5,
W1	動作表示番号	制御盤用 W1～2

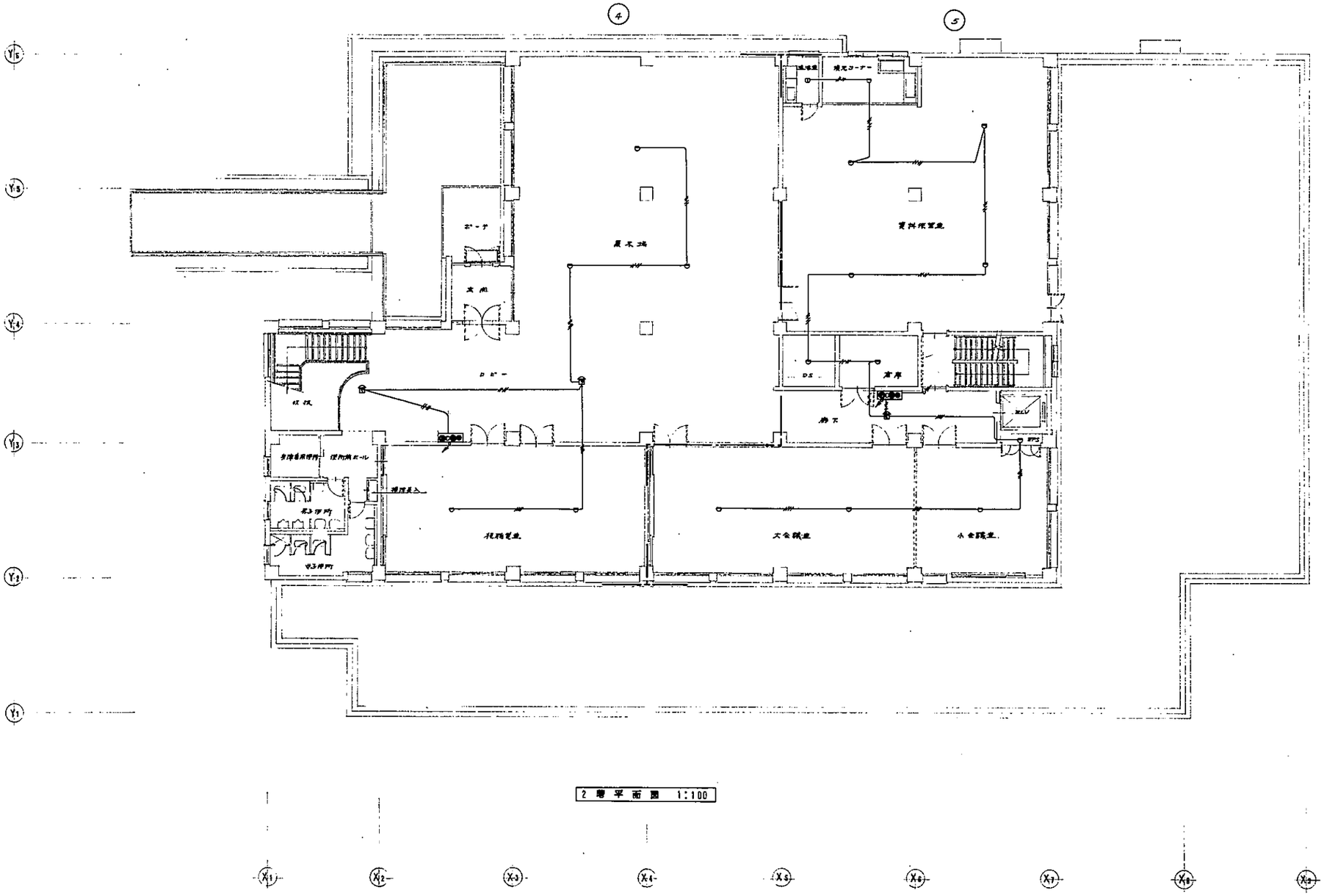
注記

1) 特に指示のない限り、電線管類は耐熱ケーブル工事用とする。
2) 図中判定ゾーン番号は参考とし、配線は OP 69-40 mに従う。
3) 火災ベル地鈴方式は一斉鳴動方式とする。
4) 消火栓起動表示灯(赤色)の電源は消火ポンプ盤より供給する。(AC24V)
5) 本工事に使用する機器類内には各々の学校へ指定納入する様にすること。



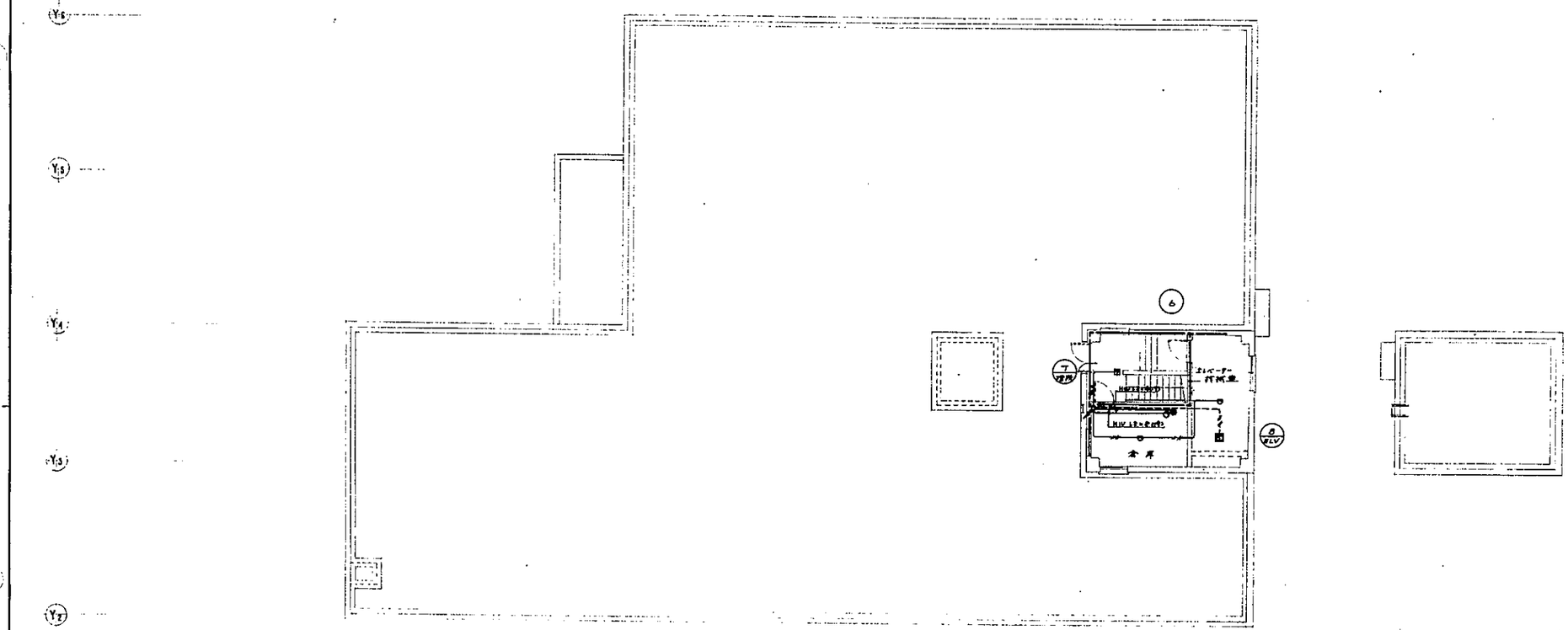
1 階 平 面 図 1:100

80 107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名 称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図 名 自動火災報知・放送設備系統図	図番 E/19
				縮 尺 1:100	

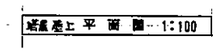


2 階 平 面 図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-3651 452-3652 452-3653 452-3654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 自動火災報知・放送設備図	図番 E/20
				縮尺 1:100	



R 階 平 面 図 1:100



塔屋上 平 面 図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 自動火災報知・打鍵式警報設備図	図番 E/21
				縮尺 1:100	

特記仕様書 衛生

工事名称	(仮称)高石市立図書館建設工事
工事場所	高石市高師浜丁 6-5
工事期間	昭和 年 月 日より 昭和 年 月 日まで
建築概要	RC構造2階建 1階 1577.68㎡ 2階 885.16㎡ 塔屋 42.40㎡ 延床面積 2505.44㎡ 自転車置場 28.40㎡
工事種目	給排水衛生設備工事 1. 給水設備工事 2. 給湯設備工事 3. 排水通気設備工事 4. 衛生器具設備工事 5. 消火設備工事 6. ガス設備工事

一般事項

1. 本工事は関係諸法規条例等を尊守し、施工する事。なおこれに伴う必要な申請手続等は、請負者が代行し、これに要する費用も請負者の負担とする。
2. 本工事は、本特記仕様書、設計図によるほか別冊、本設計図書に明記なき事項は 日本建築家協会編「建築設備共通仕様書」最新版に基ずき施工する事。
3. 本工事施工に先立ち、関連工事請負業者及び他の業種とも充分打合のうえ、工程表を作成し、係員の承認を受ける事。
4. 本工事は、全て本設計図書にふさわしく機能を発揮されるよう施工し、本設計図書に明記なき事項でも、当然必要と思われるものは係員の指示により誠実に施工の事。
5. 本工事施工上必要な、機器承認図その他施工図等は予め係員の承認を受ける事。
6. 本工事施工に際して現場の納りは取合上、器具の取付位置、取付工法等の軽微なる変更(使用数量の5%以内)は係員の指示により行い、この場合に於いては請負金額の変更は行わない。
7. 本工事施工に際し、施工後容易に妄被出来ない部分については、原則としてその過程に於いて係員の立合検査を受ける事。
8. 本工事完成に際しては 各種試験 検査に合格し、所轄官公庁の試験、検査に合格しなければならない。
9. 竣工検査前に 関係書類を取り揃え、係員提出のうえ 工事引き渡しを行う。提出書類は係員の指示に依る。
10. 本工事請負契約書にるかし担保期間内において、施工の不備 機器の不良等による事故発生時は全て請負者負担にて修理、補修の事。

工事概要

1 給水設備工事
本工事は、前面道路給水本管150㍉より40㍉を引き込み 受水槽、揚水ポンプ、高架水槽を経て以降重力式にて、各所に給水を行う。(水道局加入金64万円の支払も本工事内に含む)

2 給湯設備工事
本工事は、BM単体に、バランス型湯沸器を設置し BM特芸 流し、シャワーに給湯を行う。

3 排水通気設備工事
本工事は屋内汚水雑排水分流、屋外にて合流し 以降会所を経て 既設会所に接続を行う。
雨雨水排水関係は全て建築工事とする。

4 衛生器具設備工事
本工事は、衛生陶器、附属金具、給排水金具の取付を行う。取付の際には、AYボルト等を使用し堅固に取付の事。陶器は全てカラー付とする。カラー指定色は係員の指示による。

5 消火設備工事
本工事は、屋内消火栓設備を行うもので、所轄消防署と充分打合のうえ、法規を満足する様完全に施工する事。

6. ガス設備工事
本工事は、既設特表管200㍉モルト管より、それより分岐以降 吸収式冷凍機系統、一般系統 各メーターを経て以降各所に配管を行う。(ガス会社責任施工)

特記事項

1. 本工事に使用する材料は、下記に依る事。(但し図面内特記あるものは 特記を優先する。)

A. 配管材料

給水管(直圧部)	硬質塩ビライニング鋼管(白)	JWWA	K-116	屋外土中部分 耐衝撃性硬質塩ビ管
——(タンク下り)	耐衝撃性硬質塩ビ管	JWWA	K-118	
揚水管	硬質塩ビライニング鋼管(白)	JWWA	K-116	
給湯管	現場銅管(Mガス)	JIS	H-3300	
汚水管	硬質塩ビ管(一般用)	JIS	K-6741	衛生陶器、器具排水部 排水用鉛管
雑排水管	———	———	———	———
通気管	———	———	———	———
消火管	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS	G-3452	
屋外排水管	ヒューム管(巴型ガス)	JIS	A-5303	
ガス供給管	ガス会社指定品			
弁類	直圧部・ポンプ廻り・タンク下り は、JIS10K・ドレン配管廻りはJIS5Kとする。 50㍉以下は青銅製、65㍉以上は本体鋳鉄製 要部砲金製とする。			

B. 保温、防露、防錆工事

名称 / 場所	屋内露出部	屋外露出部	屋内インペ部	ピット内	エヤコンクリ中内
給水管 揚水管 消火管	(1) 保温被覆 (2) 厚紙重型 (3) 白綿布巻 (4) 目止め塗料 (5) 合成ペイント2回塗 (6) 要部アルパット5の範囲取付	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライア (3) 亜鉛鉄板巻 (4) 金属帯(保護) (5) 合成ペイント2回塗	(1) 保温被覆 (2) アルミ箔 (3) 亀甲金網	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライア (3) 防水麻布	保温不要 但し鋼管類のみ防錆テープ巻
給湯管	全上	全上	全上	全上	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライア (3) 防水麻布
排水管	全上	全上	全上	鉛管のみ防錆テープ巻	鉛管のみ防錆テープ巻
通気管	合成ペイント2回塗	合成ペイント2回塗			

- 保温被覆材は グラスウール保温筒 JIS A 9505 2号(45K)を使用する事。使用厚さについては下記に依る事。
  給水管、揚水管、消火管、排水管 ― 口径 75㍉以下は 20㍉厚、100㍉以上は 25㍉厚
  給湯管 ― 口径 25㍉以下は 30㍉厚、32㍉~65㍉は 40㍉厚、75㍉以上は 50㍉厚
- 全ての鋼管の ネジ切り部 及び支持金物類は 防錆塗料塗りとする。但しすでに 防錆処理を施した材料を使用する場合はこの限りでない。インサート部も防錆塗料塗りとする。
- 防錆テープは1/2以上ラップさせて巻く事。

C. 埋設深度
車輌横断部については 土被り 600以上 その他については 450以上とする。

D 防火区画貫通配管の処理
給水管については 硬質塩化ビニールライニング鋼管、排水管・通気管については 配管用炭素鋼鋼管使用のうえ モルタルにて すきまのないよう充填の事。

メーカーリスト

本工事に使用する機器材料は、下記に依るものとする。

機材名	メーカー名			機材名	メーカー名		
耐衝水槽類	三菱樹脂	積水樹脂	岡部	ビニール管	積水化学	住友ベークライト	三菱樹脂
ポンプ類	荏原製作所	神鋼ポンプ	川本ポンプ	鋼管	住友金属	新日鉄	
消火栓	立売堀機井			鉛管	芳沢機工	大同鉛化	木村化工
衛生陶器	東陶	伊奈		鋼管	日本鋼管	住友金属	新日鉄
衛生水栓	———	———		ヒューム管	日本ヒューム	帝国ヒューム	羽田ヒューム
排水金物	大阪ドレン	長谷川鋳工	関西鋳工	弁類	北沢バルブ	大和バルブ	
マンホール蓋	———	福西鋳物	長谷川鋳工				

備考

1. 機器類コンクリート基礎は全て建築工事とする。(アンカーボルト入れ本工事)
2. スリーブ入れ全て本工事。補強建築工事。
3. 配管支持は、下記に依る事。

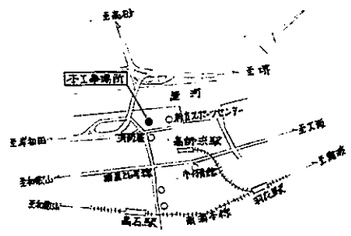
鋼管	呼び径	20以下	25~40	50	65~75	90~100	125~150
	支持間隔(m)	1.8	2.0	3.0	4.0	4.0	5.0

ビニル管	呼び径	40以下	50以下
	支持間隔(m)	1.2以内	1.5以内

- 曲部及び分岐個所は、1ヶ所ごとに1個、立管は各階ごと所以上支持する。
- 鉛管の支持間隔は 0.6m 以内とする。
- 1階工間配管は吊りバンドにて、吊り棒を土間 配前に支持する。
- 管支持金物は あらかじめ建物内に埋めこんだインサートに取りつける。

泉市高石市消防組合消防本部 (受)

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 特記仕様書、衛生	図番 M/1
				縮尺 ——	



附近見取図

汚水会所リスト (インバート施工)

番号	大きさ	深さH	マンホール	備考
	450×450	530	重荷重 450φ	
	〃	630	〃	
	900×600φ	1414	中荷重 600φ	1号マンホール(ドロップ会所)
*	〃	1538	〃	〃
*	〃	1630	〃	〃
*	〃	1822	〃	〃
*	〃	1852	〃	〃
*	〃	1966	〃	〃
	450×450	500	重荷重 450φ	
	600×600	665	〃 600φ	
	〃	778	〃 600φ	
*	900×600φ	1380	中荷重 600φ	1号マンホール(ドロップ会所)
	—	1940	—	既設汚水会所
	—	2050	—	既設汚水会所
	600×600	950	中荷重 600φ	
*	〃	1000	〃	

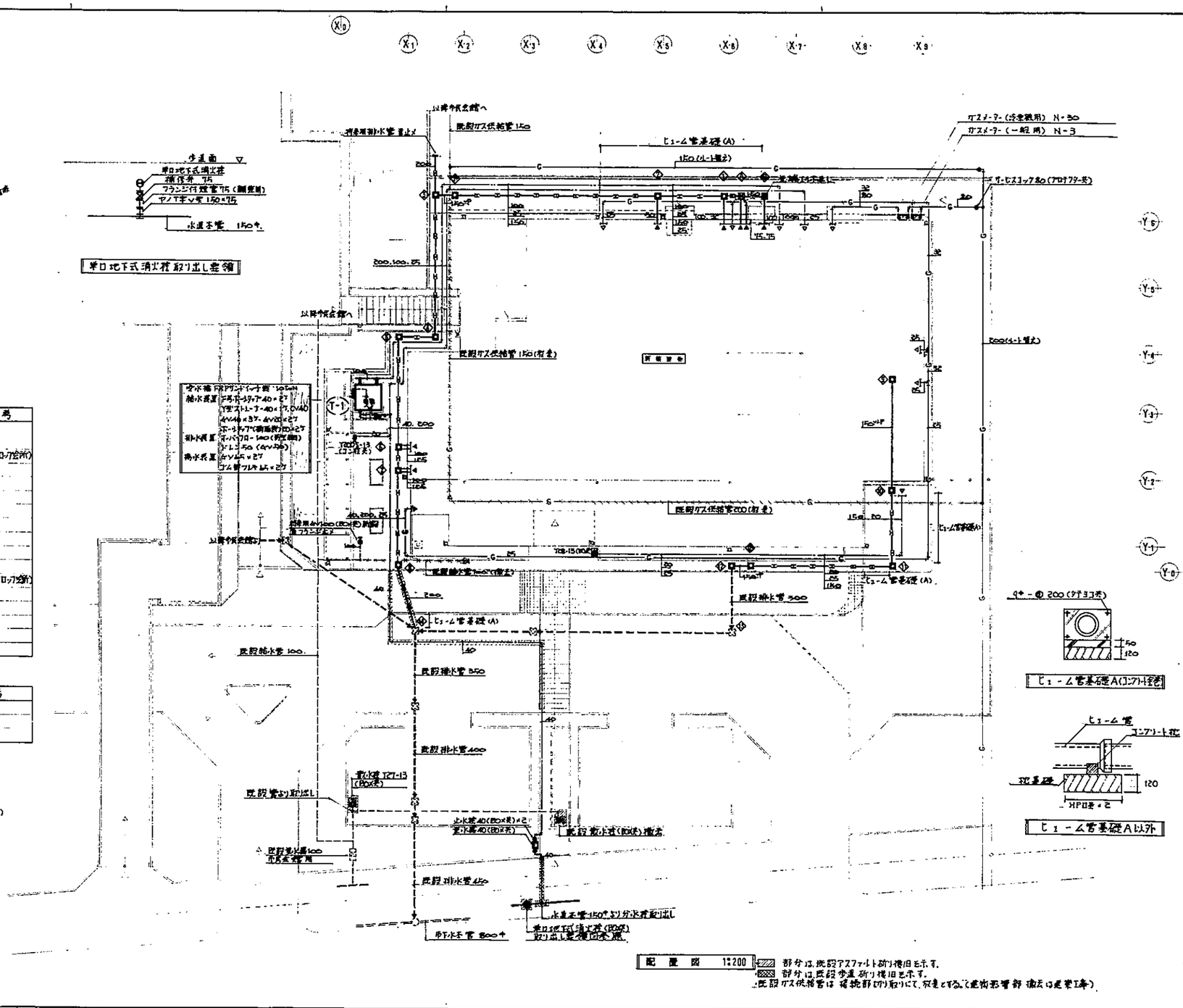
雑排水会所リスト

記号	大きさ	深さH	マンホール	備考
	450×450	500	重荷重 450φ	トラップ会所
	450×450	450	〃 450φ	

註) (1) 会所深さは 参考深さとする。
(2) 会所 は全て現場打ちとする
(3) マンホールは全て鋼製製 両蓋 防水型とする。
(4) 汚水会所・雑排水会所は、別紙施工詳細図参照。
(5) *印会所には 鋼製重マンホール上部に化粧ハッチ(埋め込み)を設置とする。

勾配の規定

口径	勾配
100㎜～150㎜	1/50
150～200	1.5/100
200～250	1.5/100
250㎜以上	1/100

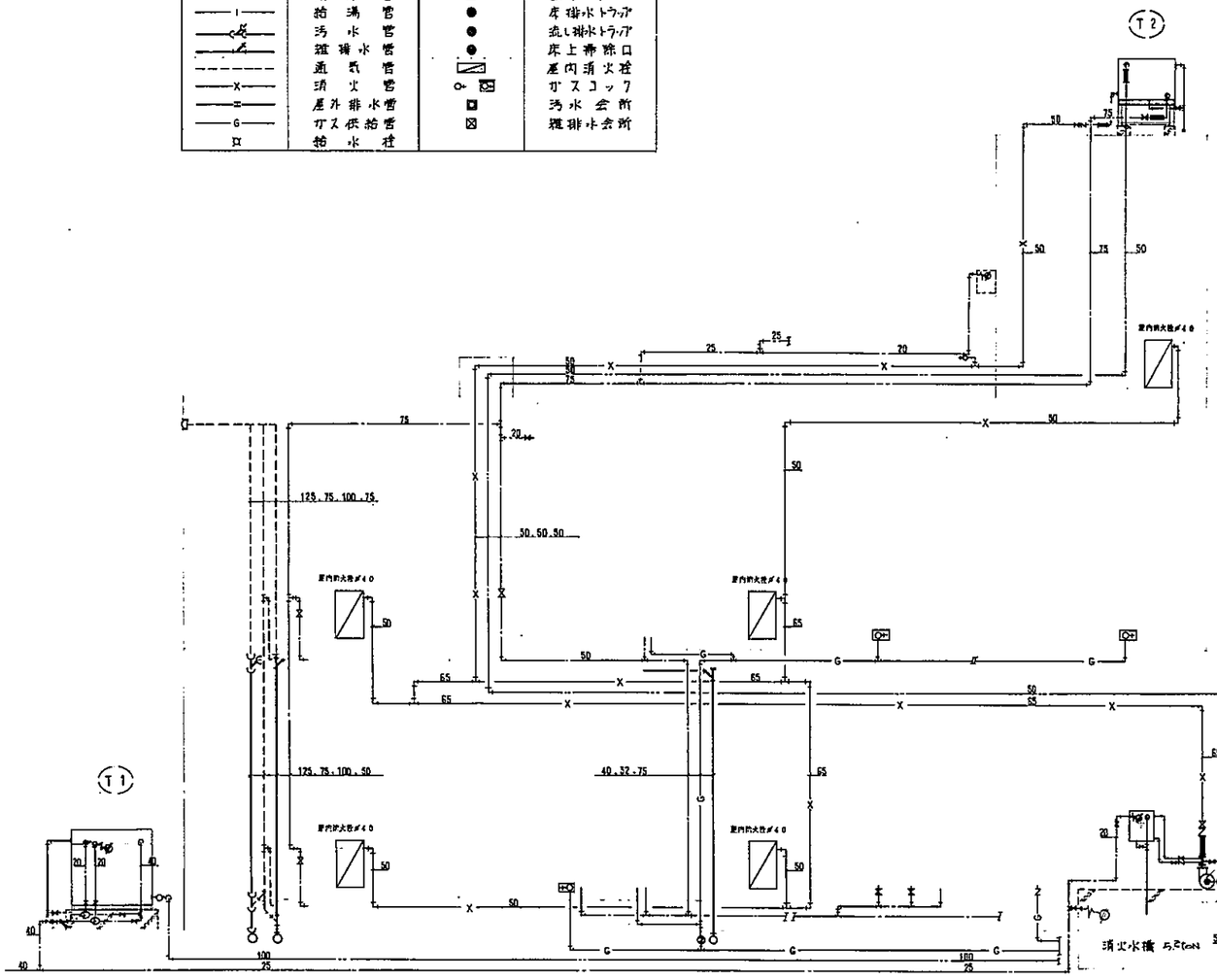


配置図 1:200 ▨ 部分は、既設アスファルト切り撤去を示す。
▩ 部分は、既設歩道 切り撤去を示す。
※既設ガス供給管は 建物部切り取りにて、新生とする。(建物影響部 撤去は建築工事)

80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 配置図 衛生	図番 M/2
				縮尺 1:200	

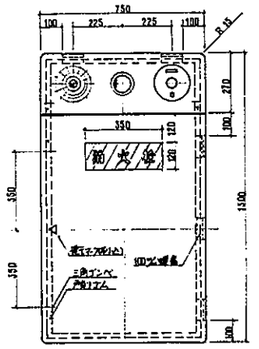
凡例

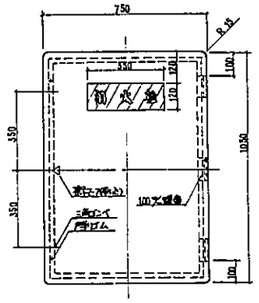
記号	名称	記号	名称
———	給水管	⊠	連合栓
———	湯水管	△	シャワー
———	給湯管	●	床排水トラップ
——X——	汚水管	●	流し排水トラップ
——S——	雑排水管	●	床上掃除口
- - - - -	通気管	▭	屋内消火栓
——X——	消火管	○ ⊠	ガスコック
——=——	屋外排水管	■	汚水会所
——G——	ガス供給管	⊠	雑排水会所
ロ	給水栓		



屋内消火栓仕様（1・2階）	
屋内消火栓格納箱(露出型) 1300W×750H×185D	内部格納品
材料 t1.6 ポンデ鋼板	バルブ 40A×45°(連成回転式)(青銅製) 1個
塗装 錆止め後メラミン樹脂焼付仕上	ノズル 40A×13φ (青銅製) 1本
塗色 指定色	ホース第 40A×23K (青銅製) 1組
文字 明朝体ラッカー切込文字	ホース 40A×15m(内面ゴム引き)保護 2本
(結合金具付)	ワンタッチ 40A カバー付差込継手 (青銅製) 2組

註) R階消火栓は結合金具なしとし、内部格納品等は同じとする。(1050W×750H×180D)





系統図

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 系統図・凡例	図番 M/3
				縮尺 —	

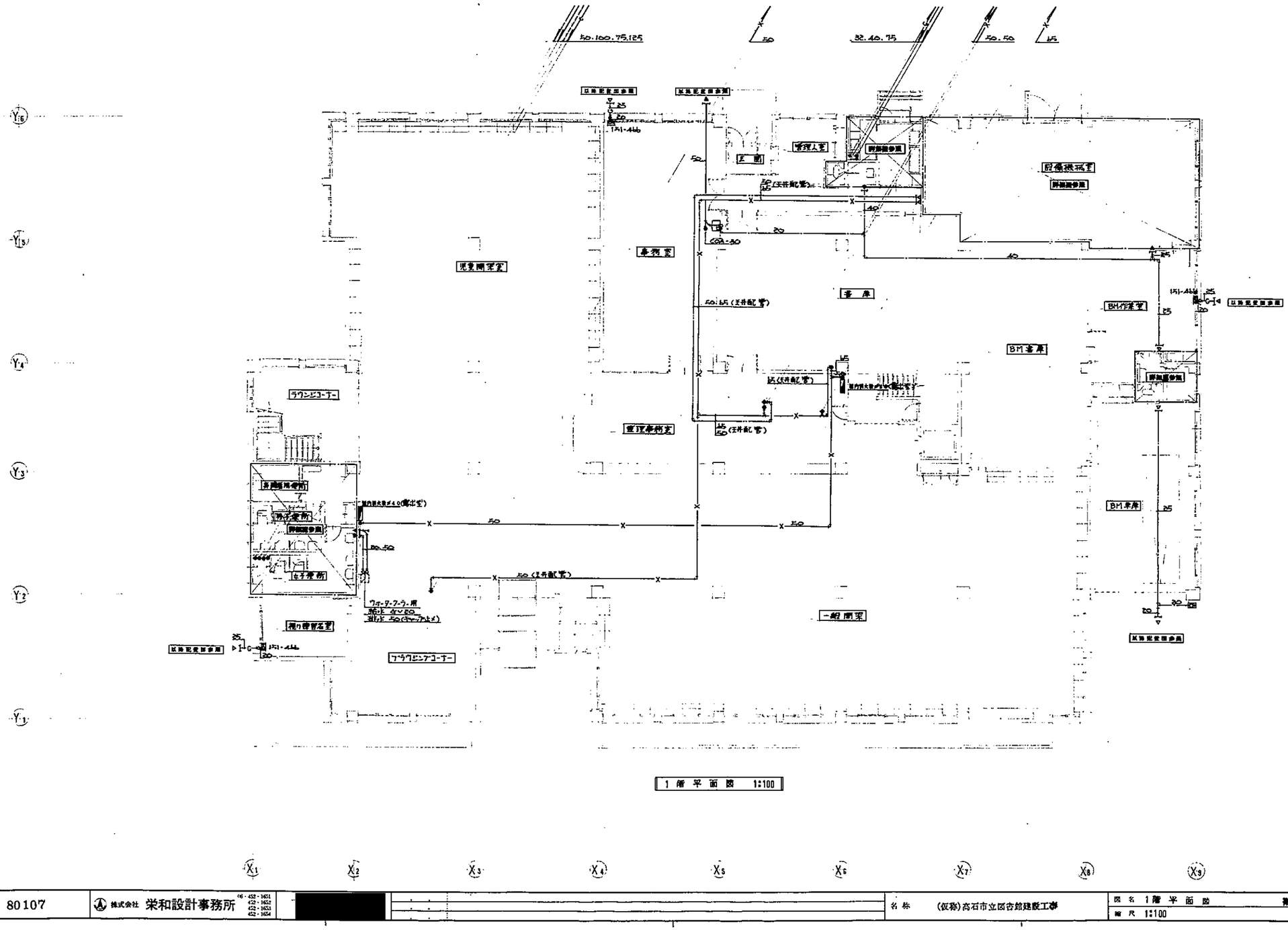
衛生器具表

器具品番は便宜上 東陶・工房トイレジ・工房ガス品番を使用する。

器具名	器具品番	附属品	1階 男子便所	1階 女子便所	1階 身障者用便所	1階 便所前室	1階 湯沸室	1階 事務室	1階 (管理人室) 湯沸室	1階 (管理人室) 洗場	1階 (管理人室) 洗面・便所	1階 BM作業室	1階 (BM作業室) 洗面・廊下	1階 (BM作業室) シャワー室	1階 給湯機械室	2階 男子便所	2階 女子便所	2階 便所前室	2階 身障者用便所	2階 視聴覚室	2階 大会議室	2階 小会議室	2階 資料室	2階 湯沸室	屋外	合計
和風大便器	C-750VP	TV150NC. T88C32. T52FWA15. TS116RAY.	2	2								1		1					1							8
和風両用大便器	C-750AV	S5710S. TS510-32. T82C32. TS116RAY. TS511D														2(60FV)	2(60FV)									2
洋風大便器	C-48TA	TU141V5. TS40C. T43WN75. T52SAY. TS116RAY			1																					2
ストール小便器	U-307	T60P. T62-16. T64PWN.	2															1								2
掃除用流し	SK-22A	T23AE-19. T31SN. TK22. T9RAY.	1	1												2										4
洗面器	L-220	T210S. T4A. T6P. TS126AS. TL220DAY	2	2				1								1	1									4
〃	L-230	T210S. T4A. T6P. TS126AS. T9RAY. T8AY										1		1		2	2									9
手洗器	L-5D	T205V29. T4A. T22P. TA2SAY.			1																					2
〃	L-21N	T23B-13V29. TL60NP. TA2SAY			1													1								2
化粧鏡	TS119AS-3		2	2				1				1		1		2	2									2
〃	LM481				1													1								11
流し用ステン水栓	TK3M												1													2
壁埋込湯栓水栓	T130AR-13									1																1
立型湯栓水栓	T136R-13								1	1											1					2
万能ホーム水栓	T200S-13	(コミ栓共)													1						1	1				4
散水栓	T28-13	(BOX共)																						1	2	2
〃	T27-13	(〃)																						3	3	3
シャワーセット	TM145C													1										1	1	1
床排水トラップ	T5A-50		1	1							1		1	1	1											1
〃	T5B-50															1	1									6
壁排水トラップ	T14AP-40								1			1											1			2
小便壁排水トラップ	T14BP-50									1																3
フロアートラップ	Ptd-50																						1		2	2
排水目皿	75														1								1		1	1
床上掃除口	COA-125		1	1																						2
〃	100		1	2	1																					4
〃	75			1	1				1																	4
〃	65											1														1
〃	50							1		1					1											3
〃	COB-100															1	2		1							4
〃	75																1		1							2
〃	65															1										1
〃	50															1										1
バランス型湯沸器	33-614																									1
ガスコック	151-472	(ヒューズ付)																								1
ガスホックジョイ	151-466	(ヒューズ付)																								1
止水栓	T4A								1	1						2	1	1								6
石けん受け	S-6N										1								1		1					2

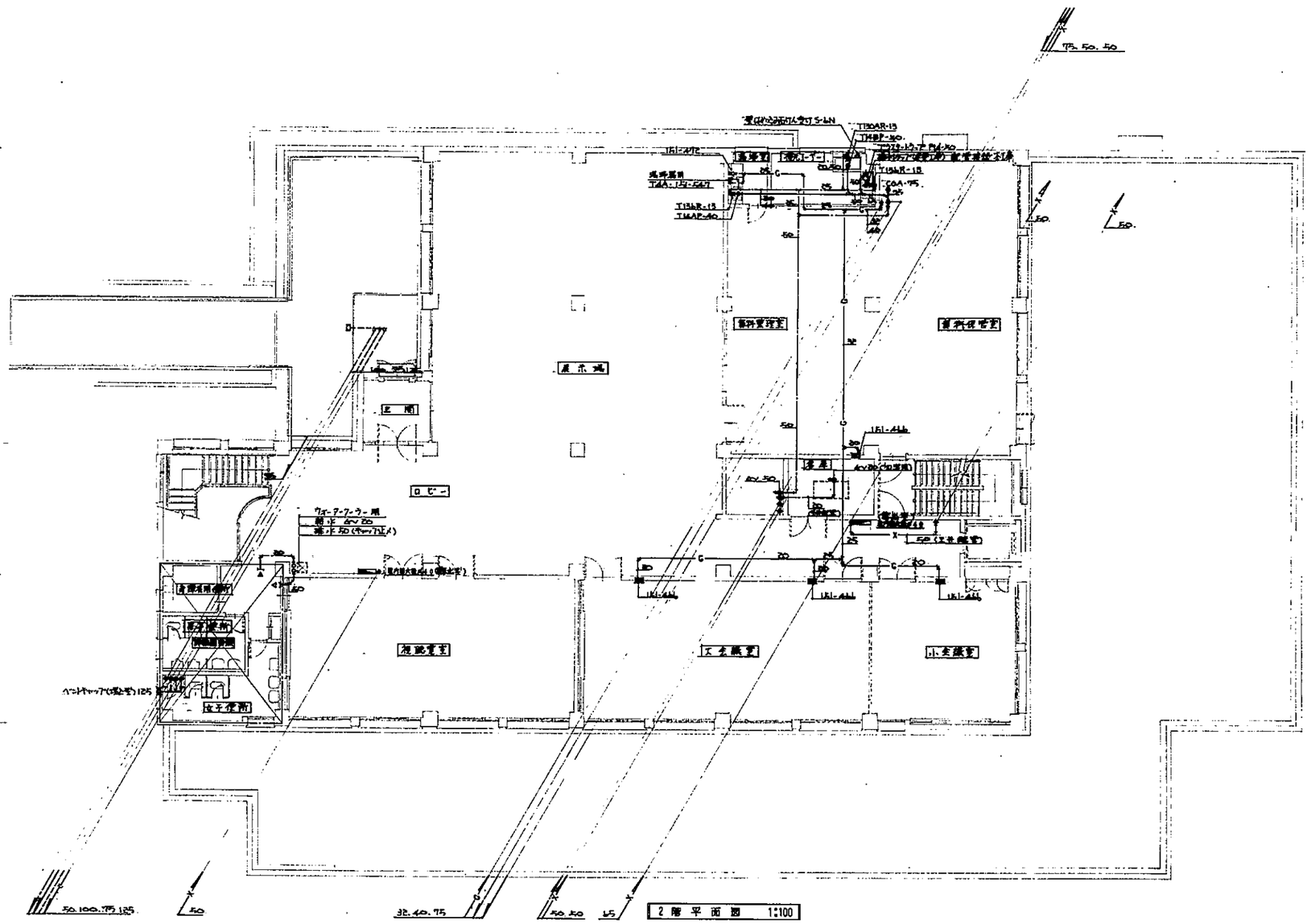
衛生機器表

記号	名称	仕様	台数	備考
(T1)	受水槽	FRPサンドイッチ製 有効水量 10tON 2500×2500×2000H 鋼製チャンネルベース共	1	詳細図参照
(T2)	高架水槽	FRPサンドイッチ製 有効水量 3.5tON 2000×1500×1500H 鋼製架台共	1	詳細図参照
(P1)	揚水ポンプ	多段渦巻型 40φ×175ℓ/min×28m×2.2kW (3φ-200V) GV・CV・FXJ×200L・圧力計 他附属品共	2	OS防振装置共
(P2)	消火ポンプ	多段渦巻型 50φ×300ℓ/min×43m×5.5kW (3φ-200V) GV・CV・FXJ500L×2・圧力計・連成計・吐出短管・呼水槽 流量試験装置 他附属品共	1	OS防振装置共

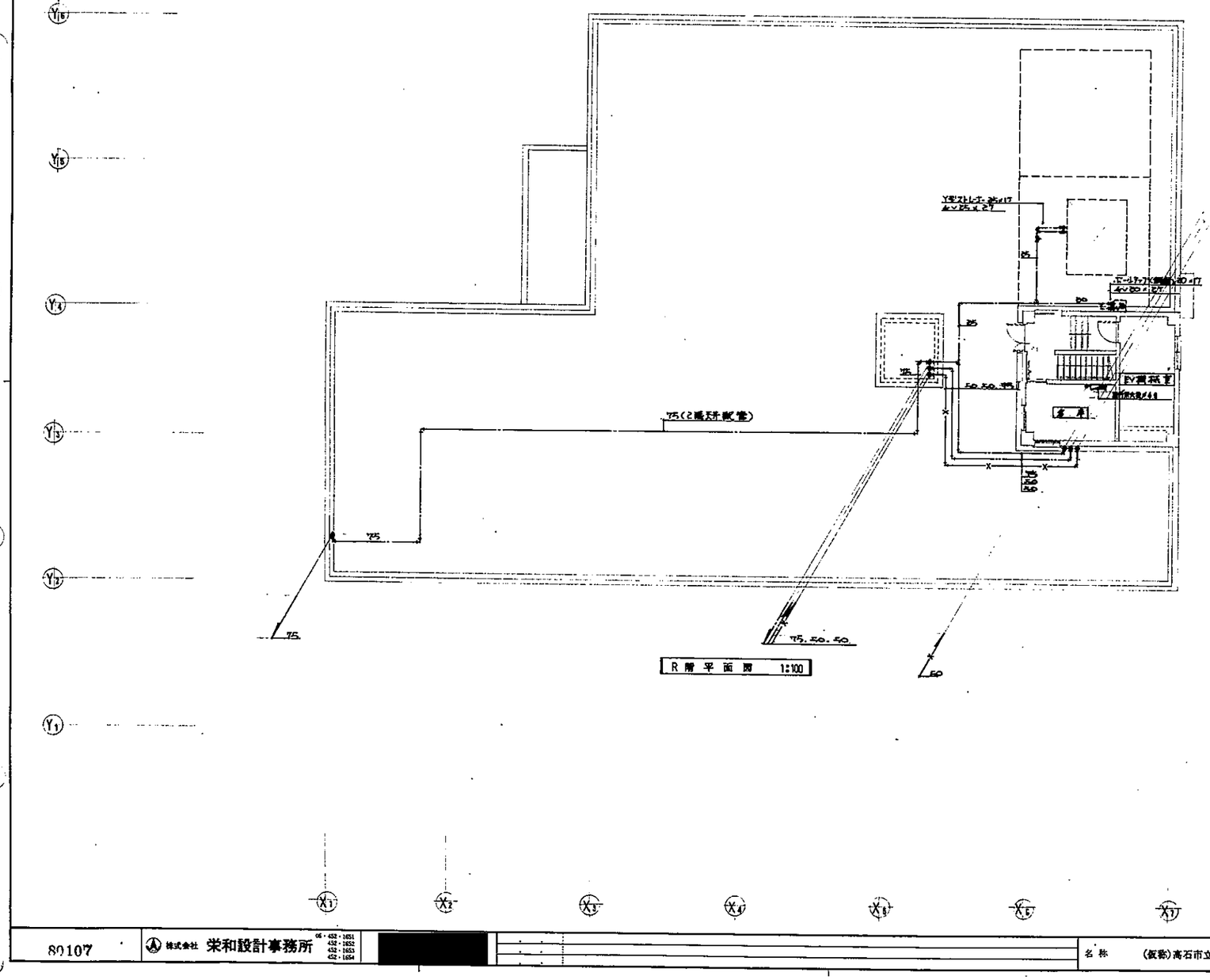


1階平面図 1:100

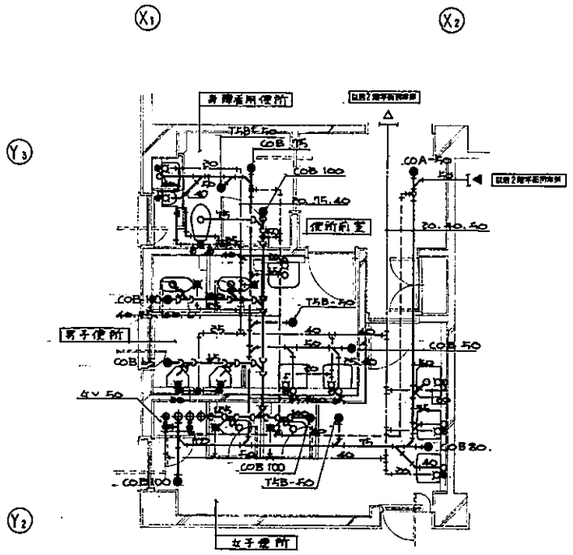
80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 1階平面図	青生	M/5
				縮尺 1:100		



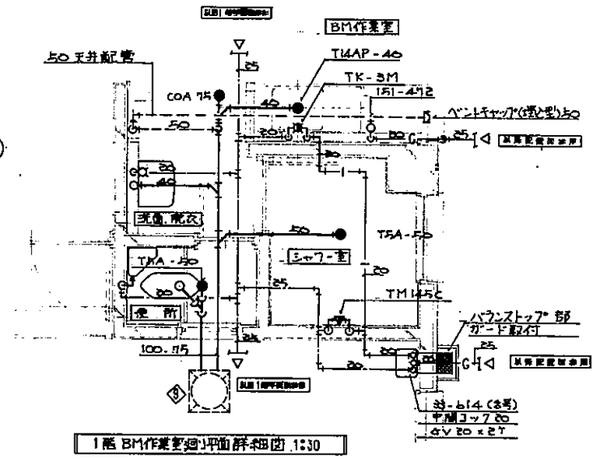
80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1851 452-1852 452-1853 452-1854	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 2階平面図 衛生 縮尺 1:100	図番 M/6



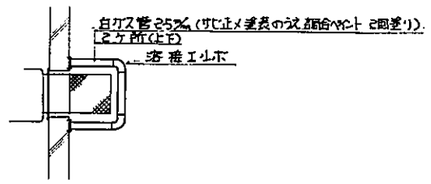
80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 R階平面図 衛生	図番 M/7
				縮尺 1:100	



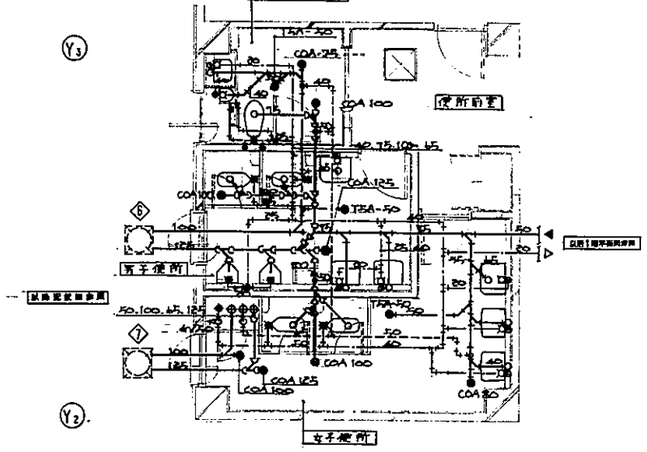
2 階便所廻り平面詳細図 1:50



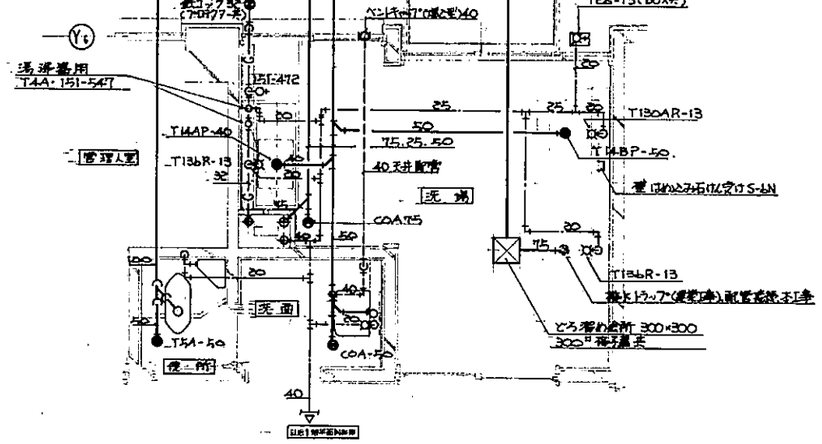
1階 BM作業室廻り平面詳細図 1:30



バランストップ部 ガード取付要領図

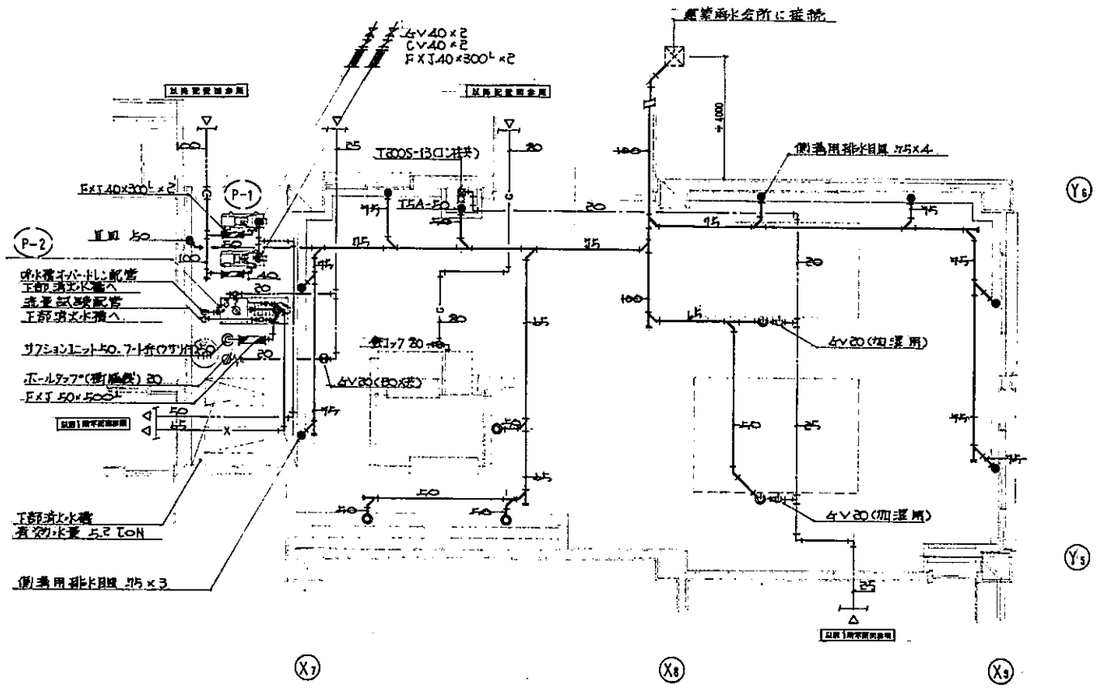


1階便所廻り平面詳細図 1:50

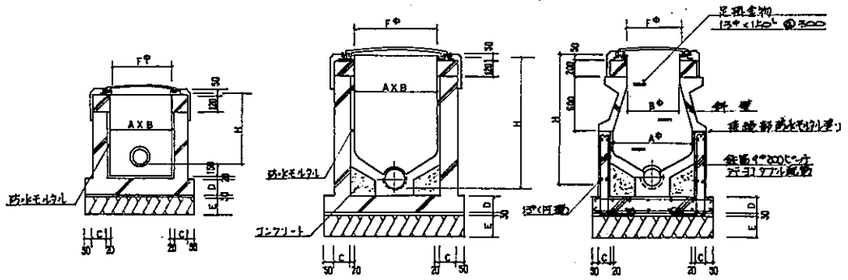


1階管理人室廻り平面詳細図 1:30

80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 各室平面詳細図 着生 縮尺 1:50・1:30	図番 M/8



機械室平面詳細図 1:50

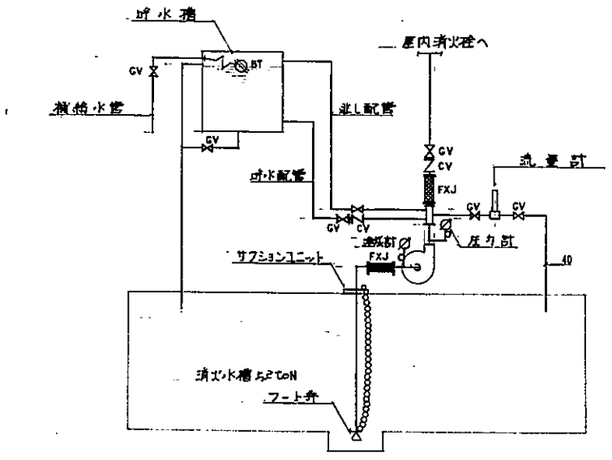


雑排水会所施工要領図

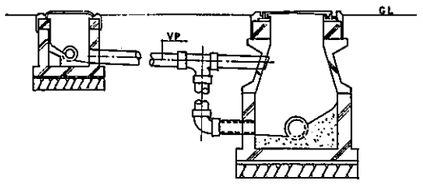
汚水会所施工要領図

会所名部寸法表

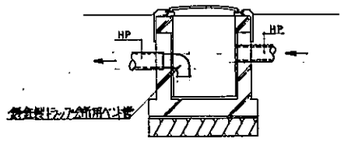
A×B	450×450	600×600	900*×600*
C	100	120	150
D	100	120	150
E	120	150	200
F	450	900	600



消火ポンプ廻り配管系統図



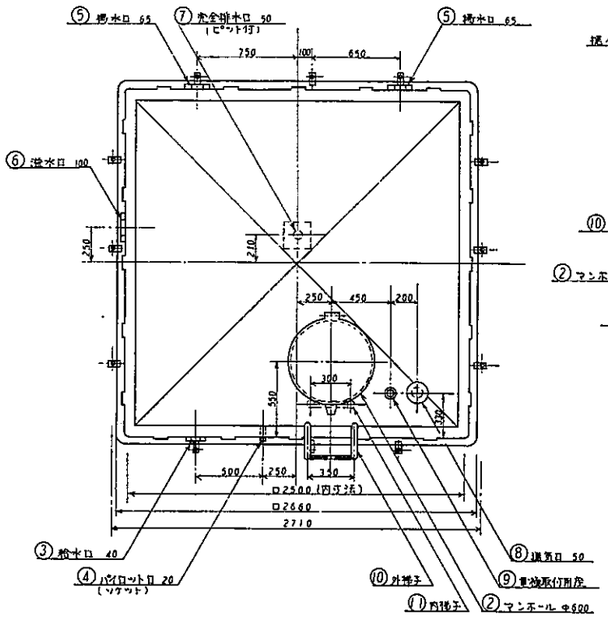
ドロップ会所施工要領図



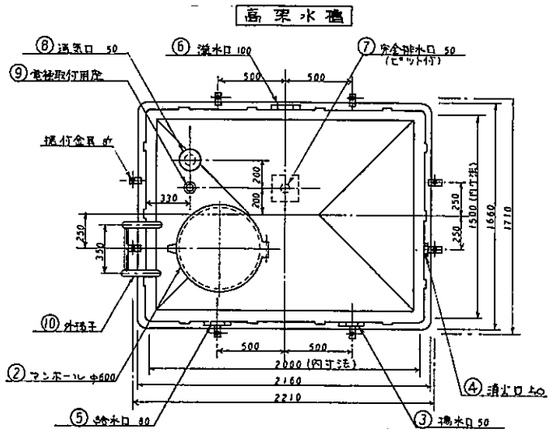
トラップ会所施工要領図

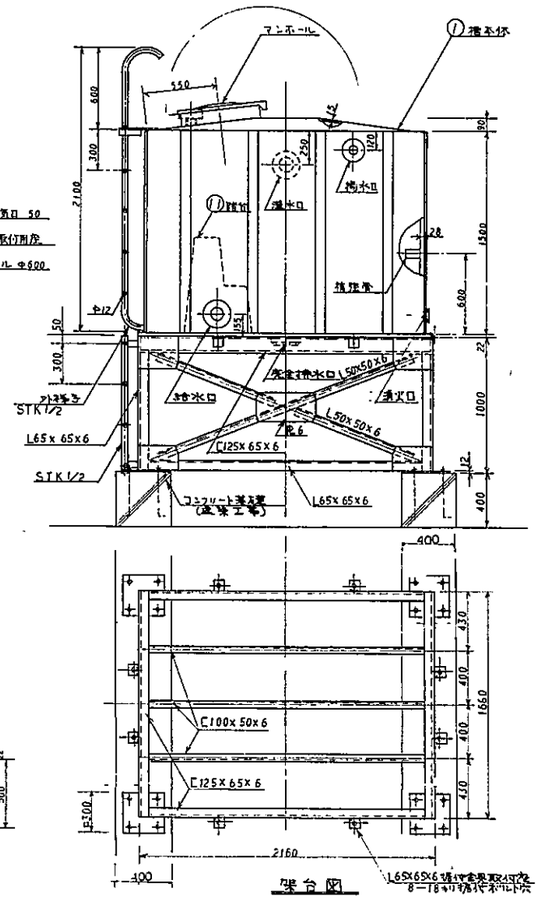
80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]		名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 機械室平面詳細図、会所施工要領図 衛生 / 縮尺 1:50	図番 M/9

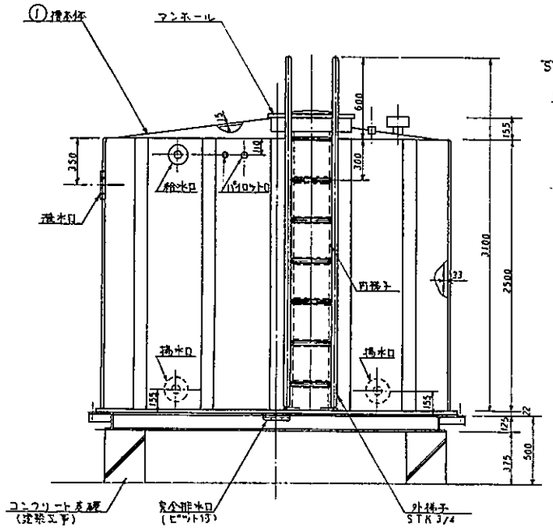
受水槽



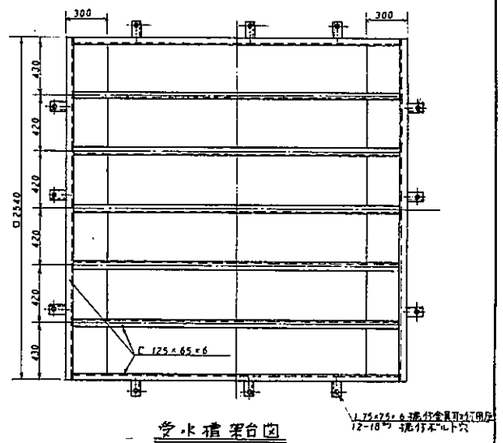
高架水槽



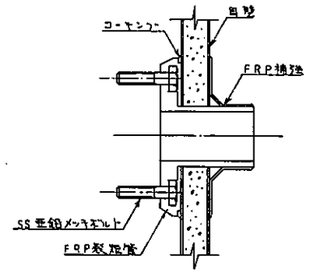




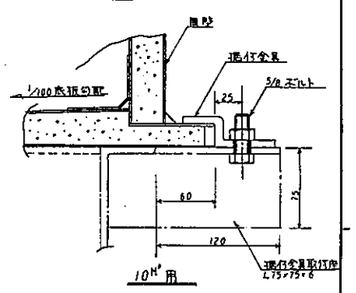
架台図

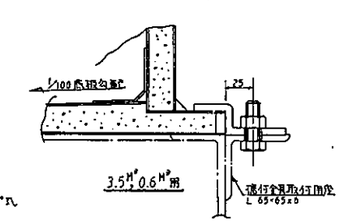


受水槽架台図



槽管取付詳細図





揚付金具取付詳細図

注記
1 外観色はアイボリー (マンセル 2.5Y 9/2)
2 取り出し口フランジはFRP製 JIS B 2212 10kg/cm²
3 マンホールは施錠具付とする。
4 各長寸法は主要部寸法を示す
5 液面計型式はフロートレススイッチ用 φ6ボールタップ孔

11	内梯子	PVC	1	300㎜	踏台		1	700㎜
10	外梯子	SS	1	350㎜	外梯子		1	350
9	電極取付用座	PVC	1	PF2	電極取付用座		1	PF2
8	通気口	PVC	1	50	通気口		1	50
7	完全排水口	FRP	1	50	完全排水口		1	50
6	減水口	FRP	1	100	減水口		1	100
5	揚水口	FRP	2	65	給水口		1	80
4	パイロット口	SS	2	20	清水口		1	50
3	給水口	FRP	1	40	揚水口		1	50
2	マンホール	FRP	1	φ600	マンホール		1	φ600
1	槽本体	FRP	1	10㎥	槽本体		1	3.5㎥
番号	名称	材質	数量	サイズ	名称		数量	サイズ
受水槽 有効水量 10㎥					高架水槽 有効水量 3.5㎥			

槽本体、架台寸法は参考とし、最終決定は承認図に依るものとする。

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 受水槽、高架水槽 詳細図	衛生
				縮尺 —	図番 M/10

特記仕様書 空調

工事名称	〈仮称〉高石市立図書館建設工事
工事場所	高石市高師浜丁目-番-号
工事期間	昭和 年 月 日より 昭和 年 月 日まで
建築概要	RC造2階建 1階 1577.48㎡ 2階 885.16㎡ 塔屋 42.80㎡ 延床面積 2505.44㎡ 自転車置場 28.80㎡
工事種目	空気調和換気設備工事 1 機器設備工事 2 配管設備工事 3 ダクト設備工事 4 換気設備工事 5 自動制御設備工事

一般事項

1. 本工事は関係諸法規条例等を厳守し施工する事。なおこれに伴う申請手続等は請負者が代行しこれに要する費用も請負者の負担とする。
2. 本工事は本特記仕様書、設計図によるは勿論、本設計図書に明記なき事項は、日本建築学会制定「建築設備共通仕様書」最新版に基ずき施工する事。
3. 本工事施工に先立ち関連工事請負業者ほびに他の業種とも充分打合のうえ工程表を作成し、係員の承認を受ける事。
4. 本工事は全て本設計図書に示された機能を発揮されるよう施工し本設計図書に明記なき事項でも当然必要と思われるものは、係員の指示により誠実に施工の事。
5. 本工事施工上必要な機器承認図、その他施工図等はすべて係員の承認を受ける事。
6. 本工事施工に際して現場の納りヌは取合上器具の取付位置、取付工法等の軽微なる変更(使用数量の5%以内)は係員の指示により行い、この場合に於いては請負金額の変更は行わない。
7. 本工事施工に際し、施工後容易に点検出来ない部分については、その過程に於いて係員の立合検査を受ける事。
8. 本工事完成に際しては各種試験、検査に合格し所轄官公庁の試験、検査に合格しなければならない。
9. 竣工検査前に関係書類を取り揃え、係員提出のうえ工事引き渡しを行う。提出書類は係員指示に依る。
10. 本工事請負契約書によるかし担保期間内において、施工の不備、機器の不良等による事故発生時は全て請負者負担にて修理、補修の事。

工事概要

1. 機器設備工事
   本工事は吸収式冷凍機、冷却塔、エアハンドリングユニット、ファンコイルユニット等の搬入据付調整を行う。
2. 配管設備工事
   本工事は、冷温水ポンプ、冷却水ポンプ、膨張タンク、冷温水ヘッダー等の搬入据付調整及び冷温水、冷却水、ドレン配管、配管附属品の取付を行う。
3. 風導設備工事
   本工事は、各エアハンドリングユニットよりの給気、還気風導及び ファンコイルユニット吹出、吸込風導、風導附属品等の製作取付を行う。
4. 換気設備工事
   本工事は、各換気機器の搬入据付及び排気風導及び風導附属品の製作取付を行う。
5. 自動制御設備工事
   本工事は、冷却水・冷温水の制御に伴う制御機器の取付制御配管配線調整までを行う。
   なお本工事は、電気工事の仕様に準拠して行う。

特記事項

1. 本工事に使用する材料は、下記に依る事。(但し図面内特記あるものは特記を優先する。)

A. 配管材料

冷温水管	配管用炭素鋼鋼管(黒)	JIS G-3452
冷却水管	——,——(〃)	〃 ——,——
膨張管	——,——(〃)	〃 ——,——
ドレン管	——,——(〃)	〃 ——,——
弁類	ボンプ廻りJIS10K ドレン配管廻りJIS5Kとする。 50㎜以下は砲金製、65㎜以上は本体鋳鉄製座部砲金製とする。	

B. 配管支持は下記に依る。

管径		20以下	25~40	50~80	90~125	150以上
鋼管	支持間隔(m)	1.8	2.0	3.0	4.0	5.0

- 曲部及び分岐個所は1ヶ所ごとに1個、立上り・立下り管は2ヶ所以上支持する。
- 管支持金物はあらかじめ建物内に埋め込んでインサートに取りつける。

C. 風導材料

亜鉛鍍鉄板を使用し、板厚等は下記に依る事。ボックス類も下記に順ずる。

板厚	長辺の長さ	円形ダクトの直径	補強アングル		垂合フランジ		支持金物		
			アングル寸法	間隔	アングル寸法	間隔	アングル寸法	吊り棒口径	間隔
0.5	450以下	500以下	立ハゼ	900以下	25×25×3	3600以下	25×25×3	9	2700以下
0.6	460~750	510~750	25×25×3	1800以下	25×25×3	3600	30×30×3	9	2700以下
0.8	760~1500	760~1000	30×30×3	900以下	30×30×3	2700	40×40×3	9	2700以下
1.0	1510~2250	1010~1250	40×40×3	900以下	40×40×3	1800	40×40×5	9	1800以下
1.2	2260以上	1260以上	40×40×5	900以下	40×40×5	1800	50×50×6	12	1800以下

支持金物はあらかじめ建物内に埋め込んでインサートに取りつける。吊り棒の調整はターンバックルによる。
換気ハイフ"は、スパイラルダクト(亜鉛鍍鉄板)のうすものを使用する。継手板厚のうすもの・差込み長さ50以上とする。

D. 煙導材料

ステンレス鋼板を使用し、板厚等は風導材料に準ずる。

E. 保温 防露 防錆工事

名称 \ 場所	屋内露出部	屋外露出部	屋内インペ部	ピット内	土中コンクリート内
冷温水管 冷却水管	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライマー (3) 厚紙 亜形 (4) 白綿布巻 (5) 目止め塗料 (6) 調合ペイント2回塗り (7) 垂部下以外バンド 箱座取付	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライマー (3) 亜鉛鉄板巻 (4) 金属前処理塗装 (5) 調合ペイント2回塗り	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライマー (3) アルミ泊 (4) 亀甲金網	(1) 保温被覆 (2) アスファルトプライマー (3) 防水麻布	
ドレン管	全上	全上	全上	全上	防錆テープ巻き
冷暖房ダクト	(1) 鋼鉄 (2) グラスウール保温板 (3) 金網 (4) 雨水ドード張り (5) 調合ペイント2回塗り		(1) 鋼鉄 (2) グラスウール保温板 (3) 金網押め		
換気ダクト	(1) 金属前処理塗装 (2) 調合ペイント2回塗り				

- 保温被覆材はグラスウール保温筒 JIS A 9505 2号(45K)を使用する。
  使用厚さは口径25㎜以下は30㎜厚 32㎜~65㎜は40㎜厚 75㎜以上は50㎜厚とする。
- グラスウール保温板は JIS A 9505 2号(45K)とし、使用厚さは25㎜厚とする。
- 全ての鋼管のねじ切り部及び支持金物類は防錆塗料塗りとする。但しすでに防錆処理を施した材料を使用する場合はこの限りでない。インサート部も防錆塗料塗りとする。
- 防錆テープは1/2以上ラップさせて巻く事。
- 煙導の断熱は下記に依る事。
  (1) 岩綿フランケット50㎜ (2) 亀甲金網 (3) けいそう保温材25㎜ (4) 亜鉛鉄板巻 (5) 金属前処理塗料2回塗り仕上

メーカーリスト

本工事に使用する機器材料は下記に依るものとする。

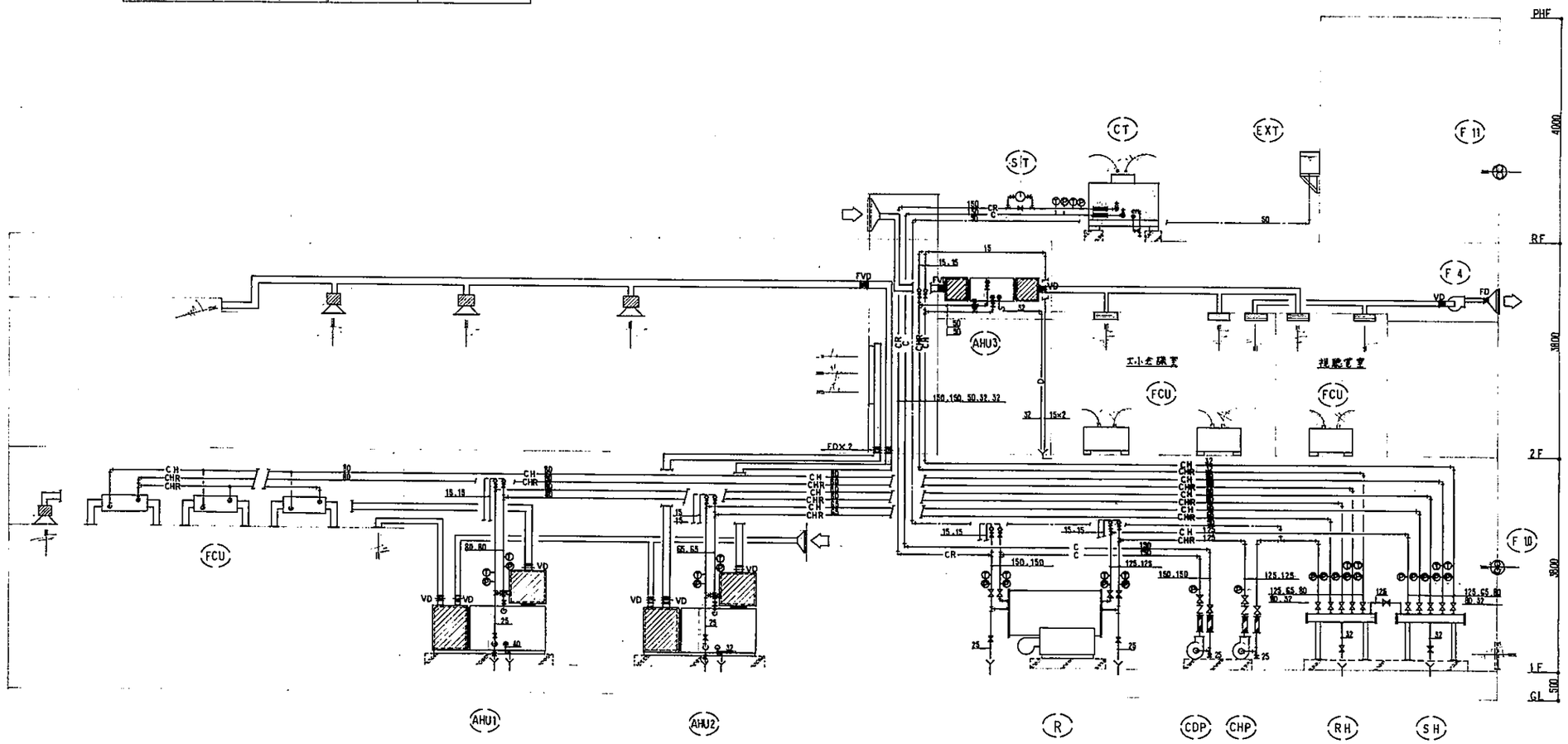
機材名	メーカー名	機材名	メーカー名
ガス吸収冷凍機	川崎重工 大阪ガス	吹出口類	不二工 新晃工業
冷却塔	室研工業 倭 和	自動制御	山武ハネウル
エアハンドリングユニット	ダイキン工業 新晃工業 三菱電機	ストレーナー	ノーセイ化学
ファンコイルユニット	——,—— ——,—— ——,——	鋼管	日本鋼管 住友 新日鉄
シロッコファン	三菱電機 松下電器 荏原製作所	弁類	北沢バルブ 大和バルブ
換気扇	——,—— ——,—— 東芝電器		
ターボファン	三菱電機、松下電器、加電業、荏原製作所		
ポンプ類	荏原製作所 神野ポンプ 川本ポンプ		
製缶類	平和鉄工 大成工事 三成鉄工		
タンパー類	不二工 大東科工		

備考

1. 吹出口・吸込口類は鋼板製メラミン樹脂焼付とし色は係員と協議のうえ決定のこと。
2. 外壁面カラリは全てアルミ製自然発色とする事。
3. 機器コンクリート基礎は全て建築工事とする。(アンカーボルト入れ本工事)。
4. スリーブ入れ全て本工事、補強建築工事。天井切り込み開口補強全て建築工事とする。
5. ダクトと送風機及び空気調和機の接続はキャンバス継手を用い ビニル挿入り2重帆布製とする。

凡　例

記　号	名　称	記　号	名　称
CH	冷温水管（往）		Y型ストレーナー
CHR	〃（還）		フレキシブル継手
C	冷却水管（往）	直車 VD	風量調整ダンパー
CR	〃（還）	FD	防火ダンパー
	膨張管・補給水管		有圧換気扇
D	ドレン管		圧力計
	ゲート弁		温度計
	チャッキ弁		天井埋込扇
	三方弁		



系　統　図

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	（仮称）高石市立図書館建設工事	図名 系統図・凡例　整理 / 縮尺 — / 図番 M/12

空調機器リスト

記号	名称	仕様	動力	台数	備考
R	ガス空吸収式冷凍機	型式 ガス空二重効用 (全自動型) 屋内設置 冷房能力 100USRT 暖房能力 262000 kcal/h 冷温水量 60 m³/h 冷却水量 100 m³/h ガス量 29.5 m³/h (都市ガス 13A) 低ノックスバーナー 50%以下	3φ-200V 10 kVA	1	防振ゴムパット共 ガス漏知器 (内外実業 04-GD-723相当品)
CT	冷却塔	型式 二重効用吸収式冷凍機用 超低騒音型 冷却能力 105冷凍RT 冷却水量 104.4 m³/h 冷却循環ポンプ 1台	3φ-200V 3.7 kw	1	防振ゴムパット共 防錆処理 本体FRP製.
CHP	冷温水ポンプ	型式 片吸込渦巻型 100φ×1000ℓ/min×26m GV×2V·CV×2V·FxJ 600L×2.圧力計×1	3φ-200V 11.0 kw Y-Δ	1	OS防振架台共
CDP	冷却水ポンプ	型式 片吸込渦巻型 125φ×1750ℓ/min×20m GV×2V·CV×2V·FxJ 600L×2·圧力計×1	3φ-200V 11.0 kw Y-Δ	1	OS防振架台共
EXT	膨張タンク	ステンレス製 3.0t 型式 500×500×500H 壁掛アングル鋼製	—	1	詳細図参照
SH	冷温水ヘッダー (往)	鋼管 200φ×2300L 架台共	—	1	詳細図参照
RH	冷温水ヘッダー (還)	鋼管 200φ×2300L 架台共	—	1	詳細図参照
ST	冷却水用ストレーナー	処理水量 97m³/h~156m³/h. 口径 100A	—	1	参考品番 ノーセイ化学 NSD-100A

記号	型式	冷房能力 (kcal/h)	暖房能力 (kcal/h)	水量 (ℓ/min)	電源電圧	消費電力 (W)	台数	備考
FCU1	600型 (天井インペイ)	3880	4430	12	1φ-100V	60	4	・冷水条件 7℃~12℃ 温水条件 60℃~55℃ ・室内条件 (暑) 27℃ 50% (寒) 20℃ 50% ・天井インペイ型 ファンコイルユニット コントロールスイッチの取付は電気工事にて行う。FCU-1は2台1相運転. FCU-2は4台1相運転. 他については単独運転とする。 ・各ファンコイルユニットには、定流量弁及び配管ユニットを附属する事。 天井インペイ型には吸出口・吸込口(フィルター付)を附属する。
FCU2	600型(,)	3470	4140	9	〃	60	8	
FCU3	300型(,)	2390	2310	9	〃	34	1	
FCU4	200型(,)	1670	1630	6	〃	32	3	
FCU5	400型(床置露出)	2900	3060	9	〃	47	4	
FCU6	400型(,)	2540	2810	6	〃	47	10	

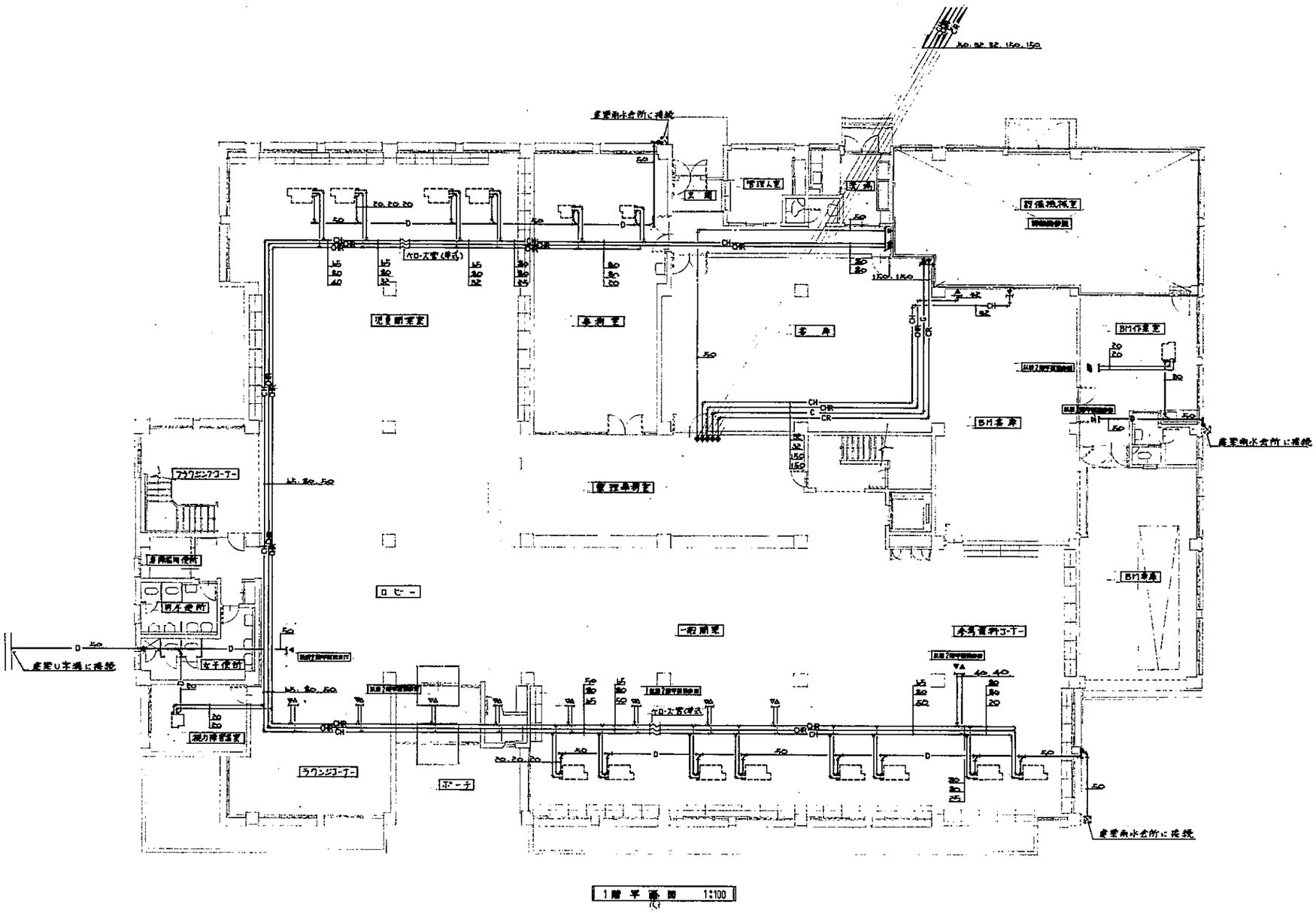
記号	名称	仕様	設置室	電源·電圧	消費電力	台数	備考
F1	排風機	型式 ミニシロッコファン(天井吊) 1700 m³/h × 10mmAq	1階 身障者用便所	1φ 100V	630W	1	
F2	排風機	型式 ミニシロッコファン(天井吊) 1200 m³/h × 10mmAq	1階 女子便所	1φ 100V	450W	1	
F3	排風機	型式 ターボファン (天井吊) 3200 m³/h × 20mmAq (消音ボックス付)	1階 洗場	3φ 200V	0.75 kW	1	参考品番 荏原 NO4 ULFM
F4	排風機	型式 ミニシロッコファン(天井吊) 1350 m³/h × 20mmAq.	2階 女子便所	3φ 200V	0.3 kW	1	
F5	排風機	型式 ミニシロッコファン (天井吊) 1250 m³/h × 10mmAq	2階 身障者用便所	1φ 100V	450W	1	AHU-3と連動
F6	排風機	型式 ターボファン 150φ 500 m³/h × 10mmAq.	1·2階 湯沸室	1φ 100V	175W	3	
F7	排風機	型式 天井埋込扇 150φ 150 m³/h × 5mmAq (低騒音型)	1階 視聴覚室 管理人室 2階 機元コーナー	1φ 100V	30W	3	
F8	排風機	型式 天井埋込扇 100φ 50 m³/h × 5mmAq (低騒音型)	1階 管理人便所	1φ 100V	16W	1	
F9	排風機	型式 天井埋込親子扇 150φ 150 m³/h × 5mmAq	1階 シャワー室	1φ 100V	33W	1.	
F10	排風機	型式 有圧換気扇 250φ 1000 m³/h	設備機械室	1φ 100V	60W	2	
F11	排風機	型式 有圧換気扇 350φ 2600 m³/h	エレベーター機械室	1φ 100V	144W	1	発停サーモ電気工事

・天井吊りシロッコファンは、天井吊り金具に防振ゴムを入れる事。
・各天井埋込扇には アルミ製ヘントキャップを附属する事。
・各有圧換気扇取付枠は本工事とし、ステンレス製ウェザカバーを附属する事。

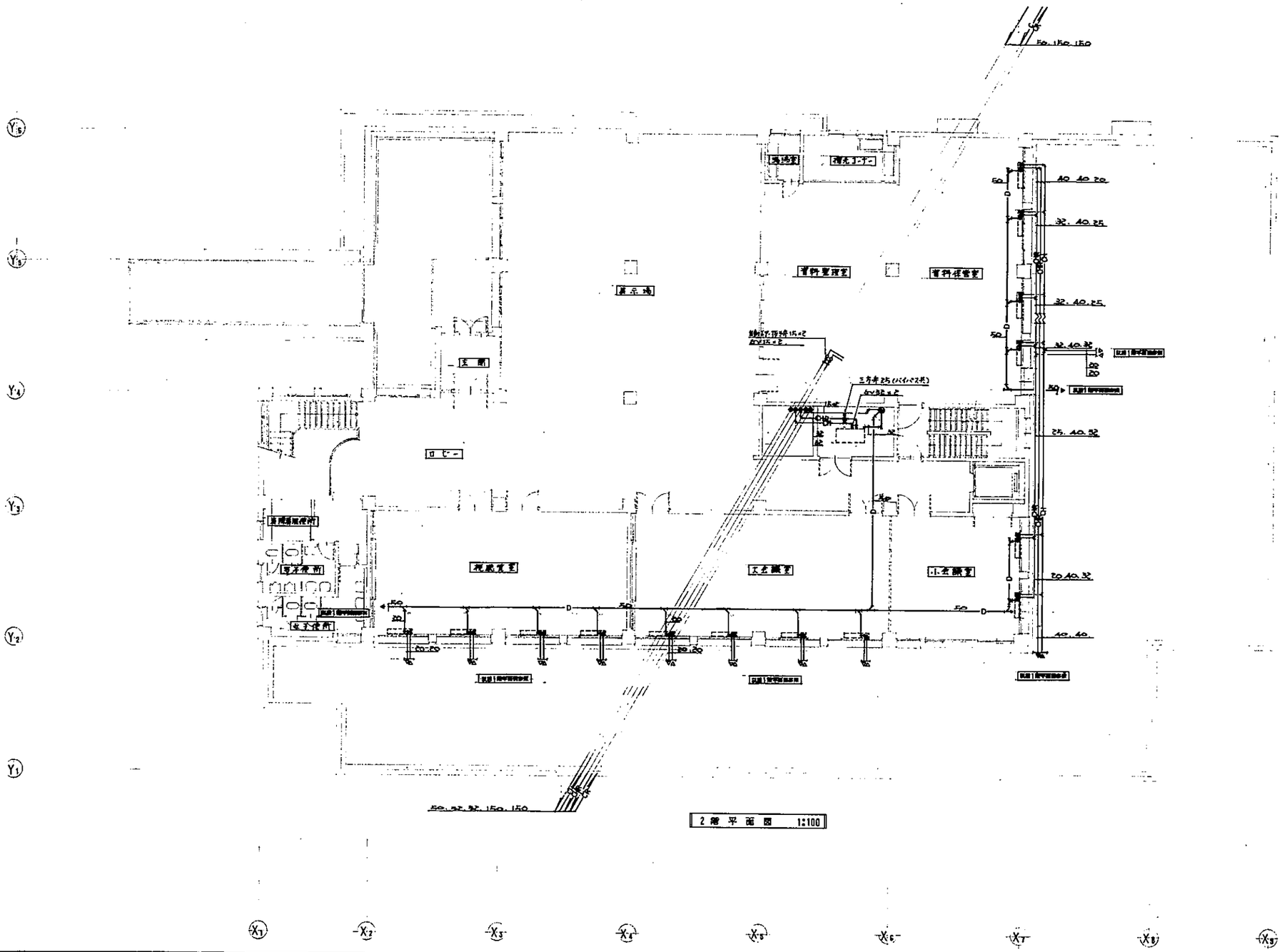
記号	系統名	風量 (m³/h) S·A	R·A	O·A	冷房能力 (kcal/h)	暖房能力 (kcal/h)	水量 (ℓ/min)	送風機 外静圧 (mmAq)	起動	動力	モーター	加湿器 型式	有効加湿量 (kg/h)	電源電圧	動力	コイル 型式	列数	型式	エアーフィルター	台数		設置場所	備考
AHU1	1階系統	17250	14050	3200	89000	73000	297	66	Y-Δ	11.0kW	防滴型	高圧水噴霧スプレー型	19.2	1φ-200V	40W	・銅管コイル ・アルミフィン ・通過風速 2.5m/s以下	6	水平	オートロールフィルター タイマー間欠方式	1		1階 設備機械室	防振長直 スプリング エアーフィルター参考品番 東洋空調 MHM 220T
AHU2	2階系統	12500	11100	1400	59000	47000	197	61	Y-Δ	7.5kW	〃	〃	8.4	〃	〃	〃	6	〃	3φ-200V 200W 重量法 85%	1		〃	防振長直 スプリング エアーフィルター参考品番. 東洋空調 MHM 160T
AHU3	2階視聴覚室系統 (OA処理)	—	—	1350	11000	13000	37	25	直入	0.75kW	〃	〃	8.1	〃	〃	〃	4	〃 天井インペイ	中性能型.	1		2階 倉庫	天井吊り金具に防振ゴムを入れる事。

・冷温水条件·室内条件は、ファンコイルユニットと同じとする。
室外条件 (暑) 33.5℃ · 58%
(寒) 0 ℃ 50%

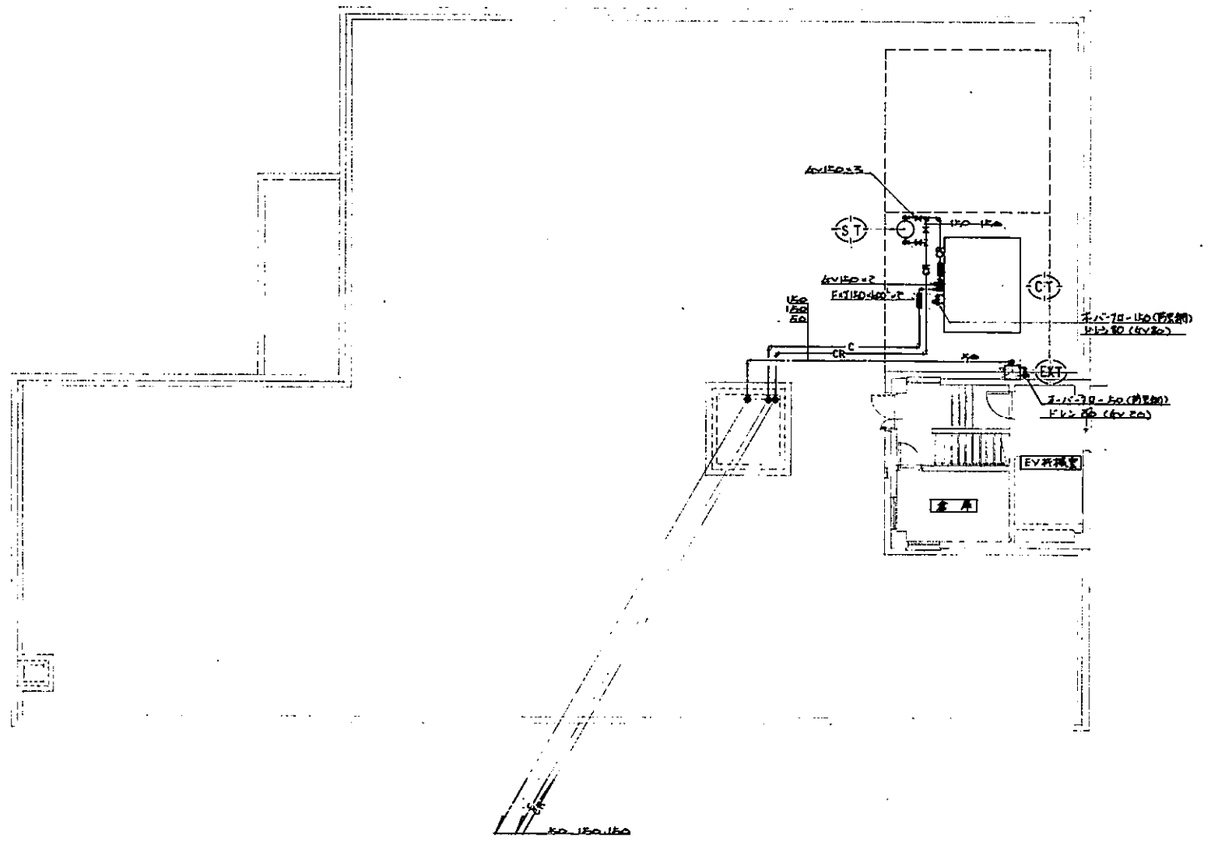
80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 空調機器リスト 縮尺 —	図番 M/15



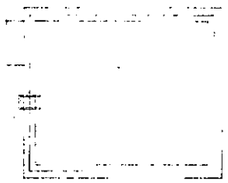
80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 1階平面図(配管) 空調	図番 M/14
				縮尺 1:100	



80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 2階平面図(配管) 空調 縮尺 1:100	図番 M/15



R階 平 面 図 1:100



PH階 平 面 図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 R階 平 面 図 (配 管) 空調 縮尺 1:100	図番 M/16

取付用Boxリスト

名称	品番・大きさ	取付用 BOX
アネモ	Ez-25	500×500×300H
〃	Ez-15	300×300×250H
〃	Ez-12.5	250×250×250H
アリースライン	BLS-1000L	1100×100×300H
レターングリル	800×300	900×400×300H
〃	1000×500	1500×250×300H
〃	300×300	400×400×400H

注) 取付用Box全てGW25K内貼の事。

事務室	
SA 1150㎥/h	
アネモ	Ez-25(SED付) 2
RA 1000㎥/h	
吸込口	HS 800×300 1

湯沸室	
EA 500㎥/h	
吸込口	HS 300Φ 1

書庫	
EA 3200㎥/h	
吸込口	HS 500×200 6

便所前室	
EA 500㎥/h	
吸込口	HS 250Φ 1

身障者用便所	
EA 250㎥/h	
吸込口	HS 200Φ 1

男子便所	
EA 500㎥/h	
吸込口	HS 300Φ 1

女子便所	
EA 650㎥/h	
吸込口	HS 350Φ 1

視力障害者室		
SA 500㎥/h		
アネモ	Ez-15(SED付)	1
アリースライン	BLS-1000L	2

ラウンジコーナー	
SA 1900㎥/h	
ノズル	300Φ 2
EA 1200㎥/h	
吸込口	HS 700×300 1

BM作業室		
SA 400㎥/h		
アネモ	Ez-12.5(SED付)	2
アリースライン	BLS-1000L	2
RA 450㎥/h		
吸込口	HS 300×300	1
EA 500㎥/h		
吸込口	HS 350×300	1

一般閲覧・参考書庫コーナー・整理作業室・児童閲覧室		
SA 13100㎥/h		
アネモ	Ez-25(SED付)	24
RA 12600㎥/h		
吸込口	HS 1000×500	6

1階平面図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名	1階平面図(アクト) 空調	図番	M/17
					縮尺	1:100		

ロビー	
SA 4000㎥/h	
アネモ	Ez-25(SED付) 6

展示場	
SA 5300㎥/h	
ノズル	250φ 5

湯沸室	
EA 500㎥/h	
吸込口	HS 300×300 1

資料整理室	
SA 2200㎥/h	
アネモ	Ez-25(SED付) 3

便所前室	
EA 200㎥/h	
吸込口	HS 200×200 1

身障者用便所	
EA 200㎥/h	
吸込口	HS 200×200 1

男子便所	
EA 350㎥/h	
吸込口	HS250×250 1

女子便所	
EA 500㎥/h	
吸込口	HS300×300 1

展示場		
SA 550㎥/h		
吹出口	VHS 500×200	1
EA 550㎥/h		
吸込口	HS 500×200	1

大会議・小会議室		
SA 800㎥/h		
吹出口	VHS 500×150	2
EA 800㎥/h		
吸込口	HS 500×300	1

廊下	
SA 1000㎥/h	
アネモ	Ez-25(SED付) 2
RA 11100㎥/h	
ガラリ	1000×2000(FS付) 1

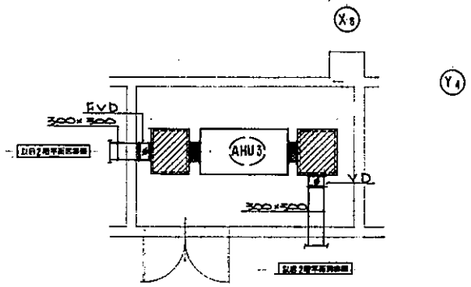
湯沸室、コーヒ給湯
排気口換気扇(1)
EA φ400×300(500㎥/h)

排気計算書(1)
湯沸室 0.138㎥/h } 0.94㎥/h
コンロ台 0.14㎥/h }
40×12.1×0.14≒455㎥/h
設計風量－アクトファン 500㎥/h

排気計算書(2)
コンロ台 0.16㎥/h
40×12.1×0.16≒77.44㎥/h
設計風量－アクトファン 500㎥/h

2階平面図 1:100

80107	株式会社 栄和設計事務所			名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 2階平面図(アクト)・空調		図番	M/18
						縮尺 1:100			

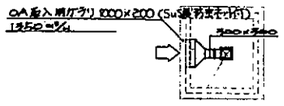


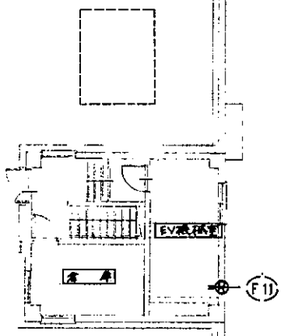
AHU-3 廻り 平面詳細図 1:50

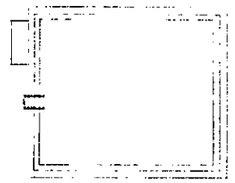
AHU-3チャンバーリスト

名　称	仕　様
OAチャンバーBOX	800×700×700H (AHU3次外調)
SAチャンバーBOX	800×700×700H (AHU3次外調)

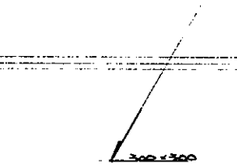
(注)各チャンバーには点検口450□取付のこと。





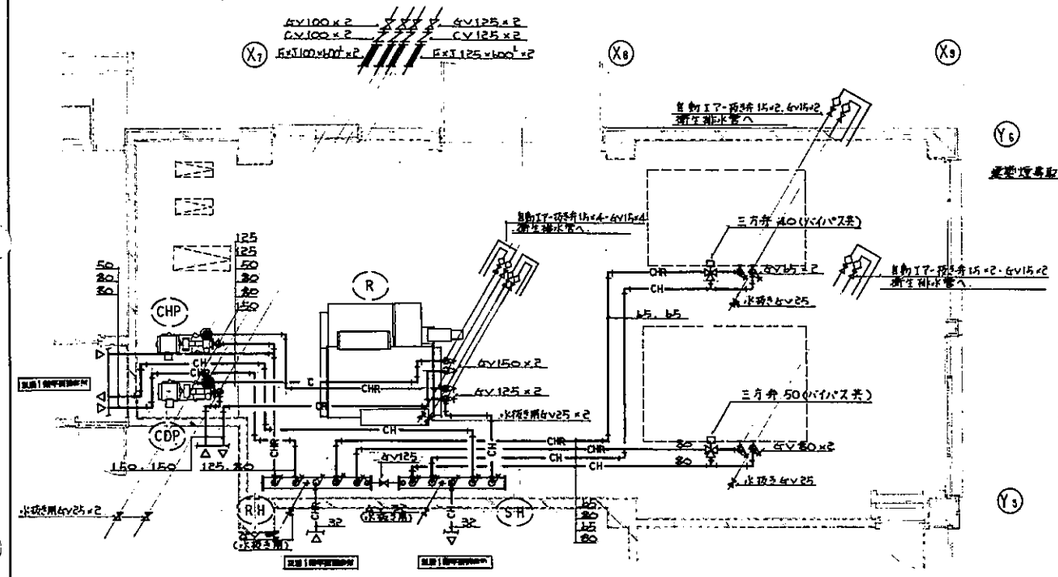


PH階 平面図 1:100

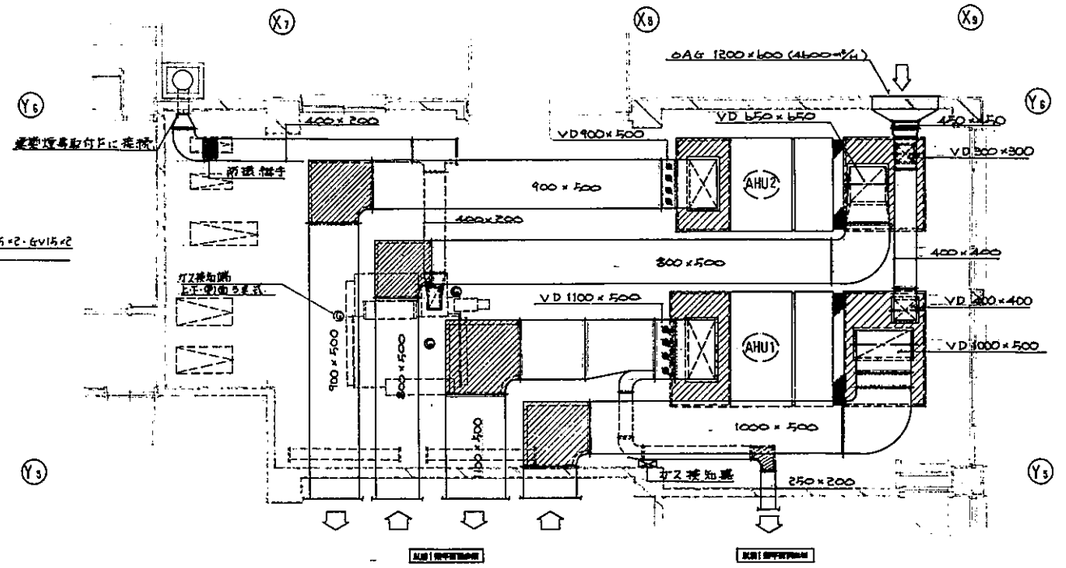


R階 平面図 1:100

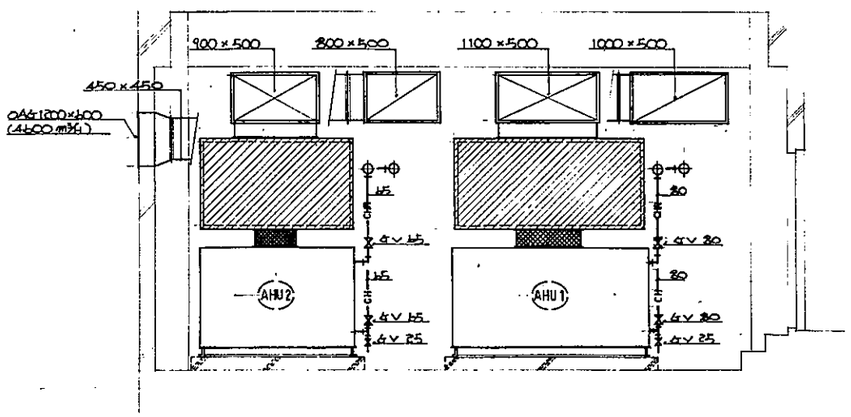
80107	株式会社 栄和設計事務所 06・452・1651 452・1652 452・1653 452・1654	[redacted]		名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 R階 平面図(デフト) 空調	縮尺 1:100	図番 M/19	



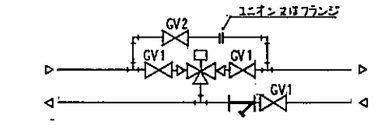
機械室平面詳細図 1:50 (空調配管)



機械室平面詳細図 1:50 (空調ダクト) 消音エルボ GW50ボード内貼.



機械室断面詳細図 1:30



三方弁表量リスト

系統名	三方弁	Yﾈｼｽﾄﾚｰﾅｰ	GV1	GV2
AHU-1	50	80	80	65
AHU-2	40	65	65	50
AHU-3	25	32	32	25

註) バイパス配管口径は GV2と同径とする。

AHU-1. AHU-2. チャンバーリスト

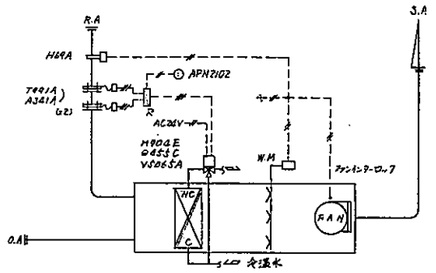
系統名	SAチャンバーBOX	RAチャンバーBOX
AHU-1	2100×1100×1000H (GW 50ﾐﾘ 内貼)	2100×1500×1000H (GW 50ﾐﾘ 内貼)
AHU-2	1700×1000×1000H (GW 50ﾐﾘ 内貼)	1700×1500×1000H (GW 50ﾐﾘ 内貼)

註) 各チャンバーBOXには点検口 450φ 取付の事.

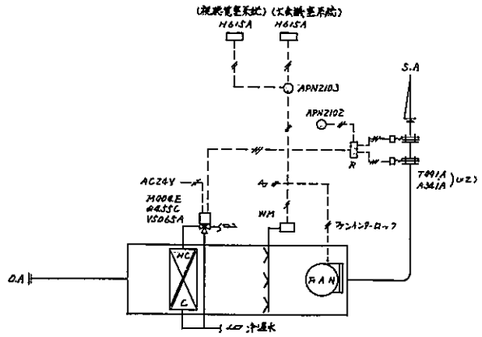
冷温水ヘッダー系統リスト

系統名	冷温水量	GV
AHU-1	297ℓ/min	80
AHU-2	197ℓ/min	65
AHU-3	37ℓ/min	32
FCU	234ℓ/min	80
主	1000ℓ/min	125
還 通	—	125

80107	株式会社 栄和設計事務所		名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 設備機械室平面 断面詳細図. 空調	図番 M/20
				縮尺 1:50	



AHU-1,2 空調番系統 (2 組)



AHU-3 空調器系統 (1 組)

機器一覧表

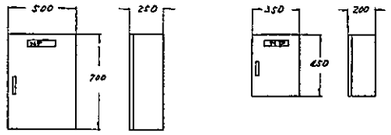
型番	名称	備考
A341A	感温部 2m 付属	
APN2102	切換スイッチ	
APN2103	〃	
H69A	挿入形温度調節器	二位置式
H615A	壁掛形 〃	〃
H904E	モジュトロールモータ	
Q455C	弁リンケージ	
R7010A	冷却水アロー調節器	
T62SA	挿入形温度調節器	二位置式
T401A	〃	比例式
VS065A	混合形三方弁	
U2624AA	保護管	

制御弁選定表

系統	弁型番	流体	流量(l/h)	ΔP (m)	Cv	弁寸法(A)	備考
AHU — 1	VS065A	冷温水	297	1.7	50	50	
AHU — 2	〃	〃	197	2.4	20	40	
AHU — 3	〃	〃	37	1.5	6.3	25	

凡例

- 1.6mm 3芯 2"以上のビニール電線
- 専用ケーブル
- AC200V
- 盤内取付状態

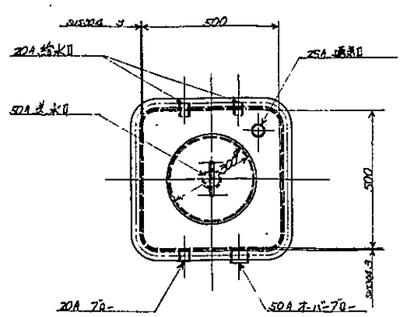


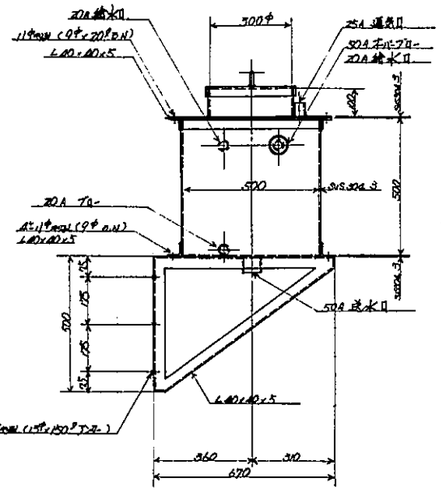
CP－1 (1面)
(AHU-1,2)

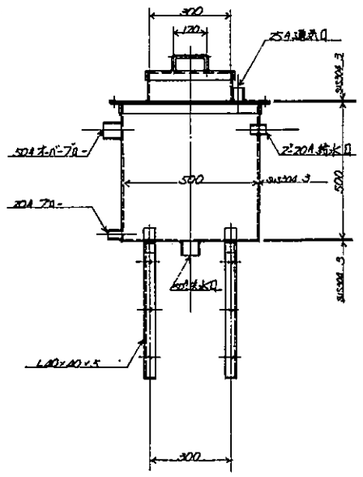
CP－2 (1面)
(AHU-3)

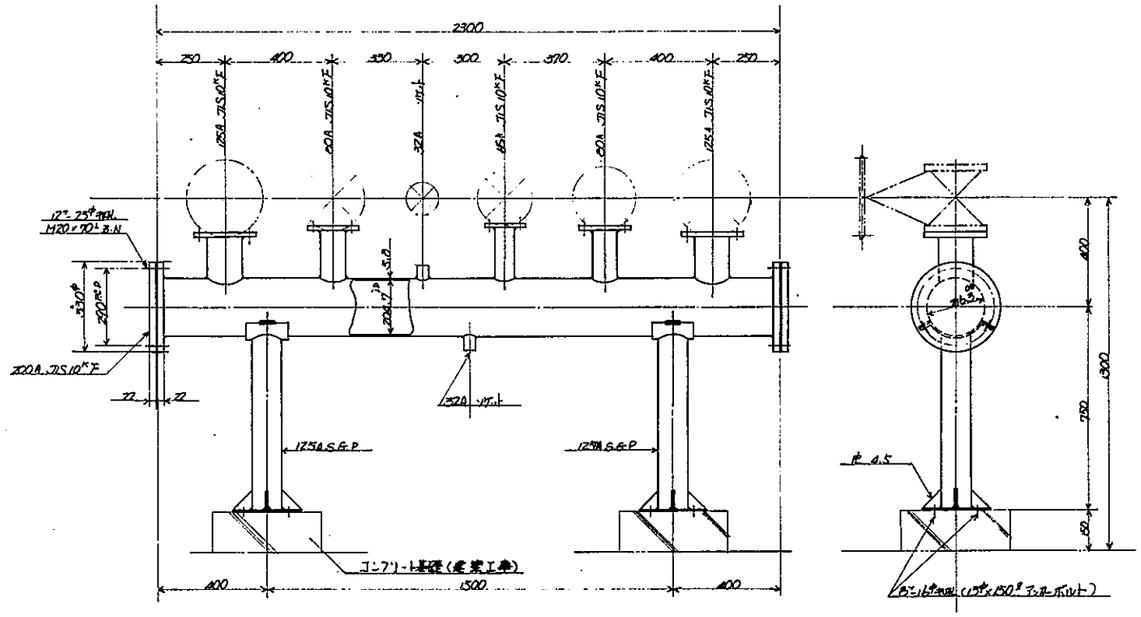
自動制御盤仕様
- 鋼板製メラミン樹脂焼付 (ライム(指定色) 錠付
- 各盤名称(CP)は係員の指示に依る。

80107	株式会社 栄和設計事務所 06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称 (仮称)高石市立図書館建設工事	図名 自動制御系統図 空調 / 縮尺 —	図番 M/21









膨張水槽	S=1/10 500×500×500H
材質	SUS 304
板厚	側板、底板、天板 5㎜
要目	アクリット
付上	内外面錆落付上
塗装	外面 錆止メラ2回塗り

冷温水ヘッダー	S=1/10 径 200×2900H
名称	200A. SGP
バルブ	JIS 10K型 ゲート弁
フランジ	全て JIS 10K型 使用.
要目	テル 3ヶ バルブボス 4300H
付上	材質 亜鉛メッキ付上、内部工場ラシ塗装(1.0㎜)
塗装	要全 錆止メラ2回塗り
製作数	2.台

80107	株式会社 栄和設計事務所	06-452-1651 452-1652 452-1653 452-1654	[redacted]	名称	(仮称)高石市立図書館建設工事	図名 膨張水槽・冷温水ヘッダー詳細図 空調	図番 M/22
						縮尺 1:10	